

XIII 教員の研究教育・社会貢献活動

本章は「茨城大学研究者情報総覧」に入力されたデータをもとに作成された。一人の教員を一つのデータシートとしてまとめている。なお、データは平成 29 年 3 月 31 日現在のものである。

1 教員の研究教育・社会貢献活動

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 増子 和男
教員履歴など	
現職	教授
生年月	1953 年 10 月
学歴・職歴	早稲田大学 第一文学部 文学科中国文学専修[1976 年 03 月卒業] 早稲田大学大学院 文学研究科 中国文学専攻[1978 年 03 月修了] 早稲田大学 第一文学部 非常勤講師(1989 年 4 月～1991 年 3 月) 鶴見大学 文学部 非常勤講師(1990 年 4 月～1991 年 3 月) 梅光女学院大学 文学部 専任講師(1991 年 4 月～1995 年 3 月) 九州国際大学 経済学部 非常勤講師兼任(1994 年 4 月～1999 年 3 月) 梅光女学院大学 文学部 助教授(1995 年 4 月～2001 年 3 月) 梅光学院大学 大学院文学研究科 講師兼任(2001 年 4 月～2002 年 3 月) 梅光学院大学 文学部教授(2001 年 4 月～2008 年 3 月) 東亜大学 総合人間・文化学部 非常勤講師兼任(2002 年 4 月～2004 年 3 月) 梅光学院大学 大学院文学研究科 教授併任(2002 年 4 月～2008 年 3 月) 山口大学 非常勤講師兼任(2007 年 4 月～2008 年 3 月) 台湾輔仁大学 大学院講師兼任(集中講義)(2008 年 2 月～2008 年 2 月) 茨城大学 教育学部教授(2008 年 4 月～) 早稲田大学 文学学術院(大学院文学研究科・文化構想学部)非常勤講師兼任(2011 年 4 月～2014 年 3 月) 早稲田大学 文学学術院(大学院文学研究科)非常勤講師兼任(2011 年 4 月～2017 年 3 月) 茨城大学教育学部附属特別支援学校校長併任(2012 年 4 月～2015 年 3 月)
学位	文学修士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本中国学会 全国漢文教育学会 和漢比較文学会 中唐文学会 早稲田大学

	中国文学会 中国詩文研究会 中国古典学会 日本詩経学会 日本聞一多学会 早稲田大学国文学会
専門分野	各国文学・文学論
教育研究概要	唐代伝奇研究。六朝志怪小説研究。日中怪異譚の比較研究。 文言で書かれた小説に現れた用語の来源と、用語に対してそれらの小説が執筆された当時の人々が共有した思いを探っている。 また、関わりの深い日中両国の怪異譚を比較することによって、その受容と変容、その背景となった人々の思いを探っている。
	(キーワード)六朝志怪、唐代伝奇、日中怪異譚比較
担当科目	(教養科目)人間と文学・芸術[日中比較妖怪学入門] (専門科目)漢文学概論, 漢文学研究法 I, 初等国語科内容研究, 漢文学研究法 II, 漢文学演習 II, 漢文学演習 I, 初等国語科内容研究, 漢文学基礎, 卒業研究 (教育:4 単位) (大学院科目)漢文学特論, 初等国語教育学授業設計, 漢文学研究, 中等国語教育学授業設計, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)単著]増子 和男「漢文が国語科に置かれているのは何故か ―生徒たちには是非伝えて欲しいこといくつか―」, 茨城の国語教育, 15, 1-7(2017年03月01日)
2. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]増子 和男「「死神」再考(上)」, 中国詩文論叢, 35, 207-217(2016年12月31日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [・] 増子 和男「貂怪異譚考」和漢比較文学会第9回海外特別例会(国立台湾大学)[2016年09月01日]
2. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国際会議(単独)] 増子 和男「三遊亭圓朝作・落語「死神」再考」「日本伝統芸能」講演会及びワークショップ(中国浙江省杭州市)[2016年05月13日]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 早稲田大学文学学術院(大学院文学研究科)・非常勤講師, 6(時間/月)(2011年04月～)

○ 学協会での役職

1. 日本詩経学会, 理事(2002年04月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「講演と演奏の夕べ「天心の言葉の宇宙—漢詩と英語を巡って—」, 五浦・天心地域振興プロジェクト実行委員会、茨城大学五浦美術文化研究所ほか(茨城県天心記念美術館) [招待講演] (2016 年 10 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

中国 杭州市 浄慈寺ほか[実地踏査及び講演会参加、ワークショップ発表] (2016 年 5 月:5 日間)

中国 台北市, 新竹市 国立台湾大学, 台湾輔仁大学図書館, 新竹・鶯歌周辺[特別例会参加, 実地踏査, 資料調査] (2016 年 8 月～9 月:4 日間)

台湾 台北 台北市内[フィールド調査のためのため] (2017 年 3 月:1 日間)

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 川嶋 秀之
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1955 年 11 月
学歴・職歴	東京都立大学大学院 人文科学研究科 国語学[1987 年]
学位	修士(文学)[東京都立大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本語学会 古事記学会 日本方言研究会
専門分野	国語史
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[「声」を届ける], 人間とコミュニケーション[日本語の世界] (専門科目)国語学演習 II, 国語学概論, 初等国語科内容研究, 国語学演習 I, 言語と文化の諸相, 郷土の言葉, 保育内容の研究(言葉), 初等国語科内容研究, 国語表現法, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)言語文化総合研究, 古典語特論, 初等国語教育学授業設計, 中等国語教育学授業設計, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

川嶋秀之「俳句を理解すること」(茨城国語教育学会編 p29-37 2017 年 3 月 5 日)

社会的活動、地域貢献など

第27回「大好き いばらき 作文コンクール」審査委員長

学校教育教員養成課程(国語教育)	氏名 鈴木 一史
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1967 年 7 月
学歴・職歴	筑波大学大学院 教育研究科 教科教育専攻[1996 年 03 月修了] 東京大学教育学部附属中等教育学校(2000 年 4 月～2012 年 3 月) 聖徳大学・非常勤講師(国語表現)(2002 年 4 月～2004 年 3 月) 東京大学・非常勤講師(教科教育法)(2005 年 4 月～2012 年 3 月) 聖心女子大学・非常勤講師(教科教育法)(2007 年 4 月～2012 年 3 月)
学位	修士(教育学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	解釈学会 日本国語教育学会 全国大学国語教育学会 日本読書学会 人文科教育学会
専門分野	教科教育学
教育研究概要	(キーワード)国語科教育法 授業プログラム 語彙教育 コーパス 作文教育 作文コーパス 教科書分析 作文語彙 授業開発
担当科目	(専門科目)初等国語科教育法研究, 国語科教育法研究, 初等国語科教育法研究, 国語科教育法特講 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)言語文化総合研究, 国語科教育学特論 I, 初等国語教育学授業設計, 人間形成の現代的課題と学習指導, 教育方法開発課題研究 I, 教材研究と授業設計 I, 国語科教育学演習 I, 中等国語教育学授業設計, 教育方法開発課題研究 II, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単著]鈴木一史「国語教育における知識・技能の育成の観点」, 教育科学国語教育, 58, 11, 16-19(2016 年 11 月 01 日)
2. [単著【査読あり】]鈴木一史「新概念を表す際の用語選択問題 — 再生医療関連語彙に関する教育的課題 —」, 解釈, 62, 5・6, 2-11(2016 年 06 月 01 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(招待・特別)・国内会議(単独)] 鈴木一史「アンケートから見る教師の意識」日本国語教育学会茨城支部地区研究会(茨城大学)[2016年02月06日]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [出前授業] 緑岡高校・(2016年04月～)
2. [兼業] 免許状更新講習・(2012年04月～)

○ 学協会での役職

1. 日本国語教育学会, 高等学校部会副部長(2010年04月～)
2. 解釈学会, 常任委員・編集委員(2009年01月～)
3. 日本国語教育学会, 全国大会企画委員(2008年04月～)
4. 日本国語教育学会, センター試験問題検討委員(2005年04月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「第48回 解釈学会全国大会(国内)」, [司会・議長・コンビナー・コーディネータ, 企画・運営](2016年08月)
2. 「第79回 国語教育全国大会(国内)」, 日本国語教育学会[司会・議長・コンビナー・コーディネータ, 企画・運営](2016年07月)

○ 地域協力活動

1. [学外審議会・委員会等]「日本教育大学協会」(2015年～)
2. [その他公的社会活動]「磯崎小学校校内研究会 講師」(2015年～)
3. [その他公的社会活動]「日本学術振興会」(2013年～)
4. [学外審議会・委員会等]「センター試験問題問題検討委員」(2002年04月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

中国 南京、揚州・南京大学外語学院、個園、瘦西湖[シンポジウム参加、実地踏査](2014年8月3日～7日)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「教科書コーパスと作文コーパスとのリレーション解析による言語教育の影響と授業開発」, 310万円 (2013年04月～2016年03月)

○ 共同研究・受託研究

1. [学内共同研究]「新しい再生医療社会を理解し迎えるためのモデル教育の創出と提言(分担)」, 未詳(2014年04月～2016年03月)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 小野寺 淳
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1955 年 8 月
学歴・職歴	筑波大学 人文学類 歴史地理学[1978 年] 筑波大学大学院 歴史・人類学研究科 史学専攻(歴史地理学)[1985 年]
学位	文学博士
受賞歴	なし
所属学会	交通史研究会 日本国際地図学会 東京地学協会 日本地理学会 人文地理学会 歴史地理学会 茨城地理学会
専門分野	人文地理学
教育研究概要	主たる研究は、江戸時代の古地図(主に河川絵図・国絵図)、江戸時代の旅(お伊勢参り)、茨城県内における近世・近代の都市・農村の景観変化(石岡市史・協和町史・八千代町史・猿島町史・境町史などを分担執筆)の研究を行っている。授業は人文地理学の概論と専門、地域へのアプローチや地理学野外実習(フィールドワークの初歩)、茨城の歴史と文化(茨城県通史)、茨城の風土と生活(茨城県地誌)などを担当している。 (キーワード)江戸時代の古地図研究,伊勢参り,古道,城下町,産地形成
担当科目	(教養科目)社会と人間[都市の歴史的景観], 人文[古地図で見る世界観・国土観の変遷], 主題別ゼミナール[地域と世界を考える], 茨城学 (専門科目)歴史地理学 I(免許あり)/歴史地理学 I, 茨城の歴史と文化(教科又は教職)/茨城の歴史と文化(情報文化), 茨城の風土と生活人文地理学 E/人文地理学 I/人文地理学, 人文地理学演習, 地理学野外実習Ⅲ, 卒業研究(教育:4 単位), 人文学部「観光学入門」 (大学院科目)人文地理学特論, 人文地理学演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [単行本(一般書)・共編者]「シーボルトが日本で集めた地図(共編著)」, 古今書院, (2016 年 11 月 15 日)
2. [地図・単著]小野寺淳「古地図と歩こう! 水戸の城下町マップ」, 水戸商工会議所発行, 改正第 3 版第 1 刷(2016 年 07 月 27 日)
3. [共著]横山 貴史 小野寺 淳 岩間 絹世「潮来市旧大生原村における農業と社会組織の変容

- 一茨城大学教育学部『地域へのアプローチ』の教育実践一, 茨城地理, 17, 43-62(2016年12月)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]小野寺 淳 石井 智子 塚本 麻文「酒井捨彦が作製した地図の特色 一明治期における一つの民間地図作製史一」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), 23, 51-70(2016年11月30日)
5. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著【依頼/招待】]小野寺淳「最上徳内がシーボルトに与えた北方図-ライデン大学図書館シーボルトコレクションより-」, 地理, 61, 08, 30-36(2016年08月01日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]小野寺淳「幕末期の水戸城下における藩士の屋敷と禄高の関係(小野寺淳・永井博・田中耕市・小橋雄毅)」人文地理学会(京都大学)2016年度大会[2016年11月13日]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)]
「長久保赤水作製中国図に関わる漢籍(小野寺淳・増子和男・野積正吉・渡辺理絵・尾崎久美子・上杉和央・千葉真由美・島本多敬・石井智子・永山未沙希)」人文地理学会(京都大学)2016年度大会[2016年11月12日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]小野寺淳「明和6(1769)年における米沢城下のGIS分析(渡辺理絵・角屋由美子・小野寺淳・小橋雄毅)」日本地理学会2016年度秋季学術大会(東北大学)[2016年10月01日]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 東京大学教養学部・非常勤講師(歴史地理学), 30(時間/月)(2016年04月～2016年09月)

○ 学協会での役職

1. 歴史地理学会, 常任委員長(2015年06月～2019年5月)
2. 茨城地理学会, 会長(2012年08月～)
3. 日本地理学会, 代議員(2016年3月～)
5. 日本国際地図学会, 評議員(2005年04月～)

○ 学外教育

1. [出前授業]「近世絵図の世界」, 1時間, 40名出席, (茨城県立勝田高等学校)

○ 地域協力活動

1. 茨城県教育委員会文化財保護審議委員(2006年1月～)
2. 土浦市教育委員会点検評価委員(2014年度から2017年度)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

- 韓国 済州市 済州大学校[日韓学術交流](2016年12月:2日間)

科学研究費補助金などの受領

基盤研究(C)(一般)2014～2016 年度「長久保赤水の地図作製プロセスに関する研究」

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 村山 朝子
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 7 月
学歴・職歴	お茶の水女子大学 文教育学部 地理学科[1981 年 03 月卒業] 奈良女子大学大学院 文学研究科 地理学[1984 年 03 月修了] お茶の水女子大学附属中学校 教諭(1984 年 4 月～1990 年 3 月) 茨城大学教育学部／人文学部非常勤講師(1992 年 12 月～2004 年 3 月) 常磐大学人間科学部非常勤講師(1993 年 4 月～2004 年 3 月) 流通経済大学経済学部非常勤講師(1998 年 4 月～2005 年 3 月) 茨城大学教育学部助教授(のち准教授)(2004 年 4 月～2009 年 9 月) 茨城大学教育学部教授(2009 年 10 月～)
学位	文学修士[奈良女子大学]
受賞歴	人文地理学会賞(2007)
所属学会	日本社会科教育学会 日本地理教育学会 日本地理学会 人文地理学会 茨城地理学会
専門分野	教科教育学 地理学 人文地理学
教育研究概要	<p>地理教育を中心に、社会科教育のあり方、具体的にはカリキュラム、内容、教材をどうするか、ということが現在の研究課題です。具体的には、地理教育の歴史的変遷や諸外国の動向、教材としての教科書研究、世界地誌教材開発などに取り組んでいます。中学校社会科地理的分野の教科書作成にも長年関わっています。授業は中等社会科の指導法の科目を主に担当しています。2011年から茨城県内の小中学生の地図作品展「いばらき児童生徒地図作品展」を主催し、小中学生の地域に対する関心や空間的思考を培う地図づくりの活動の普及に努めています。</p> <p>(キーワード)社会科教育 地理教育 教科書 教材 カリキュラム 地図 スウェーデン</p>
担当科目	<p>(専門科目)中等社会科教育法研究, 地理歴史科教育法研究 I, 社会科教育学入門, 社会科教育法特講 II, 社会科教科論, 社会科教育法演習 II, 卒業研究(教育: 4 単位)</p> <p>(大学院科目)中等社会科教育特論 I, 初等社会科教育特論 I, 社会科教育演習 I, 特別課題研究</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [著書・]茨城大学教育学部附属幼稚園編「子育て・保育の悩みに教育研究者が答える Q&A 楽しく遊んで、子どもを伸ばす」, 福村出版, (2016 年 08 月)
2. [共著]鈴木明憲、村山朝子「地理学習における写真資料活用力の発達プロセス」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 65, 1-14(2016 年)
3. [単著【査読あり】]村山朝子「地理学習における文学作品の活用の可能性」, E-JournalGEO, 11, 2, 415-424(2016 年 11 月)

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 茨城地理学会, 常任委員長(2012 年 08 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「地図づくりについての情報交換会(国内)」, いばらき児童生徒地図研究会・茨城地理学会(茨城大学図書館セミナールーム)[司会・議長・コンビーナ・コーディネータ, 企画・運営](2016 年 12 月)

○ 地域協力活動

1. [その他公的社会活動]「いばらき児童生徒地図研究会」(2011 年 05 月～)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 木村 勝彦
-------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年1月
学歴・職歴	筑波大学 第一学群人文学類 史学[1984年] 筑波大学大学院 教育学研究科 学校教育学[1991年]
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本公民教育学会 日本教育方法学会 全国社会科教育学会 日本社会科教育学会 日本教育学会
専門分野	教育学(社会科教育)
教育研究概要	社会科教育に関する教育史的研究(明治以降、昭和前期)、特に社会科成立の視点から戦前の公民教育を中心に検討する。初期社会科の研究、特に戦前の社会的教育を踏まえて、初期の社会科教育事情を検討する。社会科授業論に関する研究。 (キーワード)公民教育、社会科教育史、社会科授業論
担当科目	(専門科目)初等社会科教育法研究, 生活科内容研究, 初等社会科教育法研究, 公民科教育法研究 I, 生活科教育法研究, 社会科教育学入門, 社会科教育法演習 I, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)中等社会科教育特論 II, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]岡野 英輝, 木村 勝彦, OKANO Hideki, KIMURA Katsuhiko「中学校歴史的分野における通史と地域史の関連付けと授業構想のための理論 : 立体的・有機的歴史像の構築をめざして」, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学, **64**, 1-22(2015年)

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
1. [非常勤講師] 白鷗大学法学部・講師, 16(時間/月)(2005年04月～)
 2. [その他] 茨城県教育研修センター・講師(2004年07月～)
- 学協会での役職
1. 日本社会科教育学会, 評議員(2005年04月～)

2. 日本公民教育学会, 常任理事(2002 年 04 月～)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 中野 雅紀
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1963 年 5 月
学歴・職歴	<p>中央大学 法学部 法律学科[1987 年 03 月卒業] 中央大学大学院 法学研究科 公法専攻[1991 年 03 月修了] 中央大学大学院 法学研究科 公法[1996 年 03 月単位取得満期退学] 慶應義塾大学大学院 法学研究科・法学部(2005 年度文部科学省内地留学訪問教官)[2006 年 03 月修了] 慶應義塾大学 文学部 哲学系[2016 年 09 月卒業] 京都大学大学院 法学研究科 法政理論専攻[年] 東京電子専門学校(1991 年 4 月～1993 年 3 月) 中央大学(1991 年～) 埼玉大学(1995 年～1998 年) 中央大学(1996 年～1998 年) 千葉大学(1996 年～1998 年) 日本比較法研究所(1996 年～) 武蔵丘短期大学(1997 年～1999 年) 芝浦工業大学(1997 年～2005 年) 茨城大学(1998 年～) 茨城工業高等専門学校(1999 年～2005 年) リー保育福祉専門学校(2004 年～2005 年) 慶應義塾大学(2005 年～2006 年) 茨城大学(2007 年 4 月～) 常磐大学(2017 年 4 月～)</p>
学位	法学士[中央大学] 法学修士[中央大学] 学士(哲学)[慶應義塾大学]
受賞歴	なし
所属学会	比較憲法学会 法制史学会 史学会 法文化学会 日本法哲学会 日本比較法研究所 憲法裁判研究会 ドイツ憲法判例研究会 憲法理論研究会 日本公法学会
専門分野	法哲学 西洋法制史 日本国憲法 公法学 ドイツ国法学
教育研究概要	(キーワード)公法学、国法学、憲法学、ドイツ法、法哲学 etc.

担当科目	(教養科目)日本国憲法[現代人権論], 日本国憲法[現代人権論] (専門科目)法と社会, 初等社会科内容研究, 初等社会科内容研究, 法学特論, 法学概論, 法学演習
------	--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・共著]「再帰する法文化」, 国際書院, (2016年11月)
2. [著書]「貨幣と通貨の法文化」, 国際書院, (2016年09月)
3. [単著【査読あり】]「和歌山県太地町のイルカ囲い込み漁の倫理的考察—動物の権利ではなく人間の権利を考える素材として—」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), **66**, 67-83 (2017年03月30日)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】]「国際法学者・祖川武夫の「カール・シュミットにおける「戦争概念の転換」について(一)」再考—ハンス・ケルゼンの理論を中心に—」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), **66**, 1-11(2017年03月30日)
5. [単著]「憲法は私たちの「人権」をどのように守ってくれるの?人権を考えるための基礎知識」, 『18歳から考える人権』三刷, 8-13(2017年01月)
6. [単著【査読あり】【依頼/招待】]岩谷十郎編「近代国家成立において『中間団体』として消去された status familiae の復活可能性」について, 『再帰する法文化』, **14**, 63-92(2016年12月10日)
7. [共著【査読あり】]「《シンポジウム》第一部会 現代における権利のあり方 討論要旨 駒村圭吾会員(慶應義塾大学)に対する中野雅紀会員(茨城大学)の質疑」, 公法研究, **78**, 153-153(2016年10月)
8. [単著【査読あり】]「ジャン・ボダンの国家の貨幣鑄造権といわゆる“プリコミットメント”理論について」, 『貨幣と通貨の法文化』, 221-252(2016年09月)
9. [単著【査読あり】]「憲法秩序」, 『新・スタンダード憲法[第四版補訂版]』, 71-80(2016年04月)
10. [単著【査読あり】]「憲法は私たちの「人権」をどのように守ってくれるの?人権を考えるための基礎知識」, 『18歳から考える人権』二刷, 8-13(2016年04月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「2016年度卒論・修論発表会 コメントなど」茨城大学教育学部社会科教育 教育学部棟B棟 B203 B204 控え室 B205() [2017年02月11日]
2. [口頭発表(一般)・]「小橋雄毅(茨城大学大学院)「中学校社会科におけるGISを活用した授業の可能性」に対する質疑・コメント」茨城大学大学院社会科 付章(教育論文)報告会() [2017年02月09日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「菊田裕嗣(茨城大学大学院)「小学校社会科における郷土教育の充実に向けた授業づくりの工夫」に対する質疑・コメント」茨城大学大学院社会科 付章(教育論文)報告会() [2017年02月09日]

4. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 茨城大学大学院社会科 付章(教育論文)報告会「岩間絹世(茨城大学大学院)「高等学校地理歴史科における観光教育の現状と単元構想」に対する質疑・コメント」茨城大学大学院社会科 付章(教育論文)報告会() [2017年02月09日]
5. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「樋口陽一先生を囲む研究会」近代立憲主義と政治的なもの、そして戦後憲法学—樋口陽一の憲法史学的研究・序説—齋藤暁報告、樋口陽一コメント、質疑応答」京都大学大学院法学研究科公法専攻教員・院生() [2016年12月22日]
6. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「河口雅弘氏(がん体験談スピーカーバンク副会長)の特別講演および質疑応答」茨城大学教育学部中野雅紀ゼミナール() [2016年12月15日]
7. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「萩原淳(京都大学)報告「平沼騏一郎 官僚系政治家にとって国家主義とは何か」に対する質問とコメント」京都大学大学院法学研究科伊藤之雄スクーリング() [2016年12月13日]
8. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 「書評・伊藤之雄『元老—近代日本の真の指導者たち』(中央公論新社、2016年)」京都大学大学院法学研究科伊藤之雄スクーリング(京都大学大学院法学研究科伊藤之雄) [2016年11月22日]
9. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「松澤伸(早稲田大学)報告について」法文化学会第19回研究大会(國學院大学)() [2016年11月19日]
10. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「藤本幸二(岩手大学)報告について」法文化学会第19回研究大会(國學院大学)() [2016年11月19日]
11. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「公法学会第二部会 渡邊賢会員(大阪市立大学)報告について」公法学会(於 慶應義塾大学)() [2016年10月]
12. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 「公法学会第二部会 見平典会員(京都大学)報告について」公法学会(於 慶應義塾大学)() [2016年10月]
13. [その他・国内会議(共同)] 「「人間の尊厳」あるいは「人間理性」は、人間の「万物の霊長性」を基礎づけることが可能か」口頭試問」慶應義塾大学文学部 (主査)山内志朗教授 (副査)石田京子准教() [2016年09月14日]
14. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 「2016年度法学研究科憲法専攻・中間報告会」京都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻) 法経北館第1演習室() [2016年08月06日]
15. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 「2016年度法学研究科憲法専攻・中間報告会」京都大学大学院法政理論専攻(憲法専攻) 法経北館第1演習室() [2016年07月25日]
16. [その他・国内会議] 法文化学会「法文化学会第18回研究大会・総会を終えて 中野雅紀(茨城大学)」法文化学会会報 Vol.17 No.1() [2016年07月21日]
17. [その他・国内会議(単独)] 「「人間の尊厳」あるいは「人間理性」は、人間の「万物の霊長性」を基礎づけることが可能か」総ページ数 75 頁」慶應義塾大学文学部(山内志朗教授)() [2016年06月30日]
18. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 「「権利」と「権理」の翻訳・再考—明治翻訳事情における法律学上の right のとらえ方を中心に—」京都大学大学院法学研究科伊藤之雄スクーリング() [2016

年 06 月 14 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 法文化学会, 理事(2014 年～)

○ 地域協力活動

1. 茨城司法書士会[その他公的社会活動]「茨城司法書士会研修会講師」(1999 年～)

2. [学外審議会・委員会等]「茨城町情報公開審査委員」(1999 年～)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 千葉 真由美
-------------------	-----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1971 年 3 月
学歴・職歴	横浜国立大学 教育学部 小学校教員養成課程[1995 年 03 月卒業] 横浜国立大学大学院 教育学研究科 社会科教育専攻[1997 年 03 月修了] 東京学芸大学大学院連合 学校教育学研究科 学校教育学専攻[2002 年 03 月単位取得満期退学]
学位	博士(学術)[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	地方史研究協議会 歴史学研究会 関東近世史研究会 茨城文化財・歴史資料救済・保全ネットワーク 茨城地方史研究会
専門分野	日本史
教育研究概要	(キーワード)近世史、村落史、地域史、史料学、印と捺印をめぐる社会
担当科目	(教養科目)人間と歴史[江戸時代の村と人] (専門科目)初等社会科内容研究, 日本史概説 II, 初等社会科内容研究, 日本史特講 I, 茨城の歴史と文化(教科又は教職)/茨城の歴史と文化(情報文化), 歴史学特別演習, 日本史演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)日本史特論, 日本史演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [単行本(学術書)・]「近世の百姓と衣服(渡辺尚志編『生産・流通・消費の近世史』)」, 勉誠出版, 161-194(2016 年 09 月 26 日)</p> <p>2. [単行本(学術書)・]「第二部 衣料と嗜好品 総論(渡辺尚志編『生産・流通・消費の近世史』)」, 勉誠出版, 157-160(2016 年 09 月 26 日)</p> <p>3. [研究論文(学術雑誌)単著]「近世百姓の印と印判師—関東諸村落と江戸の印判師を事例として—」, 日本歴史, 822, 38-56(2016 年 10 月 20 日)</p>

社会的活動、地域貢献など

<p>○ 兼業・兼職</p> <p>1. [兼業] 伊豆の国市教育委員会・伊豆の国市史跡等整備調査委員会世界遺産部会 葦山反射</p>

炉関連文書調査員(2013年08月～)

2. [兼業] 文京区教育委員会・文京区文化財調査員(2006年06月～)

○ 学協会での役職

1. 瓜連・歴史を学ぶ会, 顧問(2016年10月～)

2. 常陸大宮市, 文化財保護審議会委員(2016年04月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「瓜連・歴史を学ぶ会(国内)」, [創立記念講演「近世百姓の印と村社会」](2016年10月16日)

○ 地域協力活動

1. 「茨城県歴史の道調査委員会調査員」(2014年05月～)

2. 「伊豆の国市史跡等整備調査委員会世界遺産部会韮山反射炉関連文書調査員」(2013年08月～)

3. 「文京区文化財調査員」(2006年06月～)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 大島 規江
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 4 月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 小学校教員養成課程 社会科選修 [1996 年 03 月卒業] 筑波大学大学院 地球科学研究科 博士課程 地理学・水文学専攻[2002 年 03 月修了]
学位	博士(理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	都市地理学会 The Royal Dutch Geographical Society 秋田地理学会 茨城地理学会 東京地学協会 人文地理学会 日本地理学会
専門分野	地誌学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[地域と世界を考える], 社会・国際系科目[オランダの環境と社会] (専門科目)基礎地理, 地理学研究法, 初等社会科内容研究, 地誌学概論, 地誌学特論, 地誌学演習, 地誌学野外実習, 卒業研究 (大学院科目)地誌学特論, 地誌学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]Norie OSHIMA“Geography Education in the Netherlands and Japan: An Analysis of the Material Learned in Primary School”, Annals of the Ibaraki Geographical Society, **17**, 29-41(2016 年 12 月)

研究業績(2)学会発表など

大島規江(2017):農村地域における外国人労働力ーオランダ・リンブルフ州の事例ー. 茨城地理学会第18回大会(於茨城大学).

社会的活動、地域貢献など

○社会的活動

1. 教員免許講習「地理学と地理教育の新展開」(於 茨城大学) (2017 年 6 月)

○ 学協会での役職

1. 茨城地理学会, 庶務・会計委員 (2012 年 08 月～2017 年 07 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

教育学部研究費特別配分によりオランダ・フリースラント州出張(2017 年 11 月 26～12 月 3 日)

科学研究費補助金などの受領

「オランダの農村地域における外国人労働力に関する研究」(基盤研究 C)2013.4.-2016.3.研究代表者

学校教育教員養成課程(社会科教育)

氏名 藤崎 衛

教員履歴など

現職	准教授
学歴・職歴	東京大学大学院人文社会系研究科(日本)[2011年04月修了] 東京大学大学院人文社会系研究科特任研究員(2007年10月～2012年9月) 東京大学大学院人文社会系研究科助教(2012年10月～2016年3月) 茨城大学教育学部准教授(2016年4月～)
学位	博士(文学)[東京大学]
受賞歴	地中海学会ヘレンド賞(2014)
所属学会	キリスト教史学会 都市史学会 西洋中世学会 地中海学会 史学会
専門分野	史学一般 ヨーロッパ史・アメリカ史
教育研究概要	(キーワード)西洋史 中世史 教皇権/ローマ教皇庁
担当科目	(教養科目)人間と歴史[歴史を見る眼] (専門科目)基礎世界史, ヨーロッパの歴史と文化(教科又は教職)/ヨーロッパの歴史と文化, 西洋史概説 I, 西洋史特講 I, 歴史学特別演習, 西洋史演習 I, 言語と文化の諸相, 卒業研究(教育:4単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・共著]池田嘉郎、上野慎也、村上衛、森本一夫(編)『名著で読む世界史 120』, 山川出版社, pp. 171-173, 174-176, 177-179, 246-248(2016年11月30日)
2. [単行本(学術書)・共著]藤内哲也(編著)、西村善矢、佐藤公美、ほか10名『はじめて学ぶイタリアの歴史と文化』, ミネルヴァ書房, pp. 161-187(2016年05月20日)
3. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)単著【依頼/招待】]藤崎衛「教皇の伝説、伝説の教皇—中世に生きた教皇の実像と虚像—」, 『星美学園短期大学日伊総合研究所報』, **13**, 42-45(2017年03月25日)
4. [(MISC)総説・解説(その他)単著【依頼/招待】]藤崎衛「パリ、中世美術館に並ぶ王たちの頭部」, 『ニューサポート 高校社会』, **26**, 2-2(2016年10月01日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国際会議(単独)] Mamoru Fujisaki "The Medieval Papacy and Asia: Mission, Christianization, and Conversion" 《International Symposium Medieval

- Papacy: Governance, Communication, Cultural Exchange》(Rikkyo University (Tokyo)) [2017 年 02 月 19 日]
2. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国際会議(単独)] Mamoru Fujisaki "On the servitia of consecration in thirteenth-century curia" DFG Netzwerk Stilus curiae. Spielregeln der Konflikt- und Verhandlungsführung am Papsthof des Mittelalters (12.-15. Jahrhundert) Fünfter Workshop》(Ludwig-Maximilians-Universität München (München)) [2016 年 12 月 03 日]
3. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(単独)] 藤崎衛「十字軍時代における教皇庁の平和理念—可能性と不可能性—」『中世における平和の諸相』(上智大学四谷キャンパス) [2016 年 11 月 20 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 上智大学(2016 年 04 月～)
2. [非常勤講師] 立教大学(2012 年 04 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「星美学園短期大学日伊総合研究所 イタリア文化講座「教皇の伝説、伝説の教皇—中世に生きた教皇の実像と虚像—」(国内)」, 星美学園短期大学日伊総合研究所(東京都北区) [招待講演] (2016 年 11 月)
2. 「ワールド航空サービス 知求アカデミー講座「ローマの教会めぐり」(国内)」, ワールド航空サービス(東京都千代田区) [招待講演] (2016 年 11 月)
3. 「かわさき市民アカデミー「ヨーロッパ世界と十字軍—十字軍の理念と実態」(国内)」, かわさき市民アカデミー(神奈川県川崎市) [招待講演] (2016 年 11 月)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

ドイツ ミュンヘン ミュンヘン大学[国際ワークショップ参加のため] (2016 年 11 月～12 月:5 日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

- 1) [人文科学研究助成] (代表) 「「宣教団派遣に見る中世ヨーロッパのアジア認識と対モンゴル交渉に関する研究」, 110 万円, 三菱財団助成(三菱財団) (2015 年 10 月 01 日～2016 年 09 月 30 日)
2. [科研費] 若手研究(B) (代表) 「「都市ローマ及び教皇領支配の観点に基づく中世教皇庁研究」, 390 万円 (2015 年 04 月 01 日～2019 年 03 月 31 日)
3. [科研費] 基盤研究(B) (分担) 「「中世盛期教皇庁の統治戦略とヨーロッパ像の転換」, 1716 万円 (2013 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(社会科教育)	氏名 田瀬 則雄
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
学歴・職歴	東京教育大学大学院 理学部 地学科地理学専攻[1970年03月卒業] コロラド州立大学大学院(アメリカ合衆国)[1977年12月修了] 筑波大学(1979年4月～2013年3月) 筑波大学(2013年4月～)名誉教授 茨城大学(2016年4月～2018年3月)特任教授
学位	Ph.D[Colorado State University]
受賞歴	日本地下水学会学会賞(2016)、日本水文科学会学術賞(2016)
所属学会	日本地理学会、日本水文科学会、日本地下水学会
専門分野	地理学 環境動態解析 気象・海洋物理・陸水学
教育研究概要	水文現象を基本とした自然地理学、茨城の自然環境 (キーワード) 水環境、地下水汚染
担当科目	(専門科目)自然地理学 C/自然地理学 II, 自然地理学 B/自然地理学 I/地形学 I, 自然地理学演習 (大学院科目)自然地理学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [事典・辞書・共編者]小池一之・山下脩二・岩田修二・漆原和子・小泉武栄・田瀬則雄・松倉公憲・松本淳・山川修治「自然地理学事典」, 朝倉書店, (2017年01月25日)
2. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]田瀬 則雄「水質環境基準達成率の評価に関する考察と評価法の提案」, 日本水文科学会誌, 46 , 3, 175-184(2016年11月01日)

社会的活動、地域貢献など

つくば市環境審議会委員、富山県とやま21世紀水ビジョン推進会議会長、神奈川県温泉地額研究所評価委員など

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

ブラジル サンパウロ, ピラシカーバ サンパウロ大学, 農学部[現地調査及び研究打合せのため] (2016年9月～10月:6日間)
ブラジル サンパウロ, テインブリ, リオカラロ, ピラシヌンガ サンパウロ大学, テインブリ周辺, リオカラロ周辺, ピラシヌンガ周辺, サンカルロス周辺[研究打合せ, フィールド調査, データ収集](2017年3月)

月:8 日間)

科学研究費補助金などの受領

基盤研究(B)(特設分野研究)「窒素循環を基軸とした大規模農業地域-都市間の食糧循環とその持続可能性の評価」分担(平成 28 年度～平成 30 年度)

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 小口 祐一
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1962年9月
学歴・職歴	盛岡大学文学部助教授(2005年4月～2007年3月) 盛岡大学文学部准教授(2007年4月～2010年3月) 茨城大学教育学部准教授(2010年4月～2013年3月) 茨城大学教育学部教授(2013年4月～)
学位	博士(教育学)[東北大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本統計学会 日本教授学習心理学会 日本科学教育学会 日本数学教育学会 National Council of Teachers of Mathematics
専門分野	教科教育学
教育研究概要	統計教育
	(キーワード)統計教育 オープンアプローチ 空間図形カリキュラム
担当科目	(教養科目)身近な数学[統計入門] (専門科目)算数科教育法研究, 数学科教育法演習 II, 算数科教育法研究, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)授業研究の方法と実践, 算数教育学特論, 教育方法開発課題研究 I, 数学総合研究, 教材研究と授業設計 II, 算数教育学演習, 教育方法開発課題研究 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
1. [研究論文(学術雑誌)単著]小口祐一「統計的探究の指導と評価」, 日本科学教育学会 年会論文集, **40**, 139-140(2016年08月19日)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 小口祐一「全国学力・学習状況調査における児童の反応とその特徴 一算数における割合の理解に焦点をあてて」日本教授学習心理学会 第12回年会(山梨大学)[2016年07月09日]

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「学力向上外部評価委員会」長野県教育委員会

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 近大姫路大学教育学部・非常勤講師(2011 年 04 月～)

○ 学協会での役職

1. 日本教授学習心理学会, 編集委員長(2014 年 07 月～2017 年 07 月)
2. 日本数学教育学会, 編集部幹事(2011 年 11 月～)
3. 日本教授学習心理学会, 編集委員(2011 年 07 月～2017 年 07 月)
4. 日本統計学会, 統計教育委員(2008 年 04 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「長野上水内算数数学教育研究会総会(国内)」, 長野上水内算数数学教育研究会[基調講演](2016 年 05 月)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「中学校高校数学における動的データ探索ソフトによるコンテンツの開発と効果」, 350 万円 (2014 年 04 月 01 日～2018 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 梅津 健一郎
------------------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1965年3月
学歴・職歴	筑波大学 第一学群 自然科学類[1988年03月卒業] 筑波大学大学院 数学研究科[1993年03月修了] 筑波大学数学系準研究員(文部技官)(1993年6月～1997年2月) 筑波大学数学系助手(1997年3月～1997年3月) 前橋工科大学工学部講師(1997年4月～2001年3月) 前橋工科大学工学部助教授(2001年4月～2007年3月) 前橋工科大学工学部准教授(2007年4月～2008年3月) 茨城大学教育学部准教授(2008年4月～2012年3月) 茨城大学教育学部教授(2012年4月～)
学位	博士(数学)[筑波大学]
受賞歴	The ISAAC Award for Young Scientists(2003)
所属学会	日本数学会 日本応用数理学会
専門分野	基礎解析学
教育研究概要	(キーワード)非線形楕円型境界値問題, 非線形境界条件, concave-convex 非線形性, 変分法, 固有値問題, 符号不定係数, 分岐理論, 写像度, 位相的手法, 人口動態論.
担当科目	(教養科目)身近な数学[統計入門] (専門科目)解析学C, 解析学A, 解析学の基礎 I/微分積分の基礎, 解析学D, 解析学B, 解析学の基礎 II, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)応用数理学特論, 数学総合研究, 応用数理学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Humberto Ramos Quoirin, Kenichiro Umezu"An elliptic equation with an indefinite sublinear boundary condition", Advances in Nonlinear Analysis, published online (2016年)
2. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Humberto Ramos Quoirin, Kenichiro Umezu"Positive steady states of an indefinite equation with a nonlinear boundary condition: existence, multiplicity and

asymptotic profiles”, *Calculus of Variations and Partial Differential Equations*, **55**, 4, No.102-47pp.
(2016 年)

3. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Humberto Ramos Quoirin, Kenichiro Umezu “On a concave-convex elliptic problem with a nonlinear boundary condition”, *Annali di Matematica Pura ed Applicata (AMPA)*, **195**, 6, 1833-1863(2016 年)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 梅津健一郎「Positivity for nontrivial nonnegative solutions of an indefinite sublinear problem」日本数学会 2017 年年会函数方程式論分科会(首都大学東京) [2017 年 03 月 24 日]

2. [口頭発表(招待・特別)・国際会議(共同)] Kenichiro Umezu “On the existence of a loop component of nontrivial non-negative solutions for some concave-convex problem” Workshop on reaction diffusion equations and numerical analysis (Kyoto Sangyo University) [2016 年 10 月 08 日]

3. [口頭発表(招待・特別)・国際会議(共同)] Kenichiro Umezu “A loop type component of positive solutions of an indefinite concave-convex problem with the Neumann boundary condition” The 11th AIMS Conference on Dynamical Systems, Differential Equations and Applications in Orlando (Hyatt Regency Orlando, Orlando, FLorida, USA) [2016 年 07 月 04 日]

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ オーランド HYATT REGENCY ORLANDO [情報収集] (2016 年 7 月 :5 日間)

科学研究費補助金などの受領

科研費・基盤研究(C) 研究課題「符号不定係数と混合型非線形性を伴う楕円型境界値問題の正値解の分岐構造に関する研究」, 研究課題番号:15K04945, 平成 27-29 年度.

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 栗原 博之
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1970 年 5 月
学歴・職歴	弘前大学 理学部 数学科[1993 年卒業] 千葉大学大学院 自然科学研究科[1999 年修了] 埼玉短期大学 情報メディア学科 講師(2002 年 4 月～2008 年 3 月) 八戸工業高等専門学校 総合科学科 准教授(2009 年 4 月～2013 年 9 月) 茨城大学 教育学部 准教授(2013 年 10 月～)
学位	博士(理学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	幾何学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)統計学入門 (専門科目)幾何学概論, 幾何学 A, 幾何学 B, 幾何学 C, 幾何学 D, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)幾何学特論, 幾何学演習, 数学総合研究, 数学科教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

工学系テキストシリーズ 応用数学 森北出版
工学系テキストシリーズ 線形代数 森北出版
Hiroyuki Kurihara and Koji Tojo, Involutions on a compact 4-symmetric space of exceptional type, Osaka J. Math., Volume 52, Number 4 (2015), 1101-1125.

社会的活動、地域貢献など

教員免許更新講習講師(2017 年 6 月 18 日)
茨城県高等学校教育研究会数学部研修会講師(2017 年 8 月 10 日)
茨城県教育研究連盟研究集会助言者(2017 年 10 月 14 日)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 朝鮮大学, 慶北大学[共同研究打合せのため](2017 年 3 月:8 日間)

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 松村 初
------------------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1978 年 12 月
学歴・職歴	慶應義塾大学 理工学部[2001 年 03 月卒業] 慶應義塾大学大学院 理工学研究科[2006 年 03 月修了]
学位	博士(理学)[慶應義塾大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	グラフ理論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身近な数学[初歩からの数学入門] (専門科目)代数学C, 確率統計概論, コンピュータ概論, 算数科内容研究, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)応用数学特論, 数学総合研究, 応用数学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]“On spanning k -tree in which specified vertices have degree less than k ”, <i>Discussiones Mathematicae Graph Theory</i> , 35 , 1, 191-196(2015 年)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等
1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「グラフの最小次数と全域木の直径について」第 13 回組合せ論若手研究集会()[2017 年 03 月 02 日]

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 吉井 豊
------------------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1981 年 5 月
学歴・職歴	千葉大学大学院 自然科学研究科 数理工物性科学専攻[2009 年 03 月単位取得満期退学] 奈良工業高等専門学校 (2011 年 4 月～2015 年 3 月) 茨城大学(2015 年 4 月～)
学位	博士(理学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本数学会
専門分野	代数学
教育研究概要	(キーワード)有限群、代数群、群の表現論、モジュラー表現、リー代数
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[数学入門], 身近な数学[数学の楽しみ] (専門科目)代数学A, 算数科内容研究, 代数学の基礎 I, 代数学B, 代数学D, 代数学の基礎 II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)代数学特論, 数学総合研究, 代数学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>【論文】</p> <p>Y.Yoshii, Projective modules for the subalgebra of degree 0 in a finite-dimensional hyperalgebra of Type A_1, Proceedings of the American Mathematical Society, 掲載決定</p> <p>Y.Yoshii, Primitive idempotents of the hyperalgebra for the r-th Frobenius kernel of $SL(2,k)$, Journal of Lie Theory, 第 27 卷 4 号, pp.995-1026, 2017 年</p> <p>Y.Yoshii, A tensor product of the Steinberg module and a certain simple $kG(p^r)$-module, Communications in Algebra, 第 45 卷 1 号, pp.1-8, 2017 年</p> <p>Y.Yoshii, A generalization of Pillen's theorem for principal series module II, Journal of Algebra, 第 429 卷 1 号, pp.177-191, 2015 年</p>

- Y.Yoshii, A remark on Pillen's theorem for projective indecomposable $kG(n)$ -modules, *Journal of Lie Theory*, 第 23 卷 3 号, pp.691-697, 2013 年
- Y.Yoshii, A generalization of Pillen's theorem for principal series modules, *Proceedings of the American Mathematical Society*, 第 140 卷 11 号, pp.3761-3768, 2012 年
- Y.Yoshii, On the Frobenius-Perron eigenvalues of Cartan matrices for some finite groups, *Journal of Algebra and Its Applications*, 第 10 卷 3 号, pp.549-572, 2011 年
- S.Koshitani & Y.Yoshii, Eigenvalues of Cartan matrices of principal 3-blocks of finite groups with abelian Sylow 3-subgroups, *Journal of Algebra*, 第 324 卷 8 号, pp.1985-1993, 2010 年
- Y.Yoshii, Broué's conjecture for the nonprincipal block of $SL(2, q)$ with full defect, *Journal of Algebra*, 第 321 卷 9 号, pp.2486-2499, 2009 年

研究業績(2)学会発表など

【口頭発表】

- Y.Yoshii, A tensor product of certain two simple modules for finite Chevalley groups, RIMS 研究集会「有限群・代数的組合せ論・頂点作用素代数の研究」(京都大学), 2016 年
- Y.Yoshii, A direct sum decomposition of the $kG(p^r)$ -submodule generated by the highest weight vector of a certain Weyl G -module, RIMS 研究集会「有限群のコホモロジー論とその周辺」(京都大学), 2015 年
- Y.Yoshii, 有限 Chevalley 群の $2(h-1)$ -deep なウェイトに対する射影直既約加群の Loewy 列, 日本数学会年会(京都大学), 2013 年
- Y.Yoshii, Generators in the socle series for principal series $SL(2, q)$ -modules, 研究集会「有限群の表現論およびその周辺」(浜名湖カリアック), 2012 年
- Y.Yoshii, Weyl 加群の最高ウェイトベクトルが生成する $kG(n)$ -加群, 日本数学会年会(東京理科大学), 2012 年
- Y.Yoshii, Weyl modules and principal series modules, RIMS 研究集会「組合せ論的表現論の

拡がり」(京都大学), 2011 年

S.Koshitani & Y.Yoshii, 有限群のブロックに対する Cartan 行列の固有値, 日本数学会秋季総合分科会(名古屋大学), 2010 年

Y.Yoshii, いくつかの Lie 型有限群のブロックに対する Cartan 行列の最大固有値, 日本数学会年会(慶應義塾大学), 2010 年

Y.Yoshii, 2 次の有限特殊線形群の非主ブロックの Broué 予想, 日本数学会年会(慶應義塾大学), 2010 年

Y.Yoshii, Eigenvalues of Cartan matrices for group algebras of finite groups, RIMS 研究集会「代数的組合せ論および関連する群と代数」(信州大学), 2009 年

Y.Yoshii, Broué's conjecture of $SL(2, q)$ in the defining characteristic, 第 11 回代数群と量子群の表現論研究集会(岡山青年館), 2008 年

Y.Yoshii, Nonprincipal block of $SL(2, q)$, RIMS 研究集会「有限群のコホモロジー論の研究」(京都大学), 2007 年

社会的活動、地域貢献など

教員免許状更新講習(2016 年～)

学校教育教員養成課程(数学教育)	氏名 根本 博
------------------	---------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1950 年 10 月
学歴・職歴	筑波大学大学院 教育学研究科 数学教育学専攻[1981 年 03 月修了] 文部科学省(旧文部省)(1991 年 4 月～2006 年 3 月)
学位	教育学修士[東京教育大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	科学教育学会, 日本数学教育学会
専門分野	教科教育学(数学科)
教育研究概要	<p>確固たる知力の育成に数学教育が果たすべき役割 – 数学教育の社会的考察の試み – 現今の社会における子どもたちの数学学習の状況と変化を見定め、未来社会に生きる子どもの知力を確かなものとする数学教育の在り方について述べている。</p> <p>(キーワード) 数学教育学 知識論 数学科教育課程論 認知科学</p>
担当科目	<p>(専門科目) 算数科教育法研究(B), 同(D)I, 中等数学科教育法 I, 中等数学科教育法IV, 中等数学科教育法 V, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目) 数学教育学特論, 数学総合研究, 数学科教育授業設計, 数学教育学演習</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

--

研究業績(2)学会発表など

日本数学教育学会(東北ブロック)(全体会 講演)(2014 年 11 月)
 <招待講演> 日本数学教育学会(全国大会)(中学校部会 講演) (2014 年 08 月)

社会的活動、地域貢献など

○ 講演会・シンポジウム
 1. 「九州数学教育会総会 九州算数数学教育研究(大分)大会(国内)」, 日本数学教育学会(大分市)[招待講演](2016 年 07 月)

学校教育教員養成課程(理科教育)

氏名 矢島 裕介

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953 年 8 月
学歴・職歴	東京大学 理学部 物理学科[1976 年卒業] 東京大学大学院 理学系研究科 相関理化学[1982 年修了] 日立製作所(株)(1982 年 4 月～2003 年 3 月) フラウンホーファー応用固体物理学研究所客員研究員(1988 年 2 月～1989 年 1 月) 茨城大学教育学部教授(2003 年 4 月～)
学位	理学博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	応用物理学会 日本物理教育学会
専門分野	物性Ⅱ
教育研究概要	物理学 (キーワード)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[サイエンス・コミュニケーション・スキル], 認知・数理系科目[暮らしと数理] (専門科目)量子物性概論, 初等理科内容研究, 量子力学, 物理学実験指導法/物理学実験 I/物理学実験 I, 物理学演習 A, 卒業研究(教育:4 単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]Yusuke YAJIMA "A Note on the Application of Physical Approach to the Problems in Daily Life", Bull. Col. Edu. Ibaraki Univ. (Nat. Sci.), **66**, 1-4 (2017 年 03 月 31 日)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県教育委員会・助言者(2016 年 12 月)
2. [兼業] 茨城県教育委員会・研修講師(2016 年 08 月)
3. [兼業] 茨城県教育委員会・研修講師(2016 年 08 月)
4. [兼業] 茨城県教育委員会・助言者(2016 年 08 月)

5. [非常勤講師] 土浦協同病院附属看護専門学校・講師(2016 年 04 月～2017 年 03 月)
6. [非常勤講師] 水戸メディカルカレッジ・講師(2016 年 04 月～2017 年 03 月)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 松川 寛
------------------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1969 年 11 月
学歴・職歴	東京工業大学 工学部 化学工学[1992 年] 東京工業大学大学院 理工学研究科 化学工学[1997 年] 千葉大学 助手(1997 年 4 月～2001 年 3 月) 茨城大学教育学部 助教授(2001 年 4 月～)
学位	博士(工学)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	アメリカ化学会 理科教育学会 有機合成化学協会 日本化学会
専門分野	有機化学 科学教育 環境科学 教科教育学
教育研究概要	合成有機化学をはじめとする基礎化学研究・大学化学教育における新しい取り組み・初等・中等化学教育における新規な教材開発等、教育学部ユニークの化学研究を目指している。 (キーワード)有機合成化学 化学教育 科学教育
担当科目	(教養科目)身近な化学[化学と環境と生活], 主題別ゼミナール[サイエンス・コミュニケーション・スキル] (専門科目)有機化学, 化学実験指導法/化学実験 I/化学実験 II, 環境化学, 初等理科内容研究, 中等理科内容研究, 有機化学演習, 化学実験 II, 化学演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)化学特論, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Matsukawa, S.; Kimura, J.; Yoshioka, M. TBD- or PS-TBD-Catalyzed One-Pot Synthesis of Cyanohydrin Carbonates and Cyanohydrin Acetates from Carbonyl Compounds. *Molecules* **2016**, 21, 1030

TBD-catalyzed cyanosilylation of aldehydes and ketones Synth. Commun. **2016**, **1947-1952**

研究業績(2)学会発表など

日本化学会第87春季年会 2PB-036

PS-TBD catalyzed cyano-phosphorylation of carbonyl compounds (Coll. Edu., Ibaraki

Univ.) ICHIMURA, Kanon; ○MATSUKAWA, Satoru

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 茨城県立農業大学校・非常勤講師(2012 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

いばらき理科教育推進事業

- ・ いばらき理科 CST 講師
- ・ 科学自由研究応用編講師
- ・ 公開研究授業講師

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 棗田 孝晴
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1967 年 9 月
学歴・職歴	<p>三重大学 水産学部 水産学科[1991 年 03 月卒業]</p> <p>大阪教育大学大学院 教育学研究科 理科教育専攻生物学専修[1994 年 03 月修了]</p> <p>京都大学大学院 理学研究科 動物学専攻[1998 年 03 月単位取得満期退学]</p> <p>財団法人自然環境研究センター 研究員(1999 年 4 月～1999 年 8 月)</p> <p>地球・人間環境フォーラム 客員研究員(2000 年 4 月～2001 年 3 月)</p> <p>山梨学院大学 非常勤講師(2000 年 4 月～2007 年 3 月)</p> <p>富士常葉大学附属環境防災研究所 研究員(環境防災学部 非常勤講師兼任)(2006 年 4 月～2008 年 3 月)</p> <p>独立行政法人水産総合研究センター 中央水産研究所 内水面研究部 生態系保全研究室 研究補助／研究支援職員(2008 年 4 月～2009 年 3 月)</p> <p>千葉科学大学 危機管理学部 非常勤講師(2008 年 9 月～2009 年 3 月)</p> <p>千葉科学大学 危機管理学部 専任講師(2009 年 4 月～2013 年 3 月)</p> <p>茨城大学 教育学部 准教授(2013 年 4 月～)</p>
学位	修士(教育学)[大阪教育大学] 博士(理学)[京都大学]
受賞歴	平成 22 年度 日本水産学会論文賞(2011)
所属学会	日本陸水学会 日本水産学会 日本生態学会 応用生態工学会 日本魚類学会 日本動物行動学会
専門分野	魚類生態学 保全生物学 動物生態学 河川生態学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>(教養科目)身体・行動系科目[動物の行動と社会]</p> <p>(専門科目)基礎生物学, 生物学実験, 保育内容の研究(環境), 生物学野外実習, 動物生態学, 初等理科内容研究, 生物学演習, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)特別課題研究</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・分担執筆]棗田 孝晴「生きざまの魚類学 魚の一生を科学する(猿渡敏郎 編

- 著)」、東海大学出版部, pp.143-168, pp.169-170(2016 年 06 月)
2. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Natsumeda T, Ogawa H. & Katano O "Distinct foraging modes between two stream-dwelling benthic fishes, torrent catfish *Liobagrus reini* and Japanese fluvial sculpin *Cottus pollux* (large-egg type)", *Ichthyological Research*, **63**, 3, 427-432(2016 年 07 月)
3. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(大学, 研究機関紀要)共著] 棗田孝晴・石毛智也「千葉県銚子市におけるロードキルの実態と被害軽減策の提案」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), **65**, 19-25(2016 年 05 月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 片山 暢・田原大輔(福井県大海洋生物)・武島弘彦(地球研)・棗田孝晴(茨城大教育)「落差工がカジカ大卵型の移動生態に及ぼす影響」平成 28 年度公益社団法人日本水産学会春季大会() [2016 年 03 月 29 日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 古屋康則・森 温子(岐阜大教育)・田原大輔(福井県立大)・山家秀信(東農大生物産業)・棗田孝晴(茨城大教育)・藤井亮吏(岐阜水産研)「冬季の高水温がカジカ小卵型の雄の精子形成に及ぼす影響」平成 28 年度公益社団法人日本水産学会春季大会(東京海洋大学(品川キャンパス)) [2016 年 03 月 27 日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 阿部信一郎・棗田孝晴(茨大)・黒田 暁・井口恵一朗(長崎大)「奄美大島役勝川の栄養塩供給源はどこにあるのか」日本藻類学会第 40 回大会(日本歯科大学) [2016 年 03 月 20 日]
4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 棗田孝晴(茨城大教育)・宮本北斗(松岡水産)・鶴田哲也(大阪産大人間環境)・武島弘彦(地球研)・安房田智司(新潟大理臨海)・井口恵一朗(長大院水・環)「長野県千曲川水系の支流枝沢におけるカジカ大卵型(*Cottus pollux* LE)の食性と餌料選択性の流程変異」2015 年度日本魚類学会年会(近畿大学 奈良キャンパス) [2015 年 09 月 06 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本魚類学会, 自然保護委員会 希少淡水魚問題検討部会 委員(2011 年 01 月～)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(B)一般(代表)「河川工作物が底生魚類の個体群・群集に及ぼす生態的影響の多面的評価手法の確立」, 845 万円 (2016 年 04 月 01 日～2019 年 03 月 31 日)
- 2) [調査・研究部門(一般的助成)](代表)「河床構造の異質性が生物多様性に与える影響の解明」, 100 万円, 河川整備基金助成事業(河川整備基金)(2015 年 04 月～2017 年 03 月)
3. [科研費](分担)「カジカ個体群間の産卵期変異を通じた地域個体群の固有性の明示と保全」, 507 万円 (2014 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 青島 政之
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1972 年 11 月
学歴・職歴	千葉大学 理学部 化学科[1995 年 03 月卒業] 千葉大学大学院 自然科学研究科 理化学専攻[1998 年 03 月修了] 千葉大学大学院 自然科学研究科 物質高次科学専攻[1999 年 05 月中退] 秋田県立大学 助手(1999 年 6 月～2006 年 3 月) 秋田県立大学 助教(2006 年 4 月～2014 年 3 月) 茨城大学教育学部 准教授(2014 年 4 月～)
学位	修士(理学)[千葉大学] 博士(理学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	粉体工学会 日本化学会
専門分野	物理化学
教育研究概要	酸化鉄コロイド粒子の形態制御と凝集現象に関する研究 (キーワード)磁性粒子、ヘマタイト、分子シミュレーション
担当科目	(教養科目)物質・生命系科目[化学の基礎概念], コミュニケーション論[ことばの力実践演習] (専門科目)無機物理化学, 初等理科内容研究, 基礎化学(中教科:理科)/基礎化学(環境コース), 物理化学演習, 化学実験 II, 化学演習

社会的活動、地域貢献など

<p>○ 兼業・兼職</p> <p>1. 「いばらき理科推進事業 小学校教科担任制推進地域モデル小学校公開授業研究会, 稲敷市立新利根小学校」(2016 年 11 月～)</p> <p>2. [地域貢献事業]「いばらき理科推進事業 「科学自由研究発表会」助言・指導 ミュージアムパーク茨城県自然博物館」(2016 年 10 月～)</p> <p>3. [地域貢献事業]「いばらき理科教育推進事業 実験実技研修「水溶液における溶解と化学変化」」(2016 年 08 月～)</p> <p>4. 「いばらき理科推進事業「科学自由研究の指導」, 女性プラザ」(2016 年 08 月～)</p>
--

科学研究費補助金などの受領

「ヘマタイトコロイド粒子の形態制御と自己組織化」[平成26年度教育学部研究費特別配分](代表)

(2014 年 08 月 01 日～2015 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 永尾 敬一
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 9 月
学歴・職歴	<p>東京大学 理学部 物理学科[1997 年卒業]</p> <p>東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 関連基礎科学系[1999 年修了]</p> <p>東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻 関連基礎科学系[2002 年修了]</p> <p>高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 協力研究員(2002 年 4 月～2003 年 1 月)</p> <p>高エネルギー加速器研究機構 素粒子原子核研究所 研究機関研究員(2003 年 1 月～2005 年 3 月)</p> <p>茨城大学 教育学部 理科教育教室 助教授(2005 年 4 月～2007 年 3 月)</p> <p>茨城大学 教育学部 理科教育教室 准教授(2007 年 4 月～)</p>
学位	学術修士[東京大学] 学術博士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本物理学会
専門分野	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>(教養科目)コミュニケーション論[ことばの力実践演習]</p> <p>(専門科目)基礎物理学, 初等理科内容研究, 電磁気学, 理論物理学演習, 物理学演習B, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)物理学特論</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Keiichi Nagao and Holger Bech Nielsen"Reality and hermiticity from maximizing overlap in the future-included complex action theory", Progress of Theoretical and Experimental Physics, 2015, 5, 051B01, 1-9(2015 年 05 月 11 日)</p>
--

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国際会議(単独)] Keiichi Nagao "Reality and hermiticity from maximizing overlap in the future-included complex action theory" Theoretical High Energy Seminar @NBI(Niels Bohr Institute, Copenhagen) [2017年02月09日]

社会的活動、地域貢献など

1. 平成28年度小学校理科教育推進事業「理科授業の質の向上」推進地域モデル小学校公開授業研究会@鹿嶋市立中野西小学校 2016年11月15日
2. 平成28年度いばらき理科教育推進事業「科学自由研究の指導(活用・発展)」ミニ博士によるミニ学会@ミュージアムパーク茨城県自然博物館 2016年10月23日
3. 平成28年度小学校理科教育推進事業「科学自由研究の指導(探究基礎)」夏休み科学自由研究相談会@茨城県女性プラザ 2016年8月1日

海外出張・海外研修・内地研修など

デンマーク コペンハーゲン Niels Bohr Institute [複素作用理論に関する研究] (2017年1月～2月: 19日間)

学校教育教員養成課程(理科教育)	氏名 上栗 伸一
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1977 年 6 月
学歴・職歴	琉球大学 理学部[2000 年 03 月卒業] 九州大学大学院 比較文化研究科[2002 年 03 月修了] 九州大学大学院 比較文化研究科[2005 年 03 月修了] 北海道大学大学院理学研究科・研究員(2005 年 4 月～2007 年 3 月) 筑波大学大学院生命環境科学研究科・研究員(2007 年 4 月～2008 年 3 月) 日本学術振興会特別研究員(筑波大学)(2008 年 4 月～2011 年 3 月) 高知大学海洋コア総合研究センター・研究員(2011 年 4 月～2012 年 3 月) 茨城大学教育学部理科教育講座・准教授(2012 年 4 月～)
学位	博士(理学)[九州大学]
受賞歴	なし
所属学会	地球環境史学会 日本地学教育学会 日本地質学会 日本古生物学会
専門分野	層位・古生物学
教育研究概要	古生物を使って、地球の歴史を復元する。 (キーワード)地学, 新生代, 古生物
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[サイエンス・コミュニケーション・スキル], 身近な地球科学[地球のしくみ] (専門科目)基礎地学, 地学実験指導法, 地学実験A/地学実験指導法, 地学野外実習, 地学実験B, 初等理科内容研究, 地質学, 地球科学演習, 気象学/気象学(環境コース), 地学演習, 卒業研究(教育:4 単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [単行本(学術書)・共著]日本地質学会「海洋底科学の基礎」編集委員会「海洋底科学の基礎」, 共立出版, (2016 年)
2. [研究論文(学術雑誌)単著]Shin-ichi Kamikuri "Late Neogene radiolarian biostratigraphy of the eastern North Pacific ODP Sites 1020/1021.", Paleontological Research, (2016 年)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]伊藤 孝・上栗伸一「小学校・中学校理科の地学分野で扱う時間スケールの学年変遷」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 63 , 1-13(2016 年)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 上栗伸一・Ted Moore「東赤道太平洋における前期/中期中新世境界付近の海洋環境変遷」日本古生物学会(早稲田大学)[2017年01月]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 上栗伸一, Ted Moore「前期/中期中新世境界における東赤道太平洋の海洋環境変遷」日本古生物学会() [2016年06月]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 上栗伸一, Ted Moore「前期/中期中新世境界付近における東赤道太平洋の放散虫群集変遷」地球惑星連合大会() [2016年05月]

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本地学教育学会, 評議員(2016年10月～)
2. 日本地学教育学会, 常務委員(2016年10月～)
3. 日本地学教育学会, 編集委員(2016年06月～)

○ 地域協力活動

1. 「いばらき推進事業」(2013年04月～)
2. 「地学オリンピック予選 地区コーディネーター」(2013年04月～)

科学研究費補助金などの受領

若手研究 B「前期～中期中新世の熱帯・赤道循環系の形成とインドネシア海峡の閉塞との相互関係」

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 田中 健次
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1954年3月
学歴・職歴	国立音楽大学 音楽学部 音楽教育[1978年卒業] 国立音楽大学大学院 音楽研究科 音楽教育学[1980年修了] 佐賀大学教育学部助教授(1995年4月～1996年9月) 佐賀大学文化教育学教授(2003年より茨城大学併任)(1996年10月～2003年3月) 茨城大学教育学部教授(2002年10月～)
学位	芸術学修士[国立音楽大学大学院] 博士(文学)[大阪大学大学院 文学研究科]
受賞歴	なし
所属学会	日本電子音楽産業協会 国際音楽教育学会(International society of Music Education)(ISME) 東洋音楽学会 日本音楽教育学会
専門分野	音楽教育学 伝承文化研究
教育研究概要	音楽教育、音楽産業、日本の音楽文化
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味] (専門科目)初等音楽科教育法研究 A, 初等音楽科教育法研究 B, 初等音楽科教育法研究 C, 中等音楽科教育法研究 I, 中等音楽科教育法研究 II, 音楽科教育特別演習 I, 音楽科教育特別演習 II, ことばの力 (大学院科目)音楽科教育研究法, 音楽科教育特論 I, 初等音楽教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [(MISC)総説・解説(その他)単著]田中健次「特集デジタル化と音楽—デジタル化と音楽文化の未来」, 『音楽文化の創造』, 72号, 7-10(2017年03月01日)</p> <p>2. [(MISC)総説・解説(その他)単著]田中健次「連載「音楽つれづれ話:第一回文化と科学の教育をめぐって、第二回高額な楽器、第三回カンボジアの教育事情1、第四回カンボジアの教育事情2、第五回日本の常識世界の非常識?、第六回本の常識世界の非常識2?、第七回ナンバーワンも大切です、第八回日本生まれの漢字、第九回童謡の秘密1唱歌と国家政策①、第十回童謡の秘密2唱歌と国家政策②、第十一回童謡の秘密3童謡の台頭、第十二回童謡の秘密4童謡と唱歌の相互触発」, 和歌山保険医新聞, 第二面(2017年02月15日)</p>
--

3. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)【依頼/招待】]田中健次「音楽知識が学力としてもとめられる時代」,『教室ツーウェイNEXT』,46-47(2017年01月11日)
4. [(MISC)総説・解説(その他)単著【依頼/招待】]田中健次「なぜ active "learning"なのか」,教育情報誌「Cube Land」,59号,23-24(2016年12月01日)

研究業績(2)学会発表など

- <招待講演,パネリスト> (国外)アジアの伝統音楽に関するシンポジウム(パネリスト)(2014年12月)
北海道音楽教育連盟主催「第56回北海道音楽教育研究会十勝大会」(全体講評・講師)(2014年11月)
- <その他> 大津市小学校音楽科部会主催「小学校音楽部会公開講座・子どもが目を輝かせ、自然と
のってくる音楽科の授業づくり」(公開講座講師)(2014年08月)
- <企画・運営> 日本音楽の指導法研究会(主催)(2014年07月)
- <招待講演> 公益財団法人わらべ館(鳥取市)主催唱歌・童謡講演会(講演タイトル「うた(音楽)の
力」講演者)(2014年07月)
- 神奈川県中郡(大磯町・二宮町)音楽教育部会研修会(研修会講師「音楽教育における言語活動に
ついて」)(2014年06月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

- <芸術系の活動・建築作品等> 茨城県茨城町立青葉中学校校歌作曲(2014年04月)

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職ホール)[その他](2015年08月)
1. [非常勤講師] 国立音楽大学・非常勤講師,16(時間/月)(2016年04月~2016年07月)
- 講演会・シンポジウム
1. 「常陸大宮市教育委員会御前山事務所主催市民講座「童謡の秘密」(国内)」,常陸大宮市教育
委員会御前山事務所(常陸大宮市教育委員会御前山)[その他](2016年09月)
2. 「佐賀県教育研究会音楽部会主催講座『「考える音楽授業」をどうつくるか」(参加者96名)」,佐
賀県教育研究会音楽部会(佐賀市東与賀町文化ホール)[その他](2016年08月)
3. 「静岡県駿東地区教育研究会音楽部会主催夏期講座「小中学校音楽科授業づくりの方法」,静
岡県駿東地区教育研究会(裾野市民文化センター)[] (2016年08月)
4. 「財団法人音楽文化創造「平成28年度生涯学習音楽指導員養成講習会C級クラス」(国内)」,財
団法人音楽文化創造(東京)[その他](2016年03月)
5. 「近畿音楽教育連盟研究会」,近畿音楽教育連盟(大阪市「大阪教育大学附属天王寺小学校」)
[招待講演](2016年01月)

海外出張・海外研修・内地研修など

- 中国 上海 上海音楽学院[学会参加、研究発表](2016年12月:2日間)
- カンボジア プノンペン カンボジア教育省 外[初等科芸術教育事業に対する助言と指導](2017年1

月～2月:5日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「日本伝統音楽学習のためのコンテンツ作成とデジタル教材化」, 416 万円 (2015 年 04 月 01 日～2018 年 03 月 31 日)
2. [科研費]基盤研究(C)一般(分担)「民謡学習のためのコアカリキュラム開発とそのデジタルコンテンツ制作」, 75 万円 (2014 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

○ 共同研究・受託研究

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 神部 智
------------------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1963年5月
学歴・職歴	横浜国立大学 教育学部 音楽教育[1988年卒業] ヘルシンキ大学大学院 音楽研究科 音楽学(フィンランド)[2005年修了]
学位	博士(音楽学)(Ph.D. in Musicology)[ヘルシンキ大学] 修士[横浜国立大学]
受賞歴	なし
所属学会	International Semiotics Institute 美学会 日本音楽学会 音楽表現学会
専門分野	音楽学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味] (専門科目)ピアノ(必修・伴奏を含む), ピアノ, 音楽史(2単位), 初等音楽科内容研究, 音楽学I, ピアノ (大学院科目)初等音楽文化総合研究, 音楽学研究, 音楽学演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著]神部智「シベリウス 交響曲第2番、ヴァイオリン協奏曲」, フィルハーモニー, 89, 2, 13-18(2017年02月01日)
2. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著【依頼/招待】]神部智「シベリウスのピアノ作品」, ムジカノーヴァ, 47, 4, 62-63(2016年04月01日)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職
1. [非常勤講師] 大阪大学文学部・非常勤講師, 8(時間/月)(2016年04月～2016年09月)
2. [出前授業] 水戸第三高等学校・講師, 2(時間/月)(2012年～)
3. [出前授業] 茨城県立水戸第二高等学校・講師(2007年07月～)
4. [非常勤講師] 宇都宮大学・非常勤講師(2006年10月～)
5. [出前授業] 常陸大田高校・講師(2003年07月～)
6. [その他] 日本シベリウス協会・理事(2000年12月～)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

フィンランド ヘルシンキ ヘルシンキ大学, シベリウス・アカデミー[資料調査](2016 年 8 月:8 日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(c)「ジャン・シベリウスにおけるナショナリズムの超克」, 91 万円 (2016 年 04 月 01 日～2019 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 谷川 佳幸
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1964年8月
学歴・職歴	東京音楽大学 音楽学部[1988年03月卒業] 東京芸術大学 音楽学部[1992年03月卒業] 東京芸術大学大学院 音楽研究科 声楽[1995年03月修了]
学位	修士[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	
専門分野	芸術音楽、声楽
教育研究概要	(キーワード)オペラ、声楽
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味], 人間と文学・芸術[台本と音楽], 人間・文化系科目/地域志向系科目[none] (専門科目)初等音楽科内容研究, 独唱, 独唱(選択必修), 独唱, 独唱, 合唱(2単位), 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)初等音楽文化総合研究, 声楽研究, 声楽演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等 1. [単行本(一般書)・共著]「楽しく遊んで、子どもを伸ばす」, 福村出版, 46-47(2016年08月10日)
--

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(単独)]クリスマスコンサート(リサイタル)(2016年12月)
[芸術活動(共同)]プッチーニ作曲 歌劇「蝶々夫人」(2016年12月)
[芸術活動(共同)]シューベルト作曲「ミサ曲第6番」(2016年11月)
[芸術活動(共同)]ソロと重唱の魅力(2016年11月)
[その他(共同)]茨城県民コンサート I 本コンサート(2016年11月)
[芸術活動(共同)]チレーア作曲 歌劇「アドリアーナ・ルクヴルール」(2016年10月)
[芸術活動(共同)]プッチーニの世界(2016年10月)
[その他(共同)]茨城新人演奏会本選(2016年09月)
[その他(共同)]茨城県民コンサート I 出演者オーディション(2016年09月)

[芸術活動(共同)]声楽コンサート(2016年09月)
[芸術活動(共同)]3テナーコンサート(2016年08月)
[芸術活動(共同)]歌の花束(2016年07月)
[芸術活動(単独)]谷川佳幸テノールコンサート(2016年07月)
[芸術活動(共同)]ジョイントコンサート(2016年06月)
[その他(共同)]茨城新人演奏会オーディション(2016年06月)
[芸術活動(共同)]プッチーニ 歌劇「ラ・ボエーム」(2016年06月)
[芸術活動(共同)]むさしの会 30周年記念コンサート(2016年04月)

社会的活動、地域貢献など

[非常勤講師]日本声楽家協会研究所[研究科副主任](2012年04月～2015年03月)

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 藤田 文子
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1957 年 9 月
学歴・職歴	お茶の水女子大学 文教育学部 教育学科音楽教育学専攻[1981 年卒業] 筑波大学大学院 教育研究科 教育基礎学[1995 年単位取得満期退学]
学位	博士[常磐大学]
受賞歴	推奨授業の候補に推薦される。(2007) 教養教育における推奨授業の候補(2004) 善意本合唱連盟関東支部合唱コンクール茨城県大会銅賞受賞(1981)
所属学会	音楽教育史学会 教育実践学会 教育哲学会 日本教育方法学会 日本教育学会 教育史学会 日本音楽教育学会
専門分野	音楽科教育
教育研究概要	教育学の知見を背景に持ち、歌唱、鑑賞など音楽教育、音楽科教育の諸分野についての研究を展開している。 (キーワード)フレーベルの音楽教育思想、小・中学校の音楽科教育、教員養成大学における音楽科教育の授業研究、フレーベルの教育思想
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味] (専門科目)独唱(選択必修), 初等音楽科教育法研究, 独唱, 保育内容の研究(表現), 音楽科教育法研究 III, 独唱, 初等音楽科教育法研究, 独唱 (大学院科目)音楽科教育演習, 初等音楽教育授業設計, 音楽科教育特論 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

(学術論文)「教員養成大学における中等教育の音楽科教育・歌唱指導に関する研究」『茨城大学教育実践研究』(茨城大学教育学部 2016 年)35 号 103 頁-114 頁

研究業績(2)学会発表など

藤田文子他、シンポジスト「特集・シンポジウム 戦後 70 年と音楽教育史」(音楽教育史学会第 28 回
大会 日本女子大学)2015,5,9 (シンポジストとしての藤田個人のシンポジウムの発表記録と提言を含む)。

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動]『第 35 回グループカンパネラヴォーカル・コンサート』、R.シュトラウス作曲「献呈」、ヴェ

ルディ作曲オペラ“イル・トロヴァトーレ”より「夜は静かに～このうれしさは」、オペラ“カヴァレリア・ルステイカーナ”より「ママも知るとおり」を独唱。会場：東京オペラシティリサイタルホール。(2016 年)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [その他] 県教連・助言者(2006 年 10 月～)

○ 学協会での役職

1. 教育実践学会, 理事(2001 年 06 月～)

2. 音楽教育史学会, 編集委員(2014 年 05 月～)

科学研究費補助金などの受領

○ 共同研究・受託研究

1. []『市民革命と近代公教育の成立に関する基礎的研究』, 「F. フレーベルの運動遊戯と『幼稚園禁令』」(平成元.2 年度科学研究費補助金一般研究(B)研究成果報告書)PP113-124(1991 年)

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 山口 哲人
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1968 年 8 月
学歴・職歴	東京芸術大学大学院 音楽研究科[年] 東京芸術大学大学院 音楽学部[1996 年]
学位	修士(音楽)[東京芸術大学]
受賞歴	<p>第 6 回東京国際歌曲作曲コンクール第 2 位(1 位なし)入賞(2017)</p> <p>第 21 回東京国際室内楽作曲コンクール 入選(2017)</p> <p>第 7 回 日本管打楽器・吹奏楽連盟作曲賞 佳作入選(2016)</p> <p>第 13 回弘前桜の園作曲コンクール 第 3 位入賞(2015)</p> <p>第 6 回 日本管打楽器・吹奏楽連盟作曲賞 佳作入選(2015)</p> <p>第 4 回東京国際歌曲作曲コンクール 入選(2014)</p> <p>第 19 回日本歌曲コンクール作曲部門最優秀賞 および全音楽譜出版社賞(2013)</p> <p>第 2 回小田原賞作曲コンクール 入選(2012)</p> <p>第 10 回記念弘前桜の園作曲コンクール 第 3 位入賞(2012)</p> <p>白蓮の和歌作曲コンクール 入選(2012)</p> <p>東京国際芸術協会第 11 回 TIAA 全日本作曲家コンクール 第 1 位(2011)</p> <p>第 18 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門 中田喜直賞受賞(2011)</p> <p>東京国際芸術協会第 10 回 TIAA 全日本作曲家コンクール 審査員賞受賞(2011)</p> <p>東京国際芸術協会第 9 回 TIAA 全日本作曲家コンクール 奨励賞(2010)</p> <p>第 3 回全日本吹奏楽連盟作曲コンクール 第 1 位(2010)</p> <p>第 17 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第 2 位入賞(2010)</p> <p>第 14 回東京国際室内楽作曲コンクール 第 2 位(1 位なし)(2009)</p> <p>第 17 回日本歌曲コンクール作曲部門 優秀賞(2009)</p> <p>第 16 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第 2 位入賞(2009)</p> <p>第 15 回奏楽堂日本歌曲コンクール 作曲部門第 3 位入賞(2008)</p> <p>くまもと未来国体(第 54 回国体)ファンファーレ公募 佳作入選(1997)</p> <p>平成 8 年度文化庁 舞台芸術創作奨励特別賞(最高位)受賞(1997)</p> <p>96 年度 全日本吹奏楽連盟主催 コンクール選曲公募 佳作(1996)</p> <p>稲門グリークラブ 40 周年記念作曲コンクール 最優秀賞(1994)</p> <p>94 年度全日本合唱コンクール公募「朝日作曲賞」受賞(1994)</p> <p>93 年度全日本合唱コンクール公募佳作入選(1993)</p> <p>第 14 回神奈川県芸術祭創作コンクール 第 1 位入賞(1990)</p>

所属学会	21世紀音楽の会 ニュー・サウンド・スケイプ 96'～
専門分野	作曲・編曲・指揮
教育研究概要	(キーワード)作曲・編曲・指揮
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[音楽を学ぶ意味], 人間と文学・芸術[新しい音楽を探す] (専門科目)作曲特別演習 I, 作曲法 I, 和声学 I, 現代音楽へのいざない, ソルフェージュ I, 初等音楽科内容研究, 作曲特別演習 II, 指揮法, 音楽通論 II, 対位法 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)作曲・指揮法研究, 初等音楽文化総合研究, 作曲・指揮法演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [音楽資料・単著]「交響組曲「ロビン・フッドの冒険」～ウィンド・オーケストラのための～ (E・W・コルンゴルト作曲 山口哲人編曲)」, ティーダ出版, (2017 年 03 月 25 日)
2. [音楽資料・単著]山口 哲人「混声四部合唱曲「あい」 組曲「死ぬまでに愛することのできる3つの歌」より」, パナムジカ出版, (2017 年 02 月 22 日)
3. [音楽資料・単著]山口 哲人「混声四部合唱曲「生きる」 組曲「死ぬまでに愛することのできる3つの歌」より」, パナムジカ出版, (2017 年 02 月 22 日)
4. [音楽資料・単著]「「典礼風ファンファーレ」～ウィンド・オーケストラのための～ (H・トマジ作曲 山口哲人編曲)」, ティーダ出版, (2017 年 02 月 17 日)
5. [音声・共著]東邦音楽大学ウインドオーケストラ・スペシャルユニット「吹奏楽曲 CD 発売 Master Works For Wind Orchestra 2017 幻想曲「通りゃんせ」」, ティーダ出版・ワコーレコード, (2017 年 02 月 17 日)
6. [音楽資料・単著]山口 哲人「7つのイメージ フルート三重奏のための」, ティーダ出版, (2016 年)
7. [音楽資料・単著]山口 哲人「ヘンリー8 世の音楽」, ティーダ出版, (2016 年)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [・]「器楽曲 発表「ファンタジーの練習帳」 器楽アンサンブルのための」茨城大学美術科教員展+M/2016(茨城県 ひたちなか市)[2016 年 12 月 18 日]
2. [その他・国内会議(共同)] Va.solo 奥野桃子 防衛医大弦楽アンサンブル「管弦楽曲 編曲発表『ヴァイオラ協奏曲』」(所沢市 文化センターミュージズ)[2016 年 12 月 04 日]
3. [その他・国内会議(共同)] 山口 哲人指揮 Vn.solo 田中文華 防衛医大弦楽アンサンブル「管

- 弦楽曲 編曲発表 『You Raise Me Up』(所沢市 文化センターミュージズ)[2016 年 12 月 04 日]
4. [その他・国内会議(共同)] 山口 哲人指揮 Vn.solo 吉田美乃莉 防衛医大弦楽アンサンブル
「管弦楽曲 編曲発表 『ヴァイオリン協奏曲』(作曲:ヨハネス・ブラームス)」(所沢市 文化センターミュージズ)[2016 年 12 月 04 日]
5. [その他・国内会議(共同)] 山口 哲人指揮 Vn.solo 中河まりな 防衛医大弦楽アンサンブル「管弦楽曲 編曲発表 『ヴァイオリン協奏曲 第1番』(作曲:マックス・ブルッフ)」(所沢市 文化センターミュージズ)[2016 年 12 月 04 日]
6. [その他・国内会議(共同)] Pf.海老塚光生「器楽曲 発表 愛猫とのコラボレーション実験開始！ “わが家の猫のフーガ”～D.スカルラッティ“猫のフーガ”と共にご提供～」ニュー・サウンド・スケイプ 96 第 14 回演奏会(大泉学園ゆめりあホール)[2016 年 10 月 28 日]
7. [その他・国内会議(共同)] Cimb.斉藤浩 Ob.鷹栖美恵子 Fg.岡本正之「器楽曲 発表 「ジャズの吟唱詩人」ツインバロン・オーボエ・ファゴットのための」21世紀音楽の回 第 13 回演奏会(東京都 東京文化会館) [2016 年 05 月 18 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(共同)]第 31 回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール 全国大会 (2016 年 09 月)

学校教育教員養成課程(音楽教育)	氏名 田中 宏明
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	東京音楽大学 音楽学部 音楽学科ピアノ演奏家コース(日本)[1994年03月卒業] 東京藝術大学大学院 音楽研究科修士課程 器楽(ピアノ)専攻(日本)[1998年03月修了] 藤女子大学(2000年4月～2016年3月) 茨城大学(2016年4月～)
学位	修士(音楽)[東京藝術大学]
受賞歴	札幌市民芸術祭奨励賞(2003) 第10回バッハ国際コンクール(於:ライブツイヒ)ピアノ部門ディプロマ賞(1996)
所属学会	全国大学音楽教育学会 日本音楽表現学会 (社)全日本ピアノ指導者協会
専門分野	芸術一般(音楽分野・ピアノ)
教育研究概要	(キーワード)音楽 器楽 ピアノ ピアノ演奏
担当科目	(専門科目)ピアノ(必修・伴奏を含む), ピアノ, 初等音楽科内容研究, ピアノ, ソルフェージュ演習, ピアノ, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)器楽研究 I, 初等音楽文化総合研究, 器楽演習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [教科書・共著]田中宏明・木村貴紀『『小学校音楽科歌唱共通教材《全24曲》—簡易伴奏つき—』, 圭文社, (2016年03月10日)
2. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(学術雑誌)単著【査読あり】]田中宏明「保育者及び教員養成系大学の学生に対するピアノを用いた指導法—小学校音楽科歌唱教材の簡易伴奏譜活用のあり方—」, 高等教育ジャーナル—高等教育と生涯学習—, 23, 37-42(2016年03月)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]田中宏明「保育内容「表現」における音楽教育のかかわり—音楽から派生する保育活動の可能性—」, 藤女子大学人間生活学部紀要, 53, 89-94(2016年03月31日)

研究業績(2)学会発表など

「教員養成系大学におけるソルフェージュ授業から得られるバッハの《2声インヴェンション》の演奏効果」 日本音楽表現学会第15回大会 東京音楽大学 2017年6月

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(単独)]「小樽市立緑小学校閉校記念 田中宏明ピアノコンサート」小樽市立緑小学校体育館. (年度不詳～2017年09月)

[芸術活動(単独)]「ピティナ ピアノステップ in 札幌 田中宏明トークコンサート」(後援:文部科学省) カワイ札幌コンサートサロン・シュシュ. (年度不詳～2017年01月)

[芸術活動(単独)]「田中宏明ピアノ・リサイタル～バッハ鍵盤組曲を弾く～」六花亭札幌本店・ふきのとうホール. (年度不詳～2016年12月)

社会的活動、地域貢献など

○ 地域協力活動

1. 毎日新聞社[その他公的社会活動]「全日本学生音楽コンクール審査員」『全日本学生音楽コンクール』(2015年04月～)

2. 一般社団法人全日本ピアノ指導者協会[その他公的社会活動]「PTNA ピアノコンペティション審査員」(2005年07月～)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など**科学研究費補助金などの受領**

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 向野 康江
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1959 年 10 月
学歴・職歴	<p>昭和 61 年 3 月:佐賀大学教育学部特別教科課程美術科卒業</p> <p>昭和 63 年 3 月:上越教育大学大学院修士課程教育学研究科(修士課程)教科・領域教育専攻芸術系コース修了(教育学修士)学位論文「関衛著『普通教育に於ける藝術的陶冶』の意義について」</p> <p>平成 3 年 3 月:筑波大学大学院博士課程芸術学研究科(博士課程)芸術学専攻中間審査にて修士号取得(学術修士)学位論文「関衛研究－美術教育界の“異端”者・関衛の長崎における活動－」</p> <p>平成 6 年 3 月:筑波大学大学院博士課程芸術学研究科(博士課程)芸術学専攻修了 博士(芸術学)(筑波大学 第甲博 1297 号)学位論文「関衛研究－関衛(せき・まもる 1889-1939)と大正期芸術教育思想の展開－」</p> <p>平成 11 年 7 月:中華人民共和国華東師範大学漢語撰修班得業</p> <p>平成 28 年 3 月:北九州市立大学大学院博士課程後期社会システム研究科(博士課程)地域社会システム専攻修了 博士(学術)(北九州市立大学 北九大大学院 博甲 88 号)学位論文「向野堅一(1868～1931)の経済活動―日清貿易模索から奉天実業界形成への道程／向野書簡を中心にして」</p> <p>昭和 63 年 4 月:岩尾学園昭和女子高等学校非常勤講師「美術」「日本史」(平成元. 3 まで)</p> <p>昭和 63 年 4 月:九州女子高等学校非常勤講師「美術」「工芸」(平成元. 3 まで)</p> <p>平成 5 年 4 月:武蔵野美術大学短期大学部通信教育部非常勤講師「日本・東洋美術史」(平成 7. 3 まで)</p> <p>平成 7 年 4 月:茨城大学教育学部美術教育講座専任講師「教育理論」「教科教育論」「芸術教育学」及び茨城大学大学院教育学研究科美術教育専修専任講師「美術教育研究」「美術教育演習」授業担当教員(合教員)に選抜(平成 8. 9 まで)</p> <p>平成 8 年 10 月:茨城大学教育学部美術教育講座専任助教授「教育理論」「教科教育論」「芸術教育学」及び茨城大学大学院教育学研究科美術教育専修専任助教授「美術教育研究」「美術教育演習」指導教員(○合教員)に選抜(平成 16. 3 まで)</p> <p>平成 9 年 4 月:茨城高等工業専門学校非常勤講師「美術」(兼任)(平成 10. 3 まで)</p> <p>平成 10 年 9 月:中華人民共和国 華東師範大学 外国語学部日本語教育系 外国人講師「日语专家」(兼任)(平成 11. 9 まで)</p> <p>平成 12 年 4 月:中華人民共和国 華東師範大学芸術教育研究センター特招聘研究員特任(兼任)(平成 15. 3 まで)</p>

	平成 16 年 10 月:茨城大学教育学部美術選修専任准教授「教育理論」「教科教育論」「芸術教育学」及び茨城大学大学院教育学研究科美術教育専修専任准教授「美術教育研究」「美術教育演習」(平成 27. 3 まで) 平成 27 年 4 月:茨城大学教育学部美術選修専任教授「教育理論」「教科教育論」「芸術教育学」及び茨城大学大学院教育学研究科美術教育専修専任教授「美術教育研究」「美術教育演習」(現在に至る)
学位	博士(芸術学)[筑波大学] 博士(学術)〈満洲経済史〉[北九州市立大学]
受賞歴	平成 13 年 8 月 20 日:中国山東省教育学会美術教学研究專業委員会・華東師範大学芸術教育研究主催チャンピオン中国華東地区第1回優秀美術教案課例大会一等賞(教案「众多的国家各种各样的文化一玉是什么?」) 平成 14 年:中国教育学会美術教育研究会主催中国全国中小学美術教案課例大会一等賞・特別昇給 平成 25 年 4 月:公益財団法人国際ソロプチミスト日本財団主催平成 25 年度ソロプチミスト日本財団活動資金援助クラブ賞受賞
所属学会	アジア教育史学会 中国現代史研究会 現代東北アジア地域史研究会 淡窓研究会 大学美術教育学会 教育史学会
専門分野	近代日中関係史(満洲経済史) 芸術学 教科教育学
教育研究概要	教育学部では、向野堅一(1868-1931)コレクション(主として『骨肉』)に関する調査研究を実施しつつ美術教育を教えている。基盤教育では、向野堅一の経済活動をはじめとする満洲経済史研究に主眼を置いている。 (キーワード)向野堅一(1868-1931)研究 孫文『骨肉』向野堅一記念館
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と歴史[満洲経済史] (専門科目)図画工作科教育法研究, 図画工作科内容研究, 図画工作科教育法研究, 美術科内容研究, 美術教育授業研究 I, 日本美術実地研究, 古美術実地研究 (大学院科目)美術教育研究 II, 美術文化総合研究, 美術教育演習 II, 美術教育授業設計, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- ①「日清貿易研究所における学生生活—向野堅一の兄たちの書簡を手掛かりに—」(単著・向野康江)『アジア教育史研究』(アジア教育史学会・査読付)第 23 号、25-49 頁、平成 26 年 3 月
- ②「筑紫洋行(筑紫辦館)と天津の商品陳列館設立計画—『九州炭鑛業家』と向野堅一の動向に注目して—」(単著・向野康江)『郷土直方』(直方郷土研究会・査読付)第 39 号、2-

6 頁、平成 26 年 4 月 26 日

- ③「向野堅一『明治二十七八年戦役餘聞戦役夜話』再考—「旅順事件」検討の前提として—」(単著・向野康江)『近現代東北アジア地域史研究会ニューズレター』(近現代東北アジア地域史研究会・査読付)第 26 号、1-11 頁、平成 26 年 12 月 6 日
- ④「向野一族と向野堅一の清国渡航以前における修学」(単著・向野康江)『社会システム研究』(北九州大学大学院社会システム研究科・査読付)第 13 号、71-86 頁、平成 27 年 3 月
- ⑤「日清商品陳列所の実修機能—向野堅一宛書簡に見る卒業生の苦闘—」(単著・向野康江)『アジア教育史研究』(アジア教育史学会・査読付)第 23 号、27-55 頁、平成 28 年 3 月
- ⑥「『旅順虐殺事件』言説の再検討—向野堅一『従軍日記』『三崎山の追想』の利用に着目して—」(共著・向野康江・木村明史)『向野堅一記念館研究紀要・創刊号』(向野堅一顕彰会・査読付)9-41 頁、平成 28 年 9 月 4 日
- ⑦「大正期向野堅一家の家庭内回覧雑誌『骨肉』にみる西洋事物—図画分析を中心として—」『茨城大学教育学部紀要 教育科学』(茨城大学教育学部)第 66 号、87-100 頁、平成 29 年 3 月(共著・皆川真理・向野康江)
- ⑧「大正期の子どもの絵に関する研究(1)(2)『啓助日記』における挿絵を対象にして」(共著・山田秀平・向野康江)『茨城大学教育実践研究 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター 編』(茨城大学教育学部附属教育実践総合センター)第 35 号、41-69 頁、平成 28 年 11 月
- ⑨「学校教員養成系大学における図画工作科・美術科に関する指導力点検方法の一例」(単著・向野康江)茨城大学教育学部附属教育実践総合センター『茨城大学教育実践研究』35 号、平成 28 年 11 月
- ⑩「台湾における向野堅一の活動—日清戦争後の仏教布教・学校設立活動に立ち会う通訳官—」(単著・向野康江)『アジア文化研究』(国際アジア文化学会)第 24 号、42-53 頁、平成 29 年 7 月
- ⑪「小学校における生活科と図画工作科を結ぶ教材研究—創作遊びと材料金庫の活用—」(単著・向野康江)茨城大学教育学部『茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術)』第 67 号、平成 29 年
- ⑫「図画工作・美術科の授業見学における分析視点—『美術教育概論』授業に向けて(1)—」(単著・向野康江)『茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術)』第 67 号、平成 29 年
- ⑬「美術教育におけるカリキュラム論の提案—ユニット型連携構築方法による計画作成—」(単著・向野康江)茨城大学全学教職センター『茨城大学教育実践研究』36 号、平成 29 年

研究業績(2)学会発表など

【招待講演会】

- ①「向野堅一(1868-1931)日中美術教育研究交流の意義とその重要性」(美術教師教育の展望——中日美術教師教育研究会、於:華東師範大学、平成 19 年 9 月 14 日)
- ②「直方に生まれたつよくやさしい日本人・向野堅一」(直方郷土研究会、於:直方市民会館、2009 年 5 月 23 日) *『毎日新聞』平成 21 年 5 月 24 日(日)21 面掲載
- ③「向野堅一研究の意義と重要性」(中華人民共和国、於:香港、平成 28 年 12 月 10 日)

社会的活動、地域貢献など

- 学協会での役職
1. 淡窓研究会, 事務局(平成 27 年 06 月～)
- 地域協力活動
1. 向野堅一記念館(平成 21 年 09 月～)
2. 直方文化連盟(平成 21 年 11 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

中国 香港, 広州 中華基金中学, 中山大学, 辛亥革命館[孫文生誕 150 周年記念祭参加・見学会]
(平成 28 年 12 月:5 日間)

科学研究費補助金などの受領

- 補助金受領 (平成 29 年度のみ)
- | | | |
|-----------------|--------------|--------|
| 向野堅一に関する研究への助成金 | 株式会社第一マネジメント | 100 万円 |
| 同 上 | 株式会社はせがわ美術工芸 | 50 万円 |

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 島 剛
------------------	--------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1963 年 7 月
学歴・職歴	東京芸術大学 美術学部 彫刻[1987 年卒業] 東京芸術大学大学院 美術研究科 彫刻[1989 年 03 月修了]
学位	修士(芸術)[東京芸術大学]
受賞歴	リサイクルアート展 2016 優秀賞(2016) 第 9 回日本現代陶彫展'04、陶彫展優秀賞(2004) 第 2 回印幡村野外芸術展 in いには野、佳作賞(2000) 第 6 回ビエンナーレまくらざき、佳作賞(1999) 第 7 回日本現代陶彫展'98、大賞(1998) 第 2 回朝来野外現代彫刻展 in 多々良木'95、大賞(1995) 五島記念文化賞美術部門新人賞(1990) 第 19 回現代日本美術展、大賞(1989) オブジェTOKYO展'88、佳作賞(1988) 第 18 回現代日本美術展、いわき市立美術館賞(1987)
所属学会	大学美術教育学会
専門分野	彫刻
教育研究概要	彫刻 (キーワード) 彫刻の制作研究
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[美術の表現] (専門科目) 彫刻基礎/立体表現演習 I, 彫刻表現演習 I, 彫刻 I/立体表現演習 II, デッサンの基礎 II/表現の基礎 II, デッサンの基礎 III/表現の基礎 III, デッサン I, デッサンの基礎 I/表現の基礎 I, 保育内容の研究(表現), 彫刻表現演習 II, 彫刻 II, デッサンの基礎 IV, 塑造特別演習, 彫刻特別演習, 表現の基礎 IV, 日本美術実地研究, 古美術実地研究, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 美術文化総合研究, 彫刻研究, 美術教育授業設計, 彫刻演習, 特別課題研究

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

[芸術活動(単独)] Outward 160907/島剛彫刻展—CORE SAMPLE WORK 地中内視・向き

合う視線／ギャラリー桜林／笠間市(2016年12月～2017年03月)

[芸術活動(単独)]海の暦 I / 島剛展—ガラスの彫刻／なかお画廊／熊本市(2016年08月)

[芸術活動(単独)]コアサンプル—Inward 1605／リサイクルアート展 2016／札幌駅前通地下歩行空間 キタサン HIROBA／札幌(2016年07月)

[芸術活動(単独)]コアサンプル 16207／島剛彫刻展 サンプル・コア／ギャラリーしえる／水戸市(2016年03月～2016年04月)

[芸術活動]ノアの島—青い空/現代陶芸の粋—東日本の作家を中心に—/茨城県陶芸美術館(2006年)

[芸術活動]たまきはる NO, 2/茨城県芸術祭美術展覧会/茨城県近代美術館(2005年)

[芸術活動]Tamakiharu05-1/五島記念文化財団設立 15 周年記念グループ展/Bunkamura Galley/渋谷(2005年)

[芸術活動]たまきはる—光の雨降る/第 9 回日本現代陶彫展 2004/セラテックノ土岐/岐阜 ※陶彫展優秀賞(2004年)

[芸術活動]RangeIV/茨城県芸術祭美術展覧会/茨城県近代美術館(2003年)

[芸術活動]聖老人/第 3 回現代茨城作家美術展/茨城県近代美術館(2003年)

[芸術活動]たまきはる/島剛展、村松画廊(個展)/銀座(2003年)

[芸術活動]ノアの島—南の光/JAPANESE KERAMIEK/Culuurcentrum Scharpoord/クノックヘイスト・ベルギー(2002年)

[芸術活動]切株更新 2002/第 6 回国際陶磁器展美濃/セラミックパーク美濃/多治見・岐阜(2002年)

[芸術活動]たまきはる—ひとつの空/第 7 回風の芸術展トリエンナーレまくらざき/枕崎市文化資料センター南浜館/鹿児島(2002年)

[芸術活動]ノアの島/島剛彫刻展—ノアの島—/ギャラリーSPACE(個展)/茨城(2002年)

[芸術活動]切株更新 No.9/茨城県芸術祭美術展覧会/茨城県近代美術館(2001年)

[芸術活動]Sky the Blue/第 2 回印旛村野外芸術展 in いには野/印旛村中央公民館/千葉 ※佳作賞(2001年)

[芸術活動]切株更新/現代陶芸の精鋭—21 世紀を開くやきもの手法とかたち—展/茨城県陶芸美術館(2001年)

[芸術活動]切株更新 2000/夢みどりいしかわ 2001 現代野外アートコンペティション/金沢城公園/石川(2001年)

[芸術活動]万象—誕生/五島記念文化財団設立 10 周年記念展/Bunkamura Galley/渋谷(2000年)

[芸術活動]万象—大地の王冠/21 世紀アート大賞 2000/熊本県立美術館分館(2000年)

[芸術活動]双生の壺/「茨城陶芸の現在—陶の魅力と可能性を求めて」展/茨城県陶芸美術館(2000年)

[芸術活動]伝説—夜明け前/第 28 回現代日本美術展/東京都美術館、京都市美術館(1999年)

[芸術活動]伝説—風の谷/第 6 回天理ビエンナーレ/天理市(1999年)

[芸術活動]The Arch of East/第 6 回風の芸術展ビエンナーレまくらざき/枕崎市文化資料センター

- 南溟館/鹿児島 ※佳作賞(1999 年)
- [芸術活動]倒木更新/第 7 回日本現代陶彫展'98/セラテックノ土岐/岐阜 ※大賞(1998 年)
- [芸術活動]倒木更新(Dolmen)/現代美術の磁場 1998/茨城県つくば美術館・中央公園(1998 年)
- [芸術活動]Firework-62/水戸市展/水戸芸術館現代美術センター/水戸市 ※アートディレクター賞(1996 年)
- [芸術活動]日月山水春夏秋冬/いばらきバイアニュアル・ディアロゴス 1996「現代性の条件」展/水戸芸術館現代美術センター/水戸市・茨城(1996 年)
- [芸術活動]雲中のトーテム/21 世紀アート大賞'96/熊本県立美術館分館(1996 年)
- [芸術活動]木霊の壺/第 2 回朝来 2001 野外彫刻展 in 多々良木'95/あさご芸術の森/兵庫 ※大賞(1995 年)
- [芸術活動]我は“泉”に立つ No.11/あかりとアート—島剛作品展—、プロックスギャラリー(個展)/茨城(1994 年)
- [芸術活動]Stretched Body in the pool/21 世紀アート大賞'94/熊本県立美術館分館(1994 年)
- [芸術活動]Firework-65/美和村野外現代彫刻展/美和村工芸ふれあいセンター/茨城(1994 年)
- [芸術活動]二枚岩/第 1 回五島記念文化賞海外研修記念 島剛展—我は“泉”に立—、佐賀町エキジビット・スペース(個展)/江東区・東京(1994 年)
- [芸術活動]我は“泉”に立つ No.3/島剛展—我は“泉”に立つ—、アートフォーラム谷中/台東区(1992 年)
- [芸術活動]Chimney(煙突)/第 2 回足立区野外彫刻展/足立区立元淵江公園/東京(1991 年)
- [芸術活動]Firework-70/CONTENPORARY WORKS 1990/日本橋東急(1990 年)
- [芸術活動]モンスター—炎の記憶 1—/松戸駅市民ギャラリー(個展)/千葉(1990 年)
- [芸術活動]Firewok-64/「現代彫刻の歩みⅢ 1970 年以降の表現—物質と空間の表現」展/神奈川県民ホール・ギャラリー/横浜(1990 年)
- [芸術活動]モンスターScene No.1~No.17/第 10 回ハラアニュアル/ハラ美術館、品川(1990 年)
- [芸術活動]モンスター38/第 1 回TAMON賞全国公募展/柏高島屋/千葉(1990 年)
- [芸術活動]モンスター7—森林の怒り—/島剛展—森林の怒り—、ギャラリー現(個展)/銀座(1990 年)
- [芸術活動]モンスター3—森林の怒り—/第 17 回日本国際美術展/東京都美術館、京都市美術館他(1990 年)
- [芸術活動]Firework-61/INAX ギャラリー2(個展)/京橋(1990 年)
- [芸術活動]Firework-68/GALLEY21(個展)/北九州市(1989 年)
- [芸術活動]Firework-66/第 3 回東京野外現代彫刻展/世田谷区砧公園、東京(1989 年)
- [芸術活動]Firework-63/第 18 回現代日本美術展/東京都美術館、京都市美術館他 ※大賞(1989 年)
- [芸術活動]Firework'87.6—四角から○へ—/オブジェ東京展'88/渋谷パルコ/東京 ※佳作賞(1988 年)

[芸術活動]Firework-38/Galley NAF(個展)/名古屋(1988 年)
 [芸術活動]Firework'87.6—四角から〇へ—/第 17 回日本国際美術展/東京都美術館、京都市美術館他(1988 年)
 [芸術活動]Firework'88.4—樹木へ—(1988 年)
 [芸術活動]Firework-15/フジヤマゲイシャ展/東京・大阪(1987 年)
 [芸術活動]Firework-16/中村画廊(個展)/京橋(1987 年)
 [芸術活動]Firework-8/中村画廊(個展)/京橋(1987 年)
 [芸術活動]Firework'87.1—四角から〇へ—/第 18 回現代日本美術展/東京都美術館、京都市美術館他 ※いわき市立美術館賞(1987 年)
 [芸術活動]Firework—樹木へ—/「私のミニミニ美術館—空間を造形しよう」展/練馬区美術館(1987 年)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師, 3(時間/月)(2009 年 08 月～)
2. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2007 年 07 月～)
3. [兼業] 大阪教育大学・講師(2007 年 01 月～)
4. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2006 年 07 月～)
5. [出前授業] 光洋高校・講師(2006 年 05 月～)
6. [兼業] 桜の牧高校・講師(2005 年 11 月～)

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 片口 直樹
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1978 年 1 月
学歴・職歴	<p>金沢美術工芸大学 美術工芸研究科[2002 年 03 月卒業]</p> <p>金沢美術工芸大学大学院 美術工芸研究科 絵画専攻[2002 年]</p> <p>学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 常勤講師(2003 年 4 月～2006 年 3 月)</p> <p>学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊女子高等学校 教諭(2006 年 4 月～2009 年 3 月)</p> <p>学校法人大阪成蹊学園 大阪成蹊短期大学 非常勤講師(2006 年 4 月～2009 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部 准教授(現在に至る)(2009 年 4 月～)</p>
学位	修士[金沢美術工芸大学]
受賞歴	<p>第 22 回天展 天理ビエンナーレ 2005 大賞(2005)</p> <p>第 20 回国際瀧富士美術賞(1999)</p>
所属学会	大学美術教育学会, 美術科教育学会
専門分野	芸術一般 絵画
教育研究概要	<p>絵画に根ざした表現を研究課題とし、今後生まれてくる新たな表現方法を模索する。おもに映像メディア等、近年生活に馴染みのある媒体と絵画表現との関係に着目し、より時代を豊かなものにするために、豊かな心を養う術を研究する。また、これからの教育者はより一層豊かな心を持ち、時代に順応できる人材が必要となる。表現者も教育者も伝えるという意味においては共通するものがあり、元をたどれば学ぶ喜び、作る喜びをいかに伝えることができるかが課題である。以上のような研究概要をもとに絵画の可能性を探る。</p> <p>(キーワード) 絵画・油画・インスタレーション・造形ワークショップ</p>
担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[美術の表現]</p> <p>(専門科目) 絵画 I/平面表現演習 II, 絵画基礎/平面表現演習 I, 絵画表現演習 I, 美術教育授業研究 II/美術館ワークショップ実習, デッサンの基礎 I/表現の基礎 I, 絵画 II/平面表現演習 III, 絵画表現演習 II, デッサン II, 美術教育授業研究 I, 造形実技 II, 絵画特別演習, 日本美術実地研究, 古美術実地研究, 卒業研究</p>

	(教育:4 単位) (大学院科目)美術文化総合研究, 絵画研究, 絵画演習, 美術教育授業設計
--	--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [著書]茨城大学教育学部・茨城大学教育学部附属幼稚園「楽しく遊んで、子どもを伸ばすー子育て・保育の悩みに教育研究者が答える Q&A」, 福村出版株式会社, (2016 年 08 月 10 日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]片口直樹, 金子一夫「沈黙交易・贈与交換の概念による、美術教育実践の解釈と構想」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要)第二三号, 89-103(2016 年 11 月 30 日)
3. [研究論文]片口直樹, 蛭田清子「美術科と特別支援学校による連携の試みー絵画を軸とした芸術体験「レインボーミラクル for チャレンジド」の実践を通してー」, 茨城大学教育実践研究 34,25-39.
4. [研究論文]伊藤ほか「富士山をフィールドとした多面的学習プログラムの実践 -1-地学と美術編ー」, 茨城大学教育実践研究 34,211-224.

研究業績(2)学会発表など

1. 「沈黙交易・贈与交換の概念による美術教育実践の解釈と構想ー特別支援学校と大学生の交流事例の分析を踏まえてー」(片口・金子) / 第38回美術科教育学会大阪大会 / 大阪成蹊大学・短期大学 (2016 年 3 月 19 日)
2. 「富士山をフィールドとした多面的学習プログラムの提案と実践ー美術と地学編ー」(片口ほか) / 日本理科教育学会第54回関東支部会 / 茨城大学教育学部 (2015 年 12 月 5 日)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

- [芸術活動(単独)]「贈りもの」/ギャラリーしえる/水戸(2016 年 11 月~2016 年 12 月)
- [芸術活動]六角堂展「時の回廊ー観月会 2016ー」/茨城大学五浦美術文化研究所/北茨城(2016 年 09 月~2016 年 10 月)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「東海村アートー駅舎に花を咲かせましょうー」/東海ステーションギャラリー/東海(2016 年 08 月)
- [芸術活動(単独)]「Station Time-Leap」/東海ステーションギャラリー/東海(2016 年 06 月~2016 年 07 月)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「空想すいぞくかん〜お水ってすばらしい〜」/アクアワールド茨城県大洗水族館/大洗(2015 年)
- [芸術活動(共同)]「茨城大学美術科教員展」/ギャラリーSPACE/ひたちなか(2015 年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「空想すいぞくかん〜お魚ってすばらしい〜」/アクアワールド茨城県大洗水族館/大洗(2014 年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「にじのたね in キタトク」/茨城県立北茨城特別支援学校/北茨城(2014 年)

- [芸術活動(単独)]ワークショップ「グループで絵を描く」/茨城大学教育学部附属幼稚園/水戸(2014年)
- [芸術活動(共同)]「茨城大学美術科教員展」/ギャラリーESPACE/ひたちなか(2014年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「にじのたね in 大生小学校」/常総市立大生小学校/常総(2014年)
- [芸術活動(単独)]「光彩」/INFORM gallery/金沢(2013年)
- [芸術活動(単独)]「信濃橋画廊コレクション」/兵庫県立美術館/神戸(2013年)
- [芸術活動(単独)]「茨城大学美術科教員展」/ギャラリーESPACE/ひたちなか(2013年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「空想どうぶつえん～創造ってすばらしい～」/かみね動物園/日立(2013年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「目指せ!!石炭アーティスト～石炭で自分の絵具を作り表現しよう～」/リーベロ高萩/高萩(2013年)
- [芸術活動(共同)]「茨城大学教員三人展」/Gallery ESPACE/ひたちなか(2013年)
- [芸術活動(単独)]「Station」/日立駅情報交流プラザ/日立(2013年)
- [芸術活動(単独)]「黒ノ美学」/雅景錐/京都(2012年)
- [芸術活動(単独)]アートフェア「ART OSAKA 2012」/ホテルグランヴィア大阪/大阪(2012年)
- [芸術活動(共同)]「茨城大学教員作品展」/Gallery ESPACE/ひたちなか(2011年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「ひろげよう、リリーのわ!!」/学校法人リリー文化学園 リリー幼稚園/水戸(2011年)
- [芸術活動(単独)]「Soil2」/INFORM gallery/金沢(2011年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「大きなリリーの木の下で」/学校法人リリー文化学園 リリー幼稚園/水戸(2010年)
- [芸術活動(単独)]公開制作「片口直樹のアートワーク」/茨城県近代美術館/水戸(2010年)
- [芸術活動(単独)]「Soil」/INFORM gallery/金沢(2010年)
- [芸術活動(単独)]「外には優しい雨の音」/信濃橋画廊/大阪(2010年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「親子でつくる不思議な世界-マグリットの世界を感じて」/茨城県近代美術館/水戸(2010年)
- [芸術活動(単独)]「Sync」/INFORM gallery/金沢(2009年)
- [芸術活動(単独)]「言葉は遠くの方にある」/信濃橋画廊/大阪(2009年)
- [芸術活動(単独)]ワークショップ「にじのたね」/大阪市立鷺洲小学校/大阪(2009年)
- [芸術活動]「gallerism2008」/大阪府立現代美術センター/大阪(2008年)
- [芸術活動(共同)]「森ニユートン幸峰・片口直樹・吉田千春」/INFORM gallery/金沢(2008年)
- [芸術活動(単独)]「Sweet & Bitter」/信濃橋画廊/大阪(2008年)
- [芸術活動(共同)]「thing matter time 2008」/信濃橋画廊/大阪(2008年)
- [芸術活動(共同)]「百花繚乱展」/兵庫県立美術館/神戸(2007年)
- [芸術活動(単独)]「微のあいだ」/INFORM gallery/金沢(2007年)

- [芸術活動(単独)]「つもりつもれば」／信濃橋画廊／大阪(2007年)
- [芸術活動(単独)]「Distance」／信濃橋画廊／大阪(2006年)
- [芸術活動(単独)]「Diary」／INFORM gallery／金沢(2006年)
- [芸術活動(単独)]「Happy End」／信濃橋画廊／大阪(2006年)
- [芸術活動(単独)]「第22回天展天理ビエンナーレ2005」／天理教本部・特設会場／天理(2005年)
- [芸術活動(共同)]「Premonition-I- 片口直樹/中西信洋」／大阪成蹊大学芸術学部 spaceB／長岡天神(2005年)
- [芸術活動(共同)]「LA VOZ 2005」／京都市立美術館別館／京都(2005年)
- [芸術活動(単独)]「suzuka」／信濃橋画廊／大阪(2005年)
- [芸術活動(単独)]「River」／INFORM gallery／金沢(2005年)
- [芸術活動(共同)]「remo_showcase」／remo／大阪(2005年)
- [芸術活動(共同)]「remo video loungage[wallstream]」／remo／大阪(2005年)
- [芸術活動(単独)]「ぼくのもの」／信濃橋画廊／大阪(2005年)
- [芸術活動]「第13回吉原治良賞美術コンクール展」／大阪府立現代美術センター／大阪(2005年)
- [芸術活動(単独)]「ここにしあわせがある」／やわたメディカルセンター／石川(2004年)
- [芸術活動(単独)]「そこにしあわせがある」／信濃橋画廊／大阪(2004年)
- [芸術活動(共同)]「thing matter time」／信濃橋画廊／大阪(2004年)
- [芸術活動(単独)]「awake and aware」／INFORM gallery／金沢(2002年)
- [芸術活動(単独)]「片口直樹展」／やわたメディカルセンター／小松(2002年)

社会的活動、地域貢献など

連携プロジェクト「レインボーミラクル for チャレンジド」／茨城県立北茨城特別支援学校／(2014年)

科学研究費補助金などの受領

[基盤研究 C, 課題番号:26381251]「富士山をフィールドとした多面的実践学習プログラムの開発とそれによる教科間相互作用」(研究代表者:伊藤)

学校教育教員養成課程(美術教育)	氏名 金子 一夫
------------------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1950 年 12 月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 中学校教員養成課程美術専攻[1973 年卒業] 東京芸術大学大学院 美術研究科 美術教育学[1975 年修了] 東京芸術大学美術学部非常勤講師(1976 年 4 月～1978 年 3 月) 茨城大学教育学部講師(1978 年 4 月～1985 年 6 月) 茨城大学教育学部助教授(1985 年 7 月～1987 年 7 月) 茨城大学大学院教育学研究科助教授(1987 年 8 月～1996 年 9 月) 茨城大学大学院教育学研究科教授(1996 年 10 月～) 茨城大学教育学部附属中学校校長併任(2008 年 4 月～2011 年 3 月) 茨城大学教育学部特任教授(2016 年 4 月～)
学位	博士(美術)[東京芸術大学] 芸術学修士[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	明治美術学会 美術科教育学会 大学美術教育学会 美術史学会 美学会 日本美術教育連合 日本美術教育学会
専門分野	美術教育学 近代日本美術史
教育研究概要	美術教育学:美術教育の現実を贈与交換論とシステム論によって再構成する。それによって現代日本の美術教育論で消えてしまっている教育内容、教材、教師という要素を復活できる。そして美術教育実践が形式的交換、相互交感、純粹贈与とという三層構造になっていることを提示した。 美術教育史:戦後日本の美術科教育学の実質的な形成の過程を跡づける。戦後初期の美術教育学志向の発生から昭和 50 年前後の学的確立期に世代間断絶があったことを指摘しようとしている。
	(キーワード)美術教育学 贈与交換論 システム論 美術教育史
担当科目	(専門科目)図画工作科内容研究, 図画工作科教育法研究, 美術科教育法研究, 美術科教科論, 図画工作科内容研究, 美術科教育特別演習 (大学院科目)美術教育研究 I/美術教育演習, 美術文化総合研究, 美術教育授業設計, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

(単)「美術教育方法論における超越的外部の必然性—「無規定的過程」概念、その他—」

『美術教育学』第 37 号、2016 年、207-218 頁。

(単)「植田竹次郎『臨画帖』と岡倉覚三—その実質的編輯者と内容の構成をめぐって—」

『五浦論叢』茨城大学五浦美術文化研究所、第 23 号、2016 年、25-50 頁。

(単)「現代美術教育学研究の問題点とその解決—贈与交換論による美術教育の再定義を通して—」『美術教育学』第 38 号、2017 年、179-191 頁。

研究業績(2)学会発表など

(単)「美術教育のシステム論的再定義」第 39 回美術科教育学会静岡大会、2017 年 3 月 26 日、口頭発表。

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[その他] 小山正太郎の風景写生地の調査(2005 年)

[その他] 小山正太郎及び不同舎の資料的研究(1991 年)

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 明治美術学会, 理事(2006 年 10 月～)
2. 美術科教育学会, 理事(1982 年 03 月～)
3. 明治美術学会, 論文査読委員(2006 年 12 月～)
4. 日本美術教育学会, 理事(2008 年 04 月～)
5. 日本美術教育連合, 理事(2008 年 04 月～)

科学研究費補助金などの受領

「大正・昭和戦前期の中等学校図画教員と出身美術学校の総覧的研究」2013～2015 年度、課題番号 25370126.

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 日下 裕弘
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 2 月
学歴・職歴	新潟大学 教育学部 中学校教員養成課程、保健体育科[1975 年] 筑波大学大学院 体育科学研究科 体育科学[1984 年] 仙台大学体育学部助教授(1985～1991) 茨城大学教養部助教授・教授(1991～1996) 茨城大学教育学部教授(現在まで)(1996 年 4 月～)
学位	教育学博士 教育学修士 体育学修士
受賞歴	なし
所属学会	人体科学会 日本社会学会 International Committee for Sociology of Sport 日本スポーツ社会学会 日本体育学会 日本民族学会 日本スポーツ史学会 日本温泉協会
専門分野	体育学 人体科学・哲学 文化人類学 社会学
教育研究概要	教育学博士論文:「成立期におけるわが国のスポーツ精度に関する研究」(筑波大学)1984 「日本スポーツ文化の源流」(不昧堂出版)1996 <著書> 分担執筆「スポーツ規範の社会学」(不昧堂出版)1980 分担執筆「スポーツ技術の社会学」(不昧堂出版)1984 分担執筆「現代スポーツ指導者論:その社会的な見方・考え方」(ぎょうせい出版)1988 分担執筆「スポーツ社会学への招待」(不昧堂出版)1990 分担執筆「スポーツ社会学ノート」(中央法規出版)1994 「日本の自然遊:湯浴の聖と俗」(近代文藝社)1995 編・分担執筆「身体活動の科学」(大修館書店)1995 分担執筆「生涯学習講座:今を生きる人間学」(分真堂)1997 編・分担執筆「健康スポーツの科学」(大修館書店)1999 編・分担執筆「生涯スポーツの理論と実際」(大修館書店)2001 分担執筆「総合的な学習での野外校外体験事例:野外遊びと子どもの”からだ・こころ”」(日本教育科学研究所)2002 分担執筆「温泉医学:湯治再発見」(日本温泉協会ほか)2002 分担執筆「フロー理論の展開:自然体験活動におけるフローと身体アイデンティティ」(世界思想社)2003 分担執筆“The emergence and development of Japanese school sport”, in “JAPAN SPORT AND SOCIETY:Tradition and Change in a Globalizing World”(Routledge)2006 <翻訳書> 分担翻訳「国際スポーツ社会学評論」(日本体育学会 体育社会学専門分科会)1977 分担翻訳「スポーツ文化・社会」(ベースボールマガジン社)1988 分担翻訳「スポーツと社会理論」(不昧堂出版)1991 <主要論文> 「明治期における武士的・武士道的野球信条に

	<p>関する文化社会学的研究」(体育・スポーツ社会学研究)1985 "The Development of Baseball Organizations in Japan" (International Review for the Sociology of Sport)1987 「一般成人のスポーツ観に 関する研究」(体育・スポーツ社会学研究)1988 「スポーツ制度論に関する成果と課題」(体育・スポーツ社会学研究)1991 「体育教育における生涯体育論の再検討:E. H. エリクソンのアイデンティティ論のパースペクティブから」(教育学論説資料)1991 「日本の自然遊:湯浴文化の隠れた形」(スポーツ社会学研究)1995 「湯治の身体論的意義」(人体科学)1998 「高齢者の生きがいと自然遊に関する研究:ハイキング・登山実践者の事例から」(スポーツ社会学研究)1999 「高齢者の温泉浴に関する研究:湯浅の身体論に準拠して」(体育学研究)1999 「糖尿病の克服に関する事例研究」(人体科学)2000 「中国におけるレジャー研究の分析枠組み」(中国関係論説資料)2000 「自然遊びにおける子どもの笑顔とその<身体>」(体育学研究)2003 「スポーツ身体論序説:ひとつの社会学的分析枠組みの提示」(スポーツ社会学研究)2004 「遊戯世界における子どもの身体:光るどろだんごづくりを事例に」(人体科学会)2004 「スポーツ身体論序説」(日本スポーツ社会学会)2004 <文部科学省科学研究</p>
	<p>(キーワード)子どもの遊び、スポーツの歴史社会学、生涯スポーツ、高齢者の健康、温泉 体育学、教育学、社会学、哲学、身体論、民俗学</p>
担当科目	<p>(教養科目)身体活動[屋内ボールゲーム I (C)], 主題別ゼミナール[保健体育入門], 身体活動[屋内ボールゲーム I (C)], 身体活動[屋内ボールゲーム II (C)] (専門科目)体育経営管理学, 卓球・テニス指導法/卓球・テニス/卓球・テニス/卓球・テニス指導法/卓球・テニス, 子どもの遊びと体験学習, 体育スポーツ社会学, 体育科教育法研究[後期], ボールゲーム方法論 II/ボールゲーム方法論 II(健康), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)体育社会学特論, 保健体育科学総合研究, 特別課題研究</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]永盛圭一・日下裕弘「体育授業における学び合いの諸相(Ⅲ) ～リズムミックマット運動における「コツ」と「協働学習」～」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 65, 105-123(2016 年)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]能島英輔・日下裕弘「卓球基本技能の「コツ」と「カン」 ～主として動感形態学の理論に準拠して～」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 65, 125-146(2016 年)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]小池裕次郎・日下裕弘「飛田穂州野球の人間形成論に関する研究 ～D. A. コルブの経験学習理論の視点から～」, 茨城大学教育学部紀要(教

育科学), 65, 67-83(2016 年)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[その他]長期野外体験活動「山中友子隊体験村」追跡調査報告書(2005 年)

[その他]茨城県における子どもの体験活動調査報告書(2004 年)

[その他]文部省科学研究費補助金研究(研究代表者):高齢者の生きがいと「自然遊」に関する研究(1996 年)

[その他]スポーツと社会理論、不昧堂出版、pp33-63,pp64-74,pp178-219(分担翻訳)(1992 年)

[その他]文部省科学研究費補助金研究(共同研究) わが国におけるスポーツの個人主義化現象に関する予備的研究(1992 年)

[その他]スポーツと文化・社会、ベースボールマガジン社(pp.37-68)を分担翻訳。(1989 年)

[その他](共同研究)、研究代表者丸山富雄(仙台大学体育学部)、丸山富雄編・発行、昭和 62・63 年度文部省科学研究費(一般研究 C)研究成果報告書、「わが国における階層構造とスポーツ参与の研究」(1989 年)

[その他]文部省科学研究費補助金研究(研究代表者) スポーツの価値に関する実証的研究(1987 年)

[その他]文部省科学研究費補助金研究(共同研究) スポーツと社会階層に関する実証的研究(1985 年)

[その他]日本体育学会 体育社会学専門分科会編・発行、国際スポーツ社会学委員会機関紙『国際スポーツ社会学評論』(抄録)、Vol.1-Vol.6(pp50-54)を分担翻訳。(1977 年)

社会的活動、地域貢献など

○ 地域協力活動

1. [学外審議会・委員会等]「県南生涯学習センター 運営委員会 委員長」(2016 年 04 月～)
2. [学外審議会・委員会等]「『水戸市スポーツ推進計画』(水戸市スポーツ主審会議)策定委員会 委員長」(2016 年 03 月～)
3. [学外審議会・委員会等]「『行方市スポーツ推進計画～誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる「生涯スポーツ社会」の実現～』策定アドバイザー」(2016 年 03 月～)
4. [学外審議会・委員会等]「県南生涯学習センター 運営委員会 副委員長」(1998 年 04 月～)
5. [学外審議会・委員会等]「水戸市スポーツ推進審議会 委員長」(1994 年 04 月～)
6. 茨城県生涯学習センターなど(年度不詳～)

人間環境教育課程	氏名 勝本 真
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 9 月
学歴・職歴	筑波大学 体育専門学群[1981 年卒業] 筑波大学大学院 体育研究科 コーチ学[1984 年修了] 大学教育センター・副センター長(教育点検支援部)(2008 年 4 月～2013 年 3 月) 茨城大学教育学部附属小学校校長(2015 年 4 月～2018 年 3 月)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会 日本スポーツ方法学会 日本バレーボール学会 日本教育工学会 日本バイオメカニクス学会
専門分野	身体教育学 教育工学 バイオメカニクス
教育研究概要	バレーボールの指導法に関する研究は、1)バレーボールの技術指導に関する研究、2)バレーボールのゲーム分析に関する研究、3)小中学校におけるバレーボール教材としての教科教育的研究の三つに大別することができる。1)は、画像分析を用いてパスやスパイクなどの動作を分析し、バレーボールの基本技術を解明してきた。その情報をもとにして斬新な連続的イラストを用いた指導書を作成している。指導書は、様々なレベルに合わせて作成しており、中学校授業向けの本では技術レベルに合わせた練習課題を紹介している。2)は、DLT法画像分析によりフォーメーションの分析を行い、競技レベルによる違いを明らかにした。チームの得点力を構成する要因を解明し、ゲーム分析項目の決定に貴重な資料を提供し、その要因をもとにし BASIC 言語を用いてゲーム分析ソフトを開発している。3)は、中学校バレーボール技術指導のための学校体育実技指導者講習会の講師を務め、その経験をもとに、中学校のバレーボールにワンバウンドでの 3 人制ルールを導入した授業研究や 3 人制から正規ルールへの移行をスムーズに行うための教材研究を行っている。近年、小学校にソフトバレーボールが導入され、バレーボール教材の再検討が求められており、中学年の「基本の運動」にバレーボールの動きを入れた教材を開発して実践している。
	(キーワード)バレーボール指導法 体育科教育 コーチング ゲーム分析
担当科目	(教養科目)身体活動[チームスポーツ(ネットスポーツ)], 主題別ゼミナール[保健体育入門]

	<p>(専門科目)バレーボール指導法/バレーボール(中教科:保体)/バレーボール(人間環境)/バレーボール指導法/バレーボール(人間環境), ボールゲーム方法論 II/ボールゲーム方法論 II(健康), 体育科教育法研究[後期], 運動学概論, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)コーチング論特講, 保健体育科学総合研究, 特別課題研究</p>
--	---

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

中学校体育におけるバレーボールのドリル教材に関する研究：男子のアンダーハンドパスに着目して / 山中, 愛美, 竹内, 洋人, 勝本, 真, 茨城大学教育学部紀要(教育総合) no. 増刊号 pp.495-503, 2014

オーバーハンドスローの動作習得における両側性転移の可能性に関する研究 / 星野, 千恵, 勝本, 真, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学 Vol.64 pp.341-351, 2015

小学生の投能力向上のための練習プログラムの研究：リリース時の上肢の動きに着目して / 佐藤, 天馬, 勝本, 真, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学 Vol.66 pp.197-208, 2017

研究業績(2)学会発表など

バレーボールにおける得失点の流れをリアルタイム処理するゲーム分析の試み—ICTを活用したゲーム分析プログラムの開発—, 第 21 回バレーボール学会(2016)

3 次元 DLT 法におけるスナップ動作に関する研究(1)—コントロールを重視したスパイクスイングとフルスイングの差に着目して—, 第 21 回バレーボール学会(2016)

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「第 74 回国民体育大会茨城県競技力向上対策本部」[普及強化委員]

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 第 74 回国民体育大会茨城県競技力向上対策本部・強化普及委員(2012 年 04 月～)

2. [非常勤講師] 「保健体育」・独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校・講師(2011 年 04 月～2015 年 03 月)

○ 学協会での役職

1. 全国国立大学附属連盟, 理事(2015 年 06 月～2016 年 06 月)

2. 日本教育大学協会関東地区, 理事(2017 年 04 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「平成 28 年度運動部活動指導者研修会(国内)」, 茨城県教育委員会(茨城県水戸市)[その他](2016 年 11 月)

2. 「平成 28 年度学校体育担当教員実技指導者研修会(国内)」, 茨城県高等学校教育研究会(茨城県土浦市)[その他](2016 年 11 月)

3. 「平成 28 年度那珂市中学校運動部活動競技力向上事業(バレーボール)(国内)」, 那珂市教育

研究会(茨城県那珂市)[その他](2016年08月)

4. 「第55回茨城県教育研究総会(国内)」, 茨城県教育研究会(茨城県水戸市)[招待講演](2016年05月)

○ 地域協力活動

1. [地域貢献事業]「茨城県バレーボール協会理事」(2012年04月～)

2. NPO 法人 スマイルクラブ(2000年04月～)

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 吉野 聡
------------------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1967 年 6 月
学歴・職歴	大阪教育大学 保健体育[1991 年] 筑波大学大学院 体育研究科 体育方法学[1993 年] 江戸川学園取手中・高等学校(1996 年 4 月～1999 年 3 月) 筑波大学体育科学系(1999 年 4 月～2001 年 3 月) 茨城大学教育学部(2001 年 4 月～)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	推奨授業(2006)
所属学会	日本体育学会 日本体育授業研究会 日本体育科教育学会 日本スポーツ教育学会 日本学校保健学会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	体育カリキュラム 体育教師教育 (キーワード) 体育教師教育 授業研究 体育カリキュラム 指導法
担当科目	(教養科目) 大学入門ゼミ[保健体育科学入門], 身体活動[屋外ボールゲーム I (C)], 身体活動[サッカー II (C)] (専門科目) 体育科内容研究, 保育内容の研究(健康), ボールゲーム方法論 I, 体育科教育法研究, サッカー, 保健体育科教育法研究 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 体育授業設計, 体育科教育学特論, 保健体育科教育学特論, 体育科教育学演習, 保健体育科教育学演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>[論文]</p> <p>吉野聡(2016)子どもの主体的な学びを保障する体育の授業づくり。ーこれまでの論議に学ぶ学習指導論の考え方。楽しい体育の授業。33(7)。明治図書。6-9。</p> <p>吉野聡(2016)学習指導要領改訂の方向性の中で目指されている「資質・能力」とは。楽しい体育授業。33(2)。明治図書。4-7。</p> <p>吉野聡(2017)ボールゲームで育成を目指す資質・能力とは。体育科教育。65(2)。大修館書店。18-21。</p> <p>[著書]</p> <p>吉野聡(2017)体育的な見方・考え方。楽しい体育の授業編集部。平成 29 年度学習指導要</p>
--

領改訂のポイント 小・中 体育・保健体育科. 第 1 章キーワードでみる学習指導要領改訂のポイント. 明治図書. pp. 24-27.

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本スポーツ教育学会, 国際交流委員長 (2015 年 04 月～現在)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「The 2016 International Conference for the 5th East Asian Alliance of Sport Pedagogy (国外)」, East Asian Alliance of Sport Pedagogy (National Taiwan Normal University) [招待講演] (2016 年 12 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ ララミー ワイオミング大学 [情報収集] (2016 年 6 月:1 日間)

ドイツ ケルン ドイツ体育大学 [情報収集] (2016 年 7 月:3 日間)

アメリカ コロンバス オハイオ州立大学 [情報交換] (2016 年 8 月～9 月:4 日間)

台湾 台北 国立台湾師範大学 [招待講演] (2016 年 12 月:1 日間)

科学研究費補助金などの受領

「球技領域における学習者の躰きとその改善のための手立てに関する研究」(平成 28-30 年度 吉野聡研究代表、基盤研究 C、286,0000 円)

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 中嶋 哲也
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	<p>埼玉大学 教育学部 生涯学習課程健康スポーツコース[2005年03月卒業]</p> <p>早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科 スポーツ科学専攻[2011年03月修了]</p> <p>横浜 YMCA スポーツ専門学校 非常勤講師(2006年4月～2011年3月)</p> <p>埼玉大学 非常勤講師(2008年4月～2013年3月)</p> <p>早稲田大学スポーツ科学学術院 助手(2011年4月～2013年3月)</p> <p>鹿児島大学教育学部 講師(2013年4月～2015年4月)</p> <p>鹿児島県立短期大学 非常勤講師(2014年4月～2015年3月)</p> <p>専修大学 非常勤講師(2016年4月～)</p>
学位	博士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会 スポーツ史学会 早稲田文化人類学会 日本武道学会 日本スポーツ人類学会
専門分野	スポーツ人類学 武道論 文化人類学 社会史
教育研究概要	(キーワード)柔道の歴史、古武道の近現代史、古流武術の民族誌
担当科目	<p>(教養科目)主題別ゼミナール[保健体育入門], 身体活動[個人スポーツ], 身体活動[ネットスポーツⅡ(C)]</p> <p>(専門科目)体育科教育法研究, 柔道, 体育学概論, 武道方法論, 柔道指導法, 体育史, 卒業研究(教育:4単位)</p> <p>(大学院科目)体育史特論, 保健体育科学総合研究</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1.[著書単著] 中嶋哲也「近代日本の武道論:〈武道のスポーツ化〉問題の誕生」国書刊行会 2017年7月</p> <p>2.[著書分担] 寒川恒夫編『よくわかるスポーツ人類学』「第Ⅰ部3-3世界を駆ける柔術、第Ⅲ部19-4古武道」ミネルヴァ書房 2017年3月</p> <p>3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]中嶋哲也「幕末における柔術試合の台頭とその実態: 天神真楊流・磯道場『他流試合性名控』の分析」, 講道館科学研究会紀要, 16(2017年03月)</p> <p>4. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]中嶋哲也「日中戦争以降における武道の戦技化の起源</p>
--

とその背景：武道振興委員会の審議過程の分析」, 武道学研究, 49, 2(2016 年 12 月)

研究業績(2) 学会発表など

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

柔道部監督。

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

[海外研究発表]Tetsuya NAKAJIMA, “An Ethnographic Study of Shinkage-ryu”, ‘New Research on Japanese Martial Arts - From Inside Japan and Out’, Bath Royal Literary and Scientific Institution, Bath, UK, on 3rd May 2017.

科学研究費補助金などの受領

[研究代表]中嶋哲也, 「人類学的手法を用いた武術思想の実践的研究:新陰流を事例にして」, 若手研究(B), 研究課題番号 17K13133, H29-32.

[研究分担]菱田慶文・細谷洋子・中嶋哲也, 「ブラジルにおける格闘技の意義 ～格闘技観、教育観、娯楽観～」, 基盤研究(C), 研究課題番号 16K01712, H28-30.

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 大津 展子
------------------	----------

教員履歴など

現職	講師
生年月	1978年10月8日
学歴・職歴	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 学校教育学専攻[2009年03月中退] 筑波大学附属坂戸高等学校(2006年4月～2011年3月) 尚美学園大学 総合政策学部 ライフマネジメント学科(2011年4月～2014年3月) 茨城大学 教育学部(2014年4月～)
学位	修士(体育学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本スポーツ教育学会 体育授業研究会 筑波大学教育学会 日本体育学会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	体育科における社会的な態度育成に関する研究 (キーワード)体育科教育学 体育授業 教材研究 社会的な意識 社会的な行動 社会的な態度
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[保健体育入門], 身体活動[屋内ボールゲーム I (C)], 身体活動[屋外ボールゲーム II (C)], 身体活動[ソフトボール II (C)] (専門科目)体育科内容研究, 保健体育科教育法研究 II, 体育科教育法研究[後期], ソフトボール指導法/ソフトボール/ソフトボール/ソフトボール指導法/ソフトボール, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)体育授業設計, 体育科教育学特論, 保健体育科教育学特論, 体育科教育学演習, 保健体育科教育学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [著書・]茨城大学・生越達・大津展子他「楽しく遊んで、子供を伸ばす」, 福村出版, (2016年08月10日)</p> <p>2. [その他・単著]大津展子「アクティブラーニングを促す学習環境」, (公)日本女子体育連盟, (2016年08月01日)</p> <p>3. [研究論文(大学, 研究機関紀要) 【査読あり】]大津展子・高田晶子・吉野聡・内田雄三「中学校選択制ダンス授業における一考察 ―生徒の授業評価と感想を中心として―」, 白鷗大学論集, (2016年05月16日)</p>

研究業績(2)学会発表など

口頭発表

2003 年 9 月 (単) スポーツ教育モデルの有効性の検証ー小学校 3 年生のフラッグフットボールの授業を通してー, 日本体育学会, 第 54 回大会, 熊本大学.

2003 年 10 月 (単) スポーツ教育モデルの有効性の検証ー小学校 5 年生のファウストボール・小学校 6 年生のユニホッケーの授業を通してフェアプレイと役割行動からみる児童の倫理観と社会性の発達ー, スポーツ教育学会, 第 23 回大会, 京都女子大学.

2005 年 9 月 (単) 体育科における社会的態度育成の可能性に関する実証的研究ースポーツ教育モデルの実践を通してー, 日本体育学会, 第 56 回大会, 筑波大学.

2007 年 9 月 (共) 大津展子・三木ひろみ他 教育実習生における実習日誌記録の変容に関する検討ーマネジメント・インストラクション・フィードバック・評価の観点からー, 第 27 回大会, 信州大学教育学部.

2008 年 10 月 (共) 大津展子・三木ひろみ他 教育実習の効果についての事例研究ー事前指導との比較と実習後のテストからー, スポーツ教育学会, 第 28 回大会, 奈良教育大学.

2011 年 10 月 (共) 大津展子・本弓康之他 地球環境の総合的な学習を可能にする高大連携授業の実証研究ー高等学校全学年を対象とした黒姫での宿泊実習を通してー, 日本野外教育学会, 第 14 回大会, 筑波大学.

2011 年 11 月 (単) 新学習指導要領「ダンス」の具体化に関する実践研究ー高等学校「創作ダンス」を対象にしてー, スポーツ教育学会, 第 31 回大会, 兵庫教育大学神戸サテライト.

ポスター発表

2012.12.9 Practical Study on the reification of "dance" New National Curriculum -Intended for "Creative Dance in High School"-, 2012 East Asia Sport Pedagogy Conference (EASPC).

2013.10.19 Examination of methods and techniques for instructing in rhythm dance class to improve skill "To dance by the whole body getting into the rhythm" - Unit of rhythm dance class in physical education class in junior high school -, Japanese society of Sport Education conference 2013.

2014.8.22 Research on communication ability improvement in physical education stay study of high school, 2014 East Asian Alliance of Sport Pedagogy Conference.

研究業績(3)芸術・体育系の活動

硬式野球部部長 女子ソフトボール部部長

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 白鷗大学・(2015 年 04 月～)

○ 地域協力活動

1. [学外審議会・委員会等]「(公社)日本女子体育連盟 サマーセミナー委員」(2017 年 4 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

タイ プークェット ChongMountainViewHotel, コクライ村[研究打合せ, 調査整理, フィールド調査, 調査発表](2016 年 8 月～9 月:6 日間)

台湾 台北 国立台湾師範大学[学会参加、ポスター発表](2016 年 12 月:1 日間)

科学研究費補助金などの受領

科学研究費補助金(学術研究助成基金助成金)(若手研究(B))

課題番号等 26750250 2014 年 4 月 ～ 2017 年 3 月

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 工藤 雄司
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1959年6月
学歴・職歴	<p>広島大学 学校教育学部 中学校教員養成課程 技術専攻[1984年03月卒業] 東京学芸大学大学院 教育学研究科 技術教育専攻(電気講座)[1987年03月修了]</p> <p>学校法人科学技術学園高等学校・教諭(1987年4月～1991年3月) 筑波大学附属坂戸高等学校・文部教官教諭(1991年4月～2012年3月) 埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「情報コミュニケーション技術」(2000年4月～2004年9月) 筑波大学・非常勤講師(人間学群)「教育内容・方法論Ⅱ」(2004年4月～) 埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「情報システム技術」(2005年4月～2005年9月) 愛知教育大学・非常勤講師(教育学部)「工業科教育CⅡ」(2007年12月～2008年3月) 茨城大学・非常勤講師(教育学部)「情報教育研究法」(2009年4月～2012年3月) 埼玉大学・非常勤講師(教育学部)「家庭電気・機械・情報処理」(2009年10月～) 茨城大学・非常勤講師(教育学部)「情報と職業」「職業指導原論」(2010年4月～2012年3月) 茨城大学・教授(教育学部 技術教育教室)(2012年4月～)</p>
学位	教育学修士[東京学芸大学]
受賞歴	日本教育情報学会論文賞(2013)
所属学会	日本産業技術教育学会 日本工業技術教育学会 日本教科教育学会 日本教育情報学会 筑波大学教育学会 日本情報科教育学会
専門分野	教科教育学 情報教育
教育研究概要	<p>中学校技術・家庭科(技術分野), 高等学校情報科, 工業科, 情報教育に関する研究と教材開発に関する研究</p> <p>(キーワード)各教科の教育(技術, 情報), 専門教科の教育(工業), 情報教育, 教材開発</p>
担当科目	<p>(教養科目)主題別ゼミナール[技術教育概論], 情報処理概論[情報リテラシー] (専門科目)技術科教育演習A, 情報通信ネットワーク, 技術科教科論, 基礎情報</p>

処理(高教科:工業)/基礎情報処理(情報文化), 技術科教育法特講 I, 技術科教育法特講 II, 情報教育研究法(技術)/情報教育研究法(家庭), 情報と職業, 卒業研究(教育:4 単位)

(大学院科目)技術科教育特論 I, 技術科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]村上綾香, 本村猛能, 森山潤, 角和博, 山本利一, 工藤雄司「Comparison of Student's attitude towards Information education among Junior and Senior High Schools in Japan, Korea, China and Slovenia」, Proceedings of the 9th Biennial International Conference on Technology Education Research, 200-207(2016 年 12 月 1 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

- [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 工藤雄司, 本村猛能, 山本 利一, 本郷健, 森山潤「中学・高校の情報教育体系化に向けた「情報の科学」に対応する論理回路教材を活用した実践の提案」日本教育情報学会第 32 回年会(福山)(福山大学宮地茂記念館)[2016 年 08 月 21 日]
- [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 工藤雄司, 平田晴路「計測制御技術におけるエネルギー変換を扱う教材の開発」日本産業技術教育学会第 59 回全国大会(京都)(京都教育大学)[2016 年 08 月 28 日]
- [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 工藤雄司, 本村猛能, 山本 利一, 本郷健, 森山潤「中学校・高等学校の情報教育の体系化に向けてー「情報の科学」における論理回路学習の実践を通してー」日本産業技術教育学会関東支部会埼玉大会(埼玉大学教育学部)[2016 年 12 月 11 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

- [非常勤講師] 埼玉大学教育学部・非常勤講師(2012 年 04 月～)
- [非常勤講師] 筑波大学人間学群・非常勤講師(2012 年 04 月～)
- [非常勤講師] 筑波技術大学・非常勤講師(2012 年 04 月～)

○ 学協会での役職

- 日本産業技術教育学会, 評議員(2016 年 08 月～)
- 日本教育情報学会, 評議員(2016 年 08 月～)
- 日本工業技術教育学会, 事務局(1998 年 07 月～)
- 日本工業技術教育学会, 編集委員(1998 年 07 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

オーストラリア アデレード サウスオーストラリア大学[大学訪問及び大会参加のため](2016 年 11 月～12 月:3 日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]萌芽研究(代表)「触覚・力覚インタフェースによる制御学習支援システムの研究」, 286 万円 (2013 年 04 月 01 日～2016 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 榊 守
------------------	--------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1961 年 4 月
学歴・職歴	釧路工業高等専門学校大学院[1983 年卒業] 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 電気・電子工学[1987 年修了] 釧路工業高等専門学校 電気工学科 助手(1987 年 4 月～1989 年 3 月) 釧路工業高等専門学校 電気工学科 講師(1989 年 4 月～1994 年 3 月) 豊橋技術科学大学 電気・電子工学系 講師(1994 年 4 月～1996 年 3 月) 釧路工業高等専門学校 電気工学科 助教授 (1996 年 4 月～2000 年 3 月) 茨城大学助教授 教育学部(2000 年 4 月～2012 年 3 月) 茨城大学教授 教育学部(2012 年 4 月～) 茨城大学教育学部附属中学校長(2017 年 4 月～)
学位	博士(工学)[豊橋技術科学大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本産業技術教育学会 表面技術協会 日本視覚障害理科教育研究会 日本生活支援工学会
専門分野	放電応用 福祉機器
教育研究概要	教育学部で基礎電気などの電気・電子関連科目の講義・実習を担当。研究分野： 火花放電の応用研究および視覚障害者用学習支援装置の研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[技術教育概論], 物理学【物理学実験基礎】[物理学実験基礎] (専門科目)電気工学演習, 電気工学, 電気の基礎技術, 基礎電気, 電気の応用技術, 家庭電気・機械, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)電気工学特論 I, 技術科授業設計, 電気工学演習 I

研究業績(2)学会発表など

<ol style="list-style-type: none"> [ポスター発表・国内会議(共同)]平沼清一, 榊 守「視覚障害者用光プローブの開発」, 精密工学会 2016 年度秋季[全] [ポスター発表・国際会議(共同)] S. Hiranuma, M. Sakaki, “Computer Hard Disk Drive Transforms into the Bone Conduction Speakers,” <i>HSCI 2016 The Hand-on Scienc</i>, Masaryk University (2016 年 7 月 20 日)
--

社会的活動、地域貢献など

○ 地域協力活動

茨城県立盲学校と共同研究(2009年11月～)

○ 学協会での役職

一般社団法人表面技術協会 評議委員

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

チェコ ブルノ Masaryk University[情報収集](2016年7月:3日間)

科学研究費補助金などの受領

[科研費]萌芽研究(代表)「視覚特別支援学校等で用いる触覚タイプ色彩伝達装置の開発」,
(2016年04月10日～2018年02月28日)

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 大西 有
------------------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1966 年 2 月
学歴・職歴	北海道教育大学旭川校 北海道教育委員会指導主事
学位	学士
受賞歴	なし
所属学会	日本産業技術教育学会
専門分野	技術科教育
教育研究概要	技術科教育の進め方
	(キーワード) 技術の見方・考え方, カリキュラム・マネジメント
担当科目	技術科教育法 I・II, 生物育成概論, 生物育成の基礎技術, 生物育成の応用技術, 技術科教科論, 技術科内容研究, 小学校情報教育プログラム, 生活科内容研究, 保育内容の研究,

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>【論文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育における栽培, 飼育の学習指導に関する研究—小学校生活科, 総合的な学習の時間と中学校技術分野の学習内容の接続— (茨城大学教育学部紀要 (教育科学) 67 号 (2018)) ・小学校生活科の教育課程改善に向けた一考察 — 社会情動的スキルの発達を促す生活科の指導 — (茨城大学教育実践研究 36 (2017)) <p>【著書】 (作成中)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容研究と指導法の実践的課題 (茨城大学教育学部幼児教育実践研究会) ・生活科内容と指導に関する実践的課題 (茨城大学教育学部生活科教育実践研究会)

社会的活動、地域貢献など

<ul style="list-style-type: none"> ・教育学部附属農場を利用した附属幼稚園児対象のイモ掘り体験 ・いばらきものづくり教育フェア審査員 ・附属小学校と連携した情報通信機器を用いた授業参観 ・附属中学校と連携した情報通信機器を用いた授業参観 (実施予定)
--

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 白坂 高司
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1981 年 4 月
学歴・職歴	広島大学大学院 教育学研究科[2007 年 03 月修了] 広島大学大学院 教育学研究科[2011 年 03 月修了]
学位	修士(教育学)[広島大学] 博士(学術)[広島大学]
受賞歴	茨城大学 学長表彰(推奨授業)(2014)
所属学会	日本産業技術教育学会 日本教科教育学会 日本科学教育学会 日本教育工学会 電気学会
専門分野	木材加工教育, 教科教育学
教育研究概要	(キーワード) 中学校技術科, 木材加工, ものづくり教育, 技術教育, 教育システム
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[技術教育概論], 情報処理概論[情報リテラシー] (専門科目) 技術科指導法(木材加工実習)/木材加工の基礎技術, 木材加工演習, 基礎木材加工, 木材加工の応用技術, 木材加工学, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 木材加工学特論, 技術科授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [単行本(学術書)・共著]茨城大学教育学部(編集), 茨城大学教育学部附属幼稚園(編集)「楽しく遊んで、子どもを伸ばす 子育て・保育の悩みに教育研究者が答える Q&A」, 福村出版, pp.42-45 (2016 年 08 月)</p> <p>2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]出野洋嗣, 野崎英明, 白坂高司, 竹野, 英敏「中学校技術科「材料と加工に関する技術」における危険予知活動実施による生徒の安全能力育成に関する検証」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), Vol.65, 147-160(2016 年)</p> <p>3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]葛山竣介, 白坂高司「タッチタイピングにおける技能習熟モデルの研究」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), Vol.65, 161-172(2016 年)</p> <p>4. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著【査読あり】]Takashi Usuzaka, Kento Tsutsumi, Toru Yamamoto "Development of an Individual Learning Support System Based on Control Technology", Proceedings of Society for Information Technology & Teacher Education International Conference, 1523-1528(2016 年)</p>

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・] 葛山竣介, 臼坂高司, 勝二博亮「教示方法の違いが及ぼすのこぎり引きへの学習効果と脳活動の関連」第 28 回日本産業技術教育学会関東支部大会(埼玉)() [2016 年 12 月 11 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 電気学会, 制御工学・制御技術教育に関する調査専門委員会(2015 年 10 月～)

○ 地域協力活動

1. 茨城県県西地区技術教育研究会[地域貢献事業]「茨城県県西地区技術教育研究会 夏季研修会講師」(2011 年 07 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ ワシントン Hyatto regency savannah[情報収集](2016 年 3 月:4 日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]若手研究(B)(代表)「ものづくり学習における神経教育学的アプローチを取り入れたカリキュラム開発」, 234 万円 (2015 年 04 月～2018 年 03 月)

学校教育教員養成課程(技術教育)	氏名 堤 一郎
------------------	---------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1950 年 3 月
学歴・職歴	
学位	
受賞歴	「新幹線 50 年史」刊行感謝状(一般社団法人日本交通協会) (2015) 日本技術史教育学会創立 20 周年記念特別表彰 (2016)
所属学会	日本交通協会 日本機械学会 日本技術史教育学会 産業考古学会
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [報告書・共著] 新井宏則・堤 一郎・中森 祥・光木義則・川上敬介・藤本高明・古川郁夫・伊吹紀史・大塚 幸・笹尾千恵子・山本恭子・中原 斉 「旧日ノ丸自動車法勝寺鉄道デハ 201 形 203 号電動客車」保存修理事業報告書, 鳥取県南部町教育委員会, pp.4-8, pp.89-91 (2016 年 10 月)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・共著] 堤一郎・安田健一 「茨城県内の煉瓦造鉄道施設に関する追跡調査ー停車場内煉瓦造危険品庫についてー」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), Vol.65, 173-185 (2016 年)
3. [研究論文(学術雑誌)・共著【査読あり】] 牛山 泉・堤 一郎 「日本技術史教育学会の沿革と展望」, 科学史研究, Vol.55, No.280, 297-305 (2017 年 1 月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(招待・特別)] 日本科学史学会 75 周年記念第 63 回年会(工学院大学), パネリスト [2016 年 5 月]
2. [口頭発表(一般)] 日本技術史教育学会 2016 年度全国大会(松江)(島根県松江市(サンラポーむらぐも)) [2016 年 12 月]
3. [口頭発表(招待・特別)] 日本技術史教育学会関西支部 2016 年度総会講演会(大阪産業大学) [2017 年 3 月]

4. [口頭発表(一般)]日本機械学会九州支部第 70 期総会・講演会(佐賀大学)[2017 年 3 月]

社会的活動、地域貢献など

1. [招待講演, パネリスト] (一社)日本鉄道車両機械技術協会関西支部講演会, 鳥取県米子市 (2016 年 5 月)
2. [基調講演, パネリスト] 広島県立歴史博物館企画展開催講演会・博物館大学, 広島県福山市 (2016 年 8 月)
3. [基調講演, パネリスト] 233 号機関車「重要文化財指定」記念講演会, 京都府京都市 (2016 年 10 月)
4. [招待講演, パネリスト] (一社)日本鉄道車両機械技術協会関西支部講演会, 大阪府大阪市 (2017 年 3 月)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 木村 美智子
------------------	-----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 3 月
学歴・職歴	<p>お茶の水女子大学 家政学部 被服学科[1981 年 03 月卒業]</p> <p>お茶の水女子大学大学院 家政学研究科 被服学[1983 年 03 月修了]</p> <p>お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 人間環境学[1989 年 03 月修了]</p> <p>お茶の水女子大学家政学部被服学科・文部技官(1983 年 4 月～1984 年 3 月)</p> <p>放送大学・非常勤講師(1987 年 8 月～1988 年 3 月)</p> <p>桜の聖母短期大学・非常勤講師(1988 年 4 月～1989 年 3 月)</p> <p>桜の聖母短期大学・講師(1989 年 4 月～1993 年 3 月)</p> <p>太田看護専門学校・非常勤講師(1990 年 4 月～)</p> <p>桜の聖母短期大学・助教授(1993 年 4 月～1999 年 3 月)</p> <p>お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(1995 年 10 月～1999 年 3 月)</p> <p>東北文化学園大学科学技術学部・講師(1999 年 4 月～2004 年 3 月)</p> <p>東北文化学園大学・助教授(2004 年 4 月～2009 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部・准教授(2009 年 4 月～2012 年 3 月)</p> <p>お茶の水女子大学生生活科学部・非常勤講師(2010 年 10 月～)</p> <p>茨城大学教育学部・教授(2012 年 4 月～)</p>
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	<p>日本環境共生学会発表論文賞(2006)</p> <p>お茶の水女子大学大学院人間文化研究科奨学金(1995)</p> <p>お茶の水女子大学家政学部被服学奨学金(1989)</p>
所属学会	日本繊維製品消費科学会 日本家庭科教育学会 日本環境共生学会 日本環境教育学会 日本生活学会 日本油化学会 繊維学会 日本家政学会
専門分野	生活科学 科学教育
教育研究概要	<p>環境に配慮したライフスタイルを構築するための研究を展開しています。その1つは環境負荷を低減する洗濯方式に関する研究、2つ目は天然資源を有効に活用する染色方法に関する研究、3つ目に環境教育の視点に立った家庭科教育の研究を進めています。</p> <p>(キーワード)洗淨科学, 被服学, 生活環境学, 環境教育</p>
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[生活環境とライフスタイル]

	(専門科目)初等家庭科内容研究, アパレル科学, 被服構成学基礎, 衣生活論, 初等家庭科内容研究, 被服科学, 被服学演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)被服学特論, 初等生活科学総合研究, 被服学演習
--	---

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]川端博子, 中谷俊裕, 祖父江仁成, 木村美智子, 友光理恵「中学生の基礎縫い技能の実態と動画教材を用いた指導の試み」, 埼玉大学教育学部附属教育実践総合センター紀要, 16, 111-116(2017年03月31日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]小林祥子, 木村美智子「中学校家庭科における「日常着の手入れ」に関する課題について」, 茨城大学教育学部実践研究, 35, 137-144(2017年03月31日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]木村美智子, 川端博子「マイクロバブルを用いた布の洗浄性」, 茨城大学教育学部紀要, 66(2017年03月31日)
4. [(MISC)研究論文単著【依頼/招待】]木村美智子「大学生の洗濯行動と家庭科の「衣服の手入れ」における課題」, 洗濯の科学, (2017年02月25日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 木村美智子「繊維製品のリサイクルと循環型社会の課題—環境配慮意識を培うアクティブラーニング—」日本環境共生学会 2016 年度学術大会(立正大学)[2016年09月18日]
2. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(単独)] 木村美智子「被服領域の教育～被服整理学分野の研究成果をどう活用するか～」一般社団法人日本家政学会第1回家政学夏季セミナー(実践女子大学)[2016年08月30日]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 常磐短期大学・(2016年04月～)
2. [非常勤講師] お茶の水女子大学・(2010年10月～)
3. [非常勤講師] 太田看護専門学校・(1990年04月～)

○ 学協会での役職

1. 日本環境共生学会, 理事(2007年05月～)
2. 日本油化学会, 洗剤・洗浄部会幹事(2007年04月～)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(A)一般(分担)「新型洗剤を軸にした持続可能な生活のための洗浄システムの

開発と洗浄力評価」, 180 万円 (2014 年 07 月～2017 年 03 月)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 野中 美津枝
------------------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年3月
学歴・職歴	千葉大学大学院 教育学研究科 家政教育専攻[2001年03月修了] 日本女子大学大学院 人間社会研究科 教育学専攻[2017年03月修了] 山口県立徳佐高等学校・家庭科教諭(1984年4月～1987年3月) 山口県立久賀高等学校・家庭科教諭(1987年4月～1987年8月) 三基商事株式会社お客様相談室・消費生活アドバイザー相談員(1992年4月～1993年3月) 千葉商科大学付属高等学校・家庭科教諭(1994年4月～2008年3月) 九州女子大学家政学部人間生活学科・准教授(2008年4月～2009年3月) 愛媛大学教育学部・講師(2009年4月～2010年11月) 愛媛大学教育学部・准教授(2010年12月～2013年3月) 茨城大学教育学部・准教授(2013年4月～2017年3月) 茨城大学教育学部・教授(2017年4月～)
学位	教育学修士[千葉大学] 博士(教育学)[日本女子大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教科教育学会 日本教育工学会 日本消費者教育学会 日本家政学会 日本家庭科教育学会
専門分野	教科教育学 生活科学一般
教育研究概要	(キーワード)家庭科、消費者教育、食教育、参加型アクション志向学習
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[生活環境とライフスタイル] (専門科目)生活科内容研究, 生活科内容研究, 家庭科教育実践研究, 家庭科教諭, 中等家庭科内容研究, 家庭科教育学演 II, 初等家庭科教育法研究, 中等家庭科教育法研究, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)家庭科教育特論 II, 初等家庭科授業設計, 家庭科教育演習 II

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)共著]野中美津枝、増子律子「家庭科における小中連携のための実態調査ー小学生中学生の衣生活・住生活と家庭科の指導の状況ー」, 茨城大学教育実

実践研究, 35, 145-155(2016 年 11 月 30 日)

2. [単著【査読あり】]野中美津枝「小学生の消費生活課題解決能力を育成する授業デザイン」, 日本消費者教育学会「消費者教育」, **36**, 77-86(2016 年 09 月 30 日)

3. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]野中美津枝「高校家庭科における授業デザインと授業評価に関する実態調査からみる現状と課題」, 日本家庭科教育学会誌, **59**, 2, 73-83(2016 年 08 月 01 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 野中美津枝・安永有美「福祉生活課題解決能力を育成する授業のアクション・リサーチ」日本教育工学会第 32 回全国大会(大阪)[2016 年 09 月 19 日]

2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「東京都立高等学校家庭科における班別学習(少人数編成授業)設置の経緯と実態調査」第 59 回日本家庭科教育学会(新潟)[2016 年 07 月 10 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本家庭科教育学会関東地区会, 副会長(2016 年 07 月～2017 年 07 月)

3. 日本教育大学協会全国家庭科部門, 庶務、会計監査(2016 年 04 月～2017 年 03 月)

4. 日本教育大学協会全国家庭科部門関東地区会, 会長(2016 年 04 月～2017 年 03 月)

5. 日本家庭科教育学会, 理事(2015 年 06 月～)

7. 日本家庭科教育学会関東地区会, 庶務(2014 年 08 月～2016 年 07 月)

8. 日本家庭科教育学会, 日本家庭科教育学会誌編集委員(2014 年 07 月～)

科学研究費補助金などの受領

2014～2016 年度 科学研究費 基盤研究(C)

「生活課題解決能力を育成する授業デザインと授業評価」

(研究課題番号 26350306、研究代表者)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 数井 みゆき
------------------	-----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1961 年 4 月
学歴・職歴	ノースミシガン大学 文理学部 心理(アメリカ)[1985 年卒業] ユタ大学院 心理学科 Developmental Psychology(アメリカ)[1988 年修了] メーランド大学院 Dept. of Psychology, Graduate Program 応用発達心理学(アメリカ)[1991 年修了] 日本学術振興会 特別研究員(お茶の水女子大学)(1994 年 4 月～1996 年 3 月) 茨城大学 教育学部 家政教育講座 助教授(1996 年 4 月～2005 年) 茨城大学教育学部家政教育教室 教授(2006 年 4 月～)
学位	心理学博士 (Ph.D. in Psychology)[メーランド大学(アメリカ合衆国)] 心理学修士 (M.S. in Psychology)[ユタ大学(アメリカ合衆国)]
受賞歴	日本発達心理学会論文賞(1998)
所属学会	日本発達心理学会 児童発達研究学会(society of Research in child Development) 日本教育心理学会 アメリカ心理学会(American Psychological Association) 日本心理臨床学会 日本保育学会 日本心理学会
専門分野	教育心理学
教育研究概要	本学では、家政教育教室で保育学を担当している。子どもの発達や子どもの現状、家族関係などについて、保育園などでの実習も含めて、教えている。専門は領域としては発達心理学で、研究として乳幼児のアタッチメントの発達、さらに、アタッチメントの生涯発達として、養育者側についても分析している。現在は、アタッチメントの世代間関連について、男性(父親)の実態の調査を始めている。 (キーワード)アタッチメント(の世代間連鎖)、男性の養育、アタッチメントと喪失
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[生活環境とライフスタイル] (専門科目)親子関係学, 保育学, 中等家庭科内容研究, 養育環境学, 保育学演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)児童学特論, 児童学演習, 初等家庭科授業設計

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国際会議(共同)] Megumi Kitagawa, Sayaka Iwamoto, Miyuki Kazui, Shimpei Kudo, Hiromi Matsuura, & Tomo Umemura. "What element of the Circle of Security program is

effective for caregivers with different attachment state of mind?" 7th International Attachment Conference (New York, NY) [2015 年 08 月 07 日]

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ ニューヨーク New School University New York City [学会発表] (2015 年 8 月 : 7 日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]「父方祖父－父親－子の3世代におけるアタッチメント」, 870 万円 (2012 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 石島 恵美子
------------------	-----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1966 年 12 月
学歴・職歴	千葉大学大学院 家政教育[年その他]
学位	修士
受賞歴	なし
所属学会	日本家庭科教育学会 日本調理科学会 日本教授学習心理学会 JAPTL 日本シ ティズンシップ教育フォーラム(J-CEF) 日本消費者教育学会
専門分野	家政・生活学一般 食生活学 教科教育学 調理学
教育研究概要	<p>高校生の社会参画意識を高める活動を主軸に研究しています。家庭科の授業内での教材や指導法の研究のほか、課外活動の中での可能性を提案しています。現在、茨城町の郷土料理の伝承活動を学生と行っています。</p> <p>(キーワード)家庭科 調理学 社会参画 授業研究 家庭クラブ 部活動 ホームプロジェクト 郷土料理</p>
担当科目	<p>(専門科目)初等家庭科内容研究, 初等家庭科教育法研究, 調理学基礎[1 単位], 初等家庭科内容研究, 中等家庭科内容研究, 初等家庭科教育法研究, 家庭科教育学演習 I, 調理学応用, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)家庭科教育特論 I, 初等生活科学総合研究, 国内実践教育演習, 家庭科教育演習 I</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [著書]「伝え継ぐ日本の家庭料理 すし」, 農文教, (2017 年 11 月 4 日)
2. [(MISC) 速報, 短報, 研究ノート等 (学術雑誌)] 「小学校家庭科における環境と食文化の教材研究— 箸に関する授業の成果と課題—」, 飯野朋恵, 石島恵美子, 茨城大学教育学部紀要.教育科学論集, 66, p.157-167 (2017 年 3 月)
3. [(MISC) 速報, 短報, 研究ノート等 (学術雑誌)] 「小学校家庭科の手縫い学習における生活実践状況と課題」, 飯田容子, 石島恵美子, 茨城大学教育学部紀要. 教育科学論集, 66, p.169-178 (2017 年 3 月)
4. [(MISC) 速報, 短報, 研究ノート等 (学術雑誌)] 「家庭科教員養成系学部における調理実習のシラバス分析, ~消費者市民教育との関連で~」, 茨城大学教育学部紀要.教育科学論集, 66, p.261-270 (2017 年 09 月 01 日)

5. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(学術雑誌)【査読あり】] 「高大比較の経済的幸福度と金融知識の関係」, 橋長真紀子・石島恵美子, 日本消費者教育学会, 37, p.123-135(2017年 09 月 01 日)
6. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(学術雑誌)【査読あり】] 「茨城町の郷土料理“つと豆腐”の購入意向に関連した消費者特性」, 石島恵美子, 安島清武, 田口眞一, 櫻井 輔, 田村 誠, 阿部信一郎, 日本調理科学会, 50, 掲載予定

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
1. [口頭発表]「多人数の講演会における高校生の社会参画意識向上のための有効な手立ての検討～講演会で話を聞くことが好きではない生徒の学びに注目して～」日本教授学習心理学会第 13 回年会(仙台大学)[2017 年 07 月 1 日]
2. [ポスター発表]「茨城県のおやつ」日本調理科学会研究大会(お茶の水女子大学)[2017 年 8 月 31 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[その他(単独)]企画提案チャレンジ支援事業(2015 年 07 月)

社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
- 行政機関等での委員就任
1. 「学習指導要領作成助言協力員」文部科学省
- 兼業・兼職
2. [兼業] 茨城県竜ヶ崎第二高等学校・いばらき高等学校学力向上推進総合事業に関わる学力向上運営指導委員(2016 年 06 月～)
3. [兼業] いばらきものづくり教育フェア「児童・作品コンクール」審査員(2017 年 11 月 9 日)
4. [兼業] 文部科学省・学習指導要領作成助言協力委員(2017 年 01 月～)
6. [兼業] 茨城町・茨城町まち・ひと・しごと創生有識者(2015 年 04 月～)
7. [兼業] 茨城県家庭科教育研究会審査員(2017 年 10 月 14 日)
- 学協会での役職
1. 全国高等学校家庭クラブ連盟, ホームプロジェクトコンクール審査員(2016 年 11 月～)
2. 茨城町, まち・ひと・しごと創生有識者会議(2015 年 04 月～)
3. 日本家庭科教育学会関東支部, 理事(2014 年 7 月～)
4. ものづくりのまなびのネットワーク茨城県代表(2015 年 4 月～)
- 講演会・シンポジウム
1. 「茨城県立茨城東高等学校「道徳」および「道徳プラス」(国内)」, 茨城県立茨城東高等学校 [招待講演](2017 年 11 月)

2. 茨城大学教育学部附属幼稚園「子育て講座」「5歳までの「お料理」で五感を鍛えよう!」,
[招待講演](2017年1月29日)
 3. [学外審議会・委員会等]NPO 環主催収穫祭,郷土料理講師「つと豆腐」[招待講演](2017年11月11日)
 4. 葵稜高校,Iコース,「食文化と地域」[招待講演](2017年12月19日)
- 地域協力活動
1. [学外審議会・委員会等]「まち・ひと・しごと創生有識者会議」(2015年07月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

デンマーク小中学校教育視察 (IASCE) (2015年9月～10月)

科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
1. [科研費](代表)「高校家庭科における社会参画教育に関する教師教育プログラムの構築」, 455万円 (2016年04月01日～2019年03月31日)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 佐藤 裕紀子
------------------	-----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1968 年 2 月
学歴・職歴	お茶の水女子大学 家政 家庭経営[1991 年 03 月卒業] お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 人間発達学[2004 年 03 月単位取得満期退学]
学位	博士(学術)[お茶の水女子大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本家政学会 日本家政学会家族関係学部会 日本家政学会生活経営学部会 日本家族社会学会 日本家庭科教育学会 日本家政学会家政学原論部会
専門分野	生活科学一般
教育研究概要	<ul style="list-style-type: none"> ・家族・家庭生活に関する教育政策についての史的 research ・生活時間のジェンダー・バランスに関する research ・女性の職業的キャリアと家族キャリアに関する research
	(キーワード) 家族関係、家政教育、家庭科教育、ライフスタイル、生活時間
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[生活科学の視点] (専門科目) 初等家庭科内容研究, 家庭経営学, 初等家庭科内容研究, 家族とジェンダー, 家庭経営学演習, 家事労働論, 現代家族論, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 初等生活科学総合研究, 家族関係学特論, 家族関係学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]佐藤裕紀子「女性教員のキャリア形成における出産・子育ての影響とその関連要因—女性学校管理職教員への質問紙調査から—」, 生活経営学研究, 52, 49-57(2017 年 03 月 31 日)</p>
--

研究業績(2)学会発表など

<p>○ 学会発表等</p> <p>1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 佐藤裕紀子「女性教員のキャリア形成における出産・子育ての影響～女性学校管理職教員への質問紙調査から～」日本家政学会生活経営学部会夏期セミナー(東京)[2016 年 08 月 25 日]</p>

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 水戸市子ども・子育て会議 委員(2014 年 4 月～現在)

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城大学教員免許更新講習・教員免許更新講習講師(2016 年 08 月)
2. [兼業] 東京家政大学看護学部非常勤講師(2016 年 08 月～2016 年 08 月)
3. [兼業] 大成女子高等学校専攻科看護科・大成女子高等学校専攻科非常勤講師(2016 年 04 月～2017 年 03 月)

○ 学協会での役職

1. 日本家政学会家族関係学部会, 編集委員(2016 年 10 月～2018 年 10 月)
2. 大学家庭科教育研究会, 庶務担当委員(2016 年 10 月～2018 年 09 月)
3. 日本家政学会生活経営学部会, 常任委員(2016 年 08 月～2017 年 09 月)
4. 日本家政学会生活経営学部会関東地区会, 委員(2016 年 08 月～2017 年 07 月)
5. 日本家庭科教育学会, 編集委員(2015 年 07 月～2019 年 07 月)

○ 地域協力活動

1. 茨城県高等学校家庭クラブ連盟第 64 回研究発表大会 審査委員
2. 茨城県女性プラザ交流事業 講師(2016 年 7 月 23 日)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費](代表)「教育資源の活用を志向した女性教員の就業継続とキャリア形成の支援方策に関する研究」, 286 万円 (2015 年 04 月 01 日～2018 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(家政教育)	氏名 西川 陽子
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1969 年 4 月
学歴・職歴	お茶の水女子大学 家政学部 食物学科[1993 年卒業] お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 人間環境学専攻 (食物科学)[1998 年修了] お茶の水女子大学大学院人間環境学 助手(1998 年 4 月～2001 年 3 月) ケースウェスタンリザーブ大学, Dr.Monnier 研究室(アメリカ合衆国,オハイオ州, クリーブランド) 博士研究員(2001 年 4 月～2002 年 3 月) 茨城大学 教育学部 家政教育 助教授(2002 年 4 月～)
学位	学術博士[お茶の水女子大学]
受賞歴	Award for Excellence to Authors Publishing in Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry in 2000(2001)
所属学会	(社)日本農芸化学会 日本ビタミン学会 (社)日本家政学会 日本調理科学会 日本食品化学学会
専門分野	食品科学 食生活学
教育研究概要	・アスコルビン酸の in vitro における分解反応機構の解明 ・生体内メイラード反応におけるアスコルビン酸の作用機序の解明 ・糖尿病時におけるアスコルビン酸の代謝について ・食習慣が及ぼす健康への影響と食教育のあり方 (キーワード)アスコルビン酸, 食品化学, 食教育
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[生活環境とライフスタイル] (専門科目)食物学概論, 初等家庭科内容研究, 食生活論, 食生活と健康【全教科】, 食物学演習, 栄養学《食物学》/栄養学《栄養学》/栄養学《生理学(運生含)》/栄養学《生理学(運生含)》/栄養学, 食品衛生管理学, 保育内容研究, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)食物学特論, 食物学演習, 初等家庭科授業設計, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [単行本(学術書)・編者]西川陽子・川上美智子ほか「食品の科学各論」, 理工図書, (2016 年 11 月 01 日)
- [単行本(学術書)・分担執筆]五十嵐脩, 藤原葉子, 西川陽子, ほか「精選栄養学」, 実教出版, 87

－112(2016 年 12 月 15 日)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [公開講座] 茨城県弘道館アカデミー 県民大学講座(茨城県鹿行生涯学習センター)・講師
(2016 年 09 月～2017 年 03 月)
2. [非常勤講師] 茨城北西看護専門学校・講師(2010 年 04 月～)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)(代表)「食文化教育を切り口とした家庭科教育へのサステナビリティ教育導入の試み」, 416 万円 (2014 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)
- 共同研究・受託研究

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 猪井 新一
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1955 年 9 月
学歴・職歴	<p>福島大学大学院教育学研究科 教科教育(英語)専攻修士課程[1991 年 03 月修了]</p> <p>東北大学大学院情報科学研究科 人間社会情報科学[2008 年 09 月修了]</p> <p>千葉県及び福島県公立高等学校教諭(1979 年 4 月～1993 年 3 月)</p> <p>奥羽大学文学部英語英文学科・専任講師(1993 年 4 月～2001 年 9 月)</p> <p>北海道教育大学教育学部旭川校・助教授(2001 年 10 月～2004 年 3 月)</p> <p>北海道教育大学教育学部旭川校・教授(2004 年 4 月～2005 年 3 月)</p> <p>会津大学短期大学部・教授(2005 年 4 月～2007 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部・教授(2007 年 4 月～)</p>
学位	博士(学術)[東北大学大学院] 教育学修士[福島大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	東北英語教育学会 全国英語教育学会 全国語学教育学会(JALT) 大学英語教育学会(JACET) 小学校英語教育学会 関東甲信越英語教育学会
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード) 談話分析, 学習方略, コミュニケーション方略 小学校外国語活動 小学校英語教育
担当科目	<p>(教養科目) 総合英語(レベル3)</p> <p>(専門科目) 英語科教育法研究 I, 小学校英語 I B, 英語コミュニケーション III, 英語科内容研究, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目) 英語科授業設計, 英語教育学特論 I, 英語教育学演習 I, 特別課題研究</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [研究論文(大学, 研究機関紀要) 単著] 猪井 新一「英語選修の学生は教育実習で何を学んでいるのか —— 教育実習履修簿の記述から見えてくるもの ——」, 茨城大学教育実践研究, 35, pp. 179-192(2016 年 12 月 01 日)
- [単著] 猪井 新一「英語発音指導講習を通しての小学校現職教師の英語発音意識変化」,

茨城大学教育学部紀要(教育科学), 66, pp. 271-281(2016 年 11 月 01 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・]「外国語活動における児童の英語学習態度は HRT によって影響をうけているのか。」第 16 回小学校英語教育学会(JES)宮城大会(宮城教育大学)[2016 年 07 月 24 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 『小学校英語教育学会誌』(*JES Journal*)査読委員(2012 年 04 月～)
2. 『JACET 教育問題研究会誌』査読委員(2015 年 4 月～)

○ 学外教育

1. [出前授業]「英語の発音のしくみ」, 1 時間, 20 名出席, 茨城県立水戸第一高等学校
2. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「平成 28 年度小学校英語教科化に向けた専門性向上のための講習の開発・実施事業」, 23 時間, 39 名出席, 茨城大学
3. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「平成 28 年度茨城大学教員免許状更新講習会Ⅱ期」, 6 時間, 21 名出席, 茨城大学
4. [その他]「第8回茨城県高等学校英語スピーチコンテスト(審査委員長)」, 茨城県高等学校教育研究会英語部
5. [出前授業]「英語音声学(出前授業:國學院大学栃木高等学校)」, 2 時間, 27 名出席, 國學院大學栃木高等学校
6. 第61回教研連研究集会助言者(茨城大学水戸キャンパス)

海外出張・海外研修・内地研修など

シンガポール シンガポール・シンガポール国立大学[CLasic2014 参加](2014 年 12 月:3 日間)

科学研究費補助金などの受領

「小学校児童の好む英語の授業と嫌いな英語の授業の質的分析」(平成 28 年～平成 30 年度)(研究代表者)

「Assessing Foreign Language Activity Assistants' perspectives on primary Foreign Language Activities」(平成 28 年～平成 31 年度)(研究分担者)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 君塚 淳一
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1959 年 6 月
学歴・職歴	中国短期大学英語英文科専任講師(1993 年 4 月～1997 年 3 月) 中国短期大学英語英文科助教授(1997 年 4 月～1999 年 9 月) 茨城大学教育学部助教授(1999 年 10 月～2006 年 3 月) 茨城大学教育学部教授(2006 年 4 月～)
学位	文学修士
受賞歴	推奨授業(茨城大学)(2004) 第 1 回日本マラマッド協会賞 学術部門(1998)
所属学会	英文学会 黒人研究会 英米文化学会 日本マラマッド協会 アメリカ学会 アメリ カ文学会 ポップカルチャー学会 多民族研究学会
専門分野	アメリカ文学・アメリカ文化
教育研究概要	<p>アメリカ文学(ユダヤ系、アフリカ系作家)、アメリカ文化(1920年代文化、1960年代文化、アメリカ映画、大衆文化)、人種問題など。ユダヤ系作家では、現代ユダヤ系小説家 Bernard Malamud や Paul Auster などを中心に、19世紀末から20世紀初頭の移民文学としての Abraham Cahan, Michael Gold などを同化の問題やユダヤ人としてのアイデンティティの問題、また二次大戦後はホロコーストの問題などを作家がどう扱い描いているのかをテーマに研究している。一方、アフリカ系作家では WASP が中心とされる白人アメリカでいかに人種問題と向き合うかを Richard Wright の作品を通して、また黒人で女性という立場、アフリカをどうアメリカ黒人が自身の中で認識するかを Alice Walker の作品を通して研究している。1920年代ではハリウッド映画産業の勃興とユダヤ系社会の関係、ハーレムルネッサンスのアフリカ系アメリカ人に対し、黒人民族主義と分離主義を標榜したマーカス・ガーヴェイを比較し研究している。1960年代論は、対抗文化の中で起きた様々な若者文化を比較研究、人種問題からニューシネマ、ロック、など幅広く文化論を展開している。また映画では文学と同様な研究方法を用いての映画分析を研究し、論文、著書のほか映画評なども執筆している。</p>
	(キーワード)
担当科目	(教養科目)総合英語 (学術), 主題別ゼミナール[異文化理解とレポート作成の基礎力養成], 人間・文化系科目[ビートルズと1960年代アメリカ:政治・文化・音楽]

	<p>(専門科目) 英米文学演習 IV, 英米文学演習 III, 言語と文化の諸相, 英米文学・文化から教える英語テキスト, 英米文学特講 IV/アメリカ社会論, 英米文学概論 II/アメリカ文学史, 英米文学特講 III[アメリカ小説に見る家族], 映像作品と時代そして文化的背景, 卒業研究(教育:4 単位), 異文化間コミュニケーション, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目) 英米文学特論 I, 地域教育資源フィールドスタディ, 小学校英語演習, 英米文学演習 I, 言語と文化総合研究, 授業展開ケーススタディ, 特別課題研究</p>
--	--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・共著] 君塚淳一「ユダヤ系アメリカ人と既製服産業—古着販売からアメリカの象徴ジーンズへ」『衣装が語るアメリカ文学』, 金星堂, pp36-47(2017 年 03 月 31 日)
2. [単行本(学術書)・] 君塚淳一「マーカス・ガーヴェイとハーレム・ルネッサンスの黒人たち—その反目の裏表—」, 茨城大学教育学部 研究課題番号 24520269, pp.1-44(2017 年 03 月 20 日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著] 君塚淳一「アメリカ文学、英米文学概論における文学史・文化研究・アメリカ研究を導入した講義」, 『教職実践研究』, 1, 1, 53-60(2017 年 03 月 20 日)
4. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】] 君塚淳一「異文化と自文化を考えるシンポジウム: 異文化と自文化のせめぎあい」, 『異文化研究』, 1, 1-3(2017 年 03 月 20 日)

研究業績(2)学会発表など

1. 英米文化学会ワークショップ「The Beatles を再考する—なぜ、今、また熱いのか？」
司会・発表者(企画者)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

- [その他]『ホロコーストとトラウマ』シンポジウム(2001 年)
- [その他]シンポジウム・ロコ頭発表 **トDBPicture Fidelman(/)-ト DB** におけるパロディと入れ替えの仕組み(1999 年)
- [その他]風と共に去りぬ(英文テキスト)(1996 年)
- [その他]地球ってこんなにおもしろい(1994 年)
- [その他]現代アメリカ文学のアンチ・ドリーマたち(1994 年)
- [その他]アンチヒーロー・民族性・笑い (シンポジウム)(1993 年)
- [その他]B.Malamud における生(性)・老い・死-S.Levin から W.Dubin へ(1993 年)
- [その他]アンジア・イージアスカ:『パンをくれる人』論 (口頭発表)(1993 年)
- [その他]ホロコーストの子供たち(大学英語教材)北星堂出版(1993 年)
- [その他]ユダヤ系アメリカ文学傑作選 (大学テキスト)(1992 年)
- [その他]アイデンティティ喪失への危機感-Paul Auster 論(1991 年)

[その他]日本文学の中の黒人(口頭発表)(1991年)

[その他]ユダヤ系アメリカ作家選集(大学テキスト)(1990年)

[その他]Bernard Malamud 論-後期作品に見られるペシミズム(口頭発表)(1989年)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 青山学院女子短期大学・非常勤講師(1995年04月～)

○ 学協会での役職

1. 英米文化学会, 副会長(2015年04月～2017年03月)理事長(2017/4～)
2. 多民族研究学会, 副会長(2012年04月～)
3. 英米文化学会, 理事(編集委員長)(2011年10月～2016年03月)

○ 地域協力活動

1. 茨城県立取手第一高校(連携協定あり)(2009年06月～)
2. 茨城県立水戸桜の牧高校(連携協定あり)(2007年11月～)
3. 大成女子高校(2014/3/6)
4. 水戸第一高校(2016/2/5)
5. 勝田高専(2016/5/25)
6. 土浦三高(2016/6/20)
7. 大子清流高校(2016/10/5)
8. 日立北高校(2017/10/10)

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ ニューヨーク ニューヨーク市立図書館 他[資料収集のため](2017年3月:5日間)

科学研究費補助金などの受領

1. もの・人・文化・技術の流動性を踏まえた都市の倫理学の構築」(萌芽研究)(2001/4～2004/3)
2. 「ジョン・ブラウンの屍を超えて—南北戦争とその時代」(基盤 C)(2004/4～2008/3)
3. 「マーカス・ガーヴェイとハーレム・ルネッサンスの黒人たち」(基盤 C)(2012/4～2017/3)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 小林 英美
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1967年10月
学歴・職歴	<p>早稲田大学 教育学部 英語英文学科[1990年卒業]</p> <p>早稲田大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻[2001年修了]</p> <p>法政大学付属第一高等学校・非常勤講師(1990年4月～1991年3月)</p> <p>国土舘大学・非常勤講師(1993年4月～1995年3月)</p> <p>早稲田大学教育学部助手(1994年4月～1996年3月)</p> <p>茨城県立医療大学・非常勤講師(1995年4月～2003年3月)</p> <p>東邦大学・非常勤講師(1996年4月～1997年3月)</p> <p>日本学術振興会特別研究員(1997年4月～1999年3月)</p> <p>学習院大学・非常勤講師(1999年4月～2003年3月)</p> <p>東京国際大学・非常勤講師(2000年4月～2003年3月)</p> <p>早稲田大学教育学部・非常勤講師(2000年4月～)</p> <p>茨城大学教育学部・准教授(2003年4月～2015年3月)</p> <p>放送大学・非常勤講師(面接授業)(2014年4月～2015年3月)</p> <p>茨城大学教育学部教授(2015年4月～)</p> <p>早稲田大学エクステンションセンター・中野校・非常勤講師(2015年4月～)</p>
学位	文学士[早稲田大学] 教育学修士[早稲田大学] 学術博士[早稲田大学]
受賞歴	なし
所属学会	イギリス・ロマン派学会 欧米言語文化学会 日本ジョンソン協会 早稲田大学英語英文学会 日本英文学会 イギリス児童文学会 日本イギリス児童文学会 日本カレドニア学会
専門分野	ヨーロッパ語系文学
教育研究概要	<p>18－19世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係、英詩への関心を音読実践と童謡から引き出す。研究においては、18－19世紀イギリス文学における読者と作家・詩人の相互影響関係を、現存するデータを発掘・分析して、実証的に明らかにする歴史的文学研究を行なっている。教育においては、英詩の魅力を、①音読を実践することで導く。音読は語学教育の重要な基礎の一つであり、音読して初めて英詩の本当の魅力が明らかになるからである。②伝承童謡や有名児童文学を入門に用いることで関心を持たせ、最終的には文学史的に重要な英詩へと導く工夫をしいている。また作品に関連する映像・音声教材も利用することによ</p>

	<p>って、学生の理解が深まるようにしている。</p> <p>(キーワード) イギリス文学、18 世紀、19 世紀、ロマン主義文学、ワーズワス、コウルリッジ、キーツ、オースティン、女性詩人、読者層研究、文学作品の 18-19 世紀英国作曲家による音楽受容、18-19 世紀出版事情、予約購読出版、貸本店 定期刊行物</p>
担当科目	<p>(教養科目) 総合英語(プレレベル3), 人間・文化系科目[英語で学ぶ日本文化と芸術], 人間と文学・芸術[英国文化入門 — 再発見と再利用の文化史], 人文・分野別基礎[コミュニケーション論 (言葉の力)]</p> <p>(専門科目) 英米文学概論 I, 英米文学演習 I, 言語と文化の諸相, 英米文学演習 II, 英米文学・文化から教える英語テキスト, 英米文学特講 I, 英米文学特講 II, 異文化理解[英国短期語学研修], 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目) 地域教育資源フィールドスタディ, 研究と教育, 英米文学特論 II, 言語と文化総合研究, 英米文学演習 II</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [単行本(学術書)・共著] Nicholas Roe (著), Christoph Bode (著), Yoshikazu Suzuki (著), Hiroki Iwamoto (著), 笠原 順路 (著), 小林 英美 (著, 編集), 藤原 雅子 (著, 編集), 田中 由香 (著), 伊藤 健一郎 (著, 編集), 鳥居 創 (著), 直原 典子 (著, 編集), 市川 純 (著, 編集), 大石 瑤子 (著), 木村 晶子, 及川 和夫 (著), 鈴木 雅之 (著), 鈴木 喜和(著, 編集)「知の冒険—イギリス・ロマン派文学を読み解く(西山清先生退職記念論文集)」, 音羽書房鶴見書店, 20(2017 年 03 月 31 日)
- [研究論文(学術雑誌)単著] 小林英美「大学における初等・中等教員養成の観点からの異文化理解教材の実践研究序論—「マザー・グース」の事例」, 異文化研究, 1(2017 年 03 月 20 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

- [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 小林英美「19 世紀初頭のイギリス詩の同時代アメリカ定期刊行物書評」欧米言語文化学会(日本大学芸術学部江古田校舎)[2016 年 12 月 04 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

- [非常勤講師] 早稲田大学エクステンションセンター・非常勤講師, 6(時間/月)(2015 年 04 月～)
- [非常勤講師] 早稲田大学教育学部・(2007 年 04 月～)

○ 学協会での役職

- 茨城大学教育学部 異文化研究会の会, 編集委員(2016 年 04 月～)
- イギリス・ロマン派学会, 理事(2014 年 04 月～)

3. 欧米言語文化学会, 監査役(2001 年 04 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「イギリス・ロマン派学会第 42 回全国大会(国内)」, イギリス・ロマン派学会(神戸市立外国語大学)
[司会・議長・コンビーナ・コーディネータ](2016 年 10 月)
2. 「国際岡倉天心シンポジウム 2016」(2016 年 09 月 03 日、04 日)、海外招聘講師の支援業務等

海外出張・海外研修・内地研修など

イギリス チャルトナム グロースターシャー大学[語学研修引率](2016 年 2 月～3 月:18 日間)

科学研究費補助金などの受領

科学研究費・基盤 C (執行 03 年目)

学校教育教員養成課程(英語教育)	氏名 齋藤 英敏
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1966 年 7 月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 中学校教員養成課程英文科[1989 年 03 月卒業] Colorado State University, Department of English, Teaching English as a Foreign/Second Language (Fort Collins, CO, USA) [1994 年 05 月修了] The Ohio State University, Department of Educational Studies, Foreign and Second Language Education (Columbus, OH, USA) [2000 年修了] 立教大学ランゲージセンター 嘱託講師(英語) (1999 年 4 月～2000 年 3 月) 北星学園大学経済学部 専任講師(2000 年 4 月～2003 年 3 月) 北星学園大学経済学部 助教授(2003 年 4 月～2004 年 3 月) 茨城大学教育学部英語教育講座 助教授(2004 年 4 月～2006 年 3 月) 茨城大学教育学部英語教育教室 准教授(2006 年 4 月～)
学位	PhD[The Ohio State University]
受賞歴	なし
所属学会	National Council on Measurement in Education 日本言語テスト学会 大学英語教育学会 日英・英語教育学会 全国語学教育学会
専門分野	外国語テスト、評価 外国語学習、習得 外国語指導 外国語教育
教育研究概要	外国語教育での評価、テスト、外国語学習 (キーワード)外国語学習の評価、テスト、外国語学習、指導
担当科目	(教養科目)総合英語(レベル3) (専門科目)英語科教育法研究 II, 英語科教科論 II, 英語コミュニケーション IX, 英語コミュニケーション XII, 英語科教育法特講, 英語コミュニケーション VII, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)英語科授業設計, 英語教育特論 II, 英語教育学演習 II [外国語指導のアクションリサーチ], 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]Saito, H., & Ozawa, H. "Development of a Junior High School EFL Speaking Prochievement Test: Equating Two Forms of Kokuseiken Test",『茨城大学教育学部紀要 (教育科学)』, **65**, 209-217 (2016 年 3 月)

2. Saito, H. "Validity and reliability." *JLTA Journal*, Vol. 19, pp. 35-40. (日本語テスト学会)(2016年12月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国内会議(単独)] 齋藤英敏「10年先を見据えた「強い」中高英語教員養成コア・カリキュラムに」第22回日英・英語教育学会研究大会(聖徳大学)() [2016年09月25日]

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「平成28年度茨城県インタラクティブフォーラム審査委員長」

海外出張・海外研修・内地研修など

シンガポール シンガポール SEAMO EO Regional Language Center[情報収集](2016年3月:5日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 共同研究・受託研究

1. [] 「科学研究費補助金(基盤C・平成26年-30年・課題番号26381175)「英語ディスカッション力育成のための指導と評価改善のための組織的試み」(代表)」, 未詳(2014年04月~2018年03月)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 荒川 智
-------------------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1957 年 8 月
学歴・職歴	東京学芸大学 教育学部 障害児教育[1980 年卒業] 筑波大学大学院 教育学研究科 教育学[1988 年修了]
学位	教育学博士[筑波大学]
受賞歴	日本特殊教育学会研究奨励賞(1996)
所属学会	日本特殊教育学会 日本教育学会 教育史学会 日本特別ニーズ教育教育学会 (SNE 学会)
専門分野	障害児教育、特別支援教育
教育研究概要	特別支援教育 障害児教育、特別支援教育の歴史、制度、行政、理念、方法 特別ニーズ教育、インクルーシブ教育の国際動向 (キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[障害者と社会] (専門科目)特別支援教育基礎演習(専攻科), 障害児教育学特論 I(専攻科)/特別支援教育原論(専攻科)/特別支援教育原論, 障害児教育総論(専攻科)/障害児教育総論, 障害児教育演習 I(専攻科)/障害児教育学」演習 I(専攻科), 特別なニーズをもつ子どもの教育, 障害児教育学演習 I, 修了研究(専攻科), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)障害学総合研究, 障害学総合研究(専攻科)、障害児教育学特論 I、障害児教育学演習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(学術雑誌)共著【依頼/招待】荒川智、白沢仁、斉藤なお子、中村尚子「てい談 条約履行義務の実行責任を問う」, 障害者問題研究, **44**, 4, 242-254(2017 年 02 月)
2. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)単著【依頼/招待】荒川 智「インクルーシブ教育の実現に向けて:現状と課題」, ノーマライゼーション 障害者の福祉, **37**, 2, 10-13(2017 年 02 月 01 日)
3. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)単著【依頼/招待】荒川智「インクルーシブ教育とは」, 健康教室, 792, 76-78(2016 年 11 月)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]荒川 智「特別支援学校制度の虚実」, 民主教育研究所

年報 2015, 16, 115-121(2016 年 07 月 07 日)

5. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著]「インクルーシブ教育の推進に向けて」, Principal, **20**, 8, 18-21
(2016 年 06 月 01 日)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

○ 学協会での役職

1. 日本特殊教育学会, 代議員、常任編集委員(2013 年 06 月～)

2. 日本特殊教育学会, 理事(2009 年 12 月～)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(B)(一般)(分担)「戦後における重度重複障害児教育実践の創成に関する歴史研究とアーカイブ化」, 962 万円 (2016 年 04 月 01 日～2021 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 勝二 博亮
-------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1970 年 9 月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 養護学校教員養成課程[1994 年] 東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科 発達支援[1999 年] 日本学術振興会 特別研究員(1998 年 4 月～1998 年 6 月) 茨城大学助手教育学部(1998 年 7 月～2000 年 3 月) 茨城大学講師教育学部(2000 年 4 月～2005 年 9 月) ドイツ連邦共和国ユスタス・リービヒ(ギーゼン)大学 客員研究員(2004 年 2 月～2005 年 2 月) 茨城大学助教授教育学部(2005 年 10 月～2007 年 3 月) 茨城大学准教授教育学部(2007 年 4 月～2015 年 3 月) 茨城大学教授教育学部(2015 年 4 月～)
学位	教育学修士[茨城大学] 教育学博士[東京学芸大学]
受賞歴	日本臨床神経生理学会 第 14 回奨励論文賞(2012)
所属学会	日本 LD 学会 International Society for Brain Electromagnetic Topography 認知神経科学会 日本脳電磁図トポグラフィー研究会 日本生理心理学会 日本臨床神経生理学会 日本特殊教育学会 日本重症心身障害学会 国際心理生理学会
専門分野	実験系心理学 特別支援教育 認知神経科学
教育研究概要	(キーワード)脳科学 特別支援教育
担当科目	(教養科目)人間と心[行動の心理学的基礎] (専門科目)障害児生理学特論 I(専攻科)/障害児生理学特論 I, 特別支援教育研究法, 病弱児の生理(専攻科)/病弱児の生理, 病弱児の生理, 病弱児の生理(専攻科), 知的障害児の病理/障害児の病理/知的障害児の病理(専攻科), 障害児生理演習 II(専攻科), 知的障害児の生理(専攻科)/知的障害児の生理, 知的障害児の生理, 知的障害児の生理(専攻科), 障害児生理学演習 I(専攻科)/障害児生理学演習 I, 障害児生理機能評価法, 障害児生理機能評価法(専攻科), 障害児生理心理学, 障害児生理学演習 II, 修了研究(専攻科), 卒業研究(教育:4 単位), 障害児生理学特別研究 II(専攻科) (大学院科目)障害学総合研究, 障害学総合研究(専攻科), 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(一般書)・分担執筆]勝二博亮「楽しく学んで、子どもを伸ばす 第1章 子育ては健康づくりから 第1節 子どもを伸ばすには質の良い睡眠から」, 福村出版, 10-13(2016年08月10日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]根本匠・勝二博亮「知的障害児における安静時立位姿勢」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 66, 293-300(2017年03月)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]平山 太市, 勝二 博亮「読み困難を示す ADHD 児への文章作成による言語表現の支援」, 茨城大学教育実践研究, 35, 193-204(2016年11月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 葛山峻介・白坂高司・勝二博亮「教示方法の違いが及ぼすのこぎり引きへの学習効果と脳活動の関連」第28回日本産業技術教育学会関東支部大会() [2016年12月11日]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 勝二博亮・小林亜由美「重度・重複障害児の能動的動作表出に関する事例的研究」日本特殊教育学会第54回大会() [2016年09月18日]
3. [ポスター発表・国際会議(共同)] Takayuki Sekiguchi and Hiroaki Shoji "Behavioral and neural correlates of attractiveness judgment: An ERP study" 18th World Congress of the International Organization of Psychophysiology() [2016年09月01日]
4. [ポスター発表・国際会議(単独)] Hiroaki Shoji "Facial electromyographic responses to different parts of the emotional faces" 31st International Congress of Psychology() [2016年07月26日]
5. [ポスター発表・国内会議(共同)] 関口貴之・勝二博亮「魅力評価の選択偏向が後期陽性電位に及ぼす影響」第34回日本生理心理学会大会() [2016年05月15日]
6. [ポスター発表・国内会議(共同)] 小林亜由美・金子 絢・勝二博亮「重度・重複障害児の応答表出に関する生理心理学的評価」第34回日本生理心理学会大会() [2016年05月14日]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 聖学院大学・非常勤講師(聖学院大学)(2016年09月～2017年03月)
2. [兼業] 茨城県教育委員会・茨城県教育職員免許法認定講習講師(病弱児の心理・生理・病理・重度重複障害)(2016年08月～2016年08月)
3. [兼業] 10年次研修講座(特別支援学校)・10年次研修講座(特別支援学校)(2016年06月)
4. [出前授業] 茨城県立鉾田第一高等学校・講師(2016年06月)
5. [兼業] 茨城県教育委員会・ICT活用推進運営協議会(2016年06月～2017年01月)
6. [兼業] 発達障害等に関する専門家派遣事業・講師(専門家派遣事業)(2016年05月～2017年03月)
7. [兼業] 水戸市教育委員会・水戸市立小中学校等教科用図書審議会委員(2016年05月～2017

年 01 月)

8. [兼業] 水戸飯富特別支援学校・水戸飯富特別支援学校教育情報化推進事業(2016年04月～2017年03月)
 9. [兼業] 茨城県教育委員会・茨城県保育技術協議会助言者(2016年04月～2017年03月)
 10. [兼業] 鹿嶋特別支援学校・鹿嶋特別支援学校自立活動指導力向上研修講師(2016年04月～2017年03月)
 11. [兼業] 水戸飯富特別支援学校・水戸飯富特別支援学校自立活動指導力向上研修講師(2016年04月～2017年03月)
 12. [兼業] 茨城県立勝田特別支援学校・学校評議員(茨城県立勝田特別支援学校)(2016年04月～2017年03月)
 13. [兼業] 茨城県立盲学校・学校評議員(茨城県立盲学校)(2016年04月～2017年03月)
 14. [非常勤講師] 茨城キリスト教大学・非常勤講師(2016年04月～2016年09月)
 15. [兼業] 発達障害等に関する専門家派遣事業・講師(専門家派遣事業)(2014年04月～2017年03月)
 16. [兼業] 茨城県立盲学校・教科用図書選定委員(2016年04月～2017年03月)
 17. [兼業] 茨城県立勝田特別支援学校・教科用図書選定委員(茨城県立勝田特別支援学校)(2016年04月～2017年03月)
 18. [兼業] 茨城大学・講師(教員免許更新制)(2010年08月～)
 19. [兼業] 独立行政法人国立病院機構茨城東病院・講師(重症心身障害児等支援従事者研修会)(2017年2月18日)
- 学協会での役職
1. 日本特殊教育学会, 国際化委員会委員(2016年09月～)
 2. 日本特殊教育学会, 代議員(2016年09月～)
 3. 日本発達障害学会, 編集委員(2015年09月～)
 4. 日本特殊教育学会, 編集委員(2014年09月～)
 5. 日本臨床神経生理学会, 評議員(2009年10月～)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

キューバ ハバナ Melia Habana Hotel[学会発表](2016年8月～9月:5日間)

科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
1. [科研費]基盤研究(C)一般(分担)「生体機能データに基づく重症心身障害児の能動的動作解発」, 360万円(2014年04月01日～2017年03月31日)
 2. [科研費]基盤研究(B)一般(分担)「知的障害者の運動行為遂行における最適化条件の解析」, 1248万円(2013年04月01日～2017年03月31日)
- 共同研究・受託研究

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 新井 英靖
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1972 年 5 月
学歴・職歴	東京学芸大学大学院 教育学研究科 障害児教育専攻[1998 年修了] 東京都立久留米養護学校(教諭)(1998 年 4 月～2000 年 9 月) 茨城大学教育学部(講師)(2000 年 10 月～) 茨城大学教育学部(准教授)(2007 年 10 月～)
学位	博士[東京学芸大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校ソーシャルワーク学会 日本発達障害学会 日本教育方法学会 日本特殊教育学会 日本特別ニーズ教育学会
専門分野	障害児教育学 特別支援教育 障害児教育方法学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[障害者と社会] (専門科目)病弱児の教育方法(専攻科)/病弱児の教育方法, 特別支援教育研究法, 障害児教育学特論Ⅱ(専攻科)/障害児教育学特論Ⅱ, 知的障害児の教育方法(専攻科)/知的障害児の教育方法, 障害児教育演習Ⅱ(専攻科), 障害児教育学演習Ⅱ(専攻科)/障害児教育学演習Ⅱ, 障害児教育学演習Ⅱ, 肢体不自由児の教育方法(専攻科)/肢体不自由児の教育方法, 知的障害児指導法演習(専攻科)/知的障害児指導法演習, 修了研究(専攻科), 卒業研究(教育:4 単位), 障害児教育学特別研究Ⅱ(専攻科) (大学院科目)特別支援教育の理論と実践, 特別支援教育実践論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [単行本(学術書)・単著]新井英靖「インクルーシブ教育の合理的配慮と実践課題」, 培風館, 33-40(2016 年 11 月 15 日)
2. [単行本(一般書)・単著]新井英靖「数えるよりも大切なことがある」茨城大学教育学部・茨城大学教育学部附属幼稚園編『楽しく遊んで、子どもを伸ばす』, 福村出版, 62-65(2016 年 08 月 10 日)
3. [研究論文(学術雑誌)単著]新井英靖「英国におけるインクルーシブ学校の学校方針に関する検討 ― キングスリー初等学校の事例から―」, 茨城大学教育実践研究, 35 , 205-217(2016 年 11 月 30 日)

日)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県教育委員会・茨城県教育職員免許法認定講習講師(2016年07月～2016年08月)
2. [兼業] 茨城県立境浦特別支援学校・自立活動指導力向上研修会講師(2016年04月～2017年03月)
3. [兼業] 茨城県立友部浦特別支援学校・自立活動指導力向上研修会講師(2016年04月～2017年03月)
4. [兼業] 茨城県立結城特別支援学校・自立活動指導力向上研修会講師(2016年04月～2017年03月)
5. [兼業] 茨城県立北茨城特別支援学校・自立活動指導力向上研修会講師(2016年04月～2017年03月)
6. [兼業] 茨城県牛久市教育委員会・幼児教育支援事業巡回相談員およびサポートチーム会議委員(2016年04月～2017年03月)
7. [兼業] 茨城県立土浦特別支援学校・自立活動指導力向上研修会講師(2016年04月～2017年03月)

○ 学協会での役職

1. 鹿嶋市教育委員会, 鹿嶋市特別支援教育推進会議委員(2016年04月～2018年03月)
2. 日本学校ソーシャルワーク学会, 査読委員(2013年04月～2018年03月)
3. 日本特殊教育学会, 編集委員(2013年01月～2020年08月)
4. 日本特殊教育学会, 理事長補佐(2013年01月～2016年05月)
5. 日本特殊教育学会, 広報委員会幹事(2013年01月～2016年05月)
6. 日本発達障害学会, 編集委員(2012年04月～2018年03月)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

イギリス ロンドン ロンドン大学附属図書館[資料収集](2016年3月～4月:4日間)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 細川 美由紀
-------------------	-----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 4 月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 養護学校教員養成課程[1996 年 03 月卒業] 茨城大学 特殊教育特別専攻科[1997 年 03 月卒業] 筑波大学大学院 心身障害学研究科 心身障害学専攻[2004 年 03 月修了] 富士常葉大学 保育学部 講師(2006 年 4 月～2008 年 3 月) 茨城キリスト教大学 文学部 講師(2008 年 4 月～2011 年 3 月) 茨城キリスト教大学 文学部 准教授(2011 年 4 月～2015 年 3 月)
学位	心身障害学[筑波大学]
受賞歴	日本脳波・筋電図学会(現;日本臨床神経生理学会)第 1 回奨励論文賞(1999)
所属学会	日本 LD 学会 日本特殊教育学会 日本脳波・筋電図学会(現;日本臨床神経生理学会) 日本生理心理学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学 教育心理学
教育研究概要	(キーワード)発達障害/学習障害/読み書き障害/認知心理学/学習支援
担当科目	(教養科目)人間と心[行動の心理学的基礎] (専門科目)特別支援教育研究法, 知的障害児の心理(専攻科)/知的障害児の心理, 障害児心理診断法, 障害児心理診断法(専攻科), 障害児心理演習 I(専攻科), 障害児心理学演習 I, 修了研究(専攻科), 卒業研究(教育:4 単位), 障害児心理学特別研究 I(専攻科) (大学院科目)障害学総合研究, 障害児心理学特論 I, 障害児心理学演習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [事典・辞書・分担執筆]日本 LD 学会「発達障害事典」, 丸善出版, 314-315(2016 年 10 月 25 日)
2. [単行本(一般書)・共著]茨城大学教育学部・茨城大学教育学部附属幼稚園編「楽しく遊んで、子どもを伸ばす—子育て・保育の悩みに教育研究者が答える Q&A—」, 福村出版, 50-53(2016 年 08 月 10 日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]細川美由紀・下位翔大・正保春彦「特別支援学校におけるグループワークを用いた人間関係づくりに関する研究」, 茨城大学教育実践研究, 35 , 219-232(2016 年 11 月 30 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 室谷直子・井上知洋・細川美由紀・前川久男「読みの流暢性と読み能力との関連性の検討 流暢性課題の高成績者と低成績者との比較から」日本特殊教育学会第 54 回大会(朱鷺メッセ・新潟日報メディアシップ)[2016 年 09 月 19 日]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 田口とも子・細川美由紀「青年期における自己評価および自尊心に関する検討一定型発達および ASD の高校生における調査研究から」日本特殊教育学会第 54 回大会(朱鷺メッセ・新潟日報メディアシップ)[2016 年 09 月 18 日]
3. [ポスター発表・国内会議(共同)] 下位翔大・細川美由紀「特別支援学校におけるグループワークを用いた人間関係づくりに関する研究」日本特殊教育学会第 54 回大会(朱鷺メッセ・新潟日報メディアシップ)[2016 年 09 月 17 日]
4. [ポスター発表・国際会議(共同)] Muroya, Naoko; Inoue, Tomohiro; Hosokawa, Miyuki; Georgiou, George K; Parrila, Rauno; Maekawa, Hisao "Morphological awareness and literacy skills in Japanese 1st and 2nd grade children" The 31th International Congress of Psychology (Yokohama, Japan)[2016 年 07 月 26 日]
5. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国際会議(共同)] Inoue, Tomohiro; Georgiou, George K; Muroya, Naoko; Oshiro, Takako; Imanaka, Hirofumi; Kitamura, Hiroyuki; Hosokawa, Miyuki; Maekawa, Hisao; Parrila, Rauno "Cognitive predictors of early literacy skills in syllabic Hiragana and logographic Kanji" The 31th International Congress of Psychology (Yokohama, Japan)[2016 年 07 月 25 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 地域協力活動

1. 茨城県教育研修センター[その他公的社会活動]「平成 28 年度 10 年経験者研修講座」(2016 年 11 月～)
2. 神栖市教育委員会[その他公的社会活動]「平成 28 年度神栖市特別支援教育の連携に係る研修会」(2016 年 10 月～)
3. 茨城県教育研究連盟[その他公的社会活動]「第 61 回茨城県教育研究連盟研究集会」(2016 年 10 月～)
4. 茨城県立美浦特別支援学校[その他公的社会活動]「自立活動に関する授業改善研修会」(2016 年 09 月～2017 年 02 月)
5. 茨城県立盲学校[その他公的社会活動]「平成 28 年度特別支援教育専門家派遣事業(那珂市立菅谷東小学校)」(2016 年 08 月～2017 年 01 月)
6. 茨城県教育委員会[その他公的社会活動]「茨城県教育職員免許法認定講習講師」(2016 年 08 月～)

7. 茨城県教育委員会[その他公的社会活動]「平成 28 年度茨城県幼稚園・幼保連携型認定こども園新規採用教員研修」(2016 年 08 月～)
8. 茨城県私立幼稚園・認定こども園連合会[その他公的社会活動]「平成 28 年度教員免許状更新講習「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」」(2016 年 07 月～)
9. 茨城県立伊奈特別支援学校[その他公的社会活動]「平成 28 年度特別支援教育専門家派遣事業(常総市立五箇小学校)」(2016 年 06 月～2017 年 01 月)
10. 茨城県教育研修センター[その他公的社会活動]「平成 27 年度 10 年経験者研修講座」(2015 年 11 月～)
11. 茨城県立大子特別支援学校[その他公的社会活動]「平成 28 年度特別支援教育専門家派遣事業(常陸大宮市立山方中学校)」(2016 年 07 月～2016 年 12 月)
12. 茨城県立水戸飯富特別支援学校[その他公的社会活動]「平成 28 年度特別支援教育専門家派遣事業(城里町立常北幼稚園)」(2016 年 06 月～2016 年 08 月)

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 田原 敬
-------------------	---------

教員履歴など

現 職	講 師
学歴・職歴	筑波大学 第二学群人間学類 心身障害学専攻[2007年03月卒業] 筑波大学大学院 修士課程教育研究科 障害児教育専攻[2009年03月修了] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 博士後期課程障害科学専攻[2014年03月修了] 筑波大学(2014年4月～2015年3月) 筑波大学(2015年4月～2016年3月)
学位	修士(教育学)[筑波大学] 博士(障害科学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本特殊教育学会 日本聴覚言語障害学会 日本聴覚医学会 日本心理学会 日本生理心理学会 日本臨床神経生理学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学
教育研究概要	(キーワード)特別支援教育／聴覚障害児教育／聴覚活用／オーディオロジー
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[特別支援教育入門] (専門科目)障害児生理学特論Ⅱ(専攻科)/障害児生理学特論Ⅱ, 感覚障害児の教育, 感覚障害児の教育(専攻科), 障害児生理学演習Ⅱ(専攻科)/障害児生理学演習Ⅱ, 障害児生理演習Ⅰ(専攻科), 聴覚言語病理(専攻科)/聴覚言語病理, 障害児生理機能評価法, 障害児生理機能評価法(専攻科), 修了研究(専攻科), 障害児生理学演習Ⅰ, 卒業研究(教育:4単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [著書・]小渕千絵・原島恒夫(編)「APD[聴覚情報処理障害]の理解と支援」, 学苑社, (2016年11月)</p> <p>2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]田原敬・小林優子・茂木正友「聴力レベルが聴覚障害児の環境音聴取成績に及ぼす影響に関する研究」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 66, 301-311 (2017年03月)</p> <p>3. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]新関彩香・井口亜希子・田原敬・原島恒夫「難聴通級指導教室に対する教育的ニーズに関する研究—通級経験のある聴覚障害者7名の語りの分析から—」, 聴覚言語障害, 45, 2, 91-99(2016年11月)</p>
--

4. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著]Yuno, Y., Matsubara, M., Tabaru, K., Terasawa, H. & Hiraga, R."Discrimination and identification of environmental sounds among people with hearing impairment", Journal of Acoustic Society of America, **140**, 4, 3153 (2016 年 10 月)
5. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著]Hiraga, R., Kato, Y., Matsubara, M., Terasawa, H. & Tabaru, K."A Learning System For Environmental Sounds On Tablets: Toward A Teaching Resource For Deaf And Hard Of Hearing Children", Proceedings of the Conference Universal Learning Design(Linz), 31-34(2016 年 07 月)
6. [研究論文(学術雑誌)共著]田原 敬・原島 恒夫・小林 優子・堅田 明義「聴覚障害者における環境音の聴覚イメージに関する研究—聴取経験と聴覚イメージとの関係に着目して—」, Audiology Japan, **59**, 3, 198-206(2016 年 06 月)

研究業績(2)学会発表など

- 学会発表等
 1. [口頭発表(一般)・国内会議]「人工内耳装用児の環境音認知に関する研究—補聴器装用児との比較をとおして—」第 61 回日本聴覚医学会総会・学術講演会[2016 年 10 月]
 2. [ポスター発表・国内会議(共同)]「Listening Effort の評価に関する予備的検討—反応時間を指標として—」日本特殊教育学会第 54 回大会[2016 年 09 月]
 3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「視覚情報の併用が聴覚障害者の音声言語理解に及ぼす影響—手話を中心に—」日本特殊教育学会第 54 回大会[2016 年 09 月]
 4. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「特別支援学校(聴覚障害)幼稚部の指導場面における手指の活用に関する研究—教員による聴覚口話を基盤とした手指の呈示—」日本特殊教育学会第 54 回大会[2016 年 09 月]
 5. [ポスター発表・国際会議(共同)] "Differences in reaction time and accuracy in visual and auditory continuous performance tests for adults with and without attention deficit hyperactivity disorder" [2016 年 07 月]
 6. [ポスター発表・国際会議(共同)] "Effects of hearing level and spectro-temporal pattern in the identification of environmental sounds in children with hearing impairment" [2016 年 07 月]
 7. [ポスター発表・国内会議(共同)] 田原 敬・小林 優子・原島 恒夫・堅田 明義「聴覚障害者の環境音認知における視覚情報の文脈効果に関する予備的検討」第 34 回日本生理心理学会大会[2016 年 05 月]

社会的活動、地域貢献など

- 学外教育
 1. [その他]「子どもが理解しやすい指示の伝え方を考える」, , , 印西市教育委員会
 2. [その他]「聴覚障害のある大学生に接して思うこと」, , , 目黒区立東根小学校
- 地域協力活動
 1. [その他公的社会活動]「目黒区東根小学校きこえとことばの教室 顧問」(2015 年 09 月～)

2. [学外審議会・委員会等]「目黒区 聴覚・言語障害のある児童の難聴・言語障害学級入級選考委員」(2015 年 09 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

キューバ ハバナ Melia Habana Hotel[情報収集](2016 年 8 月～9 月:3 日間)

科学研究費補助金などの受領

1. 聴覚障害者の QOL 向上を目指した聴能評価法の開発 科研費 若手研究
(B) 2016/04/01-2019/03/31

学校教育教員養成課程(障害児教育)	氏名 東條 吉邦
-------------------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
生年月	1951 年 5 月
学歴・職歴	東京学芸大学 教育学部[1975 年卒業] 東京教育大学大学院 教育学研究科 実験心理学専攻[1978 年修了] 国立特殊教育総合研究所分室研究員(1979 年 10 月～1992 年 9 月) 国立特殊教育総合研究所分室主任研究官(1992 年 10 月～1999 年 3 月) 国立特殊教育総合研究所分室長(1999 年 4 月～2004 年 3 月) 茨城大学教育学部教授(2004 年 4 月～2017 年 03 月) 放送大学客員教授(2006 年 4 月～2011 年 3 月)
学位	教育学修士[東京教育大学] 博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本心理学会 日本発達心理学会 日本自閉症スペクトラム学会 日本特殊教育学会 日本臨床発達心理士会 日本教育心理学会
専門分野	特別支援教育 実験心理学 臨床心理学 教育心理学
教育研究概要	<p>教育活動としては、教育学部学校教員養成課程の特別支援教育コース、特別支援教育特別専攻科、大学院教育学研究科障害児教育専攻にかかわる心理学の分野の教員として、「障害児発達臨床学」、「発達障害児教育概論」、「障害児心理学研究法」、「障害児心理演習」、「障害児心理学特論Ⅱ」、「障害児心理学演習Ⅱ」等を担当し、これらのコース・専攻の学生・院生の論文指導にあっている。研究活動としては、発達心理学・臨床心理学・認知神経科学を中心に、生物－心理－社会の統合的アプローチから、自閉症スペクトラムの探究に取り組むとともに、特別支援教育の在り方・内容・方法について研究している。具体的には、1) 自閉症スペクトラムにおける感覚・感情・表情認知などに関する研究、2) 社会性の発達と環境要因、3) アセスメント技法の開発、4) コミュニケーション支援、5) 心の理論(他者の考えを推測する能力)に関する研究、6) 大脳の左右半球機能差の研究などを展開している。</p> <p>(キーワード) 自閉症、自閉スペクトラム症、発達障害、臨床発達心理学、認知神経科学、生物－心理－社会アプローチ、大脳の左右半球機能差、社会性の発達、心の理論</p>
担当科目	(教養科目)人間と心[行動の心理学的基礎]

	(専門科目)発達障害児教育概論(専攻科)/発達障害児教育概論, 障害児心理学特論 II(専攻科), 障害児発達臨床学(専攻科)/障害児発達臨床学/障害児臨床学, 障害児心理学演習 II(専攻科), 障害児心理演習 II(専攻科), 修了研究(専攻科), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)障害児心理学特論 II, 障害児心理学演習 II, 特別課題研究
--	---

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・共著]東條吉邦「臨床発達心理学の基礎[第 2 版](本郷一夫・金谷京子編)発達障害」, ミネルヴァ書房, 40-49(2016 年 04 月 15 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 明地洋典・菊池由葵子・東條吉邦・計野浩一郎・長谷川寿一「自閉症者における心の知覚と道徳判断」日本発達心理学会第 28 回大会(広島国際会議場(広島県広島市))[2017 年 03 月 26 日]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 浅田晃佑・東條吉邦・計野浩一郎・齋藤慈子・長谷川寿一・熊谷晋一郎「自閉スペクトラム症者におけるパーソナルスペースの縦断変化」日本発達心理学会第 28 回大会(広島国際会議場(広島県広島市))[2017 年 03 月 27 日]
3. [ポスター発表・国内会議(共同)] 神井享子・藤野博・松井智子・東條吉邦・計野浩一郎「自閉スペクトラム症児における心の理論と実行機能の関連について(5)ーハノイの塔課題を中心とした分析ー」日本発達心理学会第 28 回大会(広島国際会議場(広島県広島市))[2017 年 03 月 25 日]
4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 菊池由葵子・明地洋典・東條吉邦・計野浩一郎・齋藤慈子・長谷川寿一「ASD 児における視線追従ーライブ呈示による検討ー」日本発達心理学会第 28 回大会(広島国際会議場(広島県広島市))[2017 年 03 月 26 日]
5. [ポスター発表・国内会議(共同)] 小島博子・藤野博・松井智子・大井学・東條吉邦・計野浩一郎「明示的・潜在的な心の理論と語用能力は ASD の検出に有効か?」日本発達心理学会第 28 回大会(広島国際会議場(広島県広島市))[2017 年 03 月 27 日]
6. [ポスター発表・国内会議(共同)] 高橋春香・藤野博・松井智子・東條吉邦・計野浩一郎「ASD 児と定型発達児における潜在的な心の理論」日本発達心理学会第 28 回大会(広島国際会議場(広島県広島市))[2017 年 03 月 27 日]
7. [ポスター発表・国内会議(共同)] 藤野博・八耳悠斗・松井智子・黒田美保・東條吉邦・計野浩一郎「ASD 児における潜在のおよび明示的な心の理論と関連する要因」日本発達心理学会第 28 回大会(広島国際会議場(広島県広島市))[2017 年 03 月 27 日]
8. [ポスター発表・国内会議(共同)] 三浦優生・松井智子・藤野博・東條吉邦・計野浩一郎「自閉スペクトラム症児における間接発話の理解(2)」日本発達心理学会第 28 回大会(広島国際会議場(広島県広島市))[2017 年 03 月 26 日]

9. [ポスター発表・国内会議(共同)] 浅田晃佑・東條吉邦・計野浩一郎・齋藤慈子・長谷川寿一・熊谷晋一郎「自閉スペクトラム症者のボディイメージの特性」発達神経科学学会第 5 回大会(東京大学(東京都))[2016 年 11 月 27 日]
10. [ポスター発表・国内会議(共同)] 東條吉邦・高橋和子「自閉スペクトラム症児とその兄弟姉妹の発達環境の検討—乳幼児期のテレビ視聴の状況と対人行動の特徴に関する調査から—」日本自閉症スペクトラム学会第 15 回研究大会(白百合女子大学(東京都調布市))[2016 年 08 月 28 日]
11. [ポスター発表・国内会議(共同)] 田島康義・東條吉邦「三者間会話場面における視線行動に関する研究—視線感応性と視線分布から「空気を読む」を考える—」日本自閉症スペクトラム学会第 15 回研究大会(白百合女子大学(東京都調布市))[2016 年 08 月 28 日]
12. [ポスター発表・国際会議(共同)] Asada, K., Tojo, Y., Hakarino, K., Saito, A., Hasegawa, T., & Kumagaya, S. 「Body image in individuals with autism spectrum disorder.」 2017 Budapest CEU Conference on Cognitive Development (Budapest (Hungary))[2017 年 01 月 07 日]
13. [ポスター発表・国際会議(共同)] Hashiya, K., Tajiri, K., Meng, X., Kobayashi, H., Uto, Y., Maeyama, K., Osanai, H., Hakarino, K., Tojo, Y., Saito, A., & Hasegawa, T. 「Developmental origin of involuntary facial mimicry: studies of infants, and children with/without ASD.」 2017 Budapest CEU Conference on Cognitive Development (Budapest (Hungary))[2017 年 01 月 06 日]
14. [ポスター発表・国際会議(共同)] Fujino, H., Matsui, T., Tojo, Y., & Hakarino, K. 「Do verbal proposition cues facilitate the theory of mind in children with Autism Spectrum Disorder?」 XI Autism-Europe International Congress 2016 (Edinburgh (UK))[2016 年 09 月 16 日]
15. [ポスター発表・国際会議(共同)] Miura, Y., Matsui, T., Fujino, H., Tojo, Y., & Hakarino, K. 「Autistic children's use of conventional and prosodic knowledge in interpretation of indirect answers.」 XI Autism-Europe International Congress 2016 (Edinburgh (UK))[2016 年 09 月 16 日]
16. [ポスター発表・国内会議(共同)] 橋彌和秀・小林洋美・孟憲巍・宇土裕亮・前山航暉・長内博雄・計野浩一郎・東條吉邦・齋藤慈子・長谷川寿一「ASD 児・TD 児における動画および静止画像に対する「自動的」表情模倣」日本発達心理学会第 27 回大会(北海道大学(北海道札幌市))[2016 年 04 月 29 日]
17. [ポスター発表・国内会議(共同)] 三浦優生・松井智子・藤野博・東條吉邦・計野浩一郎「自閉スペクトラム症児における間接発話の理解.」日本発達心理学会第 27 回大会(北海道大学(北海道札幌市))[2016 年 04 月 29 日]
18. [ポスター発表・国内会議(共同)] 藤野博・神井享子・松井智子・東條吉邦・計野浩一郎「ASD 児における誤信念理解と語彙理解およびプランニングの関係」日本発達心理学会第 27 回大会(北海道大学(北海道札幌市))[2016 年 04 月 30 日]
19. [ポスター発表・国内会議(共同)] 浅田晃佑, 東條吉邦, 計野浩一郎, 長谷川寿一, 熊谷晋一郎「自閉スペクトラム症者のボディイメージ:線分課題による検討」日本発達心理学会第 27 回大会(北海道大学(北海道札幌市))[2016 年 05 月 01 日]
20. [ポスター発表・国内会議(共同)] 荒井はるか・藤野博・松井智子・東條吉邦・計野浩一郎「ASD

児は幾何図形アニメーションを擬人化するか？」日本発達心理学会第 27 回大会(北海道大学(北海道札幌市))[2016 年 04 月 29 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 文部科学省・大学設置・学校法人審議会専門委員(2013 年 04 月～2016 年 10 月)
2. [兼業] 水戸市教育委員会・水戸市教育支援委員会委員(2015 年 05 月～2017 年 05 月)
3. [兼業] 独立行政法人大学入試センター・全国大学入学者選抜研究連絡協議会企画委員会委員(2012 年 04 月～2017 年 03 月)
4. [兼業] 水戸市教育委員会・水戸市教育支援委員会委員(2016 年 04 月～2017 年 03 月)
5. [兼業] 東洋大学大学院・非常勤講師(2016 年 04 月～2017 年 03 月)
6. [兼業] 茨城県教育委員会・教育職員免許法認定講習(2007 年 08 月～2016 年 08 月)

○ 学協会での役職

1. 日本自閉症スペクトラム学会, 常任編集委員(2015 年 08 月～2017 年 08 月)
2. 日本自閉症スペクトラム学会, 評議員(2014 年 09 月～2017 年 08 月)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]挑戦的萌芽研究(代表)「自閉症者の社会的困難の認知神経学的基盤を实际場面で捉える:基礎研究から臨床応用へ」, 270 万円 (2014 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

養護教諭養成課程	氏名 廣原 紀恵
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1957年6月
学歴・職歴	徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部保健科学部門看護学講座(2008年4月～2011年3月) 茨城大学教育学部(2011年4月～)
学位	教育学修士[茨城大学]
受賞歴	発育発達学会 優秀研究論文賞(2010) 日本公衆衛生学会 優秀演題賞(2009)
所属学会	日本健康相談活動学会 日本学校健康相談学会 日本発育発達学会 日本人類学会 日本小児保健学会 中国・四国学校保健学会 日本公衆衛生学会 日本養護教諭教育学会 日本看護研究学会 日本教育カウンセリング学会 日本思春期学会 日本学校保健学会 日本健康学会
専門分野	学校看護学 学校保健 健康教育
教育研究概要	(キーワード)身長 体重 発育発達 学校看護
担当科目	(教養科目)健康の科学[大学生の健康と保健] (専門科目)学校救急看護, 学校看護学実習, 学校看護学概論, 学校救急看護実習, 学校救急看護演習 I, 卒業研究(教育:4単位) 臨床医学・看護学臨床実習 (大学院科目)学校救急看護学特論, 学校救急看護学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [研究論文(学術雑誌)【査読あり】]Misaki Katsuyama, Yuji Koike, Toshie Hirohara, Kazuhiro Kogawa"Immune status of representative infectious diseases among Japanese female university students", International Journal of Adolescent Medicine and Health, **ahead of print** (2016年)
- [共著【査読あり】]Nasa Ikuta, Yuji Koike, Naoko Aoyagi, Akira Matsuzaka, Kenji Ishihara, Toshie Hirohara, Fukumi Saito, Toshiyuki Takizawa"Japanese university students' views on lesbian, gay, bisexual, and transgender individuals based on previous encounters", International Journal of Adolescent Medicine and Health, **ahead of print** (2016年)
- [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]廣原紀恵 富岡志織 郷木義子「養護教諭の性同一性障害に関する保健指導、教育への認識」, インターナショナル Nursing Care Research, **15**, 3, 163-174

(2016 年 10 月)

4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]五十嵐茉莉 廣原紀恵「中・高校生の友人グループに対する価値観について ―養護教諭の相談活動の一助として―」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), **65**, 323-334(2016 年 10 月)
5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]飯嶋美里 生田奈咲 石津美阿里 後藤加奈 仁平成美 湯原裕子 廣原紀恵「A 大学生のピアスに関する実態調査」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), **65**, 335-347(2016 年 10 月)
6. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Ishihara K, Ichinomiya A, Inami M, Hashimoto T, Yuzawa R, Ishizu M, Hirohara T, Yashiro Y, Takizawa T."Recognition of, interest in, and understanding of induced pluripotent stem cells and regenerative medicine in Japanese students.", Regen Ther., **5**, 96-106(2016 年 09 月)
7. [研究論文(学術雑誌)【査読あり】]布施泰子、斎藤ふくみ、廣原紀恵、宮川八平、子川和宏 他「大学生の違法薬物に対する意識調査-2014 年の調査結果および 2009 年との比較-」, Campus Health, (2016 年 05 月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 廣原紀恵 小林正子「座高下肢長指数の年齢的变化からみた今日の子どものプロポーション」第 81 回日本民族衛生学会() [2016 年 11 月 27 日]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 廣原紀恵 山田玲子「養護実習を経験した養護教諭養成課程大学生の救急処置への不安に関する調査」日本学校保健学会第 63 回学術集会(つくば) [2016 年 11 月 20 日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 古池雄治 廣原紀恵 子川和宏 瀧澤利行「養護教諭養成課程に所属する大学生の感染症抗体価について」日本学校保健学会第 63 回学術集会(つくば) [2016 年 11 月 20 日]
4. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 「組織論にもとづく養護教諭の学校保健活動推進要因 ―養護教諭の能力を中心に―」日本学校保健学会第 63 回学術集会() [2016 年 11 月 19 日]
5. [ポスター発表・国内会議(共同)] 奥田紀久子 大坂京子 堤理恵 中窪萌子 加藤千代子 松岡麻衣子 郷木義子 棟方百熊 廣原紀恵 「喫煙防止教育による児童生徒の知識・意識・態度の変化」日本学校保健学会第 63 回学術集会(つくば) [2016 年 11 月 19 日]
6. [ポスター発表・国内会議(共同)] 廣原紀恵 上村弘子 河田史宝 中下富子 松枝睦美 三村由香里「養護教諭養成大学における「看護学」領域のカリキュラムについて」日本養護教諭教育学会(北海道) [2016 年 10 月 09 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 常磐短期大学・, 4(時間/月)(2012 年 04 月～)

○ 学協会での役職

1. 日本養護教諭教育学会, 編集委員(2012 年 05 月～2016 年 03 月)
2. 日本小児保健学会, 代議員(2012 年 05 月～)

○ 学外教育

1. [自治体での社会教育]「平成28年度10年経験者研修講座(養護教諭)」, 茨城県教育研修センター

○ 講演会・シンポジウム

1. 「平成 27 年度茨城県学校保健・学校安全研究大会(国内)」, 茨城県教育委員会(茨城県水戸市)
[基調講演](2016 年 01 月)

○ 地域協力活動

1. [その他公的社会活動]「高大連携 模擬授業」(2016 年 09 月～)
2. 茨城県教育研修センター[その他公的社会活動]「平成28年度10年経験者研修講座(養護教諭)」(2016 年 07 月～)
3. 茨城県教育研修センター[その他公的社会活動]「平成27年10年経験者研修講座(養護教諭)」(2015 年 07 月～)
4. [その他公的社会活動]「いはらき性教育研究会(全国性教育研究団体連合茨城県支部)」(2012 年 03 月～)
5. 「茨城小児保健協会 理事 事務局」(2011 年 08 月～)
6. 日本小児保健協会 評議員(2012 年 04 月～)
7. 茨城県教育研究連盟(2011 年 10 月～)
8. 日本教育大学協会全国養護教諭部門研究委員会 研究委員(2011 年 04 月～)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「養護教諭養成における「学校看護」の教育プログラムの構築」, 468 万円 (2015 年 04 月～2018 年 03 月)
2. [科研費](分担)「iPS 細胞を用いた次世代再生医療の実現と国民の意識基盤作りに向けた保健教育の考察」, 60 万円 (2014 年 04 月～2016 年)

養護教諭養成課程	氏名 斉藤 ふくみ
----------	-----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 10 月
学歴・職歴	北海道教育大学 教育学部旭川分校 養護教諭養成課程[1981 年 03 月卒業] 愛知教育大学大学院 教育学研究科 保健体育専攻学校保健学専修[1983 年 03 月修了] 広島大学大学院 保健学研究科 保健学専攻[2006 年 03 月修了] 熊本大学教育学部講師(2000 年 9 月～2006 年 3 月) 熊本大学教育学部助教授(2006 年 4 月～2007 年 3 月) 熊本大学教育学部准教授(2007 年 4 月～2008 年 3 月) 茨城大学教育学部准教授(2008 年 4 月～2014 年 3 月) 茨城大学教育学部教授(2014 年 4 月～)
学位	博士(保健学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教師教育学会 日本学校健康相談学会 日本健康相談活動学会 日本養護教諭教育学会 日本学校保健学会
専門分野	教科教育学 養護学、養護実践学、健康教育、質的研究
教育研究概要	<p>3大学の養護実習記録の内容分析による学生の学びの比較ーテキスト・マイニング手法を用いてー 本研究は、平成17年度A大学学生29名、B大学学生29名、C大学学生10名の養護実習記録をテキスト・マイニング手法を用いて内容分析を行った結果、学生の学びの言語構成が明らかになり、各々の大学の養護実習での学生の学びの特徴を捉えることが出来た。それと同時に3大学に共通の語句が抽出され、養成機関が異なっても養護実習での学生の学びは保証されていると考えられた。また3大学を総合してクラスター解析を行った結果、養護実習で学習する事項が語句として抽出され、学生の学びを客観的に捉えられたと思われる。このことから、本研究で得られた所見は養護実習評価項目を作成する際の参考資料になりうると思われる。また、各大学の学生の意識と特徴を集約することができたことにより、養護教諭養成機関の背景の違いによるカリキュラムの改善の指標として活用できるとと思われる。</p> <p>(キーワード)養護教諭、学校保健学、養護学、健康教育、養護実践、養護活動、養護実習、質的研究</p>

担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[養護教諭論] (専門科目) 養護活動演習 II, 健康相談活動, 養護学概論, 養護実践論, 養護活動演習 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 養護教諭論特論, 養護教諭論演習
------	---

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)単著【依頼/招待】] 齊藤ふくみ「特集 日本養護教諭教育学会誌の20年の功績と養護教諭教育の未来 本学会の理念追究に果たしてきた学会誌の役割」, 日本養護教諭教育学会誌, 20, 1, 9-13(2016年09月30日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 木嶋葉子・齊藤ふくみ「不定愁訴により頻回来室し、保健室登校から教室復帰した児童への支援—事例検討会から見た健康相談活動—」日本学校健康相談学会第13階学術集会() [2017年03月]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 茂中瑞希・齊藤ふくみ・古池雄治・子川和宏「健康相談における学校医の職務と養護教諭との関連—文献検討および質問紙調査から—」日本学校保健学会第63回学術集会(筑波大学) [2016年11月20日]
3. [ポスター発表・国内会議(共同)] 内田清香・海老澤紫・片山美千恵・高橋裕子・高橋雅子・齊藤ふくみ「養護教諭がコーディネーターとしての役割を果たすために必要な要素について—質問紙調査から—」日本学校保健学会第63回学術集会(筑波大学) [2016年11月19日]
4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 内田清香・海老澤紫・片山美千恵・高橋裕子・高橋雅子・齊藤ふくみ「養護教諭がコーディネーターとしての役割を果たすために必要な要素について—心身の健康問題をもつ子どもへの支援における質問紙調査から—」日本学校保健学会第62回学術大会() [2016年11月19日]
5. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 飯嶋美里・齊藤ふくみ「島しょの自然災害から考察する被災地の養護教諭の役割(第三報)—2013年伊豆大島の土砂災害に関する養護教諭対象のインタビュー調査の質的分析から—」日本養護教諭教育学会第24回学術集会(北翔大学) [2016年10月08日]
6. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 木内仁美・齊藤ふくみ「学校における哲学対話を用いたケアリング効果」日本教師教育学会第26回研究大会(帝京大学八王子キャンパス) [2016年09月18日]

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本養護教諭教育学会, 編集委員会事務局(2012年04月～)
2. 日本養護教諭教育学会, 理事(2012年04月～)
3. 日本学校健康相談学会, 理事(2010年04月～2016年03月)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「水戸市学校保健会養護教諭部会研修会(国内)」, 水戸市学校保健会・水戸市養護教諭部会(水戸市総合教育研究所)[基調講演](2016年02月)

○ 地域協力活動

1. 茨城県立太田第一高等学校(連携協定あり)(2016年11月～)

2. 福島県立湯本高等学校(2015年10月～)

3. 茨城県立牛久栄進高等学校(連携協定あり)(2015年08月～)

4. 茨城県立中央高等学校(2013年11月～)

5. 茨城県立水戸第三高等学校(2012年12月～)

6. 茨城県立水戸第二高等学校(2012年10月～)

7. 福島県立いわき光洋高等学校(2012年10月～)

8. 茨城県立日立北高等学校(2012年07月～)

9. 茨城県立水戸第三高等学校(2011年12月～)

10. 福島県立いわき光洋高等学校(2011年11月～)

11. 大成女子高等学校(連携協定あり)(2011年06月～)

養護教諭養成課程	氏名 瀧澤 利行
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1962年9月
学歴・職歴	東洋大学 文学部 教育学[1985年卒業] 東京大学大学院 教育学研究科 健康教育学[1992年修了] 日本学術振興会特別研究委員(1990年4月～1992年3月) 茨城大学教育学部助教授(1996年4月～2002年3月) 茨城大学教育学部教授(2002年4月～)
学位	博士(教育学)[東京大学] 博士(医学)[大阪大学] 教育学修士[東京大学]
受賞歴	第12回日本医史学会学術奨励賞(2006) 日本公衆衛生学会奨励賞(1999) 明治生命厚生事業団「健康文化」懸賞論文優秀賞(1994)
所属学会	日本医史学会 日本衛生学会 日本教育学会 日本公衆衛生学会 日本生活指導学会 日本学校保健学会 日本健康教育学会 日本在宅ケア学会 日本教育保健学会 日本高齢者虐待防止学会
専門分野	健康教育学 健康思想史 健康文化論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)保健福祉論, 精神保健/メンタルヘルス, 公衆衛生学, 衛生学, 学校保健概論(養護教諭), 養護活動と関連法規, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教育保健経営特論, 教育保健経営演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [共著【査読あり】]「Recognition of, interest in, and understanding of induced pluripotent stem cells and regenerative medicine in Japanese students.. Regen Ther. 5, 96-106 2016/09」, Regenerative Therapy, **5**, 96-106(2016年09月10日)
- [【査読あり】]Nasa Ikuta, Yuji Koike, Naoko Aoyagi, Akira Matsuzaka, Yasuko Fuse-Nagase, Kazuhiro Kogawa, Toshiyuki Takizawa「Prevalence of lesbian, gay, bisexual, and transgender among Japanese university students: a single institution survey」, International Journal of Adolescent Medicine and Health, (2016年04月)
- [共著【査読あり】]Nasa Ikuta, Yuji Koike, Naoko Aoyagi, Akira Matsuzaka, Kenji Ishihara, Toshie

Hirohara, Fukumi Saito, Toshiyuki Takizawa”Japanese university students’ views on lesbian, gay, bisexual, and transgender individuals based on previous encounters”, International Journal of Adolescent Medicine and Health, (2016 年 04 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

- [その他(単独)]第 28 回東京都杖道大会 7 段の部優勝(2016 年 07 月)
- [その他(単独)]第 24 回東京都杖道大会 7 段の部準優勝(2012 年 07 月)
- [その他]第 19 回東京都杖道大会 7 段の部準優勝(2007 年 07 月)
- [その他]第 18 回東京都杖道大会 7 段の部優勝(2006 年)
- [その他]第 12 回東京都杖道大会 7 段の部優勝(2000 年)
- [その他(単独)]第 17 回東京都杖道大会 7 段の部準優勝(1999 年 07 月)
- [その他]全日本剣道連盟杖道教士 7 段(1998 年)
- [その他]第 9 回東京都杖道大会 6 段の部第二位(1997 年)
- [その他(単独)]第 7 回東京都杖道大会 6 段の部準優勝(1995 年 07 月)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 放送大学・客員教授, 2(時間/月)(2004 年 04 月～)
2. [兼業] 国立大学法人お茶の水女子大学非常勤講師・(2006 年 04 月～)
3. [兼業] 東洋大学大学院非常勤講師・(2009 年 04 月～)
4. [兼業] 慶応義塾大学非常勤講師・(1999 年 04 月～)
5. [兼業] 國學院大學非常勤講師・(1993 年 04 月～)
6. [兼業] 東京都中央区協働推進会議会長・(2005 年 06 月～)
7. [兼業] 茨城県高齢者権利擁護推進委員会委員長・(2005 年 04 月～)
8. [兼業] 東京都練馬区協働推進会議副座長・(2010 年 04 月～)

○ 学協会での役職

1. 日本高齢者虐待防止学会, 理事(2011 年 07 月～)
2. 日本医史学会, 代議員(2011 年 06 月～)
3. 日本教育保健学会, 副理事長(2011 年 04 月～)
4. 日本生活指導学会, 会計監査(2010 年 09 月～)
5. 日本衛生学会, 倫理委員会委員(2008 年 04 月～)
6. 日本在宅ケア学会, 倫理委員長(2007 年 03 月～)
7. 日本教育保健学会, 常任理事(2002 年 03 月～)
8. 日本在宅ケア学会, 理事(2001 年 03 月～)
9. 日本衛生学会, 評議員(2000 年 03 月～)
10. 日本学校保健学会, 理事(1998 年 11 月～)
11. 日本健康教育学会, 評議員(1996 年 06 月～)

科学研究費補助金などの受領

2014 年～ 挑戦的萌芽的研究「iPS 細胞を用いた次世代再生医療の実現と国民の意識基盤作りに向けた保健教育の考案」(研究課題番号:26560377)

養護教諭養成課程	氏名 古池 雄治
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1963年12月
学歴・職歴	防衛庁 防衛医科大学校 医学部 医学科[1990年03月卒業] 防衛庁 防衛医科大学校大学院 医学研究科 成長発達臨床医学[2001年10月修了] 防衛医科大学病院(1990年6月～1992年7月) 防衛医科大学病院(1994年8月～1996年7月) 防衛医科大学医学研究科(1997年10月～2001年9月) 陸上自衛隊第4師団(2001年10月～2003年9月) 自衛隊中央病院(2003年10月～2006年12月) 国立病院機構災害医療センター(2007年1月～2014年3月) 茨城大学教育学部(2014年4月～)
学位	医学博士[学位授与機構]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校保健学会 日本小児保健協会 日本小児内分泌学会 日本小児科学会
専門分野	小児科学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)母性・小児系臨床医学・看護学, 感覚器系臨床医学・看護学, 臨床医学概論, 精神医学, 内科系臨床医学・看護学, 外科系臨床医学・看護学, 臨床医学・看護学臨床実習, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)教育保健医学特論, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [(MISC)総説・解説(商業誌)共著【依頼/招待】]生田奈咲、古池雄治「小児内分泌学の進歩 2016 大学生における性的マイノリティ(LGBT)に関する調査報告」, ホルモンと臨床, **63**, 1, 55-58 (2017年01月)
2. [(MISC)総説・解説(商業誌)共著【依頼/招待】]子川和宏、古池雄治、石井榮一「二次性貧血 慢性疾患に伴う貧血(ACD)と基礎疾患の関わり 慢性感染症」, 日本臨床, **75**, 増刊 1, 518-522 (2017年01月)

3. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Misaki Katsuyama, Yuji Koike, Toshie Hirohara, Kazuhiro Kogawa"Immune status of representative infectious diseases among Japanese female university students", International Journal of Adolescent Medicine and Health, **ahead of print** (2016 年)
4. [(MISC)研究論文共著【査読あり】]Nasa Ikuta, Yuji Koike, Naoko Aoyagi, Akira Matsuzaka, Kenji Ishihara, Toshie Hirohara, Fukumi Saito, Toshiyuki Takizawa"Japanese university students' views on lesbian, gay, bisexual, and transgender individuals based on previous encounters", International Journal of Adolescent Medicine and Health, **ahead of print** (2016 年)
5. [(MISC)研究論文共著【査読あり】]Nasa Ikuta, Yuji Koike, Naoko Aoyagi, Akira Matsuzaka, Yasuko Fuse-Nagase, Kazuhiro Kogawa, Toshiyuki Takizawa"Prevalence of lesbian, gay, bisexual, and transgender among Japanese university students: a single institution survey", International Journal of Adolescent Medicine and Health, **ahead of print** (2016 年)
6. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)共著【査読あり】]Yokouchi Y, Katsumori H, Koike Y."Late, late-onset group B streptococcus cellulites with bacteremia", Ped Emerg Care, **32**, 1, 29-31 (2016 年)
7. [(MISC)総説・解説(商業誌)共著]秋葉春乃、古池雄治「母子健康手帳の記載事項は学校不適応の予測因子となりうるか」, 小児科臨床, **69**, 11, 1871-1876 (2016 年 11 月)
8. [(MISC)総説・解説(商業誌)共著【査読あり】]石塚絵梨奈、古池雄治「大学における男女共同参画に関する現況調査」, 保健の科学, **58**, 7, 495-501 (2016 年 07 月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・] 古池雄治、向山千鶴、廣原紀恵「わが国の小児う歯と関連する因子に関する検討」第37回小児成長研究会(東京)[2017年02月18日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 茂中瑞希、斉藤ふくみ、古池雄治、子川和宏「健康相談における学校医の職務と養護教諭の連携—文献検討および質問紙調査から—」日本学校保健学会第63回学術大会(つくば)[2016年11月]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 古池雄治、廣原紀恵、子川和宏、瀧澤利行「養護教諭養成課程に所属する大学生の感染症抗体価について」日本学校保健学会第63回学術大会(つくば)[2016年11月]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 国立病院機構災害医療センター・小児科非常勤医師(2014年04月～)

○ 学協会での役職

1. 日本小児保健協会, 代議員(2016年～)
2. 茨城県小児保健協会, 会長(2014年～)

3. 日本小児内分泌学会, 評議員 (2012 年～)

養護教諭養成課程	氏名 石原 研治
----------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1971 年 5 月
学歴・職歴	群馬大学 工学部[1994 年 03 月卒業] 群馬大学大学院 工学研究科[1996 年 03 月修了] 東北大学大学院 薬学研究科[2000 年 03 月修了] 東北大学 大学院薬学研究科 助手(1999 年 4 月～2007 年 3 月) 東北大学 大学院薬学研究科 助教(2007 年 4 月～2008 年 3 月) 東北大学 大学院工学研究科 助教(2008 年 4 月～2009 年 3 月) 茨城大学 教育学部 養護教諭養成課程 准教授(2009 年 4 月～2017 年 3 月) 茨城大学 教育学部 養護教諭養成課程 教授(2017 年 4 月～)
学位	博士 (薬学)[東北大学]
受賞歴	財団法人 東北開発記念財団 海外 (国際学会) 派遣(2005) 財団法人 薬学研究奨励財団 海外 (国際学会) 派遣(2005) 日本薬学会 東北支部 奨励賞(2004)
所属学会	日本再生医療学会 日本学校保健学会 日本公衆衛生学会 International Eosinophil Society アレルギー・好酸球研究会 日本薬学会 日本アレルギー学会
専門分野	再生医療教育 アレルギー
教育研究概要	(キーワード)再生医療 アレルギー 好酸球 気管支喘息 聴覚 難聴
担当科目	(教養科目)健康の科学[アレルギーを知ろう] (専門科目)解剖生理学, 免疫学 II, 薬理学, 解剖生理学演習, 免疫学 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)学校安全特論, 学校安全演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]石原研治・山口千恵子・大沼守正・中森未華・瀧澤利行「高大接続研究による「再生医療教育モデル講座」の開発」, 茨城大学教育実践研究, **35**, 265-278 (2016 年 12 月 01 日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]石原研治・佐藤公美・野口 遥・山口千恵子・大沼守正 佐藤隆・和田濱裕之・川上雅弘・瀧澤利行「中・高校生の理解促進を指向した再生医療通信『懸け橋』の発

行」, 茨城大学教育実践研究, **35**, 255-263 (2016 年 12 月 01 日)

3. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Ishihara K, Ichinomiya A, Inami M, Hashimoto T, Yuzawa R, Ishizu M, Hirohara T, Yashiro Y, Takizawa T. "Recognition of, interest in, and understanding of induced pluripotent stem cells and regenerative medicine in Japanese students.", Regen Ther., **5**, 96-106 (2016 年 09 月)

研究業績(2)学会発表など

和田濱裕之・石原研治・中田祐希・瀧澤利行・大沼守正・山口千恵子「新聞等のメディアを通じた研究成果の適切な情報発信に向けたプレスリリース方法の検討」第 16 回日本再生医療学会 (2017 年 3 月 7-9 日, 仙台)

石原研治「中・高校生の iPS 細胞や再生医療への興味・関心と科学から医療としての思考養成プログラムの開発」『シンポジウム 40 再生医療教育の学校教育への展開 -市民と共に歩むためのアプローチ-』第 16 回日本再生医療学会 (2017 年 3 月 7-9 日, 仙台)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 江戸川学園取手高等学校・(2016 年 09 月～2018 年 03 月)
2. [兼業] 茨城県立緑岡高等学校・(2015 年 09 月～2017 年 09 月)
3. [非常勤講師] 東京学芸大学・非常勤講師 (2011 年 10 月～)

科学研究費補助金などの受領

○ 共同研究・受託研究

1. [その他]「日本学術振興会 ひらめきときめきサイエンス「iPS 細胞から眺めよう, 私たちの未来社会」2015 年度」, 未詳 (2016 年 05 月～2016 年 08 月)

養護教諭養成課程	氏名 青柳 直子
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	
学歴・職歴	東京大学大学院 教育学研究科[年] 東京大学大学院 教育学研究科[年] 東京学芸大学 教育学部大学院[年] 公益財団法人 労働科学研究所(2005 年～2007 年) 浜松学院大学短期大学部幼児教育科 専任講師(2007 年～2008 年) 浜松学院大学短期大学部幼児教育科 准教授(2008 年～2013 年) 茨城大学教育学部養護教諭養成課程 准教授(2013 年～)
学位	博士(教育学)[東京大学] 修士(教育学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本公衆衛生学会 日本発育発達学会 日本衛生学会 日本思春期学会 茨城県小児保健協会 日本健康教育学会 日本ストレス学会 日本小児保健学会 日本幼児体育学会 産業疲労研究会 日本疲労学会 日本産業衛生学会 日本時間生物学学会 日本学校保健学会
専門分野	時間生物学 応用健康科学
教育研究概要	(キーワード) 生体リズム、心身機能評価
担当科目	(教養科目)健康の科学[ライフスタイルと健康] (専門科目)保健科内容研究 I, 保健科内容研究 II, 保健科教育法研究, 保健科教育法演習, 体育科内容研究, 小児・思春期保健学, 保健学演習, 教職実践演習(養護教諭), 教職実践演習(学校教育), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)ヘルスプロモーション論特論, ヘルスプロモーション論演習, 養護学総合研究, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等 1. [単行本(学術書)・共著]茨城大学教育学部, 茨城大学教育学部附属幼稚園 編「楽しく遊んで、子どもを伸ばす ―子育て・保育の悩みに教育研究者が答えるQ&A―」, 福村出版, (2016 年 08 月) 2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]市川美代子・青柳直子「体験活動を取り入れた保健教育の指導方法に関する研究」, 茨城大学教育実践研究, 35, 245-253(2016 年 11 月)

3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]大塚真子・青柳直子「スクールソーシャルワークにおける養護教諭の役割」, 茨城大学教育実践研究, 35, 233-243(2016年11月)
4. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Nasa Ikuta, Yuji Koike, Naoko Aoyagi, Akira Matsuzaka, Yasuko Fuse-Nagase, Kazuhiro Kogawa, Toshiyuki Takizawa"Prevalence of lesbian, gay, bisexual, and transgender among Japanese university students: a single institution survey", International Journal of Adolescent Medicine and Health, (2016年04月)
5. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Nasa Ikuta, Yuji Koike, Naoko Aoyagi, Akira Matsuzaka, Kenji Ishihara, Toshie Hirohara, Fukumi Saito, Toshiyuki Takizawa"Japanese university students' views on lesbian, gay, bisexual, and transgender individuals based on previous encounters", International Journal of Adolescent Medicine and Health, (2016年04月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 青柳直子, 渡邊将司「幼児における長期休み期間と登園期間における生活習慣の実態」日本発育発達学会第15回大会() [2017年03月]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 青柳直子「登園日と休日における幼稚園児の生活習慣と身体活動の特徴」第63回日本学校保健学会() [2016年11月]
3. [ポスター発表・国内会議(単独)] 「平休日の幼児の生活習慣と身体活動との関連」第25回日本健康教育学会学術大会() [2016年06月]

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「国立教育政策研究所 学習指導要領実施状況調査(高等学校 保健)」[結果分析委員]
2. 「日本学術振興会 科学研究費委員会」[専門委員 第1段(書面)審査委員]

○ 学協会での役職

1. 日本学校保健学会第63回学術大会, 実行委員・座長(2016年11月)
2. 日本小児保健学会, 代議員(2014年～)
3. 日本教育大学協会全国養護部門研究委員会, 委員(2013年～)
4. 茨城県小児保健協会, 理事・事務局(2013年04月～)
5. 日本時間生物学会, 評議員(2010年～)

○ 講演会・シンポジウム

○ 地域協力活動

1. 茨城大学科学研究費助成事業 申請助言者(2016年)
2. 「茨城県10年次経験者研修講座(養護教諭・新栄養教諭)」(2015年～2017年)
3. 「茨城県新規採用研修講座(養護教諭)」(2014年～2017年)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

イタリア トリノ バレンティーノ城[学会参加](2015 年 10 月:5 日間)

科学研究費補助金などの受領

1. 茨城大学ダイバーシティ研究環境推進事業女性エンパワーメント支援制度研究費「幼児期における健康的な生活リズムの形成を目指した生活習慣プログラムの提案」【研究代表者】
2. 茨城大学教育学部研究費特別配分「幼稚園と家庭の連携による幼児の生活リズム改善のための取組」【研究代表者】
3. 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター・学部附属学校連携研究費補助金「幼児の望ましい生活リズムの定着に向けた取組み」【研究代表者】

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 村野井 均
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 12 月
学歴・職歴	<p>東京教育大学 教育学部 心理学科(東京都文京区)[1978 年卒業]</p> <p>筑波大学大学院 心理学研究科(茨城県つくば市)[1984 年単位取得満期退学]</p> <p>弘前学院大学一般教育部 講師(1984 年 4 月～1987 年 3 月)</p> <p>弘前学院大学一般教育部 助教授(1987 年 4 月～1988 年 3 月)</p> <p>福井大学教育学部 助教授(1988 年 4 月～1999 年 3 月)</p> <p>福井大学教育地域科学部 助教授(1999 年 4 月～2004 年 3 月)</p> <p>国立大学法人福井大学教育地域科学部 助教授(2004 年 4 月～2004 年 12 月)</p> <p>国立大学法人福井大学教育地域科学部 教授(2005 年 1 月～2005 年 9 月)</p> <p>国立大学法人茨城大学教育学部 教授(2005 年 10 月～)</p> <p>茨城大学大学院(2006 年 4 月～2017 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部附属教育実践総合センター(2010 年 4 月～2012 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部附属小学校(2012 年 4 月～2015 年 3 月)</p> <p>放送大学学園 放送大学茨城学習センター(2016 年 3 月～2017 年 3 月)</p>
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	<p>福井大学 IT 優秀アイデア賞(2002)</p> <p>福井大学 IT 優秀アイデア賞(2001)</p>
所属学会	<p>日本教育メディア学会 日本教育工学会 日本発達心理学会 日本教育心理学会</p> <p>日本心理学会</p>
専門分野	発達心理学 教育心理学 教育工学 社会心理学
教育研究概要	<p>子どものテレビ理解 (ストーリー理解、映像文法の理解、放送技術の理解) 児童・生徒による映像制作 子どもの作った映像作品を学校と協力して放送する試みと学校への信頼感</p> <p>(キーワード)子どものテレビ理解 メディア・リテラシー テレビ理解 テレビ 映像制作 学校と地域の連携 放送 高齢者のテレビ理解 ザッピング 映像文法 映像の時制表現 子どものテレビ視聴 音と映像の組み合わせ 催眠 暗示とコマーシャル 虚構と現実の区別</p>
担当科目	<p>(教養科目)人間と心[テレビ理解の心理学]</p> <p>(専門科目)発達心理学, 生涯学習とメディア, 発達の理解 II/発達の理解B, 発達</p>

	心理学特講, 幼児理解の理論と方法/幼児心理学, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)発達心理学特論, 学校教育総合研究, 子どもの発達と学習の過程, 課題発見実習, 学習指導・授業づくりの課題と実践, 学校運営開発実習 I, 教育 方法開発実習 I, 児童生徒支援実習
--	---

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・単著]村野井均「子どもはテレビをどう見るか テレビ理解の心理学」, 勁草書房, (2016年10月20日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]村野井均・関優月「ネットに無断投稿される人が不快に感じる要因に関する研究」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 66, 339-350(2017年03月31日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]村野井均・藤井とし子「幼児向け番組におけるテレビを3次元に見る手がかりの分析」, 茨城大学教育実践研究, 35, 279-287(2016年09月15日)
4. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著【依頼/招待】]村野井均「高齢者のテレビ理解から映像の受け手について考える」, 視聴覚教育, 5, 6-9(2016年05月01日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 村野井 均、藤井 とし子「母と子のテレビタイム」におけるテレビを3次元に見る手がかりの分析」日本教育メディア学会第23回年次大会(奈良教育大学)[2016年11月27日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 村野井 均「『サザエさん』における時制表現の一貫性と番組制作者の役割」日本教育メディア学会第23回年次大会(奈良教育大学)[2016年11月27日]
3. [シンポジウム・ワークショップ パネル(公募)・国内会議(単独)] 村野井均「子どものテレビ理解を支える見えないカリキュラム」心理科学研究会 秋の研究集会(石川県宝達志水町)[2016年11月18日]
4. [ポスター発表・国際会議(単独)] Hitoshi Muranoi "A research of the factors to feel uncomfortable when a photograph is contributed to SNS without permission" the 31st International Congress of Psychology 2016 (ICP2016)(Yokohama, Japan.) [2016年07月28日]
5. [ポスター発表・国際会議(単独)] Hitoshi Muranoi "The picture expression of the tense used in Japanese animation Sazae san, comparison between 1994 and 2015" the 31st International Congress of Psychology 2016 (ICP2016)(Yokohama, Japan) [2016年07月28日]
6. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 村野井 均「メディアリテラシーにおける番組制作者の役割ー 1996年と2015年におけるアニメ『サザエさん』の時制表現の比較」日本教育メディア学会第1回研究会(茨城大学)[2016年07月17日]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [出前授業] 茨城県立伊奈高等学校・茨城県立伊奈高等学校講師(2016年11月)
2. [出前授業] 茨城県立日立北高等学校・茨城県立日立北高等学校講師(2016年10月)
3. [出前授業] 茨城県立大子清流高等学校・茨城県立大子清流高等学校講師, 2(時間/月)
(2016年09月)
4. [出前授業] 福島県立磐城桜が丘高等学校・福島県立磐城桜が丘高等学校講師(2016年06月)
5. [兼業] 放送大学茨城学習センター・放送大学茨城学習センター面接授業講師 (2016年05月～2016年05月)
6. [兼業] 放送大学茨城学習センター・放送大学茨城学習センター客員教授(2016年04月～2017年03月)
7. [出前授業] 茨城県立 伊奈高等学校・講師, 3(時間/月)(2009年11月～)
8. [非常勤講師] 福島県立 白河高等学校・講師, 2(時間/月)(2009年10月～)
9. [非常勤講師] 茨城県立 石岡高等学校・講師, 2(時間/月)(2009年10月～)
10. [出前授業] 学校法人尚志学園 尚志高等学校(福島県郡山市)・講師, 2(時間/月)(2009年10月～)
11. [出前授業] 青森県青森東高等学校・講師, 2(時間/月)(2007年11月～)
12. [その他] 水戸市教育委員会・講師, 3(時間/月)(2007年03月～)

○ 学協会での役職

1. 日本教育メディア学会, 編集委員(2010年～)
2. 日本教育メディア学会, 常任理事(2006年10月～)

○ 学外教育

1. [出前授業]「テレビ理解の心理学」, 2時間, 15名出席, 茨城県立伊奈高等学校
2. [出前授業]「テレビ理解の心理学」, 2時間, 76名出席, 茨城県立日立北高等学校
3. [出前授業]「催眠の心理学(催眠実習)」, 2時間, 21名出席, 茨城県立大子清流高等学校
4. [出前授業]「テレビ理解の心理学」, 2時間, 50名出席, 福島県立磐城桜が丘高等学校

○ 講演会・シンポジウム

1. 「茨城県高等学校教育研究会衛生看護部(国内)」, 茨城県高等学校教育研究会衛生看護部
(茨城県水戸市五軒町 3-2-61 大成女子高等学校 看護図書室)[招待講演](2016年02月)

○ 地域協力活動

1. 茨城高等学校教育研究会 衛生看護部会[地域貢献事業]「神秘現象へ関心を持つ青年たちとつき合うために 一催眠実習一」『茨城高等学校教育研究会衛生看護部会年次大会』(2016年02月～)
2. 茨城県立清松高等学校(2010年03月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 ソウル・高麗大学校、漢陽大学校[学会参加、視察](2014 年 8 月:4 日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1) [科研費以外](代表)「ネットに無断投稿される人が不快に感じる水準に関する研究」, 66 万円 ,
日本教育公務員弘済会 日教弘本部奨励金(日本教育公務員弘済会)(2016 年 04 月 01 日～2017
年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 望月 厚志
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953 年 12 月
学歴・職歴	立教大学 文学部 教育学科教育学専攻課程[1978 年卒業] 立教大学大学院 文学研究科 教育学専攻[1987 年単位取得満期退学]
学位	文学修士[立教大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本生涯教育学会, 日本教師教育学会, 日本教育社会学会, 日本教育制度学会, 日本教育学会, 関東教育学会, 日本キャリアデザイン学会, 日本キャリア教育学会
専門分野	生涯学習, 社会教育, 教師教育 教育学
教育研究概要	<p>I. 教育活動 1. 授業関係 ①学部:教育実践と教師, 社会教育演習, 社会教育実習, 生涯学習論, 社会教育, 総合演習, 主題別ゼミナール, 卒業研究(卒業論文)指導, 教育実習指導, 総合科目(人間と社会), 担当。②大学院:生涯教育論特論, 生涯教育論演習, 学校教育総合研究Ⅱ, 特別課題研究(修士論文)指導, 担当。2. 学生指導 ①2005 年度入学生学年担任, ②委託生指導, ③全学就職センター相談員。3. 学外関係 ①社会教育主事講習(文部科学省), ②栄養教諭認定講習(茨城県教育委員会), ②10 年経験者研修講座(茨城県教育研修センター), ③社会教育基礎講習(茨城県教育委員会・茨城大学), ④茨城県教育研究連盟研究集会(茨城県教育研究連盟), ⑤高校での大学模擬授業, 担当。II. 研究活動 ①「教師の生涯学習に関する調査研究」(研究業績一覧を参照)。②「教師のキャリア・デザイン」及び「キャリア教育」の研究。③「学校評議員」制度の機能確立のための地域・学校連携システムの開発(科学研究費補助金研究)の研究。</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(専門科目)教育実践と教師(教職共通)/教育実践と教師[人環用教職], 教育実践と教師(教職共通), 社会教育演習, 教師のキャリア・デザイン, 生涯学習概論《学芸員:要件外》, 生涯学習論(教職共通)/生涯学習論(情報・人間), 社会教育実習, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)学校と保護者・地域の関係づくり, ライフキャリア論, 課題発見実習, 地域教育経営と「開かれた学校づくり」演習, 学校運営開発実習Ⅰ, 教育方法開発</p>

	実習 I, 児童生徒支援実習
--	----------------

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 小川 哲哉
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1958 年 2 月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部[1983 年 03 月卒業] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1985 年 03 月修了] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1988 年 09 月中退] 広島大学大学院 教育学研究科 教育人間科学専攻[2005 年 03 月修了] 九州産業大学 教授(2001 年 4 月～2004 年 3 月) 九州産業大学大学院 教授(2004 年 4 月～2010 年 3 月) 茨城大学教育学部 教授(2010 年 4 月～)
学位	教育学修士[広島大学] 博士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本ペスタロッチー・フレーベル学会 教育哲学会 日本道德教育学会 日本道德教育方法学会
専門分野	教育学、教育哲学、道德教育学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)人間・文化系科目[現代教育の諸問題] (専門科目)教育哲学特講, 教育の本質と理念(教職共通)/教育の本質と理念[人環用教職], 教育史演習 I, 教育の本質と理念(教職共通), 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)学校教育総合研究, 教師のライフステージと資質向上, アクティブ・ラーニングの理論と実践, 課題発見実習, 校内研修の企画・立案と実践, 学校運営開発実習 I, 教育方法開発実習 I, 児童生徒支援実習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [単行本(学術書)・共著]小川哲哉「玉川大学教職専門シリーズ 新教科「道德」の理論と実践」, 玉川大学出版部, 67-74(2017 年 02 月 22 日)
2. [著書・編者]渡邊満・押谷由夫・渡邊隆信・小川哲哉 編「シリーズ「特別の教科 道德」を考える 2 小学校における「特別の教科 道德」の実践」, 北大路書房, (2016 年 04 月)
3. []石井純一・小川哲哉「アクティブ・ラーニングと道德教育ー道德教育と国語教育の連関性ー」,

茨城大学教育実践研究, 35, 317-326(2016 年 11 月 30 日)

4. []小川哲哉・渡邊英一・岩瀬美江「討議型道德授業に関する研究—郷土愛を学ぶ高校道德授業—」, 茨城大学教育実践研究, 35, 303-315(2016 年 11 月 30 日)

5. [共著]小川哲哉・石島愛「小学校の道德教育に関する研究—モラルスキルトレーニングの実践例—」, 茨城大学教育実践研究, 35, 289-301(2016 年 11 月 30 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 小川哲哉(茨城大学)渡邊英一(茨城県教育庁)岩瀬美江(茨城県立鹿島高校)「高校における討議型道德授業に関する研究」日本道德教育方法学会第 22 回研究発表大会(於:茨城大学教育学部)() [2016 年 06 月 12 日]

2. [シンポジウム・ワークショップ パネル(公募)・国内会議(共同)] 押谷由夫(昭和女子大学)小川哲哉(茨城大学)中山真樹(竹の内小学校)鶴田清司(都留文科大学)「アクティブラーニングを通して道德授業改善の方法を考える」日本道德教育方法学会第 22 回研究発表大会(於:茨城大学教育学部)(水戸市) [2016 年 06 月 11 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 茨城町都市計画審議会, 委員(2016 年 12 月～)
2. 笠間市教育委員会外部評価委員会, 外部評価委員長(2016 年 10 月～2018 年 03 月)
3. 茨城県教育委員会, 新しいばらき教育プラン策定懇話会委員(2015 年～)
4. 茨城県, 茨城県総合計画審議会委員(2015 年～)
5. 日本ペスタロッチャー・フレイベル学会, 理事(2015 年～)
6. 茨城県教育委員会, 道德教育推進委員会委員長(2014 年～)
7. 茨城県, 茨城県総合計画審議会委員(2014 年 11 月～2016 年 11 月)
8. 日本道德教育方法学会, 理事(2013 年～)

科学研究費補助金などの受領

1. 教員養成教育における電子黒板・デジタル教科書を活用した教育方法に関する実証的研究(2014 年～2016 年)
2. 教師・生徒の言説分析による高等学校討議型道德授業の理論構築と授業開発(2017 年～2019 年)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 佐藤 環
------------------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1960 年 4 月
学歴・職歴	慶應義塾大学 文学部 史学科国史学専攻[1984 年 03 月卒業] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1992 年 03 月修了] 広島大学大学院 教育学研究科 教育学専攻[1995 年 03 月単位取得満期退学] 茨城大学教育学部・教授(2012 年～)
学位	修士(教育学)[広島大学]
受賞歴	なし
所属学会	茨城近現代史研究会 中等教育史学会 日本教育史研究会 全国地方教育史学会 教育史学会
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード)藩校教育史, 武芸, 弓術, 試験制度, 近代中等教育史
担当科目	(専門科目)学校教育課程論, 教育史特講, 学校教育課程論, 学校と教育の歴史, 幼児教育課程論, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)教育課程編成の計画と実践, 学校教育総合研究, 地域教育資源フィールドスタディ, 教材研究と授業設計 I, 課題発見実習, 学校教育と現代社会, 学校運営開発実習 I, 教育方法開発実習 I, 児童生徒支援実習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]佐藤環「新潟県における高等女学校の弓道教育」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 66, 355-370(2017 年 03 月)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]佐藤 環「『特別の教科道徳』の政策的動向と課題」, 茨城大学教育実践研究, 35, 359-367(2016 年 11 月 30 日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]佐藤 環・打越正貴「茨城県小・中学校におけるカリキュラム・マネジメント」, 茨城大学教育実践研究, 35, 369-379(2016 年 11 月 30 日)
4. [(MISC)書評, 文献紹介等単著]佐藤環「図書紹介 佐藤環著『茨城県女学校のあゆみー茨城県における女子中等学校の歴史の変遷ー』」, 地方教育史研究, 37, 41-44(2016 年 05 月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 佐藤環「茨城県における女子中等学校の展開」茨城県近現代史研究会 2016 年度第 2 回例会(茨城県開発公社会議室)[2016 年 07 月 16 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城町立青葉中学校学校評議員」茨城町教育委員会[学校評議員]
2. 「水戸市社会教育委員」水戸市教育委員会
3. 「水戸家庭裁判所委員会委員」

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 茨城キリスト教大学・非常勤講師(2014 年 04 月～)

○ 学協会での役職

1. 茨城県近現代史研究会, 副会長(2016 年 04 月～)
2. 全国地方教育史学会, 事務局長(2012 年 06 月～2017 年 05 月)
3. 全国地方教育史学会, 常任幹事(2011 年 05 月～)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「中等学校教育課程における武術導入に関する研究 ―戦前期の弓道を中心として―」, 494 万円 (2013 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 神永 直美
------------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	東京学芸大学 教育学部 幼稚園教員養成課程[1983年03月卒業] 東京学芸大学大学院 学校教育学専攻 幼児教育額講座[1991年03月修了] 在アルジェリア日本国大使館附属日本人学校教諭(1983年4月～1985年3月) 茨城大学教育学部附属幼稚園教諭・研究主任・園内教頭(1985年4月～2006年3月) 茨城女子短期大学(2006年4月～2017年3月)
学位	
受賞歴	なし
所属学会	日本保育者養成教育学会 日本音楽両方学会 日本子ども社会学会 絵本学会 日本保育学会
専門分野	幼児教育学
教育研究概要	(キーワード) 幼児教育 保育 遊び 環境 教育課程 保育者研修 子育て支援
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [教科書・単著]「フォトランゲージで学ぶ 子どもの育ちと実習日誌・指導計画」, 萌文書林, (2016年04月27日)
2. [教科書・共著]佐藤康富「新しい保育原理」, 大学図書出版, 52-64 110-121(2016年04月05日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等
1. [・国内会議(共同)] 「「保育実践演習」を核とした強化横断的授業の試みー附属園の園外保育参加を通してー」全国保育士養成協議会 第55回大会() [2016年08月26日]

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任
1. 「那珂市総合開発審議会」那珂市長 海野徹
2. 「幼児教育充実事業」茨城県教育委員会教育長[指導員]
○ 講演会・シンポジウム

1. 「日本保育学会 第 69 回大会 自主シンポジウム(国内)」, [パネリスト](2016 年 05 月)

情報文化課程	氏名 小泉 晋弥
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953年6月
学歴・職歴	<p>東京芸術大学 美術学部 芸術学科[1976年] 東京芸術大学大学院 美術研究科 美術教育学[1978年] 若関酒造株式会社(1979年4月～1984年3月) いわき市立美術館学芸員(1984年4月～1989年9月) 若関酒造株式会社企画部長(1989年10月～1990年3月) 郡山市教育委員会美術館建設準備室主査兼学芸員(1990年4月～1991年3月) 郡山市教育委員会美術館建設準備室主任学芸員(1991年4月～1993年6月) 郡山市立美術館主任学芸員(1993年7月～1996年3月) 茨城大学教育学部助教授(1996年4月～2000年3月) 東北大学文学部非常勤講師(平成14年3月まで)(1997年4月～2002年3月) 東京芸術大学美術学部非常勤講師(現在に至る)(1999年4月～) 茨城大学教授(現在に至る)(2000年4月～) 愛知県立芸術大学非常勤講師(現在に至る)(2003年4月～) 茨城大学教育学部附属中学校長(2011年4月～2014年3月) 茨城大学教育学部副学部長(2014年4月～) 茨城大学教育学部附属幼稚園長(2015年4月～)</p>
学位	修士(芸術学)
受賞歴	なし
所属学会	美術評論家連盟 文化資源学会 大学美術教育学会 美術史学会
専門分野	日本近代美術史 博物館学 美術批評
教育研究概要	<p>五浦時代の岡倉天心および近代彫刻史の研究を行っている。また美術館での鑑賞教育についての実践的、理論的研究を行うとともに、現代美術家の作品に対する研究・評論活動を行っている。</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習] (専門科目) 日本美術史特別演習Ⅰ, 表象文化論, 博物館学Ⅲ(資料論)/博物館学Ⅲ/博物館学Ⅲ(資料論), 日本美術史Ⅰ, メディア批評プロジェクトⅠ, 地域活動プロジェクトⅠ, 日本美術史特別演習Ⅱ, 美術批評論, 保育内容の研究(表現), 日本</p>

	<p>美術史 II, 視聴覚教育メディア論/視聴覚教育メディア論(人環), マルチメディア表現の理論及び演習, メディア批評プロジェクト II, 地域活動プロジェクト II, 博物館実習 II, 日本美術実地研究, 古美術実地研究, 博物館実習 I(校内実習), 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目) 日本美術史研究, 地域教育資源フィールドスタディ, 美術文化総合研究, 日本美術史演習, 美術教育授業設計</p>
--	--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(一般書)・分担執筆]小泉晋弥『川島清 彫刻の黙示 路傍・水量・淵』, 美術館連絡協議会, (2016 年 11 月)

研究業績(2)学会発表など

〈基調講演〉「五浦の岡倉天心と『茶の本』の世界 グローバリズムの時代にとっての意味」(講師) (5 月 14 日、茨城県教育会)

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「日立市博物館美術品収集審査委員会」日立市教育委員会
2. 「茨城県近代美術館美術資料収集委員会」委員長[委員長]
3. 「栃木県立美術館作品等収集評価委員会」栃木県立美術館長
4. 「宇都宮美術館美術作品等収集評価委員会」宇都宮市[副委員長]

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県教育研修センター・講師(2007 年 07 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「鼎談「川島清の彫刻」(国内)」, いわき市立美術館(福島県いわき市)[招待講演](2016 年 11 月)
2. 「茨城大学 国際 岡倉天心シンポジウム 2016(国内)」, 茨城大学五浦美術文化研究所(水戸市)[司会・議長・コンビーナ・コーディネータ](2016 年 09 月)
3. 「ギャラリートークセッション(国内)」, (公財)東海村文化・スポーツ振興財団(茨城県東海村東海ステーションギャラリー)[招待講演](2016 年 06 月)
4. 「「菱田春草×池上秀畝 明治日本画の新派・旧派」(国内)」, 長野県信濃美術館(長野県長野市)[招待講演](2016 年 06 月)
5. 「岡倉天心と茨城の美術(国内)」, 金砂郷田楽研究会(茨城県常陸太田市)[招待講演](2016 年 04 月)
6. 「絵画から見える社会と人間(国内)」, 日本教育保健学会(水戸市)[招待講演](2016 年 03 月)

情報文化課程	氏名 乾 康代
--------	---------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1953 年 10 月
学歴・職歴	大阪大学 文学部 哲学科 哲学 哲学史[1977 年卒業] 大阪工業大学 工学部 建築学科[1990 年卒業] 大阪市立大学大学院 生活科学研究科 生活環境学[2000 年単位取得満期退学]
学位	学術博士[大阪市立大学] 工学修士[京都工芸繊維大学]
受賞歴	なし
所属学会	都市住宅学会 日本都市計画学会 日本家政学会 日本建築学会
専門分野	住環境計画 住宅計画, 都市計画
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目) 公共社会[戦後昭和の都市と農村][戦後昭和の家族と生活] (専門科目) 初等家庭科内容研究, 住環境計画学(生活デザイン), 保育内容の研究(環境), 住居学概論/住居計画学(情報文化課程), 初等家庭科内容研究, 住居環境学/住居環境学(情報文化), 居住地計画演習, 設計製図 I(情報文化), 住居学演習 (大学院科目) 住居学特論, 初等生活科学総合研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(学術雑誌)【査読あり】]乾 康代「原子力発電所立地地域に廃炉後の地域再生支援の課題 -イギリスとの比較から-」, 都市計画論文集, **52**, 3, 1156-1172(2017 年 10 月 25 日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]乾 康代「つくばエクスプレス沿線開発の経緯と特徴 - 21 世紀の郊外住宅地まちづくりに関する検討 -」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術), 66 (2017 年 03 月 31 日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]村上 彬、乾 康代「民間アパートにおける日照障害の実態 - 低層住宅地の民間アパートを対象にして-」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学, 芸術) 66 号, 66(2017 年 03 月 31 日)
4. [研究論文(学術雑誌)【査読あり】]乾 康代, 齊藤充弘, 中田 潤「原子力発電所の廃炉後の跡地利用と地元の町の再生 -ドイツ, 旧グライフスヴァルト原発の事例研究-」, 都市計画論文集, **51**, 3, 1062-1069(2016 年 10 月 25 日)

5. [研究論文(その他学術会議資料等)単著]乾 康代「東日本大震災による被災者の住宅再建の支援課題」, 日本建築学会大会(九州)建築計画部門パネルディスカッション資料, (2016年08月)
6. [研究論文(研究会, シンポジウム資料等)単著]乾 康代「東日本大震災による被災者の住宅再建の支援課題, 建築計画分野における災害復旧・復興研究の意義と課題 -東日本大震災からの5年で得た知見-」, 日本建築学会大会(九州)建築計画部門パネルディスカッション資料, (2016年08月)
7. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]乾 康代「避難者受け入れ自治体と被災自治体による県外避難者支援 ～東日本大震災後の全国の市区町村調査から～」, 日本建築学会計画系論文集, 81, 726, 1851-1858(2016年08月01日)

研究業績(2)学会発表など

1. 「茨城県の区分所有マンションにおける居住と管理の現状(続報)」, 日本建築学会, 2015年9月6日, 東海大学
2. 「茨城県の区分所有マンションにおける居住と管理の現状」, 日本建築学会, 2014年9月12日, 神戸大学
3. 「東日本大震災と原発事故による避難者の類型別にみた避難状況と支援課題」, 日本建築学会, 2014年9月12日

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城県住生活基本計画改定委員会」茨城県[委員]
2. 「高萩市空家等対策協議会」高萩市[会長]
3. 「阿見町空家等対策協議会」阿見町[副会長]
4. 「水戸市空家等対策協議会」委員[副会長]

○ 学協会での役職

1. 日本建築学会, 卒業論文等顕彰事業委員会計画系選考部会委員 (2017年04月～)
2. 日本建築学会, 建築社会システム本委員会幹事(2016年04月～2018年03月)
3. 日本建築学会, 関東支部茨城支所常任幹事(2002年04月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「【連続シンポジウム】「東京の住宅地」の現在と未来 第5回: 郊外住宅地開発の今とそのマネジメント(国内)」, 日本建築学会関東支部住宅問題専門研究委員会(東京都港区)[招待講演](2016年05月)
2. 「茨城県立勝田高等学校模擬授業(国内)」, 茨城県立勝田高等学校(茨城大学水戸キャンパス)[招待講演](2016年05月)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

1. ドイツ, 「廃炉後のまちづくり調査」(2017年9月17日～9月23日)
2. ドイツ, 「エネルギー政策転換期における原発立地地域の廃炉後のまちづくりに関する研究」

(2015 年 8 月 22 日～31 日)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [大林財団](代表)「エネルギー政策転換期における原発立地地域の廃炉後のまちづくりに関する研究」, 100 万円 (2017 年 04 月～2018 年 03 月)
2. [科研費]基盤研究(B)一般(分担)「東海村臨海事故を踏まえた福島原発事故後の環境対策とまちづくりに関する総合研究」, 1986.5 万円 (2013 年 04 月～2017 年 03 月)
3. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「人口減少進行の被災地における住宅復興と地域再生に関する研究, 茨城県を対象に」, 546 万円 (2012 年 04 月～2015 年 03 月)

情報文化課程	氏名 島田 裕之
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1957 年 4 月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 美術[1980 年卒業] 東京芸術大学大学院 美術研究科 形成デザイン[1988 年修了] 茨城県取手市立第二中学校教諭(1980 年 4 月～1984 年 3 月) 茨城県取手市立戸頭中学校教諭(1984 年 4 月～1986 年 3 月) 東京学館総合技術高等学校工芸科非常勤講師(1988 年 4 月～1990 年 3 月) 桐生短期大学生生活デザイン科専任講師(1990 年 4 月～1993 年 3 月) 茨城大学講師 教育学部(1993 年 4 月～1995 年 3 月) 茨城大学助教授 教育学部(1995 年 4 月～2004 年 9 月) 茨城大学教授 教育学部 (現在に至る)(2004 年 10 月～)
学位	芸術学修士
受賞歴	かながわ地球環境保全ポスターコンクール優秀賞(1999) 第 7 回 NAAC 展 TGC 部門 TGC 賞(1989) 第 66 回二科展商業美術部特選賞(1981) 第 64 回二科展商業美術部特選賞(1979)
所属学会	日本デザイン学会 大学美術教育学会
専門分野	視覚デザイン
教育研究概要	イラストレーションによる視覚伝達デザインの研究と制作 (キーワード) 平面デザイン(イラストレーション、コンピュータ・グラフィック、広告、ポスター)、映像(映画、アニメーション)
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習], 人間と文学・芸術[美術の表現], コミュニケーション論[情報文化基礎演習] (専門科目) デザイン I/デザイン史演習, デザイン表現演習 I, 図画工作科内容研究, 美術教育授業研究 II/美術館ワークショップ実習, Illustrator で DTP(初級), 情報文化広報プロジェクト I, メディア批評プロジェクト I, 映像工房プロジェクト I, デザイン II[本・絵本を作る], 絵本制作演習, デザイン表現演習 II, デザイン基礎(学校・表現), 視覚コミュニケーション演習[デザインでの視覚伝達入門], 美術教育授業研究 I, 美術教育授業研究 III, 情報文化広報プロジェクト II, メディア批評プロジェクト II, 映像工房プロジェクト II, 静止画像処理(中級), 卒業研究, 日本美術実地

	<p>研究, 古美術実地研究, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目) 工芸・デザイン研究, 美術文化総合研究, デザイン研究 I, 工芸・デザイン演習, 美術教育授業設計, デザイン演習 I, 特別課題研究</p>
--	---

研究業績(3) 芸術・体育系の活動

- [芸術活動(共同)] 茨城県芸術祭映像コンクール(2016 年 10 月)
- [芸術活動] 個展: 魑魅魍魎図絵(2016 年 05 月)
- [芸術活動(共同)] 第 9 回現代茨城作家美術展出品(2016 年 01 月)
- [芸術活動(共同)] 茨城県芸術祭映像コンクール(2015 年 10 月)
- [芸術活動] 個展: ななつはし(2015 年 06 月)
- [芸術活動(共同)] 茨城県芸術祭美術展(2014 年 10 月)
- [芸術活動(共同)] 茨城県芸術祭映像コンクール(2014 年 10 月)
- [芸術活動] 個展: Boundary(2014 年 05 月)
- [芸術活動(共同)] 第 8 回現代茨城作家美術展出品(2014 年 01 月)
- [芸術活動] 個展: 境・界(2013 年 12 月)
- [芸術活動] 個展: 花・景・色(2013 年 05 月)
- [芸術活動] 個展: nirai・kanai(2012 年 11 月)
- [芸術活動(単独)] 茨城県芸術祭美術展(2012 年 10 月)
- [芸術活動(単独)] 茨城県芸術祭映像コンクール(2012 年 10 月)
- [芸術活動] 個展: NIPPON SCENE(2012 年 06 月)
- [芸術活動(共同)] 第 7 回現代茨城作家美術展出品(2012 年 01 月)
- [芸術活動(単独)] 茨城県芸術祭映像コンクール(2011 年 10 月)
- [芸術活動] 個展: UTAKI・HIKARI II(2011 年 06 月)
- [芸術活動] 茨城県水質保全協会ロゴマーク選考委員(2011 年 02 月)
- [芸術活動] いばらきロケ大賞審査員(2010 年 12 月)
- [芸術活動] 茨城県芸術祭映像コンクール(2010 年 10 月)
- [芸術活動] 個展: UTAKI・群耀図(2010 年 06 月)
- [芸術活動] 個展: UTAKI・Selection2007-2010(2010 年 04 月)
- [芸術活動] 第 6 回現代茨城作家美術展出品(2010 年 01 月)
- [芸術活動] 茨城県芸術祭映像コンクール(2009 年 10 月)
- [芸術活動] 個展: DIGITAL STAGE 2009 UTAKI・HIKARI(2009 年 06 月)
- [芸術活動] 茨城県多文化共生社会推進事業マンガせりふコンテスト(2009 年 01 月)
- [芸術活動] 第 23 回国民文化祭映像文化フェスティバル(2008 年 09 月)
- [芸術活動] 個展: DIGITAL STAGE 2008 UTAKI・SORA(2008 年 06 月)
- [芸術活動] 個展: DIGITAL STAGE 2008 UTAKI ひかりのうまれるところ(2007 年 05 月)
- [芸術活動] 個展: DIGITAL WORKS 2004-2006(2006 年)

- [芸術活動]第4回現代茨城作家美術展(2005年)
- [芸術活動]個展: DIGITAL STAGE 2005(2005年)
- [芸術活動]個展: DIGITAL STAGE 2004(2004年)
- [芸術活動]第3回現代茨城作家美術展(2003年)
- [芸術活動]個展: DIGITAL STAGE 2002(2002年)
- [芸術活動]さかなの絵コンクール(2002年01月)
- [芸術活動]第2回現代茨城作家美術展(2001年)
- [芸術活動]個展: DIGITAL STAGE 2000(2000年)
- [芸術活動]かながわ地球環境保全ポスターコンクール優秀賞(1999年)
- [芸術活動]JACA'99 日本ビジュアルアート展入選(1999年)
- [芸術活動]個展: OUTER ZONE 展(1998年)
- [芸術活動]個展: 水性思考展(1997年)
- [芸術活動]「林十江に捧ぐ」展(1997年)
- [芸術活動]第1回 ART BOX CG ポスターグランプリ展入選(1997年)
- [芸術活動]オペル・デザインコンテスト'97 入選(1997年)
- [芸術活動]福岡コンピュータ・グラフィックス展入選(1996年)
- [芸術活動]JACA'96 日本ビジュアルアート特別展入選(1996年)
- [芸術活動]JACA'95 日本ビジュアルアート展入選(1995年)
- [芸術活動]JACA'94 日本ビジュアルアート展入選(1994年)
- [芸術活動]第5回柏市文化フォーラム 104 大賞展・TAMON 賞展入選(1994年)
- [芸術活動]個展: 島田裕之 水・世・界展(1993年)
- [芸術活動]個展: DIGITAL STAGE・WATER LAND 展(1992年)
- [芸術活動]JACA'90 日本イラストレーション展入選(1990年)
- [芸術活動]第7回 NAAC 展 TGC 部門 TGC 賞受賞(1989年)
- [芸術活動]現代茨城の美術展・出品(1989年)

社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
- 1. 「茨城県美術館協議会」茨城県美術館協議会[委員長]
- 2. 「茨城県芸術祭映像コンクール」茨城県芸術祭映像コンクール[審査員]
- 3. 「茨城県芸術祭美術展覧会」茨城県芸術祭美術展覧会[委員 審査員]
- 4. 「茨城デザイン振興協議会」茨城デザイン振興協議会[顧問]

情報文化課程	氏名 佐々木 忠之
--------	-----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958 年 1 月
学歴・職歴	北海道大学 理学部 物理学[1981 年] 北海道大学大学院 工学研究科 生体工学[1984 年] 国立身体障害者リハビリテーションセンター 研究所 福祉機器開発部福祉機器開発室 研究員(1984 年 10 月～1990 年 3 月) 茨城大学助教授 教育学部情報教育講座(1990 年 4 月～2004 年 9 月) 茨城大学教授 教育学部情報文化教室(2004 年 10 月～)
学位	工学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本視覚学会 人間工学会 日本特殊教育学会 計測自動制御学会 日本機械学会 バイオメカニズム学会 電子情報通信学会 日本ロボット学会 日本音響学会 日本 ME 学会
専門分野	感覚情報工学 福祉工学
教育研究概要	福祉工学、感覚情報工学 (キーワード)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[福祉機器・福祉空間入門], コミュニケーション論 [情報文化基礎演習] (専門科目)生活デザイン演習 II, 情報処理の基礎技術 I, 感覚の科学, 静止画像処理(初級)a, 静止画像処理(初級)b, 生活デザイン演習 I, 情報技術演習 I/マイクロコンピュータ・プログラミング入門 (大学院科目)電気工学特論 II, 技術科授業設計

研究業績(2)学会発表など

ニーズに沿った教材を求めて:「ハートネット茨城」(茨城県特別支援教育連盟)、第3号、p4

情報文化課程	氏名 岩佐 淳一
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年1月
学歴・職歴	中央大学大学院文学研究科 博士前期課程修了[1985年]
学位	文学修士[中央大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本社会情報学会、日本社会学会、日本マス・コミュニケーション学会、日本タイ学会、情報通信学会、日本出版学会
専門分野	地域メディア論、市民メディア論、マス・コミュニケーション論、社会情報論
教育研究概要	地域メディア、市民メディアに関する研究、タイ東北部の地域メディアに関する研究 (キーワード)
担当科目	(専門科目)社会文化情報演習 II、マス・コミュニケーション論、フィールドワークの科学、情報文化広報プロジェクト I、文化の社会学、社会学特講/情報社会論、メディア・リテラシー II、情報文化広報プロジェクト II、インターンシップ、卒業研究(教育: 4単位) (大学院科目)社会学特講、社会学演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Community Radio as a basic broadcasting medium: Some cases in Thailand, in Noriyuki Suzuki, Somsak Srisontisuk (ed), Civil Society Movement and Development in Thailand and Lao PDR: Public Sphere, Social Capital and Prachakhom, Khon Kaen University Book Center, 2017 (最新の業績のみ)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 岩佐淳一「タイにおけるメディア改革運動とコミュニティラジオ」日本タイ学会第18回研究大会(九州大学)[2016年07月02日]

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「東海村情報公開個人情報保護審査会」東海村[委員]
2. 「東海村行政不服審査会委員」東海村[委員]

○ 学協会での役職

○ 地域協力活動

1. 社団法人茨城県経営者協会〔学外審議会・委員会等〕「社団法人茨城県経営者協会地域関係委員会特別委員」(2016 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

タイ バンコク、チュラロンコーン大学〔資料収集のため〕(2017 年 8 月:9 日間)

情報文化課程	氏名 野崎 英明
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年7月
学歴・職歴	東北大学 工学部 機械工学第二[1983年卒業] 東北大学大学院 工学研究科 機械工学第二[1985年修了]
学位	工学修士[東北大学] 博士(工学)[茨城大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本鉄鋼協会 日本産業技術教育学会 日本金属学会 日本機械学会
専門分野	教科教育学 機械材料・材料力学
教育研究概要	(1) 不均質材料のマイクロメカニクス 複合材料のフィラーや金属中の析出物等の不均質物の形状が周辺の応力分布, および材料の全体特性に及ぼす影響について理論的・数値的に解析する。(2) 中学校技術科教材・指導法に関する研究 (キーワード) 数値等価介在物法, 材料と加工の技術, 金属材料, プラスチック
担当科目	(教養科目) 情報リテラシー, 大学入門ゼミ[技術教育概論] (専門科目) 構造力学, 金属加工演習, 金属加工学, 保育内容の研究(環境), 技術科指導法(金属加工実習)/金属加工の基礎技術, シミュレーション技法, 基礎金属加工, 製図II, 金属加工の応用技術, 教職実践演習(教諭), 現代教育の実践的課題, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 金属工学特論, 技術科授業設計, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著] 出野洋嗣, 野崎英明, 白坂高司, 竹野英敏「中学校技術科「材料と加工に関する技術」における危険予知活動実施による生徒の安全能力育成に関する検証」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 65, 147-160(2016年)
2. [(MISC)総説・解説(学術雑誌)共著【査読あり】【依頼/招待】] 野崎英明・工藤雄司・大西有「中学校における材料加工教育の現状」, 塑性と加工(日本塑性加工学会誌), 57, 663, 304-309(2016年04月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等
1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 小祝達朗・大谷忠・野崎英明・坂本智「技術科金属加工学習

におけるスキルに関する内容分析」日本産業技術教育学会 第 59 回全国大会(京都)(京都教育大学)[2016 年 08 月 28 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本産業技術教育学会, 評議員(2011 年 04 月～)
2. 日本産業技術教育学会, 関東支部会理事(2011 年 04 月～)

情報文化課程	氏名 甲斐 教行
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1960年12月
学歴・職歴	<p>早稲田大学 社会科学部 社会科学科[1985年卒業] 早稲田大学 第二文学部 美術専修[1987年卒業] 東京芸術大学大学院 美術研究科 西洋美術史[1990年修了] 東京芸術大学大学院 美術研究科 西洋美術史[1997年単位取得満期退学] 順天堂大学(1997年10月～1998年3月) 東京芸術大学(1997年4月～2000年3月) 大妻女子大学(1997年4月～2000年3月) 都留文科大学(1997年4月～2000年3月) 青山学院大学(1998年4月～2000年3月) 千葉大学(1999年10月～2002年3月) 茨城大学(2000年4月～2011年3月) 青山学院大学(2001年4月～2009年3月) 実践女子大学(2007年4月～2008年3月) フィレンツェ大学(2009年5月～2009年11月) 放送大学(2010年10月～2011年3月) 茨城大学(2011年4月～) マックス・プランク財団フィレンツェ美術史研究所(2016年5月～2017年1月)</p>
学位	博士(文学)[千葉大学] 芸術学修士[東京芸術大学]
受賞歴	なし
所属学会	中世哲学会 地中海学会 美学会 美術史学会
専門分野	美学・美術史
教育研究概要	<p>近世イタリアの宗教画研究／ファシズム期具象彫刻研究 イタリア美術史、とくに図像解釈学的研究を主要研究領域とする。これまで16世紀後半に活躍した画家フェデリコ・バルッチ、サンティ・ディ・ティート、19世紀後半に活躍した画家アレッシンドロ・フランキ、20世紀前半に活躍したフィレンツェの彫刻家コッラード・ヴィーニの作品研究を行ってきた。現在、16世紀フィレンツェで活躍した彫刻家バッチョ・バンディネッリの作品研究に取り組んでいる。</p> <p>(キーワード) イタリア、ルネサンス、図像解釈学、バルッチ、サンティ・ディ・ティート、対抗宗教改革、アレッシンドロ・フランキ、プリズモ、コッラード・ヴィーニ、ファシズ</p>

	ム、
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[美術教育実践演習] (専門科目) 表象文化論, 図画工作科内容研究, 西洋美術史 I, 保育内容の研究(表現), 西洋美術史特別演習 II, 美術作品論 III, 美術史学方法論 III, 西洋美術史 II, 図像学入門, 西洋美術史 II, 日本美術実地研究, 古美術実地研究, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 西洋美術史研究, 美術文化総合研究, 美術教育授業設計, 造形芸術学

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [単行本(学術書)・単訳] 甲斐教行「カルロ・デル・ブラーヴォ『美の顕現—ルネサンスの美術と思想』, 中央公論美術出版, (2016 年 10 月 10 日)
- [その他・共著] 島剛、高橋正宣、市川政憲、甲斐教行「島剛彫刻展 CORE SAMPLE WORK Inward⇔Outward 地中内視/向き合う視線』、二〇一六年、十四—十六頁), ギャラリー桜林, pp.14-16(2016 年 12 月 17 日)
- [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】] 甲斐教行「コッラード・ヴィーニの公共彫刻——全作品カタログ」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), 23, (25)-(98)(2016 年 11 月 30 日)
- [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】] 甲斐教行「カルロ・デル・ブラーヴォ「一四〇〇年代前半」翻訳と解題」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), 23, 121-152(2016 年 11 月 30 日)
- [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著【査読あり】] 甲斐教行「カルロ・デル・ブラーヴォ「ジョヴァンニ・ベッリーニとロレンツォ・ヴァッラ」翻訳と解題」, 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要), 23, 153-185(2016 年 11 月 30 日)
- [(MISC)その他記事単著【査読あり】【依頼/招待】] 甲斐教行「絵画 VS 彫刻——「優越論争」を超えて——」, 地中海学会月報, 395, 5(2016 年 12 月)
- [(MISC)総説・解説(その他)単著【依頼/招待】] 甲斐教行「炎の門を越えて——島剛の《コア・サンプル》ワーク」, 『島剛彫刻展 CORE SAMPLE WORK Inward⇔Outward 地中内視/向き合う視線』, 14-16(2016 年 12 月 17 日)
- [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】【依頼/招待】] Noriyuki Kai "Presentazione del Volume di «Artista», datato 2012", Artista - Critica dell'arte in Toscana, 2014-2015, 164-167(2016 年 07 月 31 日)

研究業績(2)学会発表など

<基調講演> 茨城県近代美術館・美術館アカデミー(現代のミケランジェローフィレンツェの彫刻家フィ

リッポ・ドブリッラ) (2015 年 02 月)

〈招待講演〉 宵のサロン第六回 番外編「愛をめぐる3つの話」(優美なる神話—コレッジョの芸術をめぐって—) (2014 年 09 月)

茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(ポントルモ) (2014 年 09 月)

〈基調講演〉 茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(コレッジョとパルミジャーノ) (2014 年 07 月)

〈基調講演〉 茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(ミケランジェロ・ブオナローティ) (2014 年 06 月)

〈基調講演〉 茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(レオナルド・ダ・ヴィンチ) (2014 年 06 月)

〈基調講演〉 茨城県弘道館アカデミー 天章堂講座(ブルネレスキとイタリア・ルネサンスの巨匠たち) (2014 年 06 月)

〈招待講演〉 (国外)ARTISTA 2013 プレゼンテーション(フィレンツェの美術史専門誌 ARTISTA、2013 年号のプレゼンテーション) (2014 年 04 月)

社会的活動、地域貢献など

○ 学外教育

1. [その他]「Tradurre Vasari in Giappone」, 2 時間, 12 名出席, マックス・プランク財団フィレンツェ美術史研究所

○ 地域協力活動

1. 茨城県美術館協議会 (2015 年 07 月～2017 年 06 月)
2. 東京藝術大学美術学部西洋美術史研究室 (2011 年 04 月～)
3. 水戸市芸術文化活性化事業実行委員会 (2011 年 04 月～)
4. 茨城県近代美術館友の会 (2010 年 04 月～)

海外出張・海外研修・内地研修など

イタリア フィレンツェ 美術史研究所[資料収集] (2015 年 3 月～4 月:19 日間)

イタリア フィレンツェ 美術史研究所[資料収集] (2015 年 4 月～5 月:16 日間)

イタリア, オーストリア, ドイツ フィレンツェ, ウィーン, ハンブルク フィレンツェ美術史研究所, ウィーン美術史美術館, ハンブルク美術館[文献調査・実地調査] (2016 年 5 月～7 月:60 日間)

イタリア フィレンツェ 美術史研究所[サバティカル制度利用による資料収集] (2016 年 7 月～2017 年 1 月)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「コッラード・ヴィーニの公共彫刻—政治史的・文化史的解説とカタログ・レゾネ作成」, 330 万円 (2014 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

情報文化課程	氏名 齋藤 芳徳
--------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1962 年 2 月
学歴・職歴	<p>福島大学大学院 地域政策科学研究科[修了] 東北大学大学院 工学研究科[その他] 京都大学大学院 工学研究科 環境地球工学専攻[修了] 川崎医療福祉大学医療福祉学部・専任講師(2000 年 4 月～2004 年 3 月) 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部・助教授(2004 年 4 月～2006 年 9 月) 茨城大学教育学部・准教授(2006 年 10 月～2011 年 3 月) 茨城大学教育学部・教授(2011 年 4 月～)</p>
学位	博士(工学)[京都大学] 修士(地域政策)[福島大学]
受賞歴	<p>第 4 回キッズデザインアイデアコンテスト/優秀賞(2017) 第 4 回キッズデザインアイデアコンテスト/特別賞(2017) 平成 28 年度キッチン空間アイデアコンテスト/優秀賞(2017) 第 13 回インテリアデザインコンペ 2016/入選(2016) 平成 27 年度キッチン空間アイデアコンテスト/優秀賞(2016) 第 12 回インテリアデザインコンペ 2015/最優秀賞(2015) 第 12 回インテリアデザインコンペ 2015/奨励賞(2015) 第 12 回インテリアデザインコンペ 2015/入選(2015) 第 19 回手帳大賞・商品企画部門/最優秀賞(2015) 染め Q DIY デザイン 2015/大賞(2015) 染め Q DIY デザイン 2015/染め Q 賞(2015) 平成 26 年度キッチン空間アイデアコンテスト/奨励賞(2015) 第 11 回インテリアデザインコンペ 2014/奨励賞(2014) 第 11 回インテリアデザインコンペ 2014/入選(2014) 第 10 回インテリアデザインコンペ 2013/奨励賞(2013) 第 10 回インテリアデザインコンペ 2013/入選(2013) 第 9 回インテリアデザインコンペ 2012/入選(2012) 第 8 回インテリアデザインコンペ 2011/奨励賞(1) (2011) 第 8 回インテリアデザインコンペ 2011/奨励賞(2) (2011) 第 7 回インテリアデザインコンペ 2010/優秀賞(2010) かわさき産業デザインコンペ 2005/入賞(2005) かわさき産業デザインコンペ 2005/佳作(2005)</p>

	第 1 回札幌国際デザイン賞/佳作(1992) 住まいのインテリアコーディネートコンテスト'88/インテリア産業協会長賞〔一般の部〕(1988) 第 1 回アダルファニチャーデザインコンペ/アダル奨励賞(1988)
所属学会	日本建築学会 日本リハビリテーション工学協会
専門分野	デザイン学 リハビリテーション科学・福祉工学 都市計画・建築計画
教育研究概要	①生活環境のユニバーサルデザインの研究 ・プロダクト(福祉工学, プロダクトデザイン) ・建築, インテリア(建築計画, 建築デザイン, インテリアデザイン) ②デザイン思考の実践的研究 (キーワード)デザイン思考, 福祉工学, 建築計画, ユニバーサルデザイン(プロダクト, インテリア, 建築)
担当科目	(教養科目)生活・福祉系科目[福祉機器・福祉空間入門] (専門科目)建築一般構造, 設計製図 II, 図法及び製図/図学演習(情報文化), 地域活動プロジェクトI, デザイン理論, 設計製図 III, 建築施工, 地域活動プロジェクト II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)デザイン研究 II, 工芸・デザイン研究, 美術文化総合研究, デザイン演習 II, 工芸・デザイン演習, 美術教育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [教科書・共著]齋藤芳徳, 他 6 名「実務者研修テキスト【第 3 版】生活支援の技術と環境整備」, 日本医療企画, 235-277(2017 年 01 月)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]齋藤芳徳「デザインマネジメントによるアクティブ・ラーニングの実践的研究」, 茨城大学教育実践研究, 35, 397-409(2016 年 10 月)

研究業績(2)学会発表など

- <招待講演> 小規模多機能施設「杜のつどい土合」開設記念講演会(講演「高齢者の生きようとする意欲を支える住環境」)(2015 年 03 月)
- <招待講演> 東京都社会福祉協議会(講演「高齢期の住まい方と援助者の関係づくり」)(2014 年 08 月)
- <招待講演, 企画・運営> 2014 年 SIG 姿勢保持講習会(企画・運営・講演「明日から現場で役立つ姿勢保持-高齢者介護施設編」)(2014 年 06 月)
- <パネリスト> 第 20 回バリアフリー2014(ワークショップ講師「浴槽からケアが変わる」)(2014 年 04 月)

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動(共同)][芸術活動(共同)]どこでも一緒くん(2016年12月)
 [芸術活動(共同)]エデュテインメントキッチン(2016年11月)
 [芸術活動(共同)]「元気になろう」という患者の意欲を引き出すための『病院のキッチン空間』(2016年11月)*平成28年度キッチン空間アイデアコンテスト/優秀賞
 [芸術活動(共同)]商店街を元気にする暖簾の間(2016年10月)
 [芸術活動(共同)]布障子と囲炉裏の間がある高齢者居住施設(2016年10月)*第13回インテリアデザインコンペ2016/入選

社会的活動、地域貢献など

- 行政機関等での委員就任
 1. 「埴町 こども園・多世代交流センター建設事業 公募型簡易プロポーザル審査委員会」福島県埴町[審査委員長]
- 兼業・兼職
 1. [非常勤講師] 茨城キリスト教大学・非常勤講師(2008年04月～)
 2. [非常勤講師] 独立行政法人国立病院機構水戸医療センター附属桜の郷看護学校・非常勤講師(2008年04月～)
- 学協会での役職
 1. 日本リハビリテーション工学協会, SIG 姿勢保持世話人(2001年08月～)

情報文化課程	氏名 齋木 久美
--------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1963 年 2 月
学歴・職歴	千葉大学大学院 教育学部 小学校教員養成課程[年]
学位	教育学修士[千葉大学]
受賞歴	茨城大学大学教育センター推奨授業表彰(2007)
所属学会	全国大学国語教育学会 全国大学書道学会 書学書道史学会 全国大学書写書道教育学会 全国教育大学協会書道教育部門会 全日本書写書道教育研究会
専門分野	書写書道教育
教育研究概要	小中学校国語科書写における授業研究や効果的な学習指導法に関する研究を実践的に行っている。また、書字における幼小連携が円滑に行なわれるための支援方法の検討や教材開発に取り組んでいる。
	(キーワード) 書写書道教育 書字 手書き文字 幼児の書字
担当科目	(教養科目) 人間と文学・芸術[仮名の書に親しむ] (専門科目) 初等国語科教育法研究, かな書法研究/筆による表現, 書道史, 表象文化論, 初等書写内容研究, 書道 I, 書道 III, 子ども文化プロジェクト I, 初等国語科教育法研究, 保育内容の研究(言葉), 鑑賞, 初等書写内容研究, 書道 II, 書道科教育法研究 I, 子ども文化プロジェクト II, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目) 言語文化総合研究, 書写書道教育研究, 中等国語教育学授業設計, 書写書道教育演習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [単行本(一般書)・分担執筆] 茨城大学教育学部 茨城大学教育学部附属幼稚園編「子育て・保育の悩みに教育研究者が答える Q&A 楽しく遊んで、子どもを伸ばす」, 福村出版, 58-61(2016 年 08 月 10 日)
- [研究論文(学術雑誌)単著]「地域の書道史を生かした教員養成課程の授業の試みー東臯心越の生涯と作品をとりあげてー」, 東アジア書教育論叢, 第 4 号, 60-71(2017 年 03 月)
- [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著]「小学校高学年における効果的な書写学習に関する研究ー小学校五年生での授業実践をもとにー」, 茨城の国語教育, 第 15 号, 38-45(2017 年 03 月 05 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「小学校教員免許に対応する書写授業の実状と改善に関する考察ー各大学によって異なる授業回数の実状をふまえてー」平成 28 年度 第 66 回日本教育大学協会全国書道教育部門岩手大会(岩手大学)[2016 年 09 月 23 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

[芸術活動]平成 28 年度年度全国大学書道学会会員書作展出品(2016 年 09 月)

[芸術活動]第 69 回毎日書道展 漢字部Ⅱ類 入選(2016 年 07 月)

[芸術活動]第 32 回王朝継ぎ紙合同作品展出品(2016 年 05 月～2016 年 06 月)

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 全国大学書写書道教育学会, 常任理事(事務局長)(2016 年 04 月～)
2. 全国大学書写書道教育学会, 理事(企画広報局)(2012 年 04 月～2016 年 03 月)
3. 社団法人日本書写技能検定協会, 硬筆書写検定・毛筆書写検定茨城県審査委員(2009 年～)
4. 全日本書写書道教育研究会, 本部役員 研究局 大学部長(2005 年 10 月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「第 21 回四国書写教育研究大会香川大会(国内)」, (高松市立木太北部小学校)[パネリスト](2016 年 10 月)
2. 「第 57 回全日本書写書道教育研究会全国大会埼玉(国内)」, (文教大学)[司会・議長・コンビーナ・コーディネータ](2016 年 08 月)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費](代表)「読み書き指導に関する幼・小連携カリキュラム開発」, 429 万円 (2016 年 04 月 04 日～2019 年 03 月 20 日)

情報文化課程	氏名 林 延哉
--------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1961 年 11 月
学歴・職歴	早稲田大学 教育学部 教育学科[1985 年卒業] 早稲田大学大学院 文学研究科 心理学[1987 年修了]
学位	修士(文学)
受賞歴	なし
所属学会	コンテンツ文化史学会 日本教育心理学会 日本社会臨床学会 日本発達心理学会 日本理科教育学会
専門分野	社会臨床論 各国文学・文学論
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)情報処理概論[情報リテラシー], 主題別ゼミナール[学習と研究の基礎演習], コミュニケーション論[情報文化基礎演習] (専門科目)情報文化広報プロジェクト I, 映像工房プロジェクト I, 子ども文化プロジェクト I, 音×環境プロジェクト 1, 特別演習 I, 統計の初歩, ウェブ制作(初級)a, ウェブ制作(初級)b, 情報文化広報プロジェクト II, 映像工房プロジェクト II, 子ども文化プロジェクト II, 音×環境プロジェクト 2, 特別演習 II, 社会臨床演習 I, 社会臨床演習 II, 課題図書講読 I, 課題図書講読 II, 課題図書講読 III, 卒業研究(教育: 4 単位)

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]林延哉「紙芝居の画像分析に関する研究: ショット分析の応用の試み」, 茨城大学教育実践研究, **35**, 411-426(2016 年)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 齋木健一, 林延哉, 中西史, 小川博久「デジタル教科書用デバイスの活用を想定した校庭の野草観察」日本生物教育学会第 101 回全国大会(東京学芸大学) [2017 年 01 月 08 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 水戸市地域福祉推進委員会, 委員(2015 年 10 月～2017 年 10 月)

○ 地域協力活動

1. 千葉県立中央博物館(年度不詳～)

科学研究費補助金などの受領

デジタル教科書用デバイスを活用した野外観察教材の開発 (2016～2018)

情報文化課程	氏名 小林 祐紀
--------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1980 年 8 月
学歴・職歴	三重県立津西高等学校大学院[1999 年 03 月卒業] 金沢大学 教育学部 人間環境課程教育情報システムコース[2002 年 03 月卒業] 金沢大学大学院 教育学研究科 学校教育専攻[2004 年 03 月修了] 石川県金沢市内公立小学校・教諭(2008 年 4 月～2015 年 3 月) 金沢大学非常勤講師共通教育科目「教師入門」(2009 年～2014 年)
学位	修士[金沢大学]
受賞歴	第 30 回学習デジタル教材コンクール「学情研賞」(2014) 第 9 回著作権教育実践事例募集「優秀賞・モデル教育賞」(2014) キューブ活用コンテスト「活用賞」(2014) 第 29 回学習デジタル教材コンクール「優良賞」(2013) 第 7 回著作権教育 実践事例募集「優良賞」(2013) キューブ活用コンテスト「活用賞」(2012) 第 23 回メディア教育コンテスト「金沢市教育委員会賞」(2006)
所属学会	日本教育メディア学会 日本教育工学会
専門分野	教育工学 教育学
教育研究概要	・授業における ICT 活用や情報モラル教育について、研究会を主宰したり、指導・助言を行ったりしています。・急速に学校現場に普及しつつあるタブレット端末の活用について研究活動を行っています。・教師のストラテジーに着目した授業研究やコミュニケーション力を育む授業について研究活動を行っています。 (キーワード)授業における ICT 活用、情報教育、情報モラル教育、学び合いを取り入れた授業研究
担当科目	(専門科目)社会と文化 I, 教育の方法と技術, 統計学の基礎, 社会文化情報演習 I, ICT演習, 教育の方法と技術, 情報教育論, 社会と文化 II, 社会調査の基礎, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)教育評価の方法, 教育カウンセリング実践と事例研究, 学習指導・授業づくりの課題と実践

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [著書・監修]中川一史 今野貴之 小林祐紀 佐和伸明「NHK for School をタブレット端末で使おう!」,, (2017 年 03 月)
2. [単行本(一般書)・共編者]編著・監修 小林祐紀・兼宗進「コンピューターを使わない小学校プログラミング教育 “ルビィのぼうけん”で育む論理的思考」, 翔泳社, (2017 年 03 月 31 日)
3. [教科書・共著]編著者 茨城大学教育学部学校教育教室「現代教育の課題と教員の資質向上」,, 82-88(2016 年 07 月 31 日)
4. [著書・共著]加藤崇英「「チーム学校」まるわかりガイドブック」, 教育開発研究所, 74(2016 年 04 月 01 日)
5. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]小林祐紀・山口眞希「特別活動における人間関係構築のための教師の取り組み (1)—ミドルリーダー教師の学年初期の事例—」, 茨城大学教育実践研究, 第 35, 427-440(2016 年 11 月 30 日)
6. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]寺嶋浩介・中川一史・村井万寿夫・小林祐紀「1 人 1 台タブレット端末の利用実態の変化 -市全体の小・中学校に導入した自治体を対象として-」, 日本教育メディア学会第 23 回年次大会発表収録, 96-99(2016 年 11 月 27 日)
7. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]小林祐紀・佐藤幸江・村井万寿夫・中川一史「ネットワークを介して協働的に行う家庭学習の実際と児童の意識(2)-夏季休業中の実施状況と児童の意識-」, 日本教育メディア学会第 23 回年次大会発表収録, 140-141(2016 年 11 月 27 日)
8. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)]郡司竜平・小林祐紀・中川一史・大本秀一「特別支援教育における番組コンテンツをビデオヒーローモデリングとして活用した授業の考察」, 第 42 回全日本教育工学研究協議会全国大会佐賀大会論文集, 338-341(2016 年 10 月 15 日)
9. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]藤木謙壯・小林祐紀・中川一史・大本秀一「小学校第 6 学年社会科ジグソー法を用いた学習における動画クリップの活用」, 第 42 回全日本教育工学研究協議会全国大会佐賀大会論文集, 69-72(2016 年 10 月 15 日)
10. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]澤井進・小林祐紀「TransferJet とモバイル実物投影を活用した学習用暗黙知の獲得」, 日本教育工学第 32 回全国大会, 973-974(2016 年 09 月 18 日)
11. [研究論文(研究会, シンポジウム資料等)共著]小林祐紀・佐藤幸江・村井万寿夫・中川一史「ネットワークを介して協働的に行う家庭学習の実際と児童の意識(1)-実施後約 1 ヶ月の実施状況と児童の意識-」, 日本教育メディア学会研究会論集, 41, 73-78(2016 年 07 月 17 日)
12. [研究論文(研究会, シンポジウム資料等)共著]中川一史・佐藤幸江・村井万寿夫・小林祐紀「国語科教科書の表記になるマッピングを活用した実践の分析(1)-小学校 3 年生・説明的な文章教材「すがたをかえる大豆」実践をもとに-」, 日本教育メディア学会研究会論集, 11-14(2016 年 07 月 17 日)
13. []藤原晴佳・山中健祐・小林祐紀「算数科におけるプログラミング学習の可能性」, 視聴覚教育, **70**, 7, 40-41(2016 年 07 月 01 日)
14. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著【査読あり】]Yuki Kobayashi, Murai Masuo, Yukie Sato, Hitoshi Nakagawa“A Classification of the Tablet PC Utilization -Activity example using by

groups in public elementary, junior high and high schools-”, , 699-704(2016 年 06 月)

15. [研究論文(国際会議プロシーディングス)共著【査読あり】]Hitoshi Nakagawa, Masuo Murai, Yuki Sato, Yuki Kobayashi, Naruyoshi Tabe, Junnosuke Abe, Aritomo Iwasaki”Development of Mapping Application with Tablet Type Terminals for Visualization of Students’ Thinking”, , 1641-1646(2016 年 06 月)

16. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著]小林祐紀「タブレット端末×授業支援ソフト」を活用した授業デザイン」, 学校と ICT, 4-7(2016 年 04 月)

研究業績(2)学会発表など

Nakagawa,H.,Suzuki,H.,Morishita,J.,Sato,Y.,Murai,M.,Kobayashi,Y., ”The Development of a Creation Tool of Report for the Visualization of Thought for Children”, World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia and Telecommunications (EDMEDIA2014), , 2223-2227, 2014.
Murai,M.,Nakagawa,H.,Sato,Y.,Kobayashi,Y., ”A Study on the Introduction and Use of Tablet PCs in the Elementary School of Japan”, World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia and Telecommunications (EDMEDIA2014), , 2586-2590, 2014.

<基調講演> 富山大学人間発達科学部附属人間発達科学研究実践センター学習環境部門研究会(講師)(2014 年 06 月)

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 茨城県立大洗高等学校, いばらき学力向上推進総合事業に係る学力向上運営指導委員(2016 年～2018 年)
2. 茨城県立古河中等教育学校, いばらき学力向上推進総合事業に係る学力向上運営指導委員(2016 年～2018 年)
3. 茨城県立並木中等教育学校, いばらき学力向上推進総合事業に係る学力向上運営指導委員(2016 年～2018 年)
4. 茨城県立日立第一高等学校, いばらき学力向上推進総合事業に係る学力向上運営指導委員(2016 年～2018 年)
5. 一般社団法人 モバイルコンテンツ審査・運用監視機構, 基準策定委員(2016 年～2018 年)
6. 茨城県立佐和高等学校, 学力向上対策推進事業・情報化推進事業に係る運営指導委員(2016 年～2018 年)
7. 日本教育メディア学会, 国内研究委員(2016 年～2018 年)
8. 日本教育メディア学会, 企画委員(2016 年～2018 年)
9. 文部科学省委託 ICT を活用した教育推進自治体応援事業, 専門委員(2015 年～2017 年)
10. 一般社団法人 日本教育情報化振興会, 「コミュニケーション力育成」事業委員(2015 年～2017 年)

共通教育部門	氏名 松坂 晃
--------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1953 年 4 月
学歴・職歴	福島大学 教育学部 保健体育専攻[1977 年卒業] 筑波大学大学院 体育研究科 健康教育学専攻[1979 年修了] 筑波大学体育科学系文部技官(1979 年 4 月～1984 年 3 月) 茨城大学教養部講師(1986 年 4 月～1987 年 3 月) 茨城大学教養部助教授(1987 年 4 月～1996 年 3 月) 茨城大学教育学部助教授(1996 年 4 月～2000 年 3 月) 茨城大学教育学部教授(2000 年 4 月～2017 年 3 月) 茨城大学教育学部附属特別支援学校長(2009 年 4 月～2012 年 3 月) 茨城大学学生就職支援センター長(2013 年 4 月～2017 年 3 月) 茨城大学全学教育機構教授(2017 年 4 月～) 茨城大学教育研究評議会評議員(2017 年 5 月～2019 年 3 月)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	North American Society of Pediatric Exercise Medicine American College of Sports Medicine 日本体力医学会 日本体育学会 日本特殊教育学会
専門分野	応用健康科学
教育研究概要	子どもの身体活動, 体力運動能力, 肥満, および障害児の運動に関する研究 (キーワード)
担当科目	(教養科目)就業力育成・ステップアップ系科目[仕事と社会], 身体活動[フィジカルフィットネス I (T)], 身体活動[屋外ボールゲーム II (C)], 身体活動[フィジカルフィットネス I (T)], 人間・文化系科目[ものづくりと社会] (専門科目)生理学概論, 体育科教育法研究, 運動処方論, 現代人の健康(教科又は教職)/現代人の健康(人間環境), 小児健康運動学, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)健康生理学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

Prevalence of lesbian, gay, bisexual, and transgender among Japanese university students: a single institution survey. Int J Adolesc Med Health Epub ahead, 2016.

Japanese university students' views on lesbian, gay, bisexual, and transgender individuals based on previous encounters. Int J Adolesc Med Health Epub ahead, 2016.

東日本大震災後の福島県内被災地児童生徒の状況: 身体活動に関わる状況を中心に茨城大学教育実践研究 35, 441-450, 2016.

特別支援学校保健体育学習指導案公開の難しさについて茨城大学教育実践研究 35, 451-457, 2016.

知的障害児の基礎的ボール操作技能茨城大学教育学部紀要(教育科学)66, 409-417, 2017.

知的障害児の肥満度と運動技能 茨城大学教育学部紀要(教育科学)66, 399-407, 2017.

大学生のアパシー傾向の実態と生活習慣との関連茨城大学教育学部紀要(教育科学)66, 327-338, 2017.

研究業績(2)学会発表など

特別支援学校保健体育学習指導案公開の難しさについて 第 54 回日本特殊教育学会 2016/09/19

社会的活動、地域貢献など

○ 講演会・シンポジウム

1. 「茨城県高等学校・県立学校保健主事研究協議会(国内)」, 茨城県学校保健主事会(水戸市)
[招待講演](2016年10月)

○ 地域協力活動

1. 茨城県教育委員会[地域貢献事業]「子どもの運動と健康」『教員免許更新講習』(2016年08月～)
2. 水戸市教育委員会[学外審議会・委員会等]「みと好文カレッジ運営審議会委員」(2016年06月～2018年06月)

海外出張・海外研修・内地研修など

韓国 ソウル・(株)KNT KOREA[インターンシップ受入学生の指導、監督ほか](2014年9月:1日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「知的障害児童生徒の動きの学習習熟度からみた体育学習内容の検討」, 208万円(2014年04月01日～2018年03月31日)

人間環境教育課程	氏名 木村 競
----------	---------

教員履歴など

現職	教授 副学長・全学教育機構長
生年月	1956 年 4 月
学歴・職歴	東京大学 文学部 哲学[1980 年卒業] 東京大学大学院 人文科学研究科 哲学[1988 年単位取得満期退学] 茨城大学 教育学部 助教授(1992 年 4 月～2003 年 3 月) 茨城大学 教育学部 教授(2003 年 4 月～)
学位	文学修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本倫理学会 日本哲学会 哲学会 日本カント協会 現代風俗研究会 日本公民教育学会 ハイデガー・フォーラム
専門分野	哲学・倫理学
教育研究概要	<p><教育活動> 大学院:教育学研究科・教科教育専攻・社会科教育専修(倫理学) 授業:倫理学特論、倫理学演習 特別課題研究指導 大学院共通科目等 学部:教育学部・人間環境教育課程・課程共通科目およびコース専門科目 授業:社会と思想、プロジェクト・マネジメント等 卒業研究指導 学校教育教員養成課程・社会選修 授業:倫理学演習、ナショナリズムと社会等 卒業研究指導 教養科目・総合科目 授業:「つながり」の力等 <研究活動> ・行為および文化の定型化と変化に関する理論 ・教員養成における倫理学の役割について ・「学級力」を基盤とした学力向上モデルの構築 ・サステナビリティ学についての学内研究者との共同研究 ・近代ヨーロッパを中心とする哲学・倫理思想史研究</p> <p>(キーワード)</p>
担当科目	<p>(教養科目)人間・文化系科目[「つながり」の力], 地域志向系科目[自然災害と地域防災]</p> <p>(専門科目)社会と思想(社会選修)/社会と思想(人間共通)免×, 倫理学概論, 現代のナショナリズム, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)倫理学特論, 特別課題研究</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]木村競「学級力」の基盤形成としての哲学リテラシー育

成プログラム その4」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 65(2016年03月)

研究業績(2)学会発表など

木村競, 「当事者性、相互性、コンテクスト」(哲学会第 53 回研究発表大会・2014 年 11 月)

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城県生涯学習審議会および茨城県社会教育委員会」茨城県教育庁[委員]
2. 「常陸大宮市公民館検討委員会」常陸大宮市教育委員会[委員長]

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県教育庁・茨城県生涯学習審議会委員および茨城県社会教育委員(2008年08月～)
2. [非常勤講師] 水戸市医師会看護専門学院・非常勤講師, 8(時間/月)(2001年04月～)
3. [非常勤講師] 鯉淵学園農業栄養専門学校・非常勤講師, 8(時間/月)(2000年10月～)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(代表)「いじめを予防する学級づくりに関する実践研究」, 442 万円(2014年04月～2017年03月)

人間環境教育課程	氏名 富樫 泰一
----------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1957 年 4 月
学歴・職歴	筑波大学大学院 体育研究科 健康教育学[1983 年修了] 学校法人清真学園高等学校非常勤講師(1983 年 4 月～1984 年 3 月) 筑波大学研究協力部研究協力課(体育科学系担当)(1985 年 4 月～1988 年 3 月) 茨城大学教養部講師(1988 年 4 月～1989 年 3 月) 茨城大学教養部助教授(1989 年 4 月～1996 年 3 月) 茨城大学教育学部助教授(1996 年 4 月～2002 年 12 月) 茨城大学教育学部教授(2003 年 1 月～)
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本バイオメカニクス学会 日本体育学会
専門分野	スポーツ科学 応用健康科学
教育研究概要	教育活動(スポーツ医学外科領域、バイオメカニクス、健康スポーツ科目、水泳、スキー、水辺野外運動) 研究活動(水泳・水中運動の流体力学的研究) (キーワード)
担当科目	(教養科目)身体活動[屋内ボールゲーム I (C)], 身体活動[屋外ボールゲーム II (C)], 身体活動[屋外ボールゲーム I (C)] (専門科目)保育内容の研究(健康), 体育科教育法研究, 水泳/アクアフィットネス/水泳指導法, 現代人の健康(教科又は教職)/現代人の健康(人間環境), スポーツ医学, スキー指導法, 野外運動, 救急処置法/運動障害救急法, 野外運動指導法, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)バイオメカニクス特論, 保健体育科学総合研究, バイオメカニクス演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [教科書・分担執筆]秋元洋一, 岩谷高峰, 影山広美, 小池光, 鈴木恵太, 富樫泰一, 新井和夫, 有元崇浩, 井上雅之, 後藤泰彦, 武田作郁, 出川あずさ, 富永好文, 布目靖則, 速水修, 森永裕幸, 吉田真「日本スキー教程安全編」, スキージャーナル株式会社, (2016 年 11 月 01 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(単独)] 安田萌「やり投げにおけるヤリの飛行経路シミュレーション」第 24 回日本バイオメカニクス学会大会(立命館大学)[2016 年 09 月 14 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

<審判員>公益財団法人全日本スキー連盟第 30 回スキーパトロール技術競技大会(群馬県・草津国際スキー場)(2015 年 03 月)

<その他>公益財団法人全日本スキー連盟スキーパトロール技術員研修会主任講師(2014 年 11 月)

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城県スポーツ医・科学委員会」茨城県体育協会[委員]
2. 「財団法人茨城県体育協会評議員」財団法人茨城県体育協会

○ 地域協力活動

1. [学外審議会・委員会等]「公益財団法人全日本スキー連盟教育本部安全対策部安全対策委員会副委員長」(2016 年 07 月～2018 年 07 月)
2. [その他公的社会活動]「日本スキーパトロール協議会(理事長)」(2013 年 07 月～)
3. [学外審議会・委員会等]「全国スキー安全対策協議会(調査委員会委員)」(2013 年 03 月～)
4. [学外審議会・委員会等]「公益財団法人全日本スキー連盟教育本部専門委員(安全対策部)」(2012 年 09 月～)
5. 「財団法人茨城県体育協会評議員」(2012 年 04 月～)
6. [ボランティア活動]「赤十字救急法奉仕団(救急法指導員)」(2011 年 04 月～)
7. 全日本スキー連盟安全対策部(2016 年 12 月)
8. 日本赤十字社茨城県支部(2016 年 10 月)
9. 茨城県教育研修センター(2016 年 08 月)
10. 茨城県教育研修センター(2016 年 08 月)
11. 茨城県教育研修センター(2016 年 08 月)
12. 日本赤十字社茨城県支部(2016 年 07 月)
13. 水戸飯富特別支援学校(2016 年 06 月)
14. 那珂湊第三小学校(2016 年 05 月)
15. 水戸市立内原中学校(2016 年 03 月)
16. 水戸市立赤塚中学校(2016 年 03 月)
17. 水戸市立笠原中学校(2016 年 02 月)
18. リー保育福祉専門学校(2016 年 01 月)

人間環境教育課程	氏名 加藤 敏弘
----------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1961 年 6 月
学歴・職歴	<p>(学歴)</p> <p>筑波大学 体育専門学群 体育原論 [1984 年卒業]</p> <p>筑波大学大学院 体育研究科 コーチ学 [1986 年修了]</p> <p>静岡大学大学院教育学研究科共同教科開発学専攻(後期博士課程) [2013 年入学]</p> <p>(職歴)</p> <p>国立高岡短期大学助手 (1986 年 4 月～1990 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部 (保健体育講座) 講師 (1990 年 4 月～1994 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部 (保健体育講座) 助教授 (1994 年 4 月～1996 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部 (知識経営講座) 助教授 (1996 年 4 月～2004 年 3 月)</p> <p>国立大学法人茨城大学教育学部助教授 (2004 年 4 月～2007 年 3 月)</p> <p>国立大学法人茨城大学教育学部准教授 (2007 年 4 月～2015 年 3 月)</p> <p>国立大学法人茨城大学教育学部教授 (2015 年 4 月～)</p> <p>国立大学法人茨城大学大学院教育学研究科修士課程研究指導教員 (2015 年 4 月～)</p>
学位	体育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本体育学会 日本体育・スポーツ哲学会 日本スポーツ教育学会 日本養生学会 人体科学会
専門分野	コーチング スポーツ社会学 体育哲学
教育研究概要	ナレッジマネジメントとしてのコーチング ナレッジマネジメント(知識経営)としてのコーチングについて、教育活動を通して研究中。特に個人が身につけている技術(=技能)を他者に伝えるためのノウハウを観察し、その体系化を試みている。そのために、まず人間の活動を正しく理解し、集団(チーム)における役割分担やコミュニケーション手段について実践研究中。技能を普及し伝達するという行為は、スポーツ場面に限らず、社会全般で求められる能力であり、暗黙知(身体知)の観点からアプローチしている。学校という枠組みにとらわれてきた教授法を越え、社会におけるさまざまな場面へのコーチングの可能性について考察しており、チームづくりと組織づくり

	<p>の有機的連携についても研究中。フィールドとしてバスケットボールコーチング、体育授業を中心に据えているが、地域力の向上やFD（ファカルティ・ディベロップメント）、そしてビジネス場面への応用も試みている。</p>
	<p>(キーワード) コーチング バスケットボール 知識経営 暗黙知 身体知 ボディ・ワーク チームワーク 技能伝達 コミュニケーション 体育原理</p>
担当科目	<p>(教養科目) 身体活動 [バスケットボール I(C)] , 身体活動 [ボディーワーク II(M)] , コミュニケーション論 [文章作成法 1] , 身体活動 [レクリエーションスポーツ (M)] , 地域志向系科目(集中 5) [アスリートの世界～鹿島アントラーズとの提携を通して～] / 身体・行動系科目</p> <p>(専門科目) 技能伝達法 (教職共通) / 技能伝達法 [人環用教職] , バスケットボール/バスケットボール指導法/バスケットボール, ボールゲーム方法論 I/ボールゲーム方法論 I (健康) , 体育学概論, 総合演習 [人環用] , スポーツ特別演習 II, チームワーク&コーチング論, 体育科教育法研究 [後期] , コミュニケーション演習 【全教科】 / コミュニケーション演習 (人間・共通) , 知識経営特別演習 I, スポーツ特別演習 I, スポーツ実習 I, 卒業研究 (教育: 4 単位)</p> <p>(大学院科目) 体育哲学演習, 体育哲学特論, 保健体育科学総合研究, 特別課題研究</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

1. [単行本 (学術書) ・編者及び分担執筆] 公益財団法人日本バスケットボール協会/加藤敏弘・倉石平・加藤大仁・鈴木淳・佐藤光壺・松中敦子 (編) 岡嶋昭人他16名 (2016) 「バスケットボール指導教本改訂版下巻」, 大修館書店, 2-4, 35-40, 41-57, 58-73, 74-96, 144-146, 235-254, 256-267, 275-277, 278-280, 285-286, 303-322.
2. [単行本 (学術書) ・編者及び分担執筆] 佐々木三男・倉石平・加藤敏弘・日高哲朗・加藤大仁 (編) 石川俊紀他27名のうち5番目 (2014) 「育成年代に特に注意したいこと」「バスケットボールの特性と基本動作」「ボールコントロールの指導」「遊びの考え方」「ミニゲームの考え方」「外傷予防とコンディショニング」「バスケットボールの歴史と世界事情」公益財団法人日本バスケットボール協会/佐々木三男・倉石平・加藤敏弘・日高哲朗・加藤大仁 (編) 石川俊紀他27名のうち5番目『バスケットボール指導教本改訂版上巻』(大修館書店) 35-45, 66-67, 74-91, 122-123, 129-137, 144, 155-195, 211頁.
3. (共) 吉野聡・加藤敏弘・篠田明音・斎藤拓真・宇井俊介・飯塚明彦・佐藤竜也 (2015) 「学習者の自己評価による球技の種類と各型に位置づく類似の行為」『体育学研究』第60巻第2号, 511-525頁.
4. (共) 加藤敏弘・上地勝・新保淳 (2015) 「バスケットボールスクールの新たな指導体験

がコーチングに与える影響—状況判断能力の育成に着目して— 『教科開発学論集』 (愛知教育大学・静岡大学) 第3号, 113-123頁.

5. (共) 加藤敏弘・新保淳 (2014) 「バスケットボール指導者の指導観の変容過程: 茨城県バスケットボールスクールの指導を体験して」 『教科開発学論集』 (愛知教育大学・静岡大学) 第2号, 117-127頁.

6. (単) 加藤敏弘 (2014) 「茨城県バスケットボールスクールの成果と課題」 『茨城大学教育学部紀要 (教育科学)』 第63号, 457-476頁.

7. (共) 森田勝・吉野聡・加藤敏弘 (2014) 「ボールを持たないときの動きに焦点をあてたバスケットボールの授業モデル」 『茨城大学教育学部紀要 (教育科学)』 第 63 号, 437-455 頁.

研究業績 (3) 芸術・体育系の活動

[その他] 日本スポーツマスターズ大会 (バスケットボール競技) 茨城県代表選手 (2009 年 09 月)

[その他] 日本スポーツマスターズ大会 (バスケットボール競技) 茨城県代表選手 (2007 年 09 月)

[その他] 日本スポーツマスターズ大会 (バスケットボール競技) 茨城県代表選手 (2006 年 09 月)

[その他] 日本スポーツマスターズ大会 (バスケットボール競技) 茨城県代表選手 (2005 年 09 月)

[その他] 日本スポーツマスターズ大会 (バスケットボール競技) 茨城県代表選手全国第5位入賞 (2004 年 09 月)

[その他] 第 57 回国民体育大会秋季大会バスケットボール競技成年女子第3位茨城県代表チームコーチ (2002 年 10 月)

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

2009～2015 年度 日本体育学会体育哲学専門領域運営委員

2015 年 4 月～ 全日本大学バスケットボール連盟常任理事広報部部長

2015 年 6 月～ 公益財団法人日本バスケットボール協会技術委員会委員指導者養成部会部長

○ 地域協力活動

2012 年 7 月～ 茨城県立中央高等学校評議員

2012 年 11 月～ 茨城県バスケットボールスクール

2012 年 10 月～ いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会 競技運営専門委員会 委員

2013 年 6 月～ 第 74 回茨城国体競技運営専門委員会委員

2013 年 4 月～ 関東大学女子バスケットボール連盟広報副部長

2015 年 4 月～ 一般社団法人茨城県バスケットボール協会理事／育成部部長

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

2008 年 11 月 12～21 日 オーストラリア／メルボルン・パースにてバスケットボールの育成年代のコーチングの調査（個人研究費）

2011 年 2 月 6～20 日 ブラジル／サンパウロ・リオデジャネイロにてバスケットボール・サッカーを中心に育成年代コーチングの調査（科学研究費）

2012 年 1 月 30 日～2 月 9 日 リトアニア／ヴィリニウスにてマルチュリョーニス・バスケットボールアカデミー他クラブ・カウナスにてサボニス・スクールの調査（科学研究費）

2012 年 2 月 9～18 日 セルビア／ベオグラード・カウナスにてバスケットボールを中心にボールゲームのコーチングならびにコーチコミッティの調査

2012 年 3 月 1～10 日 オーストラリア／シドニー・メルボルン・パースにてバスケットボールコミュニティ活動を調査（科学研究費）

科学研究費補助金などの受領

2006 年度 経済産業省「サービス産業創出支援事業（健康サービス分野）」「カシマサッカースタジアム健康ハブプロジェクト」において鹿島アントラーズ FC と共同でカシマウエルネスプラザ設立。

2006 年度 教育GP広域大学間教員養成・研修コンソーシアムにおいて「コミュニケーションのためのからだほぐし」、「非言語コミュニケーションと共感性」、「コーチングによるコミュニケーション」を担当。

2007 年度 企業からの受託研究 ツボ刺激健康法についての自然木、及び球体を活用した健康法の普及のためのインストラクション方法確立の研究

2008 年度 企業からの受託研究 ゴールデンエイジの身体活動に関する研究

2008 年度 企業からの受託研究 介護者負担軽減のための運動プログラムの開発(代表)

2008 年度 企業からの受託研究 介護予防施設における準備運動プログラムの開発(代表)

2009 年度 企業からの受託研究 「ボディメンテナンス」スタイルの健康づくりシステムの開発(代表)

2010 年度～2013 年度 科学研究費 基盤研究 (C) 「ゴール型ゲームの運動課題と評価の観点～条件制御で誘発される運動技能を探る～」 (研究課題番号 22500560)

人間環境教育課程	氏名 伊藤 孝
----------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1964 年 10 月
学歴・職歴	山形大学 理学部 地球科学[1987 年卒業] 筑波大学大学院 地球科学研究科 地質学[1993 年修了]
学位	博士(理学)[筑波大学大学院] 理学修士[筑波大学大学院]
受賞歴	第 26 回高知出版学術賞(2016) 平成 16 年度茨城大学大学教育研究開発センター推奨授業表彰(2005)
所属学会	日本地学教育学会 資源地質学会 日本地球化学会 日本地質学会
専門分野	地質学 鉱床学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(教養科目)身近な地球科学[地球表層の環境とその変遷] (専門科目)環境地球科学, 地学実験指導法, 地学実験A/地学実験指導法, 地学野外実習, 総合演習[人環用], 環境特別演習 II, 環境科学総論, 生活の中の環境問題, 地学実験B, 初等理科内容研究, 岩石学, 地球科学演習, 気象学/気象学(環境コース), 環境特別演習 I, 地学演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [(MISC) 書評, 文献紹介等単著]伊藤 孝「書評: 小山真人(2013)「富士山—大自然への道案内—(岩波新書)」岩波書店, 246 pp.」, 地学教育, **69**, 3, 151(2017 年 03 月 10 日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]清川昌一・原田拓人・池原 実・伊藤 孝「鬼界カルデラにおける表層堆積物の主成分元素組成」, 茨城大学教育学部紀要(自然科学), **65**, 81-94(2016 年 05 月 20 日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]伊藤 孝「地球科学的な時代・時間の感覚を把握する試み: 現職教員研修における『地球全史スーパー年表』の活用」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), **65**, 437-452(2016 年 05 月 20 日)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]伊藤 孝・川名宏志「災害時「指定避難所」としての学校: 東日本大震災による地震・津波被災地に位置する小学校における一事例」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), **65**, 425-435(2016 年 05 月 20 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 伊藤 孝「東北日本弧新第三系に産する層状マンガン鉱床についての最近の研究」日本地球惑星科学連合 2016 年大会(幕張メッセ)[2016 年 05 月 24 日]
2. [ポスター発表・国内会議(単独)] 伊藤 孝「自然災害に対する個人的な感覚:フィリピン・ヴィサヤ地域の場合 講」日本地球惑星科学連合 2016 年大会(幕張メッセ)[2016 年 05 月 22 日]

研究業績(3)芸術・体育系の活動

北西オーストラリア地域における地質学的研究(2001 年)

琵琶湖における硫黄・ストロンチウム同位体地球化学的研究(1998 年)

北関東における地質学・地球化学的研究(1995 年)

北西太平洋, フィリピン海における海洋底マンガン鉱床の研究(1987 年)

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本地学教育学会常務委員
2. 日本地学教育学会評議員

海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ サイパン 公海[潜航調査のため](2016 年 10 月:12 日間)

科学研究費補助金などの受領

基盤研究(A)(海外学術調査)(26257211)「地球史海洋底断面復元プロジェクト:太古代から原生代への環境大変動解明」(平成 26~29 年度, 研究代表者 清川昌一)研究分担者

挑戦的萌芽研究(26560086)「日本の学校教育における防災教育の体系化・スタンダードの構築」(平成 26~27 年度, 研究代表者 藤岡達也)研究分担者

基盤研究(C)一般(26381251)「富士山をフィールドとした多面的実践学習プログラムの開発とそれによる教科間相互作用」(平成 26~28 年度, 研究代表者 伊藤 孝)

国立研究開発法人海洋研究開発機構戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)次世代海洋資源調査技術(平成 27~, 研究代表者 白井朗)研究分担者

人間環境教育課程	氏名 阿部 信一郎
----------	-----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1966 年 9 月
学歴・職歴	東京水産大学大学院 資源育成研究科 博士課程 単位取得満期退学 (1995 年 3 月)
学位	博士(水産学)
学位	
受賞歴	日本水産学会論文賞 (2012 年 3 月) Tsuruta, T., Yamaguchi, M., Abe, S. & Iguchi, K. (2011). Effect of fish in rice-field culture on the rice yield. Fisheries Science 77; 95-106.
所属学会	日本藻類学会、日本珪藻学会、水産増殖学会
専門分野	生態・環境
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)地球環境論, 保全生物学, 生活の中の環境問題, 環境科学実験, 水環境論, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)地域生態学特論, 国内実践教育演習, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]阿部信一郎・郡司晴元「イメージマップ・テストを用いた「水俣まち歩きフィールドワーク」のふりかえり」, 茨城大学大学教育センター紀要, 6, 1-9(2016 年 05 月 06 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 阿部信一郎・棗田孝晴・黒田 暁・井口恵一朗「奄美大島 役勝川の栄養塩供給源はどこにあるのか」日本藻類学会第 40 回大会(日本歯科大学 生命歯学部) [2016 年 03 月 20 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 講演会・シンポジウム

1. 「ひぬま環境フォーラム(国内)」, [招待講演](2016 年 11 月)

2. 「クリーンアップひぬまネットワーク定期総会(国内)」, クリーンアップひぬまネットワーク(茨城県鉾田市)[招待講演](2016年05月)

科学研究費補助金などの受領

科研費基盤研究(B)(一般)「河川工作物が底生魚類の個体群・群集に及ぼす生態的影響の多面的評価手法の確立」(代表 棗田孝晴) 分担

人間環境教育課程	氏名 関 友作
----------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1964 年 12 月
学歴・職歴	一橋大学 社会学部 社会理論課程 (社会言語学)[1987 年卒業] 東京工業大学大学院 総合理工学研究科 システム科学専攻[1996 年] 日本鋳業 株式会社(現・JXTG エネルギー(株))(1987 年 4 月～1990 年 3 月)
学位	博士(学術)[東京工業大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育工学会 テクニカル コミュニケーター協会 教育システム情報学会 日本科学教育学会 日本認知科学会
専門分野	教育工学 認知科学 その他
教育研究概要	(キーワード)テクニカル・コミュニケーション 理解しやすい説明の方法 文書情報の理解(紙・電子文書)
担当科目	(教養科目)主題別ゼミナール[大学で学ぶことを学ぶ], 文明・技術系科目[システムとしてみる社会] (専門科目)データ解析法, 情報の収集と活用, 情報処理の基礎技術 II, 情報編集法/情報編集法(人間環境), 心理学文献講読Ⅲ, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)人間システム基礎論 II, 認知学習心理学

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [研究論文(研究会, シンポジウム資料等)共著]菅谷克行、関 友作「電子書籍のメディア特性に適応した読書方略の検討」, 日本教育工学会・研究報告, **JSET 17**, 1, 431-438(2017 年 03 月 04 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 菅谷 克行、関 友作「電子書籍の利用が読書行動に及ぼす影響」日本教育工学会 第 32 回 全国大会(大阪大学)[2016 年 09 月 19 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本教育工学会, 国際交流委員(2012 年 09 月～)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)一般(分担)「電子書籍の表示・操作特性を活かした読解方略の検討」, 370万円 (2014年04月01日～2016年03月31日)

人間環境教育課程	氏名 郡司 晴元
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1968 年 4 月
学歴・職歴	京都大学 理学部[1992 年卒業] 京都大学大学院 理学研究科[1994 年 03 月修了] 京都大学大学院 理学研究科[1998 年 07 月単位取得満期退学] 財団法人日本モンキーセンター リサーチフェロー(1998 年 8 月～2003 年 3 月) 茨城大学教育学部 助教授(2004 年 4 月～2007 年 3 月) 茨城大学教育学部 准教授(2007 年 4 月～)
学位	博士(理学)[京都大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本理科教育学会 日本環境教育学会 子どもと自然学会 日本霊長類学会 日 本人類学会 日本環境共生学会
専門分野	人類学 環境教育
教育研究概要	1. 自然体験学習を中心とした環境教育・ESD について実践も交えて教育・研究し ています。 2. 動物園・博物館・科学館などの連携による効果的な教育について 実践も交えて教育・研究しています。 3. 霊長類の骨形態・骨塩量の加齢変化につ いて研究しています。 (キーワード)学社連携 自然体験学習 ESD
担当科目	(専門科目)情報化社会の諸問題, 環境教育演習, 生活の中の環境問題, 教育に おける平和学, 知識解析論, 中等理科内容研究, 環境教育論【全教科】/環境教育 論, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)サステナビリティ教育特論 II, 初等理科教育学演習, 中等理科教 育学演習, 中等理科授業設計, 中等理科教育学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・分担執筆]能條歩編著、他 9 名「人と自然をつなぐ研究」ネイチャーゲーム大
学講義録, 日本シェアリングネイチャー協会, 175-196(2016 年 06 月 03 日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]阿部信一郎・郡司晴元「イメージマップ・テストを用いた
「水俣まち歩きフィールドワーク」のふりかえり」, 茨城大学大学教育センター紀要, 6, 1-9(2016 年 05
月 06 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 酒井くるみ・郡司晴元「学校教育と動物園の教育活動における連携—歴史的背景からの考察—」子どもと自然学会 第 23 回湘南大会(湘南学園小学校)
[2015 年 12 月 06 日]
2. [ポスター発表・(共同)] 郡司晴元・佐藤瑞穂「地域における環境教育実践の継続的な実施に携わった大学生の成長」日本環境共生学会第 18 回学術大会(茨城大学農学部)[2015 年 09 月 27 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [出前授業] 茨城県立佐和高等学校・模擬授業講師(2016 年 07 月)
2. [出前授業] 茨城キリスト教学園高等学校・模擬授業講師(2016 年 07 月)
3. [公開講座] 茨城大学生涯学習教育研究センター・茨城大学偕学苑一般公開講座講師(2016 年 06 月)

○ 学協会での役職

1. 子どもと自然学会, 理事(2012 年～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「水戸二高環境科学フォーラム 2016(国内)」, [] (2016 年 10 月)

人間環境教育課程	氏名 上地 勝
----------	---------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1969 年 8 月
学歴・職歴	<p>琉球大学 教育学部 中学校教員養成課程保健体育科専攻[1992 年卒業]</p> <p>筑波大学大学院 体育研究科[1995 年修了]</p> <p>筑波大学大学院 医学研究科[1999 年修了]</p> <p>茨城県立中央看護専門学院非常勤講師(1996 年 4 月～1999 年 3 月)</p> <p>茨城県立つくば看護専門学校非常勤講師(1997 年 4 月～2000 年 3 月)</p> <p>筑波大学助手社会医学系(1999 年 4 月～2001 年 9 月)</p> <p>茨城大学助教授教育学部(2001 年 10 月～2007 年 3 月)</p> <p>茨城キリスト教大学非常勤講師(2002 年 4 月～2011 年 3 月)</p> <p>茨城大学准教授教育学部(2007 年 4 月～)</p> <p>水戸看護福祉専門学校(2015 年 4 月～)</p>
学位	博士(医学)[筑波大学大学院] 体育学修士[筑波大学大学院]
受賞歴	<p>日本学校保健学会 2014 年度学会賞(2015)</p> <p>ひたちなか市市制 20 周年表彰(2014)</p> <p>ひたちなか保健所長賞(2014)</p>
所属学会	日本公衆衛生学会 日本疫学会 日本民族衛生学会 日本健康教育学会 日本学校保健学会 日本体力医学会 日本教育保健学会
専門分野	応用健康科学 学校保健学 公衆衛生学・健康科学 健康教育 疫学
教育研究概要	(キーワード)学校保健、健康教育、保健科教育、疫学、公衆衛生学、健康科学、老年学、介護予防
担当科目	<p>(教養科目)身体活動[テニスⅡ(C)], 身体活動[フィジカルフィットネスⅠ(T)], 身体活動[フィジカルフィットネスⅡ(T)]</p> <p>(専門科目)保育内容の研究(健康), 体育科教育法研究, 健康運動指導実習, 健康調査解析法, 総合演習[人環用], 健康特別演習Ⅱ, 学校保健概論(中教科:保体選修)/学校保健概論(スポーツコース)/学校保健概論(健康コース)/学校保健概論(心理コース), 陸上競技指導法, 陸上競技/陸上競技指導法/陸上競技(健康コース), 陸上競技方法論/陸上競技方法論(健康コース), 現代人の健康(教科又は教職)/現代人の健康(人間環境), 衛生公衆衛生学概論/衛生公衆衛生学概</p>

論(環境コース)/衛生公衆衛生学概論/衛生公衆衛生学概論/衛生公衆衛生学概論 (心理), 健康特別演習 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)人間システム基礎論 II, 学校保健特論 I, 体育授業設計
--

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [調査報告書・共著]保健学習推進委員会「保健学習推進委員会報告書－第3回全国調査の結果－」, 公益財団法人 日本学校保健会, 59-74, 96-127(2017年02月16日)
2. [単行本(一般書)・分担執筆]上地 勝「楽しく遊んで、子どもを伸ばす」, 福村出版, 114-117(2016年08月03日)
3. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]渡邊將司, 明珍直樹, 上地 勝, 久保佳彦, 森丘保典, 三宅 聡, 繁田 進, 尾縣 貢「高校生における陸上競技の継続および非継続に係る要因」, 陸上競技研究紀要, **12**, 4-15(2017年03月01日)
4. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]Koshu Sugisaki, Seiji Ueda, Masaru Ueji, Hirofumi Monobe, Hiroko Yako-Suketomo, Takashi Eto, Masaki Watanabe, Ryoichi Mori“A Cross-sectional Investigation of Cancer-Screening Intentions, Sources of Information, and Understanding of Cancer in Japanese Adolescents”, J Canc Educ, **Online first**(2016年06月01日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 上地 勝, 荒井信成, 杉崎弘周, 山田浩平, 物部博文「海外の学校保健研究の動向－研究デザイン・分析法の視点から－」第63回日本学校保健学会学術大会(筑波大学(つくば))[2016年11月20日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 渡邊綾乃, 上地 勝「生徒の関心・意欲を高める保健授業の考案」第63回日本学校保健学会学術大会(筑波大学(つくば))[2016年11月20日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 荒井信成, 上地 勝「大学生における性同一性障害への受容傾向」第63回日本学校保健学会学術大会(筑波大学(つくば))[2016年11月19日]
4. [ポスター発表・国内会議(共同)] 上地 勝, 高倉 実, 荒井信成, 宮城政也「社会経済的要因が高校生の保健行動に及ぼす影響」第75回日本公衆衛生学会総会()[2016年10月27日]
5. [ポスター発表・国内会議(共同)] 荒井信成, 上地 勝「国内のネットいじめ研究の動向と今後の課題」第25回日本健康教育学会学術大会(OIST(沖縄))[2016年06月12日]
6. [ポスター発表・国内会議(共同)] 高倉 実, 宮城政也, 上地 勝, 小林 稔, 栗原 淳「青少年における集合的効力の測定と健康関連指標との関係」第25回日本健康教育学会学術大会(OIST(沖縄))[2016年06月12日]
7. [ポスター発表・国内会議(共同)] 上地 勝, 高倉 実, 宮城政也, 荒井信成, 栗原 淳「高校生の健康リスク行動と社会経済的要因との関連」第25回日本健康教育学会学術大会(OIST(沖縄))[2016年06月11日]

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「ひたちなか市元気アップ事業」ひたちなか市健康推進課[講師]
2. 「平成 28 年度専門研修(短期研修)」福岡県体育研究所[講師]
3. 「学校災害防止調査研究委員会」独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全部[委員]
4. 「保健学習推進委員会」財団法人 日本学校保健会
5. 「平成 28 年度 健康教育指導者養成研修 健康コース」独立行政法人教員研修センター

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 水戸看護福祉専門学校・非常勤講師(2015 年 04 月～2017 年 03 月)

○ 学協会での役職

1. 日本民族衛生学会, 評議員(2003 年 01 月～)

○ 学外教育

1. [その他]「茨城県体育授業アドバイザー「陸上運動」水戸市立赤塚小学校」, 2 時間, 10 名出席, 茨城県教育委員会

○ 講演会・シンポジウム

1. 「第 13 回日本教育保健学会(国内)」, (茨城県水戸市)[] (2016 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ サンディエゴ サンディエゴ大学[資料収集] (2015 年 8 月～9 月:5 日間)

科学研究費補助金などの受領

1. [科学研究費補助金・基盤(B)・研究分担者] ソーシャル・キャピタルからみた「学校力」と「地域力」が青少年の健康に及ぼす影響. 15H03087. (研究代表者:高倉実)

人間環境教育課程	氏名 渡邊 将司
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1978 年 5 月
学歴・職歴	茨城大学 教育学部 学校教育教員養成課程 保健体育コース[2001 年 03 月卒業] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科 体育科学専攻[2006 年 03 月修了] 浅井学園大学 短期大学部 人間総合学科スポーツ科学系 (2006 年 4 月～2007 年 3 月) 北翔大学 短期大学部 こども学科(2007 年 4 月～2009 年 3 月) 茨城大学 教育学部 保健体育教室(2009 年 4 月～)
学位	博士(体育科学)[筑波大学]
受賞歴	日本成長学会 若手優秀演題賞(2008) Roy Acuff ACSM Abstract Award(2005)
所属学会	National Strength and Conditioning Association American College of Sports Medicine 日本トレーニング科学会 日本発育発達学会 日本成長学会 日本体力医学会 日本陸上競技学会
専門分野	スポーツ科学 身体教育学
教育研究概要	からだの成長・成熟や体力・運動能力の発達に関して研究しています。最近では早生まれの子どもの運動能力、子どもの運動習慣化、子ども期の運動習慣と成人期の体力・健康などに関心があります。 (キーワード)発育発達学、形態学、トレーニング科学
担当科目	(教養科目)身体活動[屋外ボールゲームⅡ(C)], 身体活動[ソフトボールⅡ(C)], 身体活動[屋内ボールゲームⅡ(C)] (専門科目)体育科教育法研究, 保育内容の研究(健康), 形態学, 保健体育総合演習, 保健体育特別演習Ⅱ, トレーニング法, 陸上競技指導法, 陸上競技/陸上競技指導法/陸上競技(健康コース), 陸上競技方法論/陸上競技方法論(健康コース), 測定評価, スキー, 保健体育特別演習Ⅰ, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)形態学特論, 体育授業設計

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(一般書)・分担執筆]茨城大学教育学部, 茨城大学教育学部附属幼稚園 編「楽しく遊ん

で、子どもを伸ばす 一子育て・保育の悩みに教育研究者が答える Q&Aー」, 福村出版, 20-23 (2016 年 08 月 10 日)

2. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]渡邊將司, 田村真理子「早生まれで体力が高い子どもの特徴」, 発育発達研究, **74**, 1-8 (2017 年 03 月 01 日)

3. [(MISC)総説・解説(大学・研究所紀要)単著]渡邊將司「世界レベルで成功したドイツ選手の長期的な取り組み」, 陸上競技研究紀要, **12**, 58-62 (2017 年 03 月 01 日)

4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著【査読あり】]渡邊將司, 明珍直樹, 上地 勝, 久保佳彦, 森丘保典, 三宅 聡, 繁田 進, 尾縣 貢「高校生における陸上競技の継続および非継続に係る要因」, 陸上競技研究紀要, **12**, 4-15 (2017 年 03 月 01 日)

5. [(MISC)総説・解説(その他)単著]渡邊將司「競泳の選手育成と発育発達」, 子どもと発育発達, **14**, 4, 278-283 (2017 年 01 月 01 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国内会議(共同)] 青山友子, 引原有輝, 渡邊將司, 若林斉, 埜智史, 麻見直美「乳幼児期の運動発達と児童期の体脂肪率との関係」日本発育発達学会() [2017 年 03 月 18 日]

2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 青柳直子, 渡邊將司「幼児における長期休み期間と登園期間における生活習慣の実態」日本発育発達学会() [2017 年 03 月 18 日]

3. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国内会議(共同)] 川勝佐希, 國土将平, 森田憲輝, 鈴木和弘, 渡邊將司, 笠次良爾, 上地広昭, 長野真弓, 山津幸司, 堤 公一, 辻 延浩, 久米大祐, 石井好二郎「大規模調査から確認された思春期前期の子どもの身体活動とメンタルヘルス(日本体力医学会プロジェクト研究の成果報告会)」日本体力医学会() [2016 年 09 月 26 日]

4. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国内会議(共同)] 引 原 有 輝, 渡 邊 將 司, 石 井 好 二 郎「子どもにおける運動・スポーツの意義とは? -身体活動の実施環境とヘルスアウトカムとの関連- (日本体力医学会プロジェクト研究の成果報告会)」日本体力医学会() [2016 年 09 月 25 日]

5. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・国内会議(共同)] 石井好二郎, 足立 稔, 上地広昭, 大島秀武, 笠次良爾, 川勝佐希, 久米大祐, 國土将平, 香村恵介, 鈴木和弘, 辻 延浩, 堤 公一, 長 野 真 弓, 引 原 有 輝, 森 田 憲 輝, 山 津 幸 司, 渡 邊 將 司「平成 25~27 年度体力医学会プロジェクト研究の概要(日本体力医学会プロジェクト研究の成果報告会)」日本体力医学会() [2016 年 09 月 25 日]

6. [ポスター発表・国際会議(共同)] Aoyama T, Hikiyama Y, Watanabe M, Wakabayashi H, Hanawa S, Omi N and Tanaka S "Association between birth weight and body composition in Japanese children" () [2016 年 07 月 24 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [出前授業] 埼玉県立川口北高等学校・講師, 2(時間/月) (2016 年 10 月~)

2. [兼業] 東海村立幼稚園・こども園教育研究会・アドバイザー(2015 年 04 月～2016 年 10 月)
 3. [兼業] 茨城陸上競技協会・理事(2010 年 04 月～)
 4. [非常勤講師] 筑波大学・非常勤講師(臨海実習・からだの成長)(2010 年 04 月～)
- 学協会での役職
1. 日本陸上競技学会, 企画委員(2014 年 11 月～)
 2. 日本陸上競技連盟, 普及育成委員(2011 年 04 月～)
- 講演会・シンポジウム
1. 「日立第一高等学校附属中学校 健康教育講座(国内)」, [その他](2016 年 11 月)
 2. 「東海村教職員夏期研修会(国内)」, [その他](2016 年 08 月)
 3. 「幼児家庭教育学級(国外)」, [招待講演](2016 年 06 月)
 4. 「常陸大宮市スポーツ推進委員会研修会(国内)」, [その他](2016 年 02 月)

海外出張・海外研修・内地研修など

オランダ アムステルダム・メルキュールホテル、アムステルダム RAI コンベンションセンター[研究打合せ、学会参加](2014 年 6 月～7 月:5 日間)

科学研究費補助金などの受領

- 競争的資金の獲得
1. [科研費]基盤研究(B)(分担)「運動の「ぎこちなさ」を要因とする書字困難児に対する早期支援プログラムの開発」, 952 万円 (2016 年 04 月～2020 年 03 月)
 2. [科研費]基盤研究(C)(分担)「子どもの外遊びを促進するための公園環境の提案」, 468 万円 (2016 年 04 月～2019 年 03 月)

学校教育教員養成課程(保健体育)	氏名 篠田 明音
------------------	----------

教員履歴など

現 職	講 師
生年月	1976 年 12 月
学歴・職歴	東京女子体育大学 体育学部 体育学科[1999 年 03 月卒業] 上越教育大学大学院 学校教育研究科 教科・領域教育専攻 生活健康系コース (保健体育)[2003 年 03 月修了] 東京都渋谷区 青山サンクラブ(体操クラブ)(1999 年 4 月～2000 年 3 月) 栃木県黒磯市 東那須野中学校(保健体育)非常勤講師(2003 年 4 月～2004 年 3 月) 創志学園 愛媛女子短期大学(2004 年 4 月～2007 年 3 月) 仙台白百合女子大学(2007 年 4 月～2009 年 3 月) 朴沢学園 仙台大学(2009 年 4 月～2011 年 3 月)
学位	教育学(修士)
受賞歴	第 9 回 高校・大学ダンスフェスティバル in 神戸 作品名「阿吽」 NHK 賞 受賞(この賞は、主題のすぐれた展開・構成に対して贈られる。) 表彰機関名:(社)日本女子体育連盟 第 11 回 高校・大学ダンスフェスティバル in 神戸 作品名「瞳」 特別賞 受賞(この賞は、主題にふさわしい動きの発見に対して贈られる。) 表彰機関名:(社)日本女子体育連盟
所属学会	日本スポーツ運動学会 日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部舞踊研究会 会 日本体育・スポーツ哲学会
専門分野	身体教育学
教育研究概要	動ける体を育てる。自己課題設定解決学習能力を育てる。 (キーワード)表現運動, 表現する身体, ダンス, 運動学(方法学を含む)
担当科目	(専門科目)ダンス・身体表現, 保育内容の研究(表現)、保育内容の研究(健康)、 トレーニング法

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

1. 子どものこころとからだを育てる保育内容「健康」 保育出版社(現、教育情報出版)
pp. 11～12[第 8 章] 子どもの運動指導の実際: 子どものマット遊びを指導する
平成 20 年 4 月 10 日発行, 5 刷発行平成 26 年 1 月 31 日第 2 版発行平成 28 年 7 月 31
日

2. 『保育内容・保育方法総論の理論と活用』保育出版社（現、教育情報出版）
pp. 29-32[第 2 章]保育活動における「場」の分析：家庭の保育環境の変化—少子化・核家族化・情報化などからの考察—
3. ダンスの授業における学習者の動きの発生に関する事例研究～牛山による実践場面を中心に～
日本教育大学協会全国保健体育・保健研究部門 舞踊研究会 第 8 号 pp. 10～27
平成 18 年 6 月

研究業績(2)学会発表など

1. 「実践的指導力」に関する事例研究 —リズム体操の示範に要求される「実践的指導力」について—
仙台白百合女子大学 人間発達研究センター紀要 「人間の発達」第 4 号 pp. 77-85
平成 20 年 10 月 31 日
2. ダンス指導に関する構造論的考察—牛山の実践における学習者の動きに着目して—
日本体育・スポーツ哲学会 平成 14 年 8 月
3. 表現運動・ダンスにおける課題学習についての一考察
日本体育・スポーツ哲学会 平成 18 年 9 月

研究業績(3)芸術・体育系の活動

1. 第 16 回 うわじま牛鬼まつり「うわじまガイヤカーニバル」主催：宇和島商工会議所
＜混合・大人の部＞ 準ガイヤ大賞 受賞 平成 16 年 7 月
2. 第 17 回 うわじま牛鬼まつり「うわじまガイヤカーニバル」主催：宇和島商工会議所
＜混合・大人の部＞ ガイヤ大賞 受賞 平成 17 年 7 月
3. DAN DAN DANCE&SPORTS 5th 主催：仙台大学 DAN DAN DANCE&SPORTS5th実行委員会
共催：えずこ芸術のまち創造実行委員会
後援：宮城県女子体育指導者連盟、仙台大学新体操競技部 平成 21. 1. 24
指導作品：プログラム No. 15 「乱」仙台大学ダンスⅡ
4. DAN DAN DANCE&SPORTS 6th 主催：仙台大学 DAN DAN DANCE 実行委員会
共催：えずこホール（仙南芸術文化センター）えずこ芸術のまち創造実行委員会
後援：仙台大学新体操競技部 平成 22 年 1. 23
出演作品：プログラム No. 3 「Potential～私の隠れた可能性」篠田 明音
指導作品：プログラム No. 4 「Sugar&Spice」仙台大学ダンスⅡ
プログラム No. 5 「見て感じてください」仙台大学篠田ゼミ
プログラム No. 9 「BELIEVE」えずこ湧くわくダンスチーム
5. DAN DAN DANCE&SPORTS7th 主催：仙台大学 DAN DAN DANCE&SPORTS 7th実行委員会
共催：えずこホール（仙南芸術文化センター）えずこ芸術のまち創造実行委員会
後援：仙台大学ダンスⅡ・仙台大学新体操競技部 平成 23 年 1. 29

出演作品：プログラム No. 2 「ことばあそび」 仙台大学 篠田交友会

指導作品：プログラム No. 10 「ジェラシーと求愛のコラボ」 仙台大学 ダンスⅡ

社会的活動、地域貢献など

1. 愛媛女子短期大学 附属幼稚園 運動会「組体操」、集団演技 題名：「水」
5月中旬から9月本番に向けて出前指導。 平成 18 年 5 月～9 月
2. 第 26 回 表現及びダンス等の創作作品発表会（愛媛県女子体育連盟主催）
会場：宇和文化会館 平成 18 年 9 月～11 月

学校臨床心理専攻	氏名 守屋 英子
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1952 年 10 月
学歴・職歴	京都大学大学院 教育学研究科[1988 年単位取得満期退学]
学位	教育学修士[京都大学大学院]
受賞歴	なし
所属学会	日本質的心理学会 日本描画テスト・描画療法学会 日本遊戯療法学会 日本箱庭療法学会 日本心理臨床学会 日本芸術療法学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	臨床心理学(芸術療法、遊戯療法、子どもの問題行動に関連しての親・教師への援助、思春期から成人までの心理療法) (キーワード)
担当科目	(教養科目)人間と心[カウンセリングと心の世界] (大学院科目)臨床心理基礎実習 I, 心理療法特論, 箱庭療法特論, 臨床心理査定演習 I, 臨床心理学特論 I, 臨床心理基礎実習 II, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(一般書)・分担執筆]茨城大学教育学部・茨城大学教育学部附属幼稚園編「楽しく遊んで、子どもを伸ばす ―子育て・保育の悩みに拒行く研究者が答える Q&A―」, 福村出版, p.106-109 (2016 年 08 月 10 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 綿貫由依・守屋英子「交互ぐるぐる描き物語統合法(MSSM法)の体験についての考察Ⅱ ―思春期のクライアントとの会い方を考える―」第 47 回 日本芸術療法学会[2015 年 11 月 28 日]
2. [ポスター発表・国内会議(共同)] 堀井祐希・守屋英子「東日本大震災で直接的被害を免れた一大学生の被災体験 ―対話的な自己エスノグラフィを用いて―」日本質的心理学会 第 12 回大会 [2015 年 10 月 04 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城県留置施設視察委員会」茨城県警察本部
2. 「かすみがうら市いじめ問題対策委員会」かすみがうら市
3. 「茨城県自殺対策委員会」茨城県障害福祉課[委員]
4. 「茨城県カウンセリングアドバイザー」
5. 「茨城県警 少年サポートセンター サポートアドバイザー」
6. 「茨城県いじめ対策連絡協議会」茨城県[委員]

○ 学協会での役職

1. 日本芸術療法学会, 評議員(2010年04月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「第7回茨城地域教育臨床研究会(国内)」, 茨城地域教育臨床研究会(水戸)[企画・運営]
(2016年03月)

○ 地域協力活動

1. 公益財団法人 茨城県青少年育成協会(2016年04月～2018年03月)
2. 茨城県立結城第二高校(連携協定あり)(2011年04月～2016年03月)

○ 地域貢献活動

1. 茨城県スクールカウンセラー(2016年04月～2017年03月)
2. 茨城県講道館アカデミー県民大学講座講師(2016年07月07日)
3. 茨城町教育支援センター「とんぼのひろば」スーパーバイザー研修会講師(2016年08月23日)
4. 茨城県青少年育成アドバイザー養成講習会講師(2016年10月30日)

学校臨床心理専攻	氏名 正保 春彦
----------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1958年11月
学歴・職歴	早稲田大学 文学部 人文専攻[1982年] 筑波大学大学院 心理学研究科 心理学専攻[1988年] 筑波大学(1988年6月～1990年3月) 明海大学(1990年4月～1995年3月) 明海大学(1995年4月～2000年9月) 茨城大学(2000年10月～2009年9月) 茨城大学教授(2009年10月～2012年3月) 茨城大学大学院(2012年4月～) 茨城大学(2015年4月～2018年3月)
学位	教育学修士[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本カウンセリング学会 日本人間性心理学会 日本心理臨床学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	集団心理療法(構成的グループエンカウンター、ロールプレイング、インプロヴィゼーション)、カウンセリング (キーワード)臨床心理学、グループアプローチ、構成的グループ・エンカウンター、ロールプレイング、サイコドラマ、インプロ(インプロヴィゼーション)
担当科目	(基盤科目)心理学基礎論Ⅰ、健康の科学、入門人間科学、心理学 (専門科目)グループアプローチ特講、こころを育てるグループワーク (大学院科目)臨床心理基礎実習Ⅰ, 臨床心理基礎実習Ⅱ, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>矢田部-ギルフォード性格検査からみたワルテック描画テストの反応内容に関する基礎的研究 正保春彦 2000(平成12) 臨床描画研究 第14巻 167頁-182頁.</p> <p>小学校における構成的グループエンカウンターによる自尊感情育成の研究 2003(平成15) 星野治子、正保春彦 茨城大学教育実践研究 第22号 63頁-77頁.</p> <p>大学と地域の連携による心理教育相談の展開 2003(平成15) 中野明德、小野昌彦、木谷秀勝、飯島 勇、正保春彦 茨城大学教育実践研究 第22号 1頁-17頁 中学校におけるグループワークの実施 -SGEとGWTを併せて実施して- 正保春彦 2004(平成16)</p>
--

- 茨城大学教育学部紀要（教育科学） 第 53 号 389 頁-398 頁.
- 中学校における構成的グループ・エンカウンターによる共感性育成の研究 正保春彦、湯原深雪 2004（平成 16） 茨城大学教育実践研究 第 23 号 1 頁-11 頁.
- 児童の自尊感情を高めるためのサイコエデュケーションの試み --保護者へのプログラム-- 黒澤千江、正保春彦 2005（平成 17）.10 茨城大学教育実践研究 第 43 号 31 頁-46 頁.
- 構成的グループ・エンカウンターにおけるシェアリングの効果 2005（平成 17）正保春彦、中嶋健治 茨城大学教育学部紀要（教育科学） 第 54 号 347 頁-360 頁.
- 構成的グループ・エンカウンターにおけるシェアリングの効果（2） 2006（平成 18）正保春彦、中嶋健治 茨城大学教育学部紀要（教育科学） 第 55 号 1 頁-7 頁.
- 開発的・予防的カウンセリング（グループアプローチ） 正保春彦 教師教育用学習素材コンテンツ 教師の力量アップをめざして 2005 独立行政法人メディア教育開発センター
- 学校教育とこころの問題 子ども・親・教員の苦悩と教育相談 2006. 看護学全書 教育学 173 頁-214 頁 メヂカルフレンド社
- 開発的・予防的カウンセリング 新しい実践を創造する学校カウンセリング入門 国立大学教育実践研究関連センター協議会 教育臨床部会編 62-67 頁, 200 東洋館出版社
- 異学年交流における変形 GWT 法による実践例 2007（平成 19）正保春彦 茨城大学教育学部紀要（教育科学） 第 56 号 471 頁-481 頁. 児童自立支援施設におけるグループワークの試み 2008（平成 20）正保春彦、後藤麻紀 茨城大学教育学部紀要（教育科学） 第 57 号 235 頁-246 頁. 中学生の学習集団における「学びあい」のあり方に関する一考察 堀江玲子・正保春彦、2008（平成 20） 茨城大学教育実践研究、第 27 号、33 頁-47 頁.
- 学級経営に生かすグループエンカウンター DVD で見る教育相談の実際 中野明德編 東洋館出版社. 2009.
- 励ましの言葉の受け取り方に関する一考察：発話群・発話期待群の比較から 中野友貴・正保春彦 2011（平成 23） 茨城大学教育実践研究、第 30 号、13~25 頁.
- 心理臨床教育における二つの不作為と「今、ここ」について 正保春彦、2011（平成 23）心理臨床研究 第 4 号、8 頁-12 頁.
- あいづちからみた自己一致に関する一考察 - 初心者カウンセラーとベテランカウンセラーの比較から - 鈴木大輝・正保春彦 2012（平成 24） 茨城大学教育実践研究第 31 号、293-305 頁.
- グループワークの心理的効果についての一考察 - 構成的グループ・エンカウンターとインプロヴィゼーションの比較から - 正保春彦 2012（平成 24） 茨城大学教育実践紀要 31、279 頁-291 頁. いじめ問題と「こころでっかち」 正保春彦 2012（平成 24） 心理臨床研究 第 5 号、1 頁.
- 茨城大学心理教育相談室の歴史 正保春彦 2013（平成 25） 心理臨床研究 第 6 号、57

頁-64 頁.

基本的コミュニケーション能力測定尺度 ikxy 作成の試み 正保春彦・葉山大地 2014 (平成 26) 茨城大学教育学部紀要 63, 257 頁-536 頁. 高校生の登校回避感情からの回復の過程—— 複線径路等至性モデルによる分析 —— 伊籐寿美・正保春彦 2014 (平成 26 年) 茨城大学教育実践研究 33, 201 頁-215 頁. 家庭裁判所親子合宿でのボランティア活動を通して 佐藤たまゆ、松原育子、正保春彦 2014 (平成 26 年) 心理臨床研究
グループアプローチ・エクササイズの下位分類に関する一考察 —— 構成的グループ・エンカウンター、グループワーク・トレーニング、インプロを比較して —— 正保春彦 2015 (平成 27 年) 茨城大学教育実践紀要 34, 225 頁-237 頁. ワークショップにおける開かれた心に関する一考察 正保春彦 2015 (平成 27) 茨城大学教育学部紀要 64

社会的活動、地域貢献など

- 兼業・兼職
 1. [非常勤講師] 筑波大学・非常勤講師, 5(時間/月)(2005 年 04 月～)
- 地域協力活動
 1. 水戸市教育委員会(2006 年～)
 2. 茨城県教育委員会(2006 年 05 月～)
- 3. 水戸家庭裁判所(2006 年 04 月～2015 年 9 月)
- 4. 茨城県教育研修センター(2013 年 6 月～)

学校臨床心理専攻	氏名 金丸 隆太
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 2 月
学歴・職歴	神奈川県立横浜翠嵐高等学校大学院[1991 年卒業] 早稲田大学 第一文学部 哲学科心理学専修[1996 年卒業] 早稲田大学大学院 文学研究科 心理学専攻[1999 年修了] 東京都東久留米市教育センター滝山相談室 相談員(1997 年 4 月～2003 年 3 月) 茨城大学大学院教育学研究科 専任講師(2003 年 2 月～2012 年 9 月) 茨城県スクールカウンセラー(2004 年 4 月～) 茨城大学大学院教育学研究科 准教授(2012 年 10 月～)
学位	修士(心理学)
受賞歴	なし
所属学会	日本交流分析学会 The International Transactional Analysis Association 日本心理臨床学会 日本心理学会 日本遊戯療法学会 日本質的心理学会
専門分野	臨床心理学
教育研究概要	子どもと親の臨床心理学的問題 教育相談における様々な臨床心理学理論の実践 (主として Transactional Analysis(交流分析)および投射描画法テストバッテリー) (キーワード) 交流分析(TA), 親子の臨床心理学的問題, 投影描画法テストバッテリー, 児童虐待, 発達障害
担当科目	(教養科目)人間と心[カウンセリングと心の世界] (大学院科目)臨床心理学講読演習, 臨床心理査定演習 I, 臨床心理研究法演習, 思春期臨床心理学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [柳田 美智子, 金丸 隆太「新しい中学生用いじめスクリーニング尺度開発 : 予備調査による妥当性検証」, 茨城大学教育実践研究 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター 編, 34, 239-248(2015 年 11 月)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県教育委員会・スクールカウンセラー, 32(時間/月)(2004 年 04 月～)

教育実践高度化専攻		氏名 坂場 克身
教員履歴など		
現 職	教 授	
学歴・職歴	<ul style="list-style-type: none"> ・水戸市立鯉淵小学校長 2008/4/1 ・茨城県立飯富養護小学校長 2010/4/1 ・水戸市教育委員会事務局参事 2011/4/1 ・水戸市立五軒小学校長 2014/4/1 ・茨城大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻 教授 2016/4/1 	
学位	理学士	
受賞歴	なし	
所属学会		
専門分野	教育学	
教育研究概要		
	(キーワード)	
担当科目	(大学院科目)学校運営課題研究Ⅰ, 課題発見実習, 学校運営課題研究Ⅱ, 学校運営開発実習Ⅰ, 教育方法開発実習Ⅰ, 児童生徒支援実習	

教育実践高度化専攻	氏名 藤田 達人
-----------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	<p>茨城大学 教育学部 小学校教員養成課程美術科(日本)[1978年03月卒業]</p> <p>上越教育大学大学院 学校教育研究科 教科・領域教育専攻芸術系コース美術(日本)[1996年03月修了]</p> <p>稲敷郡茎崎村立茎崎中学校(1978年4月～1983年3月)</p> <p>茨城県教育庁(2001年4月～2005年3月)</p> <p>大洗町立南中学校(2005年4月～2007年3月)</p> <p>茨城県教育庁(2007年4月～2009年3月)</p> <p>ひたちなか市立高野小学校(2009年4月～2010年3月)</p> <p>茨城県教育研修センター(2010年4月～2012年3月)</p> <p>大洗町立南中学校(2012年4月～2016年3月)</p>
学位	修士(教育学)[上越教育大学]
受賞歴	なし
所属学会	美術教育実践学会 美術科教育学会
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード) 学校運営 教育実践
担当科目	

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 生越 達
------------------	---------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1960 年 1 月
学歴・職歴	東京大学 法学部[1984 年 03 月卒業] 東京大学 教育学部 学校教育学科[1986 年] 東京大学大学院 教育学研究科 学校教育学[1992 年] 茨城大学教育学部教授(2004 年 4 月～)
学位	教育学修士
受賞歴	なし
所属学会	日本生活指導学会 社会臨床学会 日本人間性心理学会 日本教育方法学会 日本教育学会
専門分野	
教育研究概要	(キーワード)教育方法、生活指導、教育相談、子ども論、現象学的研究、人間性心理学、授業研究、不登校、子どもの「問題行動」
担当科目	(専門科目)生活指導の方法, 生活指導の方法, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)子ども理解にもとづく学習指導, 人間形成の現代的課題と学習指導, 教育方法開発課題研究 I, 課題発見実習, 子ども理解と学習支援, 教育方法開発課題研究 II, 教育方法開発実習 I, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. []「これからの学校をどのようにつくっていけばよいかー自校の若手教員をどう育てるかー」, 茨城教育, 852, 4-10(2016 年) 2. [単著]「これからの学校をどのようにつくっていけばよいかー子どもに身につけさせたい生活の基礎基本ー」, 茨城教育, 551, 4-10(2016 年) 3. [単著]「これからの学校をどのようにつくっていけばよいかー掲げた自己目標の実現に迫るー」, 茨城教育, 550, 4-10(2016 年) 4. [単著]「現代社会と生徒指導における児童生徒理解」, 茨城大学教育実践研究, 35, 327-342(2016 年) 5. [共著]「アクティブ・ラーニングの手法を用いた国語科の授業」, 茨城大学教育実践研究, 35, 343-358(2016 年)
--

6. [単著【査読あり】]「教育学部における臨床的養成研修の方法と課題」, 学校救急看護研究, 56-65(2016年)
7. [単著]「こころの教育と教科『道徳』—清掃活動を例として—」, 現代教育の課題と教員の資質向上, 56-65(2016年)

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城県スクールカウンセラー」
2. 「水戸市教科書選定委員」
3. 「茨城県教員研修センター外部評価委員」
4. 「看護専任教員養成運営委員会委員」
5. 「水戸市成人式検討委員会」
6. 「取手市いじめ自殺第三者委員会」
7. 「茨城県自殺対策委員」
8. 「茨城県いじめ対策委員」
9. 「大洗町評価委員」

○ 兼業・兼職

1. [出前授業] 水海道第一高等学校・(2007年11月～)
2. [出前授業] 中央高等学校・(2007年10月～)
3. [出前授業] 牛久栄進高等学校・(2007年10月～)
4. [出前授業] 日立第一高等学校・(2007年10月～)
5. [出前授業] 福島県立磐城桜ヶ丘高等学校・(2007年07月～)
6. [非常勤講師] 看護協会 教育原理・(2007年07月～)
7. [出前授業] 鉾田第一高等学校・(2007年07月～)
8. [公開講座] 実践心理教育相談講座(初級)・(2007年05月～)
9. [出前授業] 茨城県土浦湖北高等学校・(2006年11月～)
10. [出前授業] 茨城県下館第一高等学校・(2006年10月～)
11. [出前授業] 茨城県土浦第二高等学校・(2006年08月～)
12. [出前授業] 福島県立磐城桜ヶ丘高等学校・(2006年07月～)
13. [出前授業] 茨城県総和高等学校・(2006年07月～)
14. [公開講座] 実践心理教育相談講座・(2006年05月～)
15. [兼業] NPO 法人すだち理事・(2006年04月～)
16. [公開講座] 実践心理教育相談講座・(2005年09月～)
17. [その他] 水戸市立第五中学校学校評議員・(2004年04月～)
18. [その他] 茨城県カウンセリングアドバイザー・(2002年04月～)
19. [兼業] 茨城県スクールカウンセラー・(1996年04月～)

○ 学外教育

1. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「免許更新講習講師」, , ,
2. [その他]「城里町研修会講師」, , ,
3. [その他]「附属中学校公開研究会助言者」, , ,
4. [その他]「茨城大学附属小学校公開研究会講師」, , ,
5. [その他]「行方市研修会講師」, , ,
6. [その他]「水戸総合研究所事例検討会講師」, , ,
7. [その他]「笠間市研修会講師(幼小連携)」, , ,
8. [その他]「笠間市研修会講師(保護者)」, , ,

○ 地域協力活動

1. 大子町(年度不詳～)
2. 東海村(年度不詳～)
3. いわき市(年度不詳～)
4. 茨城県青少年アドバイザー(年度不詳～)
5. 茨城県カウンセリングアドバイザー(年度不詳～)
6. NPO 法人すだち(年度不詳～)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 三輪 壽二
------------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1961年10月
学歴・職歴	一橋大学 経済学部[1985年卒業] 千葉大学大学院 教育学研究科 学校教育[1991年修了] 医療法人厚生協会 東京足立病院(1991年4月～2000年11月) 茨城大学(2000年12月～2011年3月)
学位	修士(教育学)[千葉大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本学校健康相談学会 日本カウンセリング学会 日本教育心理学会 日本社会臨床学会
専門分野	教育相談、臨床心理学、社会臨床論
教育研究概要	(キーワード)空想、適応、主題統覚法検査、コンサルテーション
担当科目	(専門科目)学校教育相談、心理臨床検査法演習、心理臨床援助法実習Ⅰ、学校教育相談(心理)、人格心理学、臨床心理学、心理臨床診断法、心理臨床援助法実習Ⅱ、卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)児童生徒支援課題研究Ⅰ、課題発見実習、学校不適応問題への理解と対応、子ども理解と学習支援、児童生徒支援課題研究Ⅱ、教育相談の課題と支援、児童生徒支援実習、特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [論文・単著]三輪壽二「TAT法を活用した生徒指導とコンサルテーションの研究」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学)第66号, 461-469(2017年)
2. [その他・共著]三輪壽二・伴敦夫「不登校児童生徒支援事業『ほっとステーション活動』(『戦略的地域連携プロジェクト報告書』)」, 茨城大学社会連携センター, 50-53(2016年)
3. [教科書・分担執筆]三輪壽二「不登校児童・生徒の保護者に対するコンサルテーションの実践的活用」『現代教育の課題と教員の資質向上』, 茨城大学教育学部教育学教室, 6(76-81)(2016年07月31日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・(単独)] 「公認心理師国家資格化をめぐる資格・専門性を考える」(東京都)[2016 年 05 月 21 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] リリー保育福祉専門学校・非常勤講師(2008 年 04 月～)
2. [兼業] 茨城県教育委員会・スクールカウンセラー(2003 年 04 月～)

○ 学協会での役職

1. 日本社会臨床学会, 会長(2015 年 04 月～2017 年 03 月)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「日本教職員組合養護教諭部会研究会(国内)」, 日本教職員組合[その他](2016 年 07 月)
2. 「日本社会臨床学会(国内)」, [パネリスト](2016 年 05 月)

○ 地域協力活動

1. 社団法人いはらき思春期保健協会副理事長(2012 年 04 月～)
2. 社団法人いはらき思春期保健協会幹事(2006 年 04 月～)

人間環境教育課程	氏名 渡部 玲二郎
----------	-----------

教員履歴など

現 職	教 授
生年月	1965 年 3 月
学歴・職歴	筑波大学 第二学群 人間学類心理[1988 年卒業] 筑波大学大学院 心理学研究科 心理学[1994 年単位取得満期退学] 茨城大学教育学部講師(1995 年 1 月～1999 年 9 月) 茨城大学教育学部助教授(1999 年 10 月～2007 年 3 月) 茨城大学教育学部准教授(2007 年 4 月～2011 年 9 月) 茨城大学教育学部教授(2011 年 10 月～)
学位	修士(心理学)[筑波大学] 博士(心理学)[筑波大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会 日本カウンセリング学会 日本発達心理学会
専門分野	教育・社会系心理学
教育研究概要	(キーワード)子どもの対人関係、教師と子どもの対人関係、社会的適応、自己受容
担当科目	(専門科目)心理学文献講読 I, 発達の理解 I/発達の理解A, 発達臨床心理学, 心理学統計法, 心理学研究法 I, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)学級経営実践演習, 学級集団づくりとソーシャルスキル教育の実践法, 児童生徒支援課題研究 I, 課題発見実習, 子ども理解と学習支援, 児童生徒支援課題研究 II, 児童生徒支援実習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単著]渡部玲二郎「児童生徒の自律的な学習と教師の学習支援」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 66, 503-513(2017 年 03 月 30 日)
2. [共著]「精神的苦痛を伴う出来事を乗り越えるまでのプロセスでみられる依存について」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 66, 485-502(2017 年 03 月 30 日)
3. [共著]前川幸恵・渡部玲二郎「過敏型自己愛に基づくイラショナルビリーフと内向攻撃性の関連について」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 66, 471-483(2017 年 03 月 30 日)
4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]三村和歌子・渡部玲二郎「青年期における「諦めの経験」を乗り越えるまでのプロセスについて」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 65, 453-474(2016 年 10 月)

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「茨城町教育委員会生徒指導研修会(不登校対策協議会)講師」
2. 「社団法人茨城県看護協会「茨城県専任教員養成講習会」講師」茨城県看護協会
3. 「社団法人茨城県看護協会「実習指導者講習会」講師」茨城県看護協会

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 筑波大学人間学群・(1998 年 04 月～)
2. [非常勤講師] 茨城北西看護専門学校・(2010 年 04 月～)

○ 学協会での役職

1. 日本カウンセリング学会, 日本カウンセリング学会常任編集委員(2008 年 04 月～2017 年 03 月)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]萌芽研究(代表)「「教師による小・中学生のコミュニケーション能力を向上させる方法」の構築」, 500 万円 (2013 年 04 月 01 日～2016 年 03 月 31 日)

○ 共同研究・受託研究

1. [国内共同研究]「教師による小・中学生のコミュニケーション能力向上プロジェクト(代表)」, 未詳 (2007 年 12 月～2016 年 03 月)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 打越 正貴
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1960 年 9 月
学歴・職歴	茨城大学大学院 教育学研究科 学校教育[1999 年 03 月修了]
学位	修士(教育学)[茨城大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育方法学会 教育実践学会 社会科教育開発学会
専門分野	教育学 教育方法
教育研究概要	教育実践に関する研究
	(キーワード)教育実践 授業研究 思考指導 学級経営 生徒指導 教師教育
担当科目	(専門科目)教育課程演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)特別支援教育の理論と実践, 子ども理解にもとづく学習指導, 子どもの発達と学習の過程, 課題発見実習, 授業研究による授業改善, 教育臨床問題と道徳, 子ども理解と学習支援, 校内研修の企画・立案と実践, 学校運営開発実習 I, 教育方法開発実習 I, 児童生徒支援実習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]打越正貴「魅力ある学校づくり」を推進するための実践的研究 ―中学校における 2 年間の「カリキュラム・マネジメント」を』中心とした多様な教育活動の改善を通して―, 『茨城大学教育学部紀要』(教育科学), 66, 515-527(2017 年 03 月) [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]打越正貴 斎藤茂樹「総合的な学習の時間の指導方法に関する実践的な研究 ―課題対応能力を育成するための「カリキュラム・マネジメント」による思考の共有化を通して―, 『茨城大学教育学部紀要』(教育科学), 66, 541-555(2017 年 03 月) [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]打越正貴 島本晃宏「思考力を育成する指導方法に関する一考察 ―中学校理科の「単元を貫いた学習課題」による学習計画づくりを通して―, 『茨城大学教育学部紀要』(教育科学), 66, 557-576(2017 年 03 月) [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]成井紀英 打越正貴 「学習過程における「見通す」活動についての一考察 ―アクティブ・ラーニングの視点を通して―, 『茨城大学教育学部紀要』(教育科学), 第 66, 529-540(2017 年 03 月) [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]佐藤環 打越正貴「茨城県小・中学校におけるカリキュラム・マネジメント」, 『茨城大学教育実践研究 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター』, 35,

369-379(2016 年 11 月 30 日)

研究業績(2)学会発表など

- 1997 年 10 月 (単)「社会科の授業における単元導入段階に『色と形』の表現活動を生かした学習指導の研究—安土桃山時代を通して—」, 第 32 回茨城県教育研究会主催教育論文, 優良賞.
(概要)茨城県教育研究会『研究紀要』第 35 集、1998 年 3 月, 90.
- 1998 年 7 月 教育実践学会第 6 回学会大会 パネルディスカッション「これからの学校と授業—自ら学び自ら考える力を育てる授業について」パネリスト(於:茨城大学)
- 1999 年 10 月 (単)「思考力を育成するための実践的研究」, 第 34 回茨城県教育研究会主催教育論文, 佳作.
- 1999 年 12 月 (単)「生徒の思考指導に関する実践的研究」(社)茨城県教育会『茨城教育』第 801 号, 44-47.
- 2000 年 11 月 (共)潮来市立延方小学校「自然と触れ合う環境学習—地域の教育資源の効果的な活用を通して—」, 第 3 回(財)げんでん科学技術振興会応募論文, げんでん大賞.
- 2001 年 11 月 社会科教育開発学会第 8 回研究集会 実践発表「問題解決能力を育成するための実践的研究」(於:ホテルレイクビュー水戸)
- 2001 年 6 月 第 39 回教育研究会全国大会「地域や学校の特色に応じた総合的な学習の時間」に関する実践研究発表(於:つくば市立吾妻中学校)
(概要)打越正貴「自ら考え追究する力を育てる実践的な研究」(財)ソニー教育財団・ソニー理科教育振興資金受賞校連盟『平成 13 年度理科教育研究集録 豊かな人間性の育成』vol.39, 2001 年 12 月, 24.
- 2001 年 12 月(共)潮来市立延方小学校「自然とふれあう環境学習」, 第 10 回全国小中学校環境教育賞応募論文, 小学館, 優秀賞.
(概要)潮来市・延方小学校「自然とふれあう環境学習」『環境教育ガイド』(『総合教育技術』8 月号増刊)2002 年 8 月, 小学館, 24-25.
- 2001 年 10 月 (共)潮来市立延方小学校「自己の生き方にかかわる『問題解決能力』を育成する総合的な学習の時間の在り方」, 第 36 回茨城県教育研究会主催教育論文, 優良賞.
- 2002 年 2 月 第 2 回全国学校ビオトープコンクール発表会 実践発表(優秀賞).
(概要)「潮来市立延方小学校」(財)日本生態系協会『第 2 回全国学校ビオトープコンクール報告書』2002 年 3 月, 46-49.
- 2002 年 9 月 (単)「生き物の『ヒミツ』発見 五感を通して自然と触れ合う授業」『たのしい学校』2002 年 2 学期号, 大日本図書, 22-23.
- 2003 年 4 月 (単)「イメージを『色と形』で具象化する方略」『道德教育』2003 年 4 月号, 明治図書, 21-22.
- 2003 年 10 月(共)「潮来市立延方小学校「自ら考え, 自ら追究する力を育てる実践的な研究—地域の資源を活用し, 共に学び合うことで問題解決能力の育成を目指した総合的な学習の時間の授業改

善を通して一」, 第 27 回「教育に関する研究」茨城県教育弘済会応募論文, 最優秀賞.

(概要)潮来市立延方小学校 代表打越正貴 他全職員「自ら考え, 自ら追究する力を育てる実践的な研究」茨城県教育委員会・(財)茨城県教育弘済会『第 27 回研究論文集』2004 年 4 月, 1-11.

2004 年 4 月 (単)「自立した子どもを目指して」『道德教育』2004 年 4 月号, 明治図書, 22-23.

教育実践高度化専攻	氏名 藤井 とし子
-----------	-----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	茨城県内公立小中学校 教諭(1992-2008) 茨城大学教育学部附属小学校 教諭(2009-2015) 茨城大学教育学部 准教授(2016-)
学位	修士(教育学)
受賞歴	なし
所属学会	日本授業 UD 学会, 日本アクティブラーニング学会
専門分野	教育実践, 児童生徒支援, 算数教育
教育研究概要	子供 1 人 1 人が安心して過ごせる学級, 自分のよさを生かして学べる授業の在り方を考える。 (キーワード) 子供理解 アクティブラーニング
担当科目	(大学院科目)学級経営実践演習, 学級経営と個別指導の実践, 学級集団づくりとソーシャルスキル教育の実践法, 学校不応問題への理解と対応, 教育相談の課題と支援, 子供理解と学習支援, 校内研修の企画・立案と実践, 課題研究, 課題発見実習, 児童生徒支援実習, 学校適応アセスメント実習, 学校適応支援実習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

研究論文(大学, 研究機関紀要) 共著 幼児向け番組におけるテレビを3次元に見る手がかりの分析 村野井均・藤井とし子 茨城大学教育実践研究 茨城大学教育学部附属教育実践総合センター 35, 279-287 2016/09/15

社会的活動、地域貢献など

算数・数学の自由研究作品コンクール審査, 茨城県数学教育研究会機関誌への寄稿, 附属中学校における共同研究, 附属小学校における授業公開及び校内研修講師
--

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 加藤 崇英
------------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1970 年 11 月
学歴・職歴	山形大学教育学部講師(2002 年～2005 年) 山形大学地域教育文化学部助教授(2005 年～2006 年) 国立教育政策研究所 研究員(2006 年～2007 年) 国立教育政策研究所 主任研究官(2007 年～2009 年) 茨城大学教育学部准教授(2009 年～2016 年) 茨城大学大学院教育学研究科准教授(2016 年～)
学位	修士(教育学)
受賞歴	なし
所属学会	日本教育事務学会 日本スクールコンプライアンス学会 日本教育行政学会 日本教育経営学会
専門分野	教育学 学校経営 教育行政
教育研究概要	学校組織に関する理論的・実証的研究 学校評価に関する研究 学校規模に応じた学校マネジメントに関する研究 学校経営における業務改善に関する研究 上記、研究課題に関する学校現場・教職員への支援 (キーワード)
担当科目	(専門科目)教育の制度と経営, 教育の制度と経営, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)スクール・リーダーシップとその実践, 学校運営課題研究 I, 課題発見実習, 学校における評価マネジメント実践演習, 学校マネジメント実践演習, 学校運営課題研究 II, 校内研修の企画・立案と実践, 学校運営開発実習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [単行本(学術書)・共編者]加藤崇英、臼井智美、鞍馬裕美編「新訂版 教育の組織と経営—教育制度改革と行政の役割」, 学事出版, (2016 年 06 月 15 日)
2. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著]加藤 崇英「教職員一人一人が力を発揮できる環境の整備」に向けて大切なこと(特集「チームとしての学校」の実現に向けて), 初等教育資料, 942, 16-19 (2016 年 07 月 01 日)
3. [(MISC)総説・解説(商業誌)単著]加藤 崇英「チームとしての学校の在り方の実現に向けた考え方について(特集「チームとしての学校」の実現に向けて)」, 中等教育資料, 65, 5, 14-19(2016 年

05 月)

4. [研究論文(学術雑誌)単著]加藤 崇英「「チーム学校」論議のねらいと射程」, 学校経営研究, 41, 1-9(2016 年 04 月 01 日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(招待・特別)・国内会議(共同)] 加藤崇英「教育政策における新たな学校像」日本教育経営学会研究推進委員会課題研究発表「日本型教育経営システムの有効性に関する研究」(京都教育大学)[2016 年 06 月 12 日]

2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] ○浜田博文(筑波大学)、安藤知子(上越教育大学)、○山下晃一(神戸大学)、○加藤崇英(茨城大学)、大野裕己(兵庫教育大学)、高谷哲也(鹿児島大学)、○照屋翔大(茨城大学)、朝倉雅史(早稲田大学)、高野貴大(筑波学院・生)「新たな学校ガバナンスにおける「教育の専門性」の再定位(1)」日本教育経営学会自由研究発表(京都教育大学)[2016 年 06 月 11 日]

社会的活動、地域貢献など

○ 学協会での役職

1. 日本教育経営学会, 理事(2015 年～)
2. 日本教育経営学会, 研究推進委員(2015 年～)

○ 地域協力活動

1. [学外審議会・委員会等]「日立市学校適正規模配置検討委員会」(2016 年 10 月～2017 年 03 月)
2. [学外審議会・委員会等]「水戸市教育事務評価専門委員」(2016 年 07 月～2018 年 06 月)
3. [学外審議会・委員会等]「平成 28 年度 鹿嶋市教育行政評価委員会」(2016 年 07 月～2017 年 03 月)
4. [学外審議会・委員会等]「文部科学省・教育相談等に関する調査研究協力者会議委員」(2015 年 11 月～2017 年 03 月)
5. JICA 筑波 中南米からの教員研修による本学訪問時における講義(2009 年～)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

ニュージーランド ウェリントン ニュージーランド教育省[ヒアリング調査及び資料収集](2016 年 2 月～3 月:2 日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(B)一般(分担)「人口減少社会における地域共生に資する学校適正規模・学校適正配置に関する研究」, 35 万円 (2014 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

○ 共同研究・受託研究

1. [国内共同研究]「学校評価システムの展開に関する実証的研究(分担)」, 未詳(2007年04月～)

人間環境教育課程	氏名 丸山 広人
----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1972 年 4 月
学歴・職歴	<p>東京大学大学院 教育学研究科[2003 年単位取得満期退学]</p> <p>東京大学大学院教育学研究科助手(2003 年 4 月～2005 年 6 月)</p> <p>茨城大学教育学部助教授(2005 年 7 月～2007 年 3 月)</p> <p>茨城大学教育学部准教授(2007 年 4 月～)</p>
学位	博士(教育学)[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育心理学会 日本学生相談学会 日本心理臨床学会 日本コミュニティ心理学会
専門分野	教育心理学 臨床心理学
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	<p>(専門科目)学校心理学, 人間教育の心理学(教職共通), 心理学史, 総合演習[人環用], 心理特別演習 II, 不適応問題と学校, 人間教育の心理学(教職共通)/人間教育の心理学[人環用教職], 保育内容の研究(人間関係), 心理学実験, 心理特別演習 I, 卒業研究(教育:4 単位)</p> <p>(大学院科目)学級経営と個別指導の実践, 児童生徒支援課題研究 I, 課題発見実習, 教育カウンセリング実践と事例研究, 子ども理解と学習支援, 児童生徒支援課題研究 II, 児童生徒支援実習</p>

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [単行本(学術書)・単著]丸山広人「教育現場のケアと支援:場の力を活かした学校臨床」, 大月書店, (2016 年 06 月 20 日)</p> <p>2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]丸山広人「親面接における保護者の類型とその対応—教育相談における面接導入期に焦点づけて—」, 茨城大学教育学部紀要(人文・社会科学、芸術), 65, 25-38(2016 年)</p> <p>3. [研究論文(学術雑誌)単著【依頼/招待】]丸山広人「質的研究はどのように教室の中の子ども理解を促進するのか:実践に埋め込まれた内潜理論の発見」, 学校健康相談研究, 13, 1, 14-22(2016 年 12 月)</p>
--

社会的活動、地域貢献など

○ 行政機関等での委員就任

1. 「水戸市いじめ問題対策連絡協議会委員」水戸市教育委員会〔水戸市教育長〕

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県教育委員会・スクールカウンセラー(2013 年 05 月～2018 年 03 月)
2. [兼業] 茨城北西看護専門学校・カウンセラー(2011 年 12 月～2018 年 03 月)
3. [兼業] 茨城県教育研究連盟・助言者(2007 年 10 月～2017 年 03 月)
4. [兼業] 茨城いのちの電話・講師(2006 年 04 月～)

○ 学外教育

1. [自治体での社会教育]「水戸市総合教育研究所内事例検討会(年2回)」, 2 時間, 15 名出席, 水戸市総合教育研究所
2. [自治体での社会教育]「大子町教育支援センター研修会」, 2 時間, 15 名出席, 大子町教育委員会
3. [自治体での社会教育]「水戸市立常磐小学校校内研修」, 2 時間, 30 名出席, 水戸市立常磐小学校
4. [自治体での社会教育]「第 61 回茨城県教育研究連盟研究集会助言者」, 8 時間, 20 名出席,
5. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「教員免許状更新講習講師」, 12 時間, 160 名出席, 茨城大学教員免許状更新講習専門委員会
6. [自治体での社会教育]「子どもホットライン」サポートスタッフ研修会講師」, 2 時間, 15 名出席, 茨城県教育庁学校教育部義務教育課
7. [自治体での社会教育]「石岡市適応指導教室研修会(年5回)」, 10 時間, 20 名出席, 石岡市教育委員会
8. [自治体での社会教育]「那珂市教育支援センター研修会(年5回)」, 12 時間, 30 名出席,
9. [自治体での社会教育]「発達障害等に関する専門家派遣事業 講師(年3回)」, 6 時間, 60 名出席, 茨城県旭東小学校

学校教育教員養成課程(学校教育)

氏名 杉本 憲子

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1973 年 7 月
学歴・職歴	名古屋大学 教育学部 教育学科[1996 年卒業] 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教育科学[2001 年単位取得満期退学]
学位	修士(教育学)[名古屋大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育方法学会 日本生活科・総合的学習教育学会 中部教育学会 日本教育学会
専門分野	教育方法学
教育研究概要	(キーワード)教育方法、授業研究
担当科目	(専門科目)教育の方法と技術, 学習指導特講, 教育の方法と技術, 学習指導の方法, 学習指導演習, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)授業研究の方法と実践, 教育評価の方法, 教育方法開発課題研究 I, 教授学演習, 課題発見実習, 授業研究による授業改善, 子ども理解と学習支援, 教育方法開発課題研究 II, 教育方法開発実習 I

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

- [単著]杉本憲子「教科書の役割と子どもの発見や問題意識に基づく授業の展開」, 考える子ども, 375, 12-15(2016 年 11 月)
- [単著]杉本憲子「対話を通しての学びとその基盤に関する一考察」, 茨城大学教育学部紀要(教育科学), 66, 651-659(2017 年 3 月)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

- [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 杉本憲子「上田薫の動的相対主義の理論と授業研究」日本教育方法学会第 51 回大会(岩手大学)[2015 年 10 月 10 日]

社会的活動、地域貢献など

模擬授業(「子どもの学びを考える」)

免許状更新講習(「特別活動の課題と実践」)

科学研究費補助金などの受領

「集団思考の深化を図る授業過程の構築に関する理論的・実証的研究」[科研費]若手研究(B)(代表) (2012 年 04 月～)

学校教育教員養成課程(学校教育)	氏名 青柳 路子
------------------	----------

教員履歴など

現職	准教授
生年月	1975年9月
学歴・職歴	お茶の水女子大学 文教育学部 教育学科[1999年03月卒業] 東京大学大学院 教育学研究科 総合教育科学専攻(日本)[2001年03月修了] 東京大学大学院 教育学研究科 総合教育科学専攻[2004年03月単位取得満期退学]
学位	修士[東京大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育学会 教育哲学会 教育思想史学会 日本道德教育学会 道德教育方法学会 美術教育研究会 日本人間性心理学会 美術解剖学会
専門分野	教育学
教育研究概要	(キーワード) 道德教育、教育哲学、教育人間学
担当科目	(教養科目) 主題別ゼミナール[教育学入門] (専門科目) 道德と価値の教育, 教育思想, 道德と価値の教育, 教育哲学, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目) 教育方法開発課題研究Ⅰ, 課題発見実習, 教材研究と授業設計Ⅱ, 教育臨床問題と道德, 子ども理解と学習支援, 教育方法開発課題研究Ⅱ, 教育方法開発実習Ⅰ

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

- 著書・論文等
- [単行本(一般書)・共著]茨城大学教育学部・茨城大学教育学部附属幼稚園編『『楽しく遊んで、子どもを伸ばす:子育て・保育の悩みに教育研究者が答える Q&A』, 福村出版, pp.110-113 (2016年08月10日)
 - [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(学術雑誌) 【査読あり】]本郷寛、西山大基、橋本圭也、磯崎えり奈、青柳路子「『日本の伝統文化理解推進教育における授業実践:東京都立飛鳥高等学校での『日本の美術・工芸』について』, 『美術教育研究』, 21, 20-33(2016年07月15日)

研究業績(2)学会発表など

- ・「ユング派の『個性化』概念展開にみるライフサイクルと『死』」, 日本教育学会大会(於・東北大)

学),2006 年.

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 公益財団法人 野間教育研究所・兼任研究員(2006 年 12 月～)

○ 学協会での役職

1. 美術教育研究会, 委員(2008 年～)

2. 美術教育研究会, 大会実行委員(2016 年～)

○ 地域協力活動

1. [その他公的社会活動]「きらきらっとアートコンクール 審査員」(2014 年 10 月～)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]若手研究(B)(代表)「「いのちの教育」における「身体」の位置づけ—歴史的展開からの再考—」, 140 万円 (2014 年 04 月 01 日～2017 年 03 月 31 日)

教育実践高度化専攻	氏名 照屋 翔大
-----------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
学歴・職歴	筑波大学 第二学群 人間学類 教育学専攻[2004年03月卒業] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科(一貫制博士課程) 教育学主専攻[2010年03月その他] 筑波大学大学院 人間総合科学研究科(博士後期課程) 教育基礎学専攻[2010年08月単位取得満期退学] 愛知東邦大学(2010年9月～2016年3月) 茨城大学大学院(2016年4月～)
学位	修士(教育学)[筑波大学大学院人間総合科学研究科]
受賞歴	なし
所属学会	日本教育経営学会 日本教育行政学会 日本教育学会 日本教育制度学会 筑波大学教育学会 American Educational Research Association
専門分野	教育学 学校経営学
教育研究概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の質保証システム(school and district accreditation) ・教育長と教育委員会事務局のリーダーシップ(leadership of district superintendent and office staff) ・現代的政策課題(コミュニティ・スクール, チーム学校, 多様なニーズを抱えた児童生徒等)に対する学校経営・教育行政様式の日米比較
	(キーワード)学校経営学、学校改善論、地方教育行政のリーダーシップ
担当科目	(大学院科目)学校を基盤としたカリキュラム開発と実践, 教育政策の実施と評価, 学校危機管理論と実践演習, 教育行財政と法規, 校内研修の企画・立案と実践, 課題研究, 課題発見実習, 学校運営開発実習

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(学術書)・分担執筆]日本児童教育振興財団 編『『学校教育の戦後70年史』, 小学館, 168-171, 228-231(2016年07月02日)
2. [その他・分担執筆]水本徳明 編著『『実践教育法規2016』, 小学館, 16-17, 64-65, 66-67, 68-69, 70-71(2016年06月15日)
3. [研究論文(学術雑誌)共著【査読あり】]臼井 智美, 佐藤 博志, 鞍馬 裕美, 末松 裕基, 照屋 翔大「日本と英豪米における移民教育政策の分析枠組み : 言語習得と学力保障の教育施策に着目

して」大塚学校経営研究会編『学校経営研究』41, 33-47(2016年04月01日)

4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]肥田 幸子, 丸岡 利則, 照屋 翔大, 正岡 元「大学への帰属感と意味づけが学校不適応に及ぼす影響の探索」愛知東邦大学編『東邦学誌』45/ 1, 61-71

(2016年06月10日)

5. [総説・解説(学術雑誌)共著]照屋翔大, 藤村祐子「海外の教育経営事情 アメリカの教員評価をめぐる付加価値評価モデル(Value-Added Model)の動向」『日本教育経営学会紀要』58, 118-130

(2016年06月25日)

6. [研究論文(学術雑誌)単著【査読あり】]照屋翔大「沖縄県における授業改善を核とした学力向上施策の展開と地方教育行政のリーダーシップ」日本教育行政学会編『教育行政学研究と教育行政改革の軌跡と展望(学会創設50周年記念)』, 78-84(2016年10月07日)

研究業績(2)学会発表など

○学会発表

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「新たな学校ガバナンスにおける「教育の専門性」の再定位(1)」日本教育経営学会第56回大会, 京都教育大学(2016年06月11日)

2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「移民教育政策に関する国際比較研究—スクールリーダーの経営環境の解明に向けて—」日本教育経営学会第56回大会, 京都教育大学(2016年06月12日)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 茨城キリスト教学園大学(2016年04月～)

○ 学協会での役職

1. 北名古屋市教育委員会, 学校運営推進協議会(現:北名古屋市豊かな学び創造推進協議会)アドバイザー(2012年06月～2017年03月)

2. 日本教育経営学会 国際交流委員会委員(2015年06月～2018年06月)

3. 日本教育経営学会 学会創設60周年記念出版事業編集委員会幹事(2016年06月～2018年06月)

○ 地域協力活動

1. 茨城県教育庁学校教育部義務教育課[地域貢献事業]「平成28年度学校マネジメント力強化に関する実践研究に係るモデル地区訪問指導」(2016年07月～2017年01月)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

アメリカ フィラデルフィア, デンバー Southern Lehigh School District, University of Pennsylvania, Van Pelt Library, Westminster Public Library, Westminster Public Schools, University of Colorado Boulder, Norlin Library[インタビュー調査・資料収集](2016年9月:9日間)

科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]若手研究(B)(**代表**)「教委と学校のコラボレーションを核にした学校評価システムの構築に関する日米比較研究」, 325 万円 (2015 年 04 月 01 日～2019 年 03 月 31 日)
2. [科研費]基盤研究(C)(**分担**)「多職種構成による効果的な教育マネジメント・システム開発に関する国際比較研究」(研究代表者:木岡一明(名城大学)), 50 万円(2015 年 04 月 01 日～2019 年 03 月 31 日)
3. [科研費]基盤研究(C)(**分担**)「学校の教育力向上に資する教員の自主性・自律性の展開構造に関する国際比較研究」(研究代表者:高妻紳二郎(福岡大学)), 50 万円(2016 年 04 月 01 日～2019 年 03 月 31 日)

(全学教職センター)	氏名 柴原 宏一
------------	----------

教員履歴など

現 職	教 授
学歴・職歴	<p>東北大学 理学部 生物学科動物生理学講座[1977年03月卒業]</p> <p>茨城県立日立商業高等学校(1978年4月～1983年3月)</p> <p>茨城県立日立北高等学校(1983年4月～1998年3月)</p> <p>茨城県教育庁高校教育課(1998年4月～2005年3月)</p> <p>茨城県立太田第一高等学校(2005年4月～2008年3月)</p> <p>茨城県教育庁高校教育課(2008年4月～2010年3月)</p> <p>茨城県立日立北高等学校(2010年4月～2011年3月)</p> <p>茨城県教育庁高校教育課(2011年4月～2013年3月)</p> <p>茨城県教育庁(2013年4月～2015年3月)</p> <p>茨城大学教育学部(2015年4月～2016年3月)</p> <p>学校法人東京家政学院筑波学院大学(2015年4月～2016年3月)</p> <p>茨城大学(2016年4月～)</p>
学位	
受賞歴	なし
所属学会	日本教育制度学会 日本道德教育方法学会 日本教育実践学会
専門分野	教育学
教育研究概要	<p>教育制度改革が進む中、子どもたちと直に接して教育を担う教員の資質向上を図るためには、開放制のもとでの教員養成において、教育委員会とどのように連携すれば効果的な教員養成に繋がるのかという課題意識を持ちながら取り組んでいます。</p> <p>(キーワード)教育制度 教員養成 地方教育行政 初等中等教育 アクティブラーニング(協働的な学び) ICT を活用した高等学校教育 教育工学 キャリア教育</p>
担当科目	

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [単行本(一般書)・単著]柴原宏一「教育制度改革と教育実践」, 青簡舎, (2017年03月15日)
2. [教科書・単著]「教育制度の基本と教育実践の現状」, 佐藤印刷株式会社, (2016年12月07日)
3. [教科書・単著]「教育法規から見た教育制度と教職実践」, 佐藤印刷株式会社, (2016年10月01日)

4. [研究論文(大学, 研究機関紀要)単著]柴原宏一「教育制度改革と地方教育行政—教育制度改革と高等学校教員養成についての一考察—」, 茨城大学教育実践研究, **35**, 1-15(2016年11月30日)
5. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]「茨城県の高校における討議型道徳の教育実践」, 日本教育実践学会第19回研究大会論文集, (2016年11月05日)
6. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]「高校の特別活動におけるモラル・スキル・トレーニング・プログラムの試み」, 日本教育実践学会第19回研究大会論文集, (2016年11月05日)
7. [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)共著]「高校道徳におけるアクティブ・ラーニングに関する一考察」, 日本道徳教育方法学会第22回研究発表大会発表要旨集録, (2016年06月12日)

研究業績(2)学会発表など

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「茨城県の高校における討議型道徳の教育実践」日本教育実践学会第19回大会(兵庫教育大学)[2016年11月05日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「高校の特別活動におけるモラル・スキル・トレーニング・プログラムの試み」日本教育実践学会第19回大会(兵庫教育大学)[2016年11月05日]
3. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)]「高校道徳におけるアクティブ・ラーニングに関する一考察」日本道徳教育方法学会第22回研究大会(茨城大学)[2016年06月12日]

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 茨城県立佐和高等学校・学校評議員(2016年04月～)
2. [兼業] 学校法人東京家政学院 筑波学院大学・参与(2016年04月～)
3. [兼業] 学校法人東京家政学院 筑波学院大学・教育アドバイザー(2016年04月～)
4. [兼業] 茨城県立古河中等教育学校・学校評議員(2015年04月～)
5. [兼業] 茨城県立日立第一高等学校・附属中学校・学校評議員(2015年04月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「茨城県立土浦第二高等学校全校生徒対象講演会(国内)」, [招待講演](2016年10月)
2. 「茨城県立総和工業高等学校教員対象研修会(国内)」, [招待講演](2016年10月)
3. 「茨城県立総和工業高等学校全校生徒対象講演会(国内)」, [招待講演](2016年10月)
4. 「日本新聞教育協議会研究大会茨城大会 シンポジウム(国内)」, [パネリスト](2016年08月)
5. 「茨城県立水戸桜ノ牧高等学校 教員研修会(国内)」, [招待講演](2016年06月)
6. 「学校法人水城 水城高等学校 教員研修会(国内)」, [招待講演](2016年04月)
7. 「茨城県教育工学研究会(国内)」, [招待講演](2016年04月)
8. 「茨城県教育研修センター 所員研修会(国内)」, [招待講演](2016年02月)

9. 「茨城県立太田第二高等学校 校内研修会(国内)」, [招待講演](2016 年 01 月)
 10. 「茨城県龍ヶ崎市学校長会 研修会(国内)」, [招待講演](2016 年 01 月)
 11. 「茨城県教育委員会主催「いばらき輝く教師塾」(国内)」, [招待講演](2016 年 01 月)
- 地域協力活動
1. [その他公的社会活動]「茨城県立日立第一高等学校・附属中学校 学校評議員」(2015 年 04 月～)
 2. [その他公的社会活動]「茨城県立古河中等教育学校 学校評議員」(2015 年 04 月～)
 3. [その他公的社会活動]「茨城県立佐和高等学校 学力向上運営委員会委員」(2016 年 04 月～)
 4. [その他公的社会活動]「茨城県立佐和高等学校 学校評議員」(2016 年 04 月～)

附属教育実践総合センター	氏名 昌子 佳広
--------------	----------

教員履歴など

現職	教授
生年月	1965年10月
学歴・職歴	島根大学大学院 教育学研究科 教科教育専攻国語教育専修[1998年03月修了]
学位	教育学修士[島根大学]
受賞歴	なし
所属学会	日本文学協会 表現学会 日本読書学会 日本国語教育学会 全国大学国語教育学会
専門分野	地方における国語教育実践史の研究
教育研究概要	(キーワード)
担当科目	(専門科目)初等国語科教育法研究, 国語科教育法特講Ⅱ, 教職のためのパブリックスピーキング, 初等国語科教育法研究, 国語科教育法演習Ⅰ, 読書と豊かな人間性, 卒業研究(教育:4単位) (大学院科目)国語科教育学特論Ⅱ, 言語文化総合研究, 初等国語教育学授業設計, 国語科教育学演習Ⅱ, 中等国語教育学授業設計, 特別課題研究

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

・文学作品と国語教科書—「泣いた赤おに」の教材化をめぐる—, 単著, 『茨城の国語教育』(茨城国語教育学会)第14号, 18—28頁, 2015.3

社会的活動、地域貢献など

- ・日本国語教育学会茨城支部研究会講師, つくばカピオ(つくば市), 2014.8
- ・東海村立東海中学校校内研修講師, 2014.10
- ・全労済茨城県本部小学生作品コンクール作文の部審査員, 2015.2
- ・日本国語教育学会茨城支部研究会講師, 茨城大学(水戸市), 2015.2

附属教育実践総合センター	氏名 五島 浩一
--------------	----------

教員履歴など

現 職	准教授
生年月	1961 年 1 月
学歴・職歴	北浦村立北浦中学校(1984 年 4 月～1990 年 3 月) 水戸市立新荘小学校(1990 年 4 月～1994 年 3 月) 茨城大学教育学部附属小学校(1994 年 4 月～2009 年 3 月) 牛久市立下根中学校(2009 年 4 月～2011 年 3 月) 水戸市立第一中学校(2011 年 4 月～2013 年 3 月)
学位	
受賞歴	なし
所属学会	日本理科教育学会
専門分野	教科教育、教師教育
教育研究概要	(キーワード)教科教育、理科教育、教育方法、教員養成、教育実践
担当科目	(専門科目)教師の資質と教職設計A, 教師の資質と教職設計B (大学院科目)学校を基盤としたカリキュラム開発と実践, 校内研修の企画・立案と実践

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等

1. [著書・共著]茨城大学教育学部附属幼稚園 編「楽しく遊んで、子どもを伸ばす」, 福村出版, (2016 年 08 月 10 日)
2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]五島浩一・臼井英成「校内研修を活性化するための一方策 ―研究主任研修会の実践を通して―」, 茨城大学教育実践研究第 35 号, (2016 年 11 月 30 日)

社会的活動、地域貢献など

○ 兼業・兼職

1. [非常勤講師] 茨城県立中央看護専門学校・(2016 年 09 月～2017 年 01 月)

○ 地域協力活動

1. [学外審議会・委員会等]「日立市立豊浦小学校校舎改築事業設計プロポーザル審査委員会委員長」(2016 年 10 月～2017 年 03 月)
2. 那珂市教育委員会「那珂市研究主任研修会」(2016 年 05 月～)

3. 「神栖市立太田小学校校内研修会講師」(2016 年 02 月～)
4. 那珂市教育委員会「那珂市研究主任研修会」(2015 年 05 月～)
5. 茨城県水戸教育事務所[地域貢献事業]「中学校研究主任研修会講師」(2015 年 01 月～)
6. [地域貢献事業]「那珂市研究主任研修会講師」(2014 年 05 月～)
7. [地域貢献事業]「鹿嶋市立鹿島小学校理科要請訪問指導講師」(2013 年 11 月～)
8. [地域貢献事業]「神栖市教育会理科教育研究部研修会講師」(2013 年 08 月～)
9. [地域貢献事業]「日立市教育研究会教育課程研究部研修会講師」(2013 年 02 月～)

(全学教職センター)	氏名 本田 敏明
------------	----------

教員履歴など

現 職	特任教授
学歴・職歴	広島大学 教育学部 小学校教員養成課程[1975 年] 広島大学大学院 教育学研究科 教育方法学[1981 年]
学位	教育学修士
受賞歴	社会教育者功労者表彰(2011)
所属学会	教育システム情報学会 日本教育工学会 日本教育方法学会 情報科教育学会
専門分野	教育工学 教育方法学
教育研究概要	(キーワード)教育工学 情報教育 教育方法 教授学 ラーニングエコロジー e-ペダゴジー
担当科目	(専門科目)情報科教育法 I, マルチメディア・コンテンツ制作, 情報リテラシーと情報モラル, 情報教育指導法, 卒業研究(教育:4 単位) (大学院科目)教育方法学特論

研究業績(1)論文・著書・翻訳など

○ 著書・論文等
1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)共著]本田敏明 西村佳菜 樋野雄介 大曾根伊織「教師の ICT 活用指導能力の育成について」, 茨城大学教育実践研究, 35, 381-396(2016 年 12 月 01 日)

社会的活動、地域貢献など

○ 地域協力活動
1. [学外審議会・委員会等]「茨城県水戸生涯学習センター運営協議会委員(会長)」(2016 年 04 月～2017 年 03 月)

海外出張・海外研修・内地研修など海外出張・海外研修・内地研修など

ドイツ ルートヴィヒスブルク ルートヴィヒスブルク教育大学[情報交換](2016 年 9 月:11 日間)
マレーシア クアラルンプール市, マラッカ市 クアラルンプール中央駅・市街地, マラッカ市街地[ホテル、ショッピングモール等公共施設の wifi 利用の調査](2017 年 2 月:4 日間)

科学研究費補助金などの受領

平成29年度研究推進経費(科研費申請再チャレンジ支援)
